
三 豊 市

子ども・子育て支援についてのアンケート調査

報告書

令和6年10月

三豊市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査概要	1
3	報告書の見方	2
II	調査結果 未就学児童	3
	お住まいの地域について	3
	問 1 居住地区	3
	お子さんご家族の状況について	3
	問 2 こどもの生年月日	3
	問 3 家族内のこどもの人数と年代	4
	問 4 こどもから見た回答者の関係	5
	問 5 配偶者の有無	5
	問 6 子育て・教育を主にしている方	6
	問 7 祖父母の居住地	6
	問 8 祖父母が子育てに関わる頻度	7
	お子さんの保護者の就労状況について	8
	問 9 保護者の現在の就労状況	8
	問 10 就労日数、就労時間などの就労状況	9
	問 11 フルタイムへの転換希望の有無	12
	問 12 今後の就労希望と就労形態の希望	13
	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	15
	問 13 定期的な教育・保育事業を利用しているか	15
	問 14 定期的に平日利用している教育・保育事業	15
	問 15 平日の定期的な教育・保育事業の利用日数・時間の現状と希望	16
	問 16 定期的な教育・保育事業を利用していない理由	18
	問 17 「こども誰でも通園制度」を利用したいか	19
	問 18 定期的に平日利用したい教育・保育事業	20
	問 19 幼稚園の利用を強く希望するか	22
	問 20 幼稚園を強く希望しない理由	22

土日祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	24
問 21 土日祝日の定期的な保育・教育事業の利用希望の有無	24
問 22 毎週ではなく、たまに利用したい理由	26
お子さんのつどいの広場の利用状況について	26
問 23 現在つどいの広場を利用しているか	26
問 24 つどいの広場を利用しやすくするためにあるといいもの	28
お子さんの病気の際の対応について	29
問 25 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことがあるか	29
問 26 利用できなかった場合の対応	29
問 27 できれば病児・病後保育施設等を利用したかったか	32
問 28 病児・病後児保育施設を利用しやすくするためにあるといいもの	33
一時預かり・ファミリー・サポート・センターの利用について	34
問 29 一時預かりやファミリー・サポート・センター等のサービスを利用しているか、またその利用日数	34
問 30 一時預かりやファミリー・サポート・センターをより利用しやすくするためにあるといいもの	36
お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方について	37
問 31 小学校低学年の間、放課後に過ごさせたい場所	37
「産前・産後」サポートについて	39
問 32 育児を安心して行うために、妊娠中に大切なこと	39
問 33 利用したいサービス	40
「発達支援」について	41
問 34 成長・発達や特性について気になった場合、家庭外に相談するか	41
問 35 こどもの成長・発達に特性があった場合、何に力を入れてほしいか	42
問 36 こどもの発達に合わせた個別の教育や療育を受けさせたいか	43
問 37 集団生活で支援が必要なこどもを受け入れるため、優先すべきこと	45

家庭の子育て、地域の子育て環境について 46

(1) 家庭の子育てについて 46

- 問 38 子育てをどのように感じているか 46
- 問 39 子育てに関する悩みや不安の相談相手 46
- 問 40 日頃、こどもをみてもらえる親族・知人 47
- 問 41 三豊市の子育て情報の入手方法 48
- 問 42 子育てに関する悩み 48

(2) 仕事と子育ての両立について 50

- 問 43 仕事と子育ての両立のために、最も重要なこと 50
- 問 44 育児休業を取得したか 51
- 問 45 育児休業から実際復帰した時期と、希望の復帰時期 52
- 問 46 そのタイミングで職場復帰した理由 53

(3) 三豊市の子育て環境について 54

- 問 47 こどもや親が安心して外出できる環境になっているか 54
- 問 48 普段こどもと一緒に利用する施設・公園 55
- 問 49 その遊び場を利用する理由 56
- 問 50 市内の施設・公園に望むもの 57
- 問 51 近所や地域での付き合い・近所のこどもとの関わりの状況 58
- 問 52 子育てをする上で、近所や地域に望むこと 59
- 問 53 こどもと大人が関わりを持つきっかけとしてよいと思うもの 60
- 問 54 「小1プロブレム」を心配しているか 60
- 問 55 こどもが小学校に進学するときに心配なこと 61

(4) 今後の三豊市の取組について 62

- 問 56 市の子育て支援サービスを知っているか、利用したことはあるか、
今後利用したいと思うか 62
- 問 57 市の子育て支援の取組分野に対する現状評価と今後の重要度 64
- 問 58 市の子育て政策に期待すること 66

Ⅲ 調査結果 小学生児童 67

お住まいの地域について 67

- 問 1 居住地区 67

お子さんご家族の状況について	67
問 2 こどもの生年月日	67
問 3 家族内のこどもの人数と年代	68
問 4 こどもから見た回答者の関係	69
問 5 配偶者の有無	69
問 6 子育て・教育を主にしている方	70
問 7 祖父母の居住地	70
問 8 祖父母が子育てに関わる頻度	71
お子さんの保護者の就労状況について	72
問 9 保護者の現在の就労状況	72
問 10 就労日数、就労時間などの就労状況	73
問 11 フルタイムへの転換希望の有無	75
問 12 今後の就労希望と就労形態の希望	76
お子さんの放課後の過ごし方について	78
問 13 放課後過ごしている場所、放課後児童クラブの利用時間	78
問 14 放課後児童クラブの満足度	80
問 15 放課後過ごさせたい場所、放課後児童クラブの利用時間の希望	82
問 16 (1) 土日祝や長期休暇中の児童クラブの利用希望	84
(2) 低学年のこどもの今後の利用希望	86
(3) 平日の利用時間の希望	86
お子さんの病気の際の対応について	87
問 17 病気やケガで学校を休む場合の対応	87
問 18 できれば病児・病後保育施設等を利用したかったか	88
問 19 病児・病後児保育施設を利用しやすくするためにあるといいもの	89
「発達支援」について	89
問 20 成長・発達や特性について気になった場合、家庭外に相談するか	89
問 21 こどもの成長・発達に特性があった場合、何に力を入れてほしいか	91
問 22 こどもの発達に合わせた個別の教育や療育を受けさせたいか	92
問 23 集団生活で支援が必要なこどもを受け入れるため、優先すべきこと	93

家庭の子育て、地域の子育て環境について 94

(1) 家庭の子育てについて 94

- 問 24 子育てをどのように感じているか 94
- 問 25 子育てに関する悩みや不安の相談相手 95
- 問 26 日頃、こどもをみてもらえる親族・知人 96
- 問 27 子育てに関する悩み 96

(2) 仕事と子育ての両立について 98

- 問 28 仕事と子育ての両立のために、最も重要なこと 98
- 問 29 育児休業を取得したか 99
- 問 30 育児休業から実際復帰した時期と、希望の復帰時期 100
- 問 31 そのタイミングで職場復帰した理由 101

(3) 三豊市の子育て環境について 102

- 問 32 こどもや親が安心して外出できる環境になっているか 102
- 問 33 普段こどもと一緒に利用する施設・公園 102
- 問 34 その遊び場を利用する理由 104
- 問 35 市内の施設・公園に望むもの 105
- 問 36 近所や地域での付き合い・近所のこどもとの関わりの状況 106
- 問 37 子育てをする上で、近所や地域に望むこと 107
- 問 38 こどもと大人が関わりを持つきっかけとしてよいと思うもの 108

(4) 学校教育について 108

- 問 39 小学校の教育全体の満足度 108
- 問 40 小学校に特に期待すること 109
- 問 41 「小1プロブレム」があったか 110
- 問 42 「いじめ」について、こどもと話し合うか 110
- 問 43 「いじめ」を見聞きしたことがあるか 111
- 問 44 「いじめ」が発生した場合、学校に求めたいもの 111
- 問 45 小学校の活動に参加したいか 112

(4) 今後の三豊市の取組について 112

- 問 46 市の子育て支援の取組分野に対する現状評価と今後の重要度 112
- 問 47 充実すべき、市の子育て支援 115

IV 調査結果比較 未就学児童・小学生児童…………… | 16

お住まいの地域について…………… | 16

居住地区…………… | 16

お子さんご家族の状況について…………… | 17

家族内のこどもの人数と年代…………… | 17

こどもから見た回答者の関係…………… | 18

配偶者の有無…………… | 18

子育て・教育を主におこなっている方…………… | 18

祖父母の居住地…………… | 19

祖父母が子育てに関わる頻度…………… | 19

お子さんの保護者の就労状況について…………… | 20

保護者の現在の就労状況…………… | 20

就労日数、就労時間などの就労状況…………… | 21

フルタイムへの転換希望の有無…………… | 25

今後の就労希望と就労形態の希望…………… | 26

お子さんの病気の際の対応について…………… | 28

病気やケガで教育・保育事業が利用できない

(学校を休む) 場合の対応…………… | 28

できれば病児・病後保育施設等を利用したかったか…………… | 29

病児・病後児保育施設を利用しやすくするためにあるといいもの…………… | 30

お子さんの放課後の過ごし方について…………… | 31

(小学校低学年の間) 放課後に過ごさせたい場所…………… | 31

「発達支援」について…………… | 33

成長・発達や特性について気になった場合、家庭外に相談するか…………… | 33

こどもの成長・発達に特性があった場合、何に力を入れてほしいか…………… | 34

こどもの発達に合わせた個別の教育や療育を受けさせたいか…………… | 35

集団生活で支援が必要なこどもを受け入れるため、優先すべきこと…………… | 36

家庭の子育て、地域の子育て環境について	136
---------------------------	-----

(1) 家庭の子育てについて	136
子育てをどのように感じているか	136
子育てに関する悩みや不安の相談相手	137
日頃、こどもをみてもらえる親族・知人	137
子育てに関する悩み	137
(2) 仕事と子育ての両立について	139
仕事と子育ての両立のために、最も重要なこと	139
育児休業を取得したか	139
育児休業から実際復帰した時期と、希望の復帰時期	140
そのタイミングで職場復帰した理由	141
(3) 三豊市の子育て環境について	141
こどもや親が安心して外出できる環境になっているか	141
普段こどもと一緒に利用する施設・公園	142
その遊び場を利用する理由	143
市内の施設・公園に望むもの	144
近所や地域での付き合い・近所のこどもとの関わりの状況	145
子育てをする上で、近所や地域に望むこと	145
こどもと大人が関わりを持つきっかけとしてよいと思うもの	146
(4) 今後の三豊市の取組について	146
市の子育て支援の取組分野に対する現状評価と今後の重要度	146
市の子育て政策に期待すること	149

V 調査結果 こども・若者生活状況..... 150

あなた自身のことについて	150
問1 性別	150
問2 年齢	150
問3 居住地区	151
問4 婚姻状況	151
問5 同居の家族	152
問6 (1) 生計を支える人	153
(2) 収入源	153

問 7	暮らし向き	154
問 8	最後に卒業した学校	154
問 9	現在の仕事	155
問 10	就業経験	156

日頃の意識と生活について 156

問 11	あなた自身について	156
問 12	自分が幸せと思うか	158
問 13	こどもや若者にとっての「居場所」とはどんなところか	158
問 14	あなたにとっての居場所になっているか	159
問 15	孤独感をどのぐらいの頻度で感じるか	160
問 16	どの程度孤独だと感じるか	161
問 17	家族・親族とのかかわり	162
問 18	学校で出会った友人とのかかわり	163
問 19	職場・アルバイト関係の人とのかかわり	164
問 20	地域の人とのかかわり	165
問 21	インターネット上の人やグループとのかかわり	166
問 22	1日のインターネットの利用時間	167
問 23	あなたのコミュニケーションについて	168
問 24	社会貢献がしたいか	169
問 25	将来に希望を持っているか	169
問 26	普段自宅で何をして過ごしているか	170
問 27	普段どのくらい外出するか	171
問 28	外出状況が現在の状況になった年齢	171
問 29	外出状況が現在の状況になった要因	172
問 30	この半年に家族以外と会話したか	173
問 31	社会生活や日常生活を円滑に送れなかった経験があるか	173
問 32	問題を経験した（している）原因は何か （1）自分自身について	174
	（2）家族・家庭について	175
	（3）学校について	176
	（4）仕事・職場について	177
問 33	生活を円滑に遅れない状況が改善した経験があるか	178
問 34	改善したきっかけや役立ったこと	178
問 35	自分自身について悩んでいること	180
問 36	困ったときの相談相手がいるか	180
問 37	相談相手との関係性	181
問 38	家族や知り合い以外で、相談したい人や場所	182

問 39	相談したくない理由	183
問 40	市や県の相談窓口を利用したいか	184
問 41	結婚とこどもの状況	184
問 42	将来の結婚希望	184
問 43	結婚していない理由	185
問 44	結婚時の年齢	185
問 45	現在のこどもの人数	186
問 46	理想のこどもの人数	186
問 47	こどもの人数の理想と現実の差	186
問 48	理想のこどもの人数の方が多い理由	187
問 49	重要だと思うこども・若者世代への取組	188

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「三豊市こども計画」の基礎資料として、教育・保育・子育て支援サービスに関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、確保すべき教育・保育・子育て支援に関する「量の見込み」を算出するため、就学前児童・小学生児童の保護者を対象に調査を実施しました。

また、市内の15歳から39歳の方を対象に、人生観・居場所・結婚・少子化に関する将来の展望や悩みを把握し、こども・若者施策に活用するため、調査を実施しました。

2 調査概要

調査地域	三豊市全域	
調査対象者	就学前児童	令和6年6月1日時点で住民基本台帳に登録のある就学前児童の保護者
	小学生児童	令和6年6月1日時点で住民基本台帳に登録のある小学生児童の保護者
抽出方法	調査対象者の中から重複を除いた全数	
調査時期	令和6年8月19日～9月2日	
調査方法	郵送での配布・回収またはwebでの回答	
配布数	就学前児童：1,570 小学生児童：1,465	
回収率	就学前児童：60.9%(956件) 小学生児童：46.8%(685件)	

調査地域	三豊市全域
調査対象者	三豊市内に住む15歳から39歳の人
抽出方法	無作為抽出
調査時期	令和6年9月2日～9月24日
調査方法	ハガキによる配布、WEB回答
配布数	3,000件
回収率	10.4% (312件)

3 報告書の見方

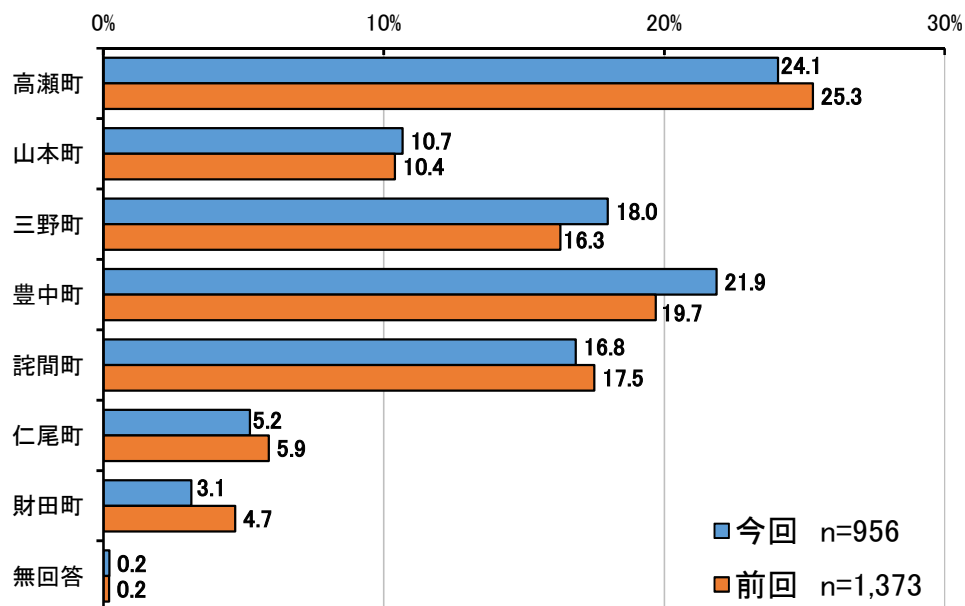
- ・回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。このことは、本報告書の分析文章、グラフ及び表においても反映しています。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ及び表中に「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・グラフ及び表中のn（number of case）は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を現しています。

Ⅱ 調査結果 未就学児童

Ⅰ お住いの地域についてうかがいます

問Ⅰ お住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

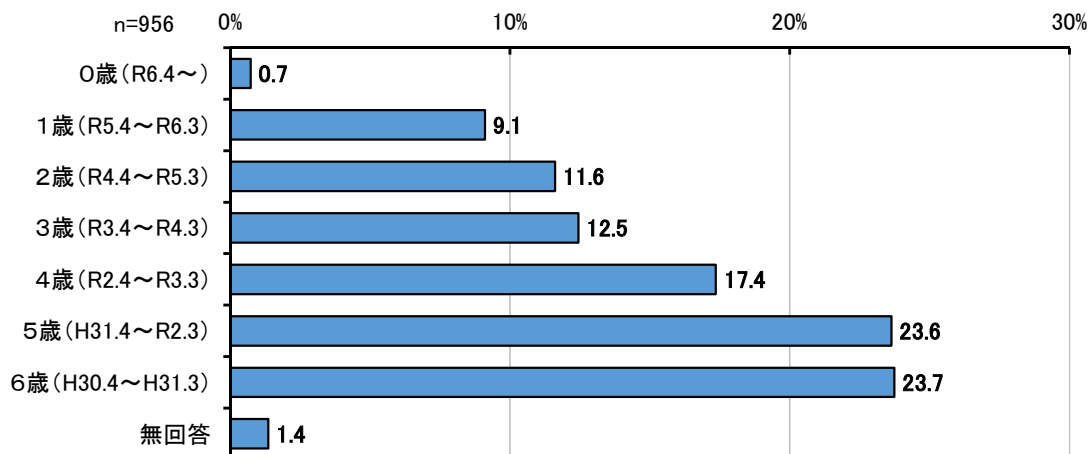
居住地区をみると、「高瀬町」の割合が24.1%と最も高く、次いで「豊中町」21.9%、「三野町」18.0%、「詫間町」16.8%となっています。



2 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。(枠内に数字で記入)

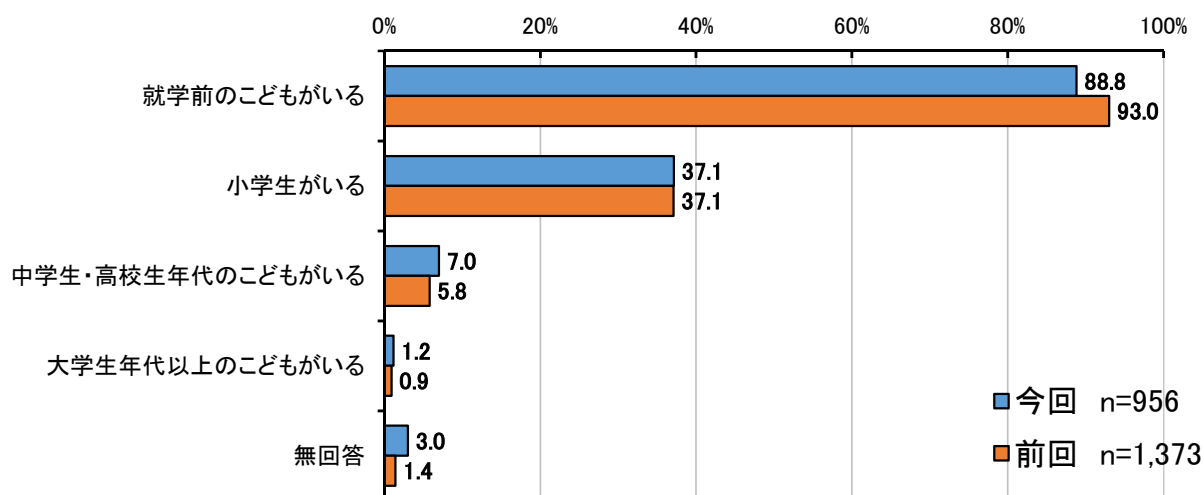
こどもの学年齢をみると、6歳の割合が23.7%と最も高く、次いで5歳23.6%、4歳17.4%となっています。また、平均学年齢は4.1歳となっています。



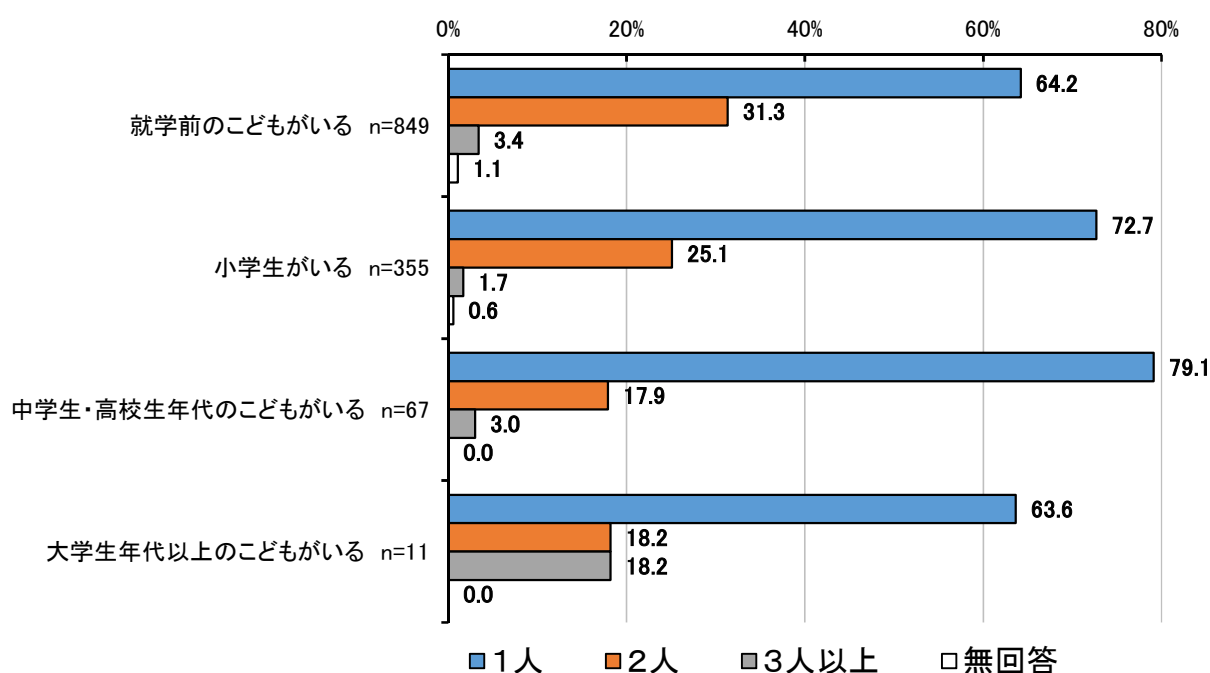
問3 あて名のお子さんを含め、ご家庭の状況はどれにあてはまりますか。(○はいくつでも)

家族の状況を見ると、「未就学のこどもがいる」の割合が88.8%と最も高くなっており、次いで「小学生がいる」37.1%、「中学生・高校生年代のこどもがいる」7.0%、「大学生年代以上のこどもがいる」1.2%となっています。

また、前回調査と比較すると、「未就学のこどもがいる」が4.2ポイント減少しています。こどもの状況別人数をみると、すべての項目で「1人」の割合が最も高くなっています。



【人数】



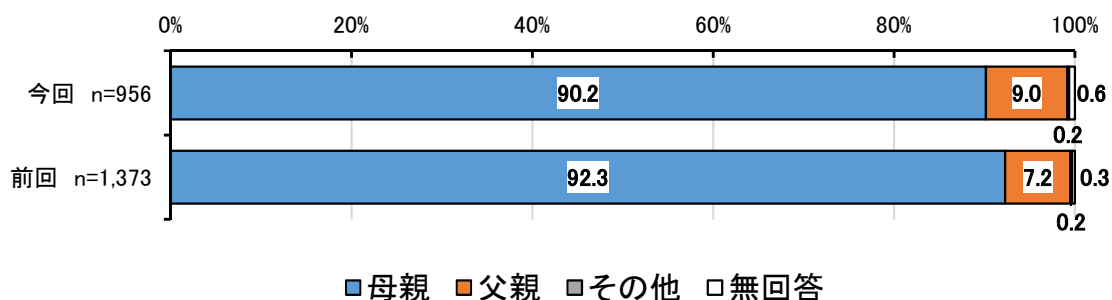
【人数の平均】

	未就学	小学生	中学生・高校生	大学生年代以上
その年代のこどもがいる家庭の平均 (人)	1.4	1.3	1.2	1.6
回答者全体の平均 (人)	1.2	0.5	0.1	0.0

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

回答者をみると、「母親」の割合が90.2%と最も高く、次いで「父親」9.0%、「その他」0.2%となっています。

前回調査と比較すると、「母親」は2.1ポイント減少しており、「父親」が1.8ポイント増加しています。



【その他の回答】(全2件)

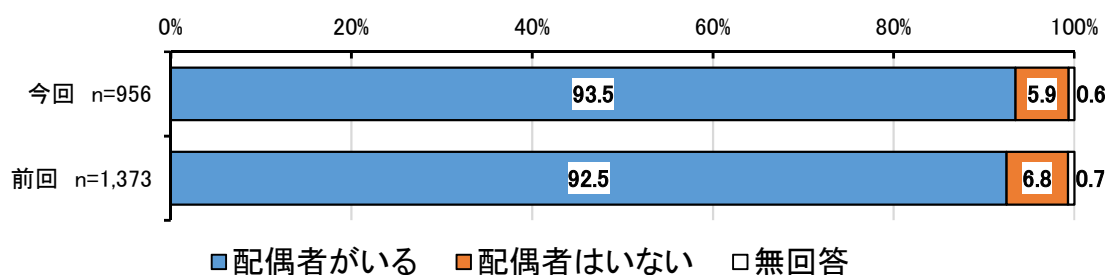
・ 祖父 ・ 祖母

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。

なお、「配偶者」には、婚姻の届け出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含みます。(○は1つ)

回答者の配偶者の有無をみると、「配偶者がいる」の割合が93.5%、「配偶者はいない」は5.9%となっています。

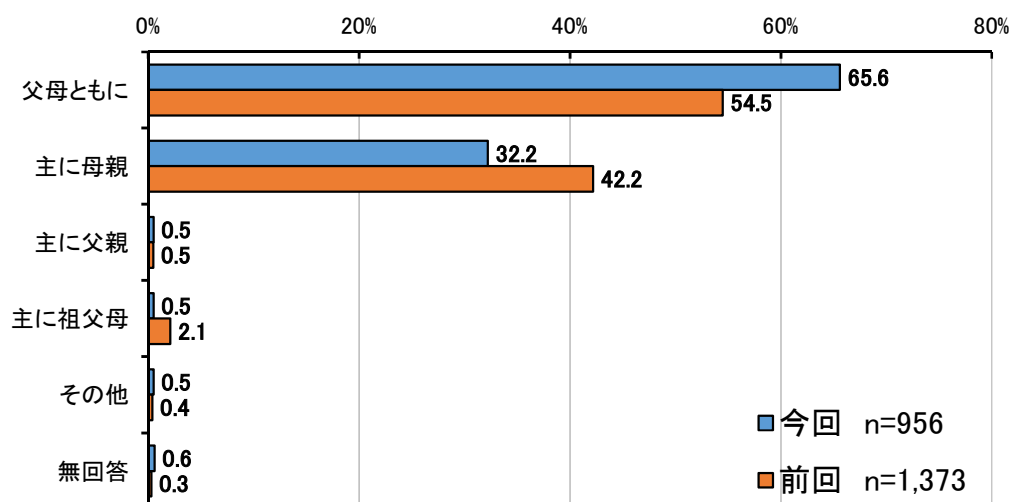
前回調査と比較すると、「配偶者がいる」が1.0ポイント増加しており、「配偶者はいない」は0.9ポイント減少しています。



問6 あて名のお子さんの子育て（教育含む）を主におこなっているのはどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

こどもの子育てを主におこなっている人をみると、「父母ともに」の割合が65.6%と最も高く、次いで「主に母親」が32.2%となっており、他の項目はすべて0.5%となっています。

前回調査と比較すると、「父母ともに」が11.1ポイント増加しており、「主に母親」が10.0ポイント減少しています。



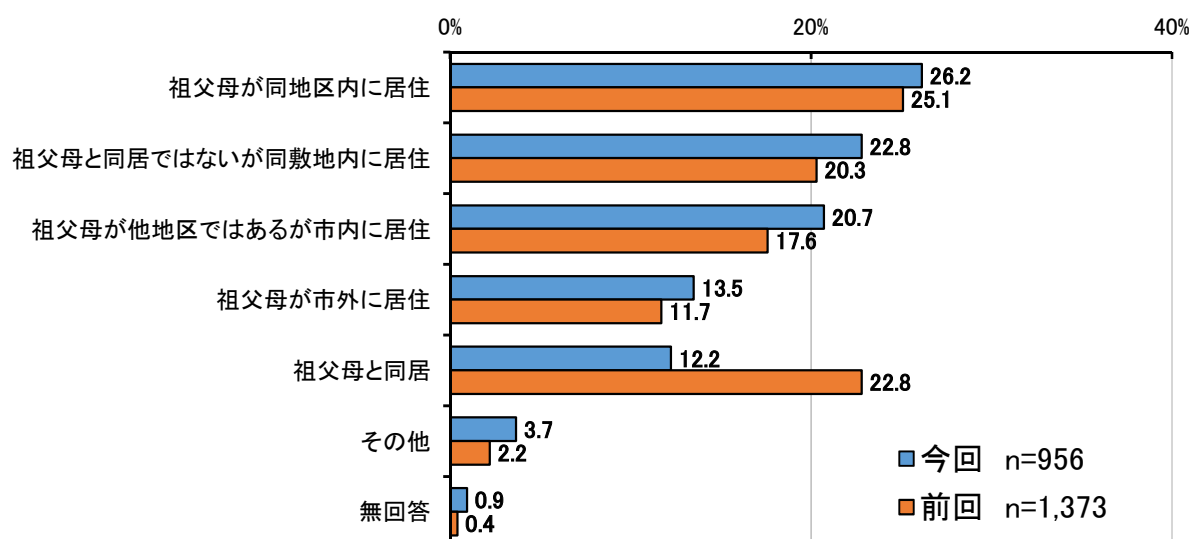
【その他の回答】（全5件）

- ・母親と祖父母 2件
- ・母、おば
- ・主に父と祖母
- ・両親と祖母

問7 世帯の状況は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

世帯の状況についてみると、「祖父母が同地区内に居住」の割合が26.2%と最も高く、次いで「祖父母と同居ではないが同敷地内に居住」22.8%、「祖父母が他地区ではあるが市内に居住」20.7%、「祖父母が市外に居住」13.5%となっています。

前回調査と比較すると、「祖父母と同居」が10.6ポイント減少しています。



【その他の回答】（全 32 件）

- ・ 祖父母が県外に居住 11 件
- ・ 市内と市外 6 件
- ・ 祖父母はいない 3 件
- ・ 義理祖父母と同敷地内に居住
- ・ 祖父母は同地区内と市外に居住
- ・ 曾祖父母と同敷地内に居住
- ・ 祖父同地区内、祖母県外 など

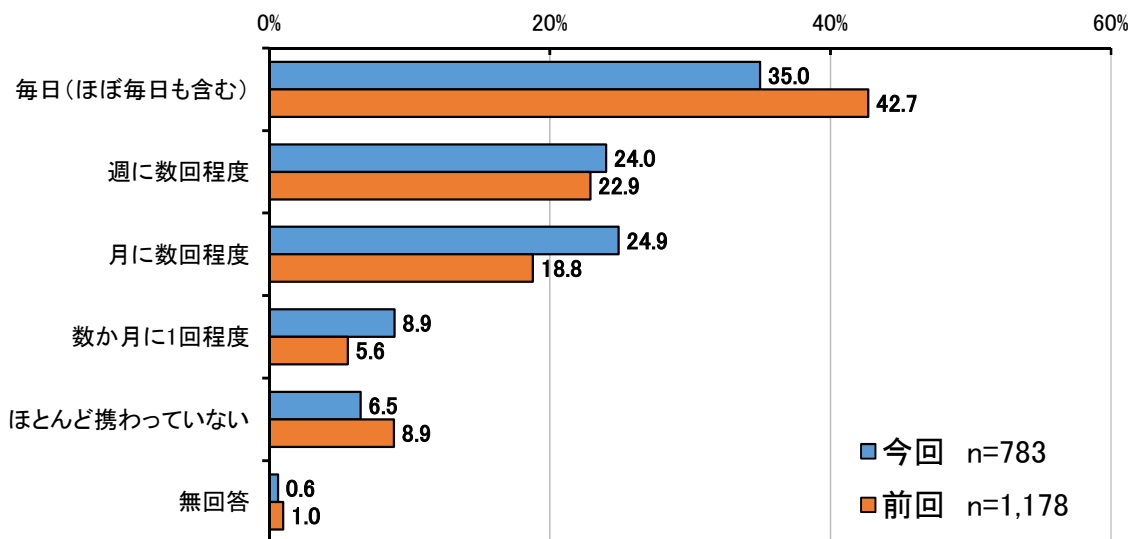
問 8 問 7 で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母がこどもの世話をする等、子育てに携わる頻度はどのくらいですか。

（○は 1 つ）

祖父母と同居を含めて、祖父母が市内に住んでいる人で、祖父母が子育てに携わる頻度をみると、「毎日（ほぼ毎日を含む）」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「月に数回程度」24.9%、「週に数回程度」24.0%となっており、一方「ほとんど携わっていない」が 6.5%となっています。

前回調査と比較すると、「月に数回程度」が 6.1 ポイント増加しており、「毎日（ほぼ毎日を含む）」は 7.7 ポイント減少しています。また、「ほとんど携わっていない」は 2.4 ポイント減少しています。



【携わっていない理由】（全 48 件）

- ・ 高齢のため 9 件
- ・ 仕事をしている 8 件
- ・ 関係が良好ではない 5 件
- ・ 関わりがない 5 件
- ・ 体調が良くない 3 件
- ・ 多忙なため。
- ・ 介護が必要な為
- ・ 祖父母がこども嫌いなので
- ・ 子育てに自信がないと言われてる など

3 あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を、母親、父親それぞれについてお答えください。（○は1つ）

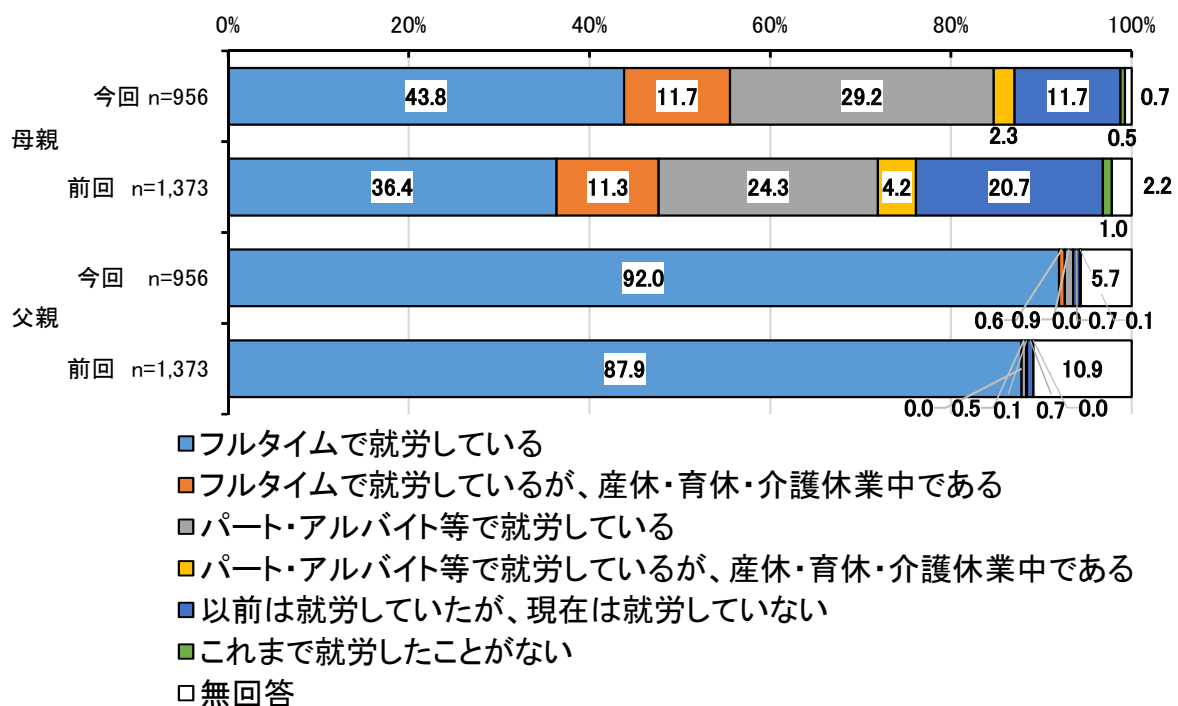
（ひとり親家庭の場合は該当する設問のみ回答。（以下、同様））

※「フルタイム」：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※「パート・アルバイト等」：「フルタイム」以外の短時間の就労

保護者の就労状況をみると、母親は『フルタイム就労』（「フルタイムで就労している」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の合計、以下同じ）の割合が55.5%となっています。『パート・アルバイト就労』（「パート・アルバイト等で就労している」と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の合計、以下同じ）が31.5%となっており、『就労していない』（「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」の合計、以下同じ）が12.2%となっています。父親は、『フルタイム就労』は92.6%となっています。

前回調査と比較すると、母親は『フルタイム就労』が7.8ポイント、『パート・アルバイト就労』が3.0ポイント増加しており、『就労していない』は9.5ポイント減少しています。父親は『フルタイム就労』が4.7ポイント増加しています。



問 10 問 9 の (1) または (2) で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」について、
[] 内に数字でご記入ください。

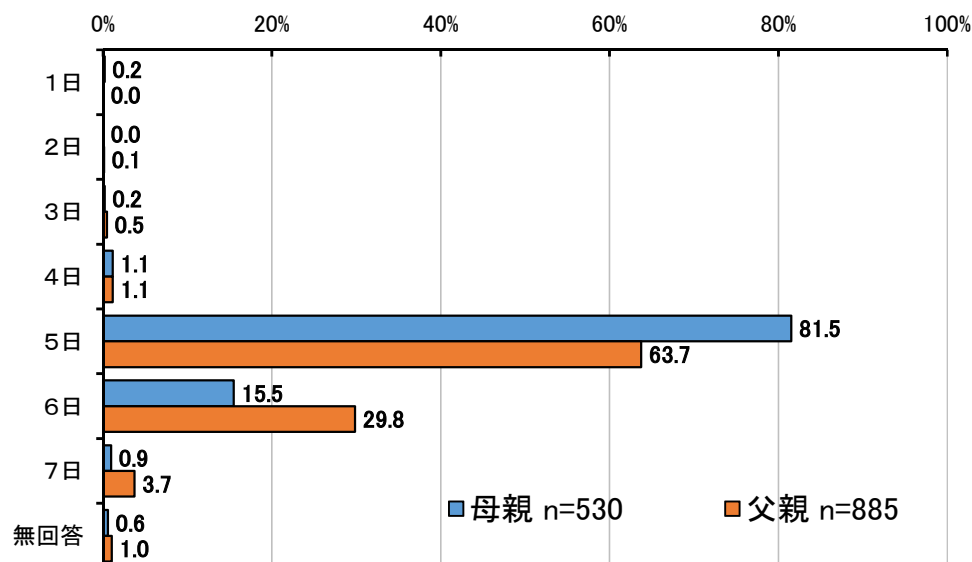
(就労日数や就労時間が一定でない場合は平均的なパターンを回答)

※「2」または「4」に○をつけた方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

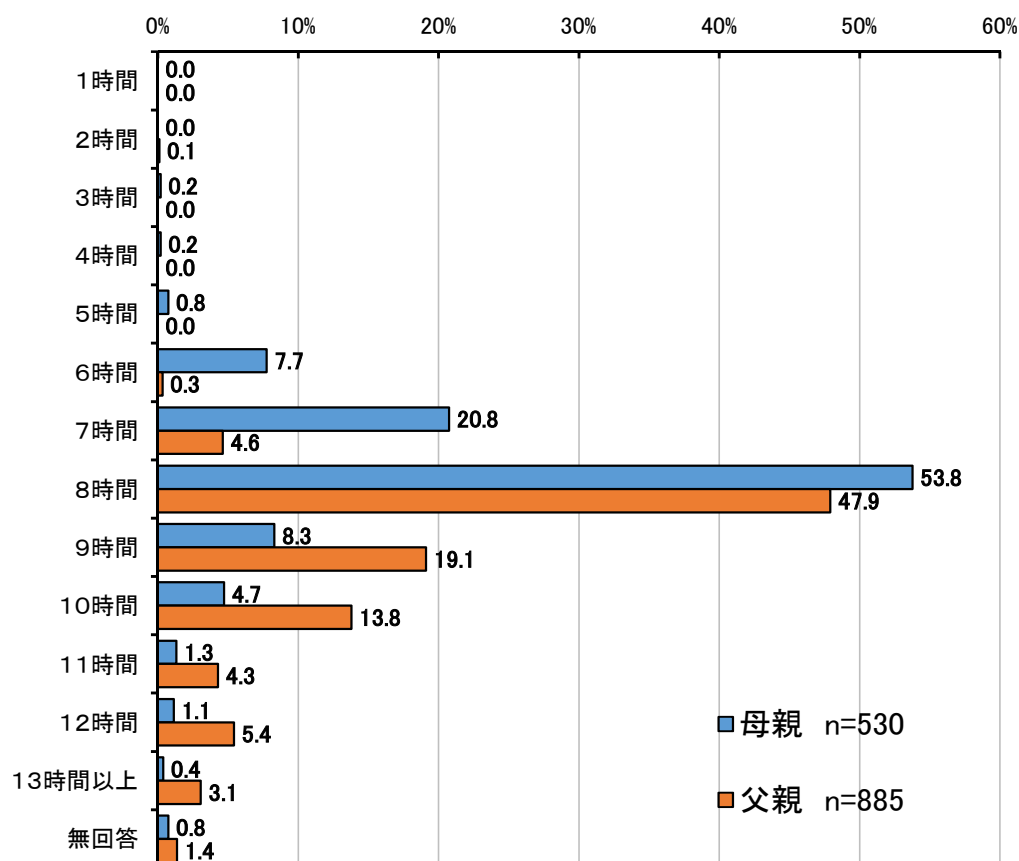
就労している人の就労日数と就労時間をみると、フルタイムは 1 週間あたり「5 日」の割合が、母親 81.5%、父親 63.7%とともに最も高くなっており、1 日あたりの時間は「8 時間」の割合が、母親 53.8%、父親は 47.9%とともに最も高くなっています。

パートタイム・アルバイト等をみると、1 週間あたり「5 日」の割合が、母親 62.3%、父親 44.4%とともに最も高くなっており、1 日あたりの時間は、母親は「6 時間」が 29.7%、父親は「5 時間」が 33.3%と最も高くなっています。

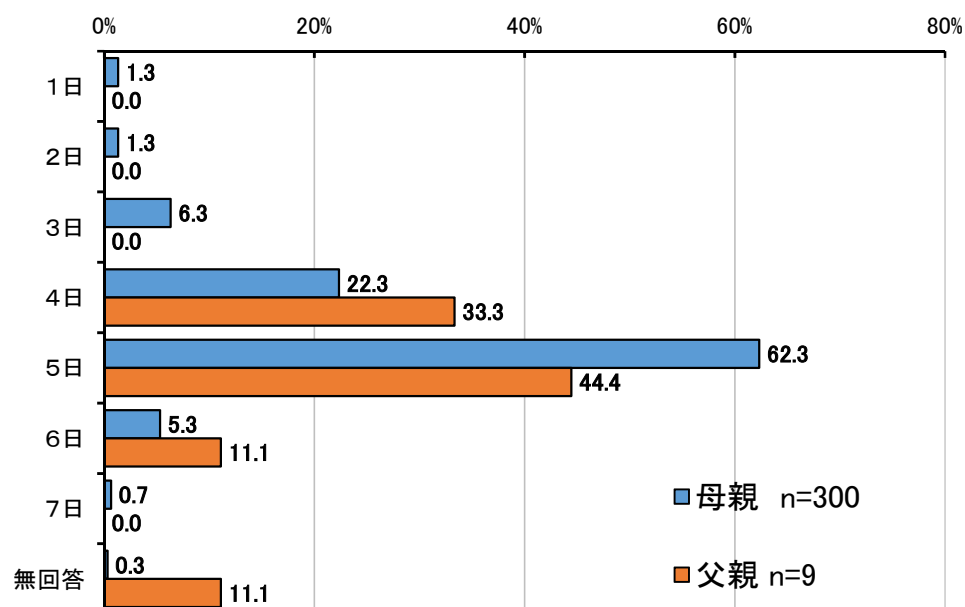
【フルタイム・1 週間あたり】



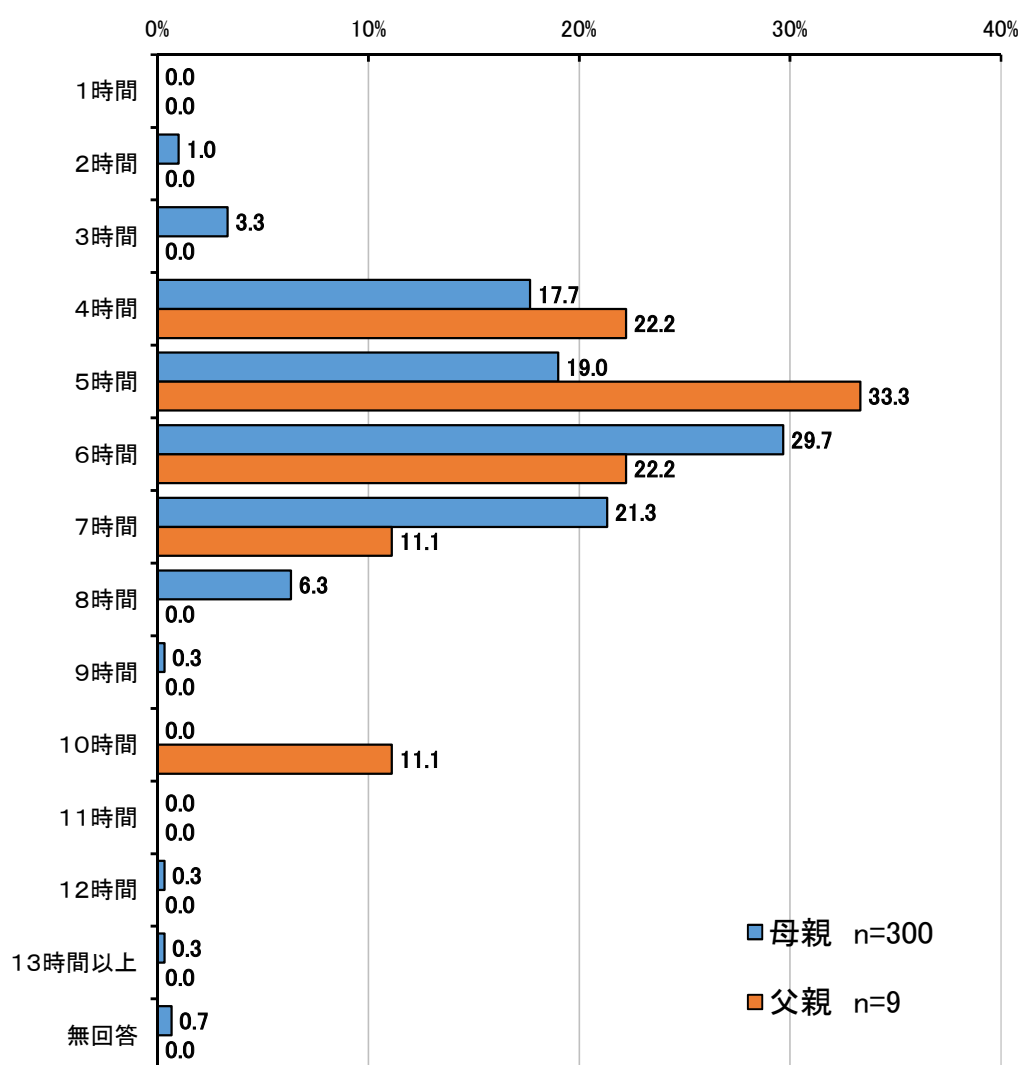
【フルタイム・1日あたり】



【パート・アルバイト・1週間あたり】



【パート・アルバイト・1日あたり】



【平均】

	母親			父親		
	フルタイム	パート・アルバイト	前回	フルタイム	パート・アルバイト	前回
1週間あたり(日)	5.2	4.6	5.0	5.4	4.8	5.5
1日あたり(時間)	7.9	5.7	7.2	9.0	5.8	9.3

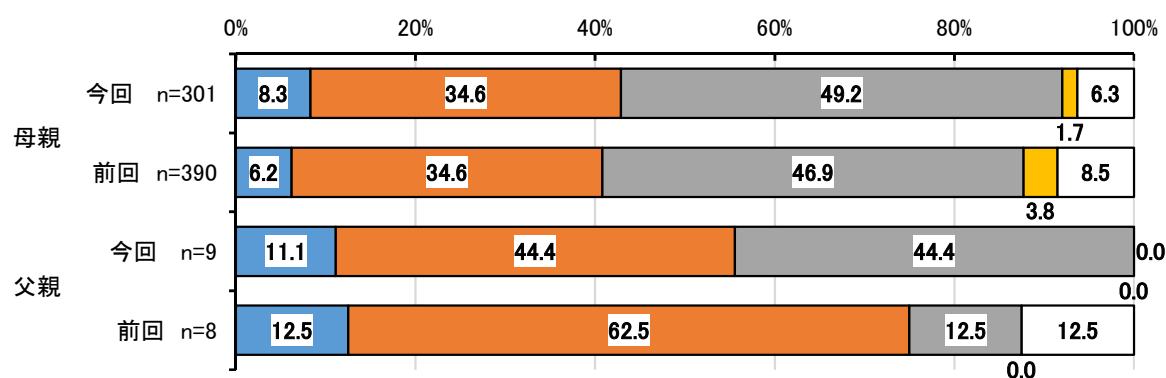
※前回結果は就労者全体の平均値となっています。

問 11 問 9 の (1) または (2) で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望をみると、母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が49.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」34.6%、「フルタイムへの転換予定がある」8.3%となっています。

父親をみると、「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」と「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」がともに44.4%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、母親は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が2.3ポイント増加しています。父親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が31.9ポイント増加しており、「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」が18.1ポイント減少しています。



- フルタイムへの転換予定がある
- フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

問 12 問 9 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する〔 〕内には数字でご記入ください。

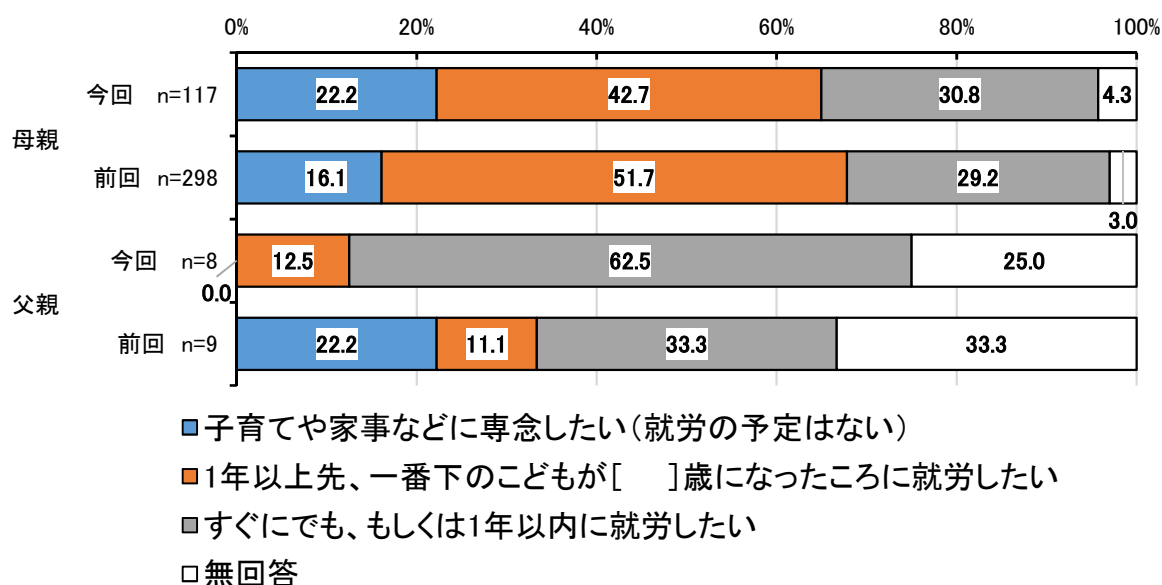
現在就労していない人の就労への希望についてみると、母親では、「1年以上先、一番下のこどもが〔 〕歳になったところに就労したい」の割合が42.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」30.8%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」22.2%となっています。

父親をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が62.5%と最も高くなっています。

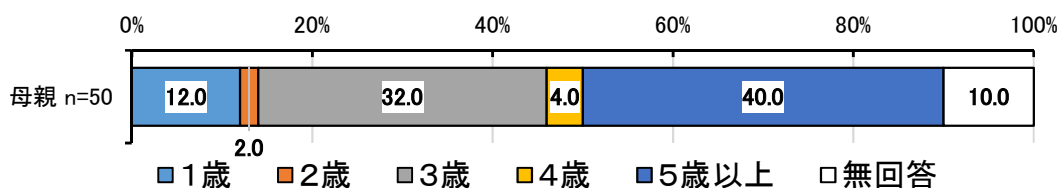
母親の就労を希望するこどもの年齢をみると、「5歳以上」の割合が40.0%と最も高くなっています。また、平均年齢は4.8歳となっています。

前回調査と比較すると、母親の就労希望は「1年以上先、一番下のこどもが〔 〕歳になったところに就労したい」が9.0ポイント減少しています。父親の就労希望は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.8ポイント増加しており、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は22.2ポイント減少しています。母親の就労を希望するこどもの平均年齢は0.5歳高くなっています。

【就労への希望】

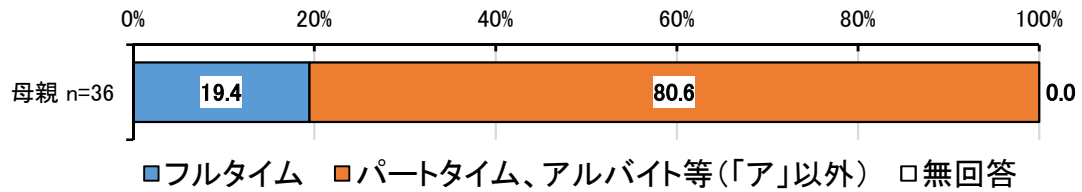


【就労を希望するこどもの年齢・母親】



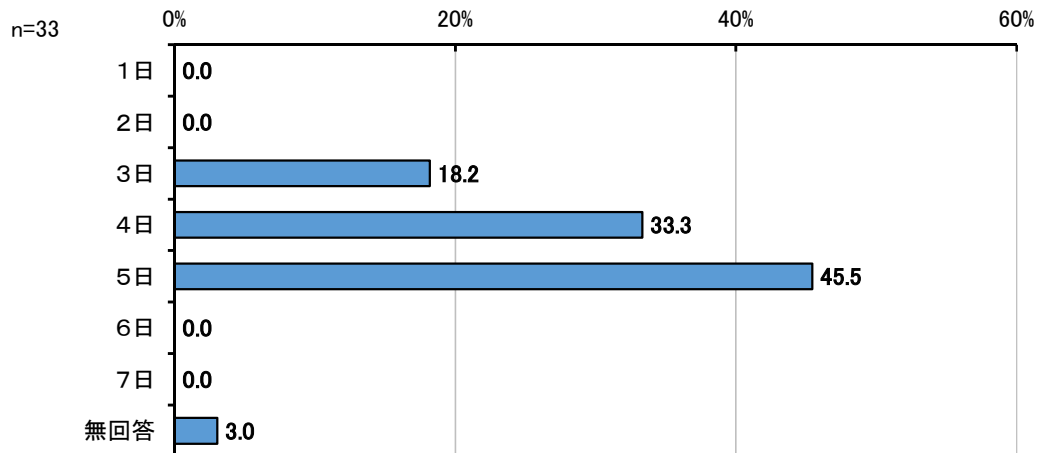
※父親の回答は、「5歳以上」に1件の回答がありました。

【1年以内に希望する就労形態・母親】



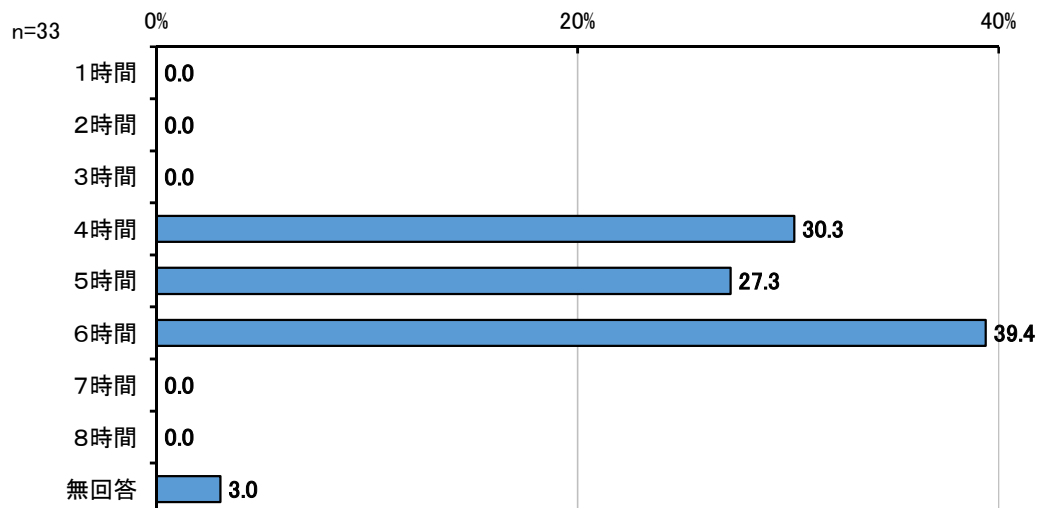
※父親の回答は、「フルタイム」に5件の回答がありました。

【1年以内に希望する就労形態・1週間あたり・母親】



※父親の回答はありませんでした。

【1年以内に希望する就労形態・1日あたり・母親】



※父親の回答はありませんでした。

【平均】

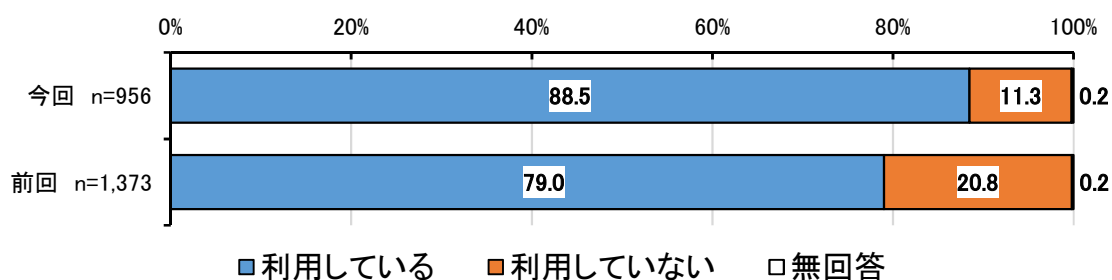
		母親・今回	母親・前回
就労を希望するこどもの年齢(歳)		4.8	4.3
1年以内に希望する就労形態	1週間あたり(日)	4.3	4.3
	1日あたり(時間)	5.0	4.8

4 あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

問 13 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(○は1つ)

定期的な教育・保育事業の利用状況をみると、「利用している」の割合が88.5%、「利用していない」は11.3%となっています。

前回調査と比較すると、「利用している」が9.5ポイント増加しており、「利用していない」は9.5ポイント減少しています。



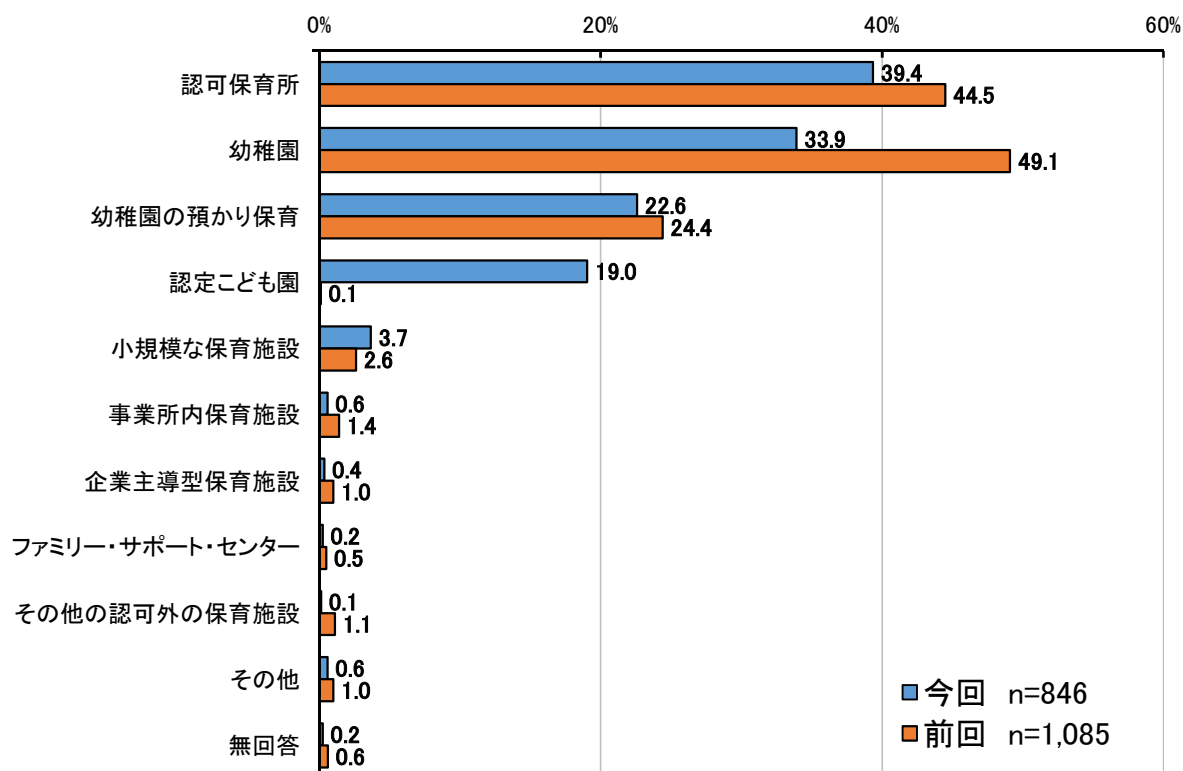
問 14 問 14～問 15 は、問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

利用している人の利用事業をみると、「認可保育所」の割合が39.4%と最も高く、次いで「幼稚園」33.9%、「幼稚園の預かり保育」22.6%、「認定こども園」19.0%となっています。

前回調査と比較すると、「認定こども園」が18.9ポイント増加しており、「幼稚園」が15.2ポイント減少しています。



問15 幼稚園や保育所など平日の定期的な教育・保育の事業について、現在の利用状況と、希望する利用日数及び時間を、それぞれ該当する〔 〕内に数字でご記入ください。
※時間は9:00~18:00のように、24時間制でご記入ください。

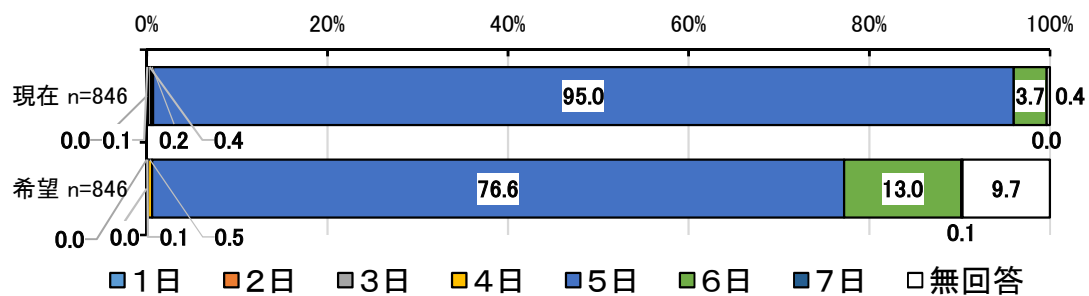
現在の利用状況と希望する利用をみると、1週間当たりの現在の利用日数は「5日」の割合が95.0%となっており、希望する利用日数は「5日」が76.7%、「6日」が13.0%となっています。

1日あたりの利用時間をみると、現在と希望がともに「8時間」の割合が、それぞれ28.7%、25.8%と最も高くなっており、次いで現在では「9時間」が21.3%となっており、希望では「10時間」が18.0%となっています。

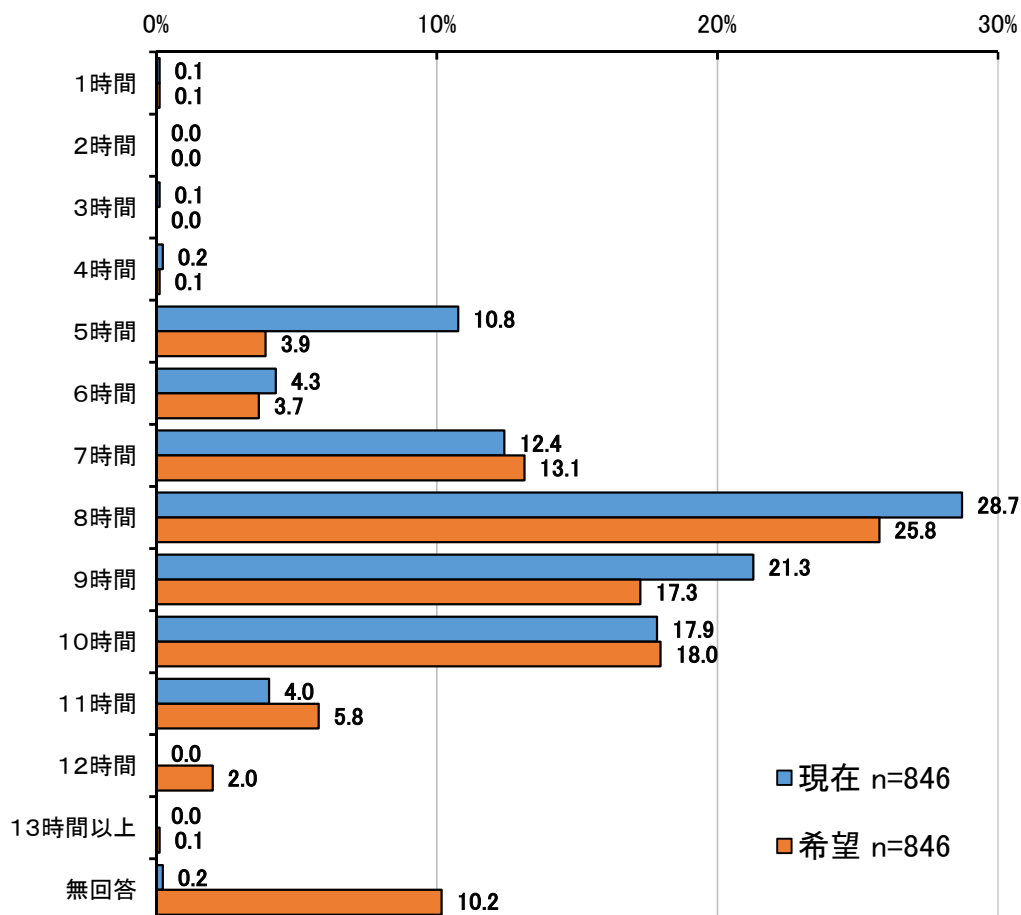
開始時間をみると、現在と希望がともに「8時」の割合が最も高く、終了時間も現在と希望がともに「17時」の割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、1週間当たりの利用日数は概ね同じ傾向となっています。一方、1日あたりの利用時間は、現在と希望がともに約0.3時間増加しており、利用開始時間は現在と希望がともに約30分早くなっています。

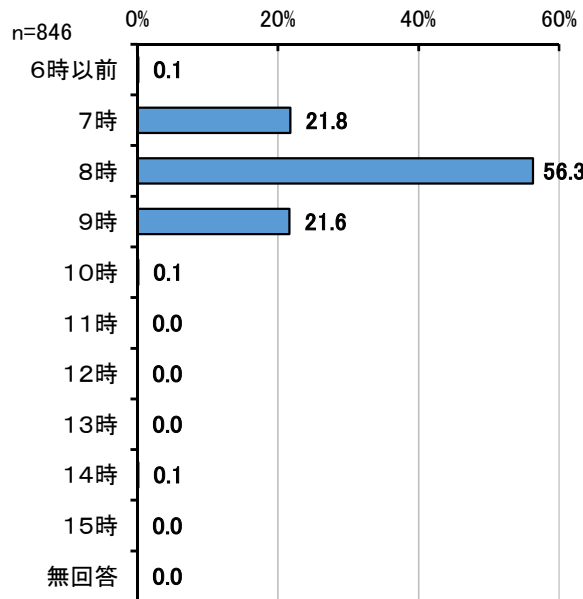
【1週間あたり】



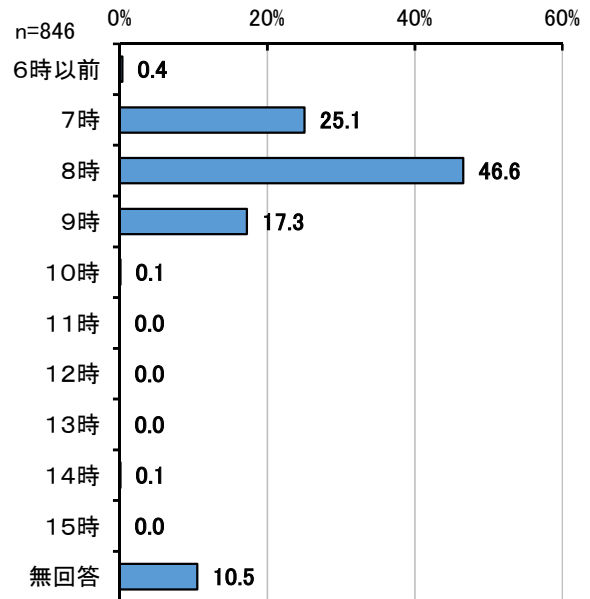
【1日あたり】



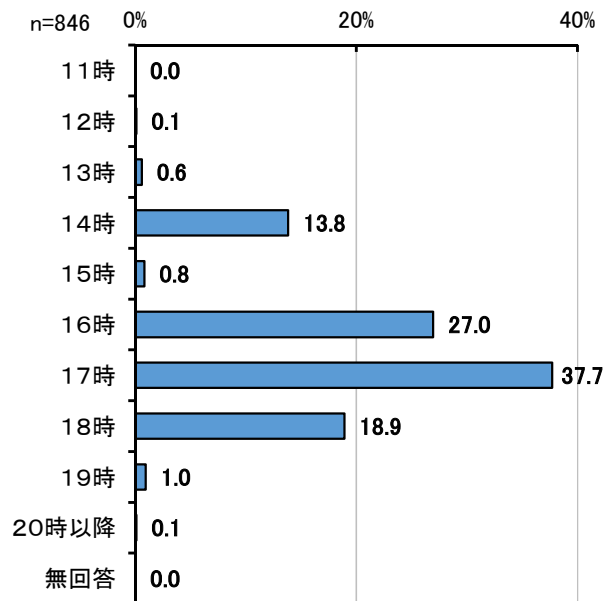
【現在の開始時間】



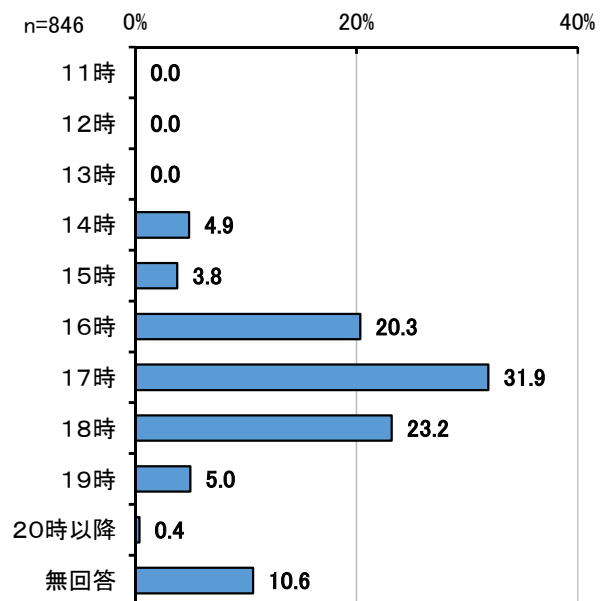
【希望の開始時間】



【現在の終了時間】



【希望の終了時間】



【平均】

	今回		前回	
	現在	希望	現在	希望
1週間あたり 利用日数	5.0 日	5.1 日	5.0 日	5.2 日
1日あたり利用 時間	8.1 時間 (8:14~16:40)	8.5 時間 (8:08~17:06)	7.7 時間 (8:43~16:17)	8.3 時間 (8:34~17:14)

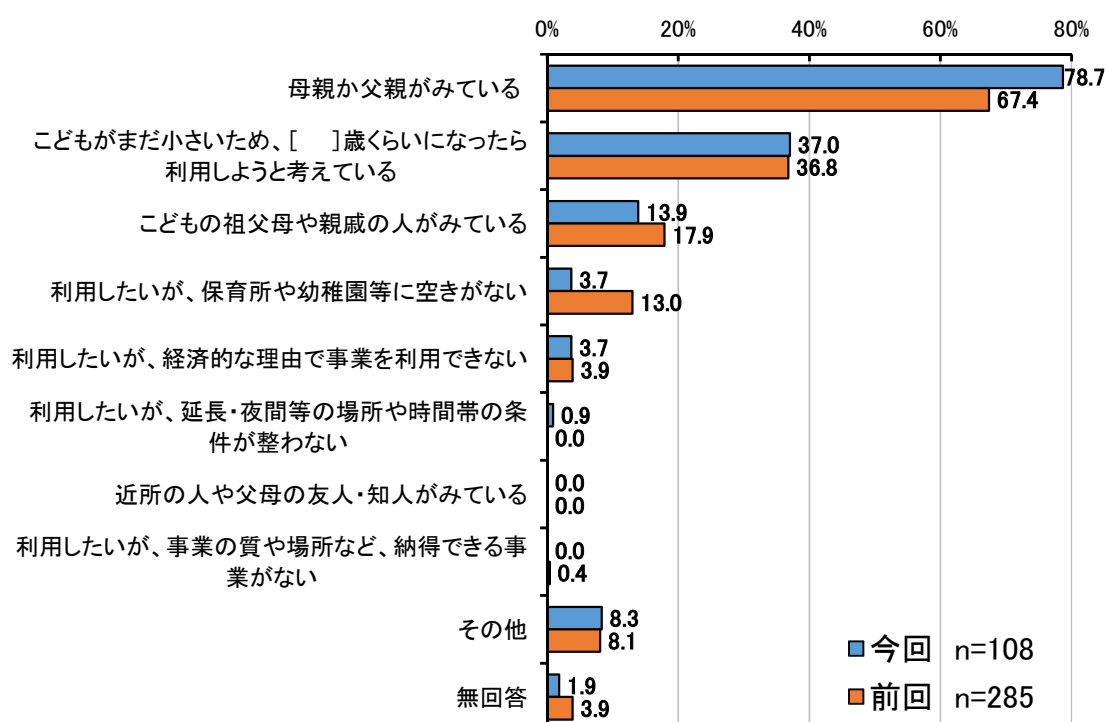
問 16 問 13で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○、[]内は数字で記入)

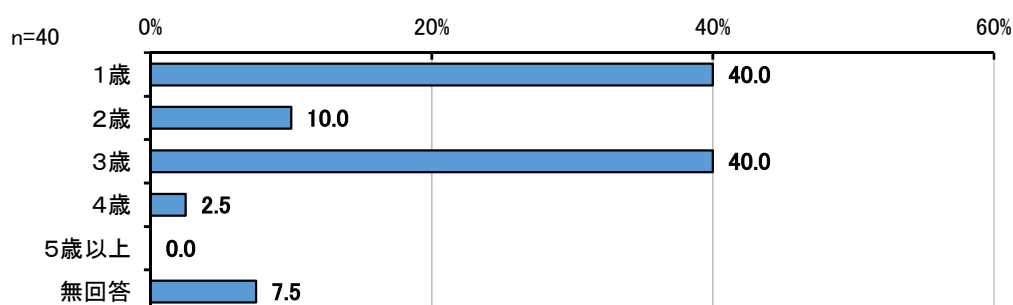
現在、定期的な教育・保育事業を利用していない人の理由をみると、「母親か父親が見ている」の割合が78.7%と最も高く、次いで「こどもがまだ小さいため、[]歳くらいになったら利用しようと考えている」37.0%となっています。

前回調査と比較すると、「母親か父親が見ている」が11.3ポイント増加しており、「利用したいが、保育所や幼稚園等に空きがない」は9.3ポイント減少しています。

利用したいこどもの年齢をみると、「1歳」と「3歳」の割合がともに40.0%と最も高くなっています。また、平均年齢は2.1歳となっています。



【利用したいこどもの年齢】



【その他の回答】(全10件)

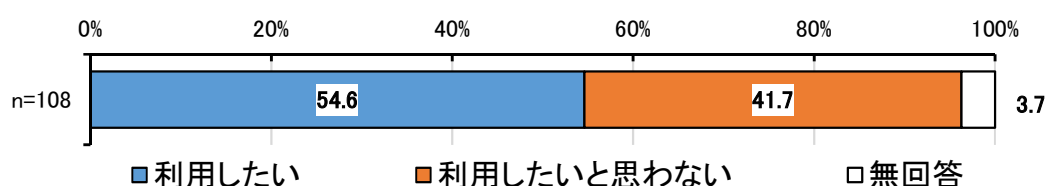
- ・ 今後入園・入所予定 4件
- ・ 利用したいが就労や介護などの理由がないと入れないから 2件
- ・ 仕事で急にお迎え行けない
- ・ 高い保育料を払うなら家で見る方がいいから
- ・ こどもとの時間を過ごしたいから
- ・ 子が病気で療養しており、保育を利用すると感染症のリスクがどうしても高くなり、保育園をやめざるをえなかった為。

問 17 問 13で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

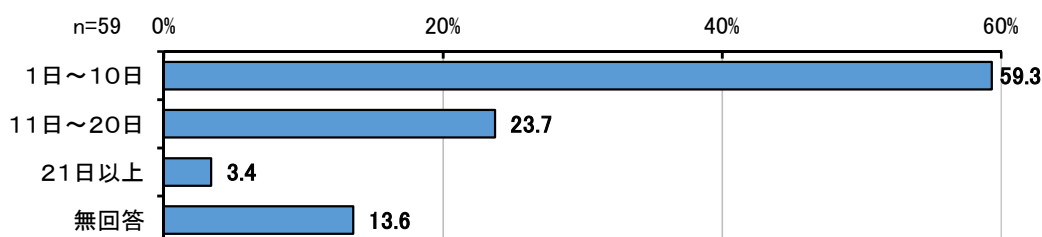
令和8年度から、国が検討している「こども誰でも通園制度」（仮称）が開始となる予定ですが、認定こども園・保育所等で開始された場合、利用したいと思いますか。

現在、定期的な教育・保育事業を利用していない人の「こども誰でも通園制度」の利用希望をみると、「利用したい」の割合が54.6%、「利用したいと思わない」が41.7%となっています。

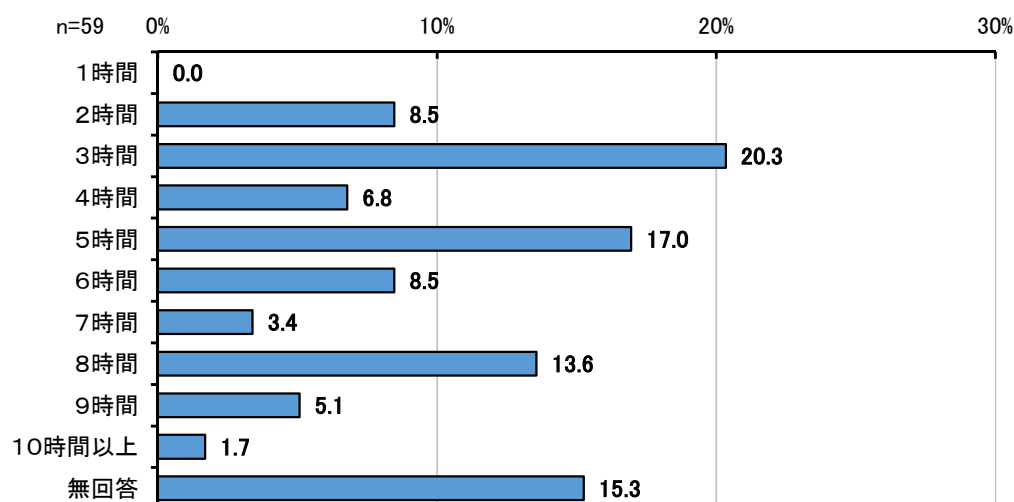
利用したい人の1か月あたりの希望をみると、「1日～10日」が59.3%と最も高く、次いで「11日～20日」23.7%となっています。1日あたりでは、「3時間」が20.3%と最も高くなっています。



【1か月あたり】



【1日あたり】



【平均】

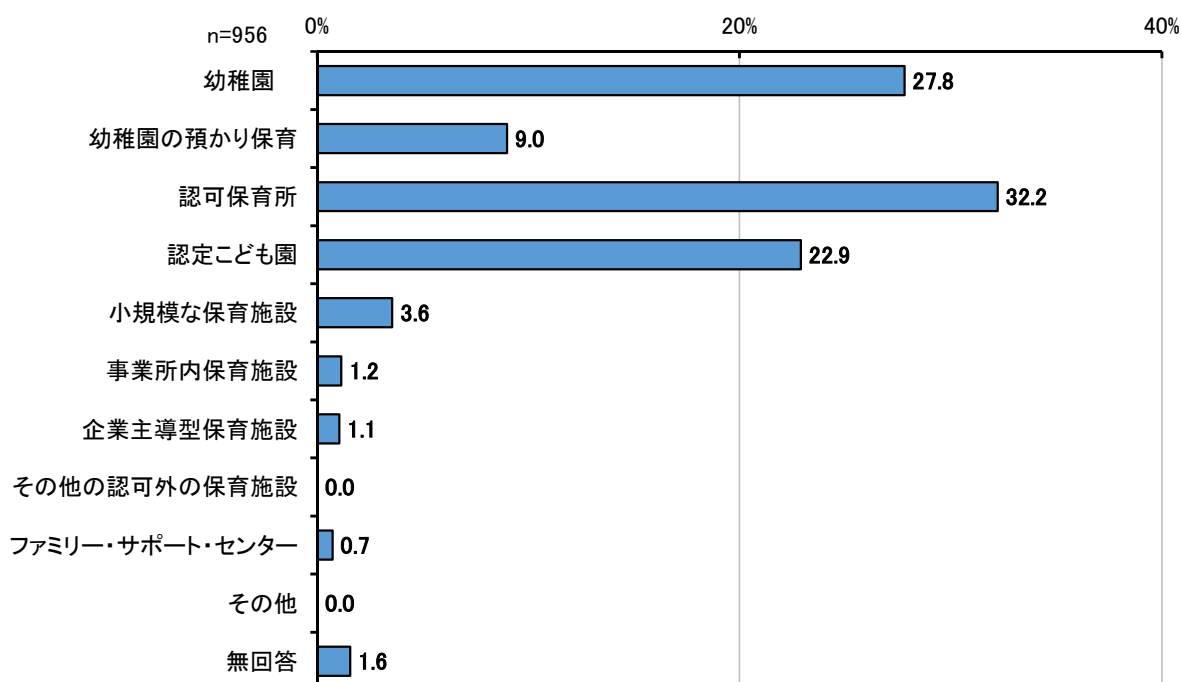
1か月あたり利用日数（日）	9.8
1日あたり利用時間（時間）	5.1

問 18 すべての方にうかがいます。現在、利用している・利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業をお答えください。あてはまる番号をすべて、利用したい順に下欄の「希望1」から順にご記入ください。

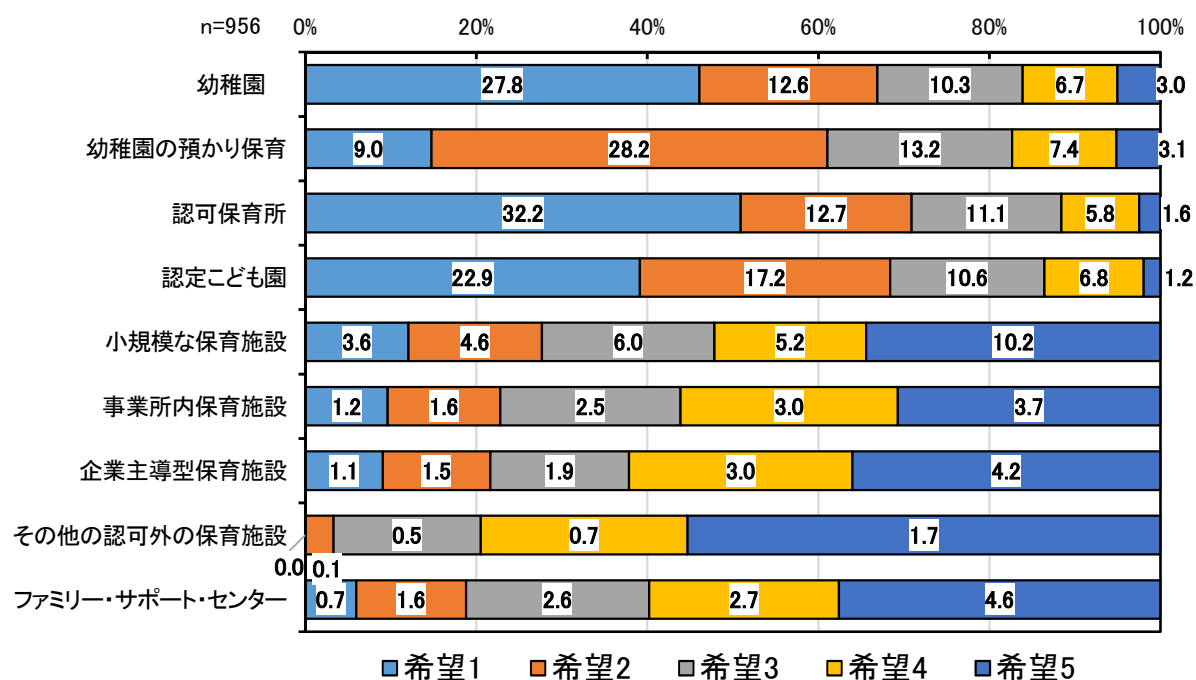
※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

定期的に利用したい事業をみると、1番に望んでいる事業では、「認可保育所」の割合が32.2%と最も高く、次いで「幼稚園」27.8%、「認定こども園」22.9%となっています。
2番以降をみると、「幼稚園の預かり保育」は1番の希望は9.0%ですが、2番の利用希望が28.2%と最も高くなっています。

【希望1】



【各希望順における回答率】



【その他の回答】（全 5 件）

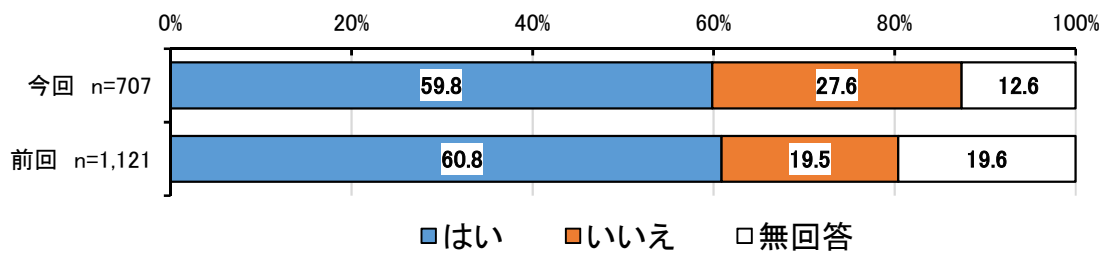
- ・ベビーシッター
- ・病児保育
- ・預かり保育の時間内で習い事（民間・送迎付き）
- ・一時預かり など

問 19 問 18 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ「3」～「10」も選択した方にうかがいます。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は 1 つ）

定期的に利用したい事業で、「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ他の事業を選択した人のうち、特に幼稚園の利用を強く希望するかどうかをみると、「はい」の割合が 59.8%、「いいえ」は 27.6%となっています。

前回調査と比較すると、「いいえ」が 8.1 ポイント増加しており、「はい」が 1.0 ポイント減少しています。

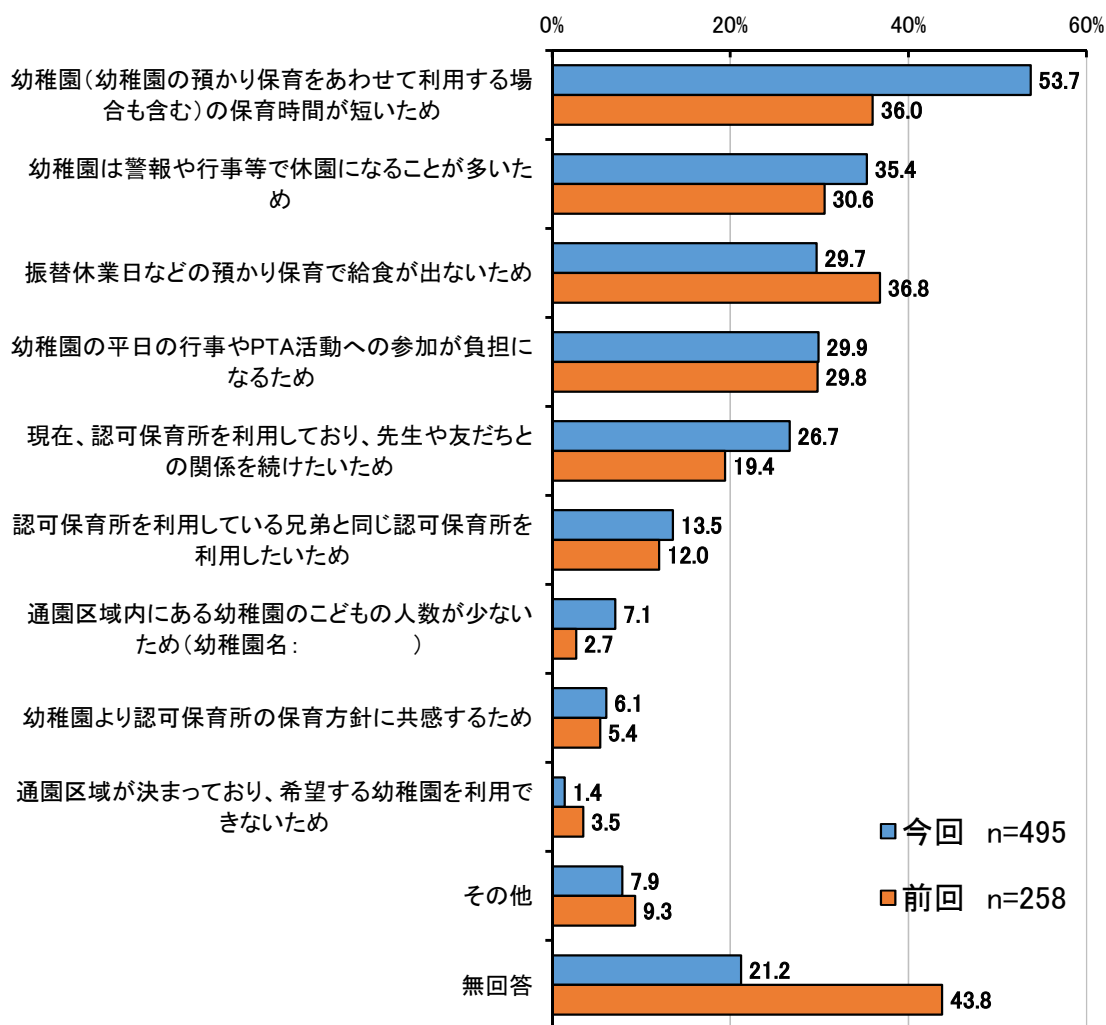


問 20 問 18 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」を選択しなかった方、もしくは「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」を選択したが、「3. 認可保育所」よりも希望順位が低かった方にうかがいます。

その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「幼稚園」または「幼稚園」を選択しなかった、もしくは希望順位が「認可保育所」よりも低かった人の理由をみると、「幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の保育時間が短いため」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「幼稚園は警報や行事等で休園になることが多いため」35.4%、「幼稚園の平日の行事や PTA 活動への参加が負担になるため」29.9%、「振替休業などの預かり保育で給食が出ないため」29.7%となっています。

前回調査と比較すると、「幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の保育時間が短いため」が 17.7 ポイントと最も増加しています。



【幼稚園名】(全 27 件)

- | | |
|--------------|-------------|
| ・ 勝間幼稚園 4 件 | ・ 麻幼稚園 4 件 |
| ・ ニノ宮幼稚園 3 件 | ・ 松崎幼稚園 3 件 |
| ・ 下高瀬幼稚園 2 件 | ・ 上高瀬幼稚園 |
| ・ 詫間幼稚園 | |

【その他の回答】(全 36 件)

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| ・ 近くに幼稚園がない 7 件 | ・ 年齢的に幼稚園に入園できない 6 件 |
| ・ 土曜日に預けられないため 4 件 | ・ 育休中なので 2 件 |
| ・ 長期休暇がある 2 件 | ・ 保育所を利用したいので 2 件 |
| ・ 制服などが高い為 | ・ 人数が少ない為 |
| ・ 幼稚園の月齢未満であるが、将来的に保育所から幼稚園に入園したい為 | |
| ・ 現在の状況に不便を感じていないし、いずれ認定こども園に切り替わる為 | |
| ・ 夏休み、冬休みで預かり保育を利用するとお金がかかる為 など | |

5 あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問 21 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。

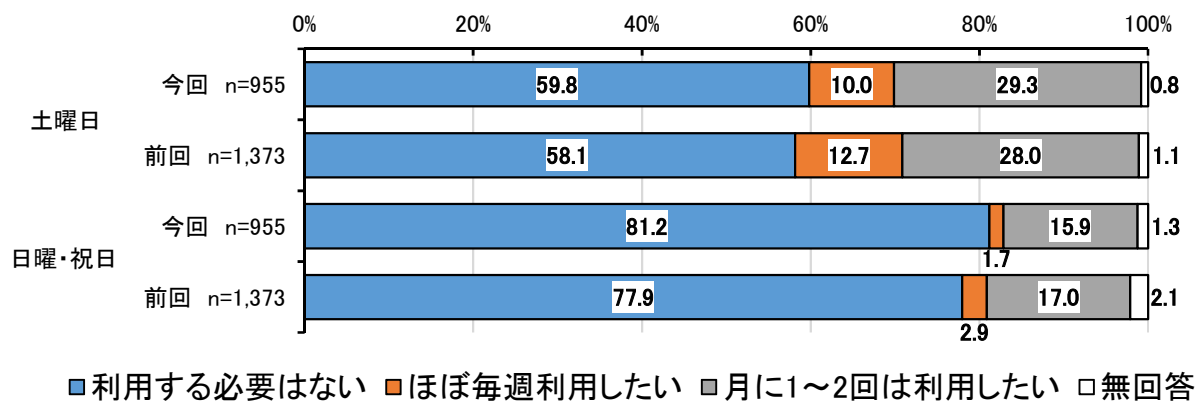
(一時的な利用、親族・知人による預かりは除きます。それぞれ○は1つ)

土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望をみると、土曜日の利用希望では、「利用する必要はない」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」29.3%となっています。日曜・祝日の利用希望では、「利用する必要はない」が81.2%となっており、次いで「月に1～2回は利用したい」15.9%となっています。前回調査と比較すると、土日祝日の利用希望は概ね同じ傾向となっています。

利用時間をみると、土曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の開始時間は「8時」が42.7%と最も高く、終了時間は「17時」が39.6%と最も高くなっています。「月に1～2回利用したい」人の開始時間と終了時間も「8時」と「17時」が最も高くなっています。

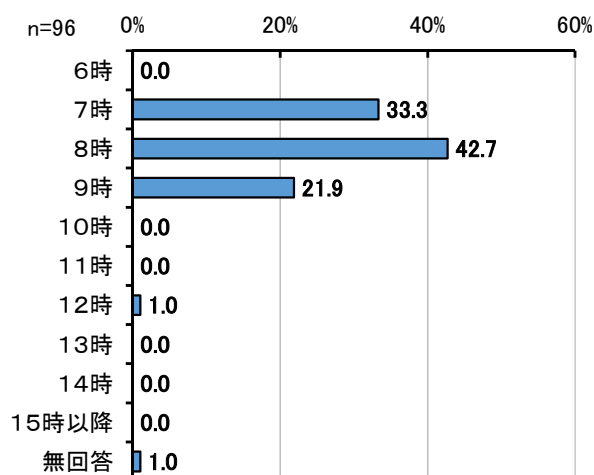
日曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の開始時間は「9時」が43.8%と最も高く、終了時間は「17時」が37.5%と最も高くなっています。「月に1～2回利用したい」人の開始と終了時間は「8時」と「17時」が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、日曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の終了時間を除くすべての開始時間・終了時間が前回よりも早くなっています。

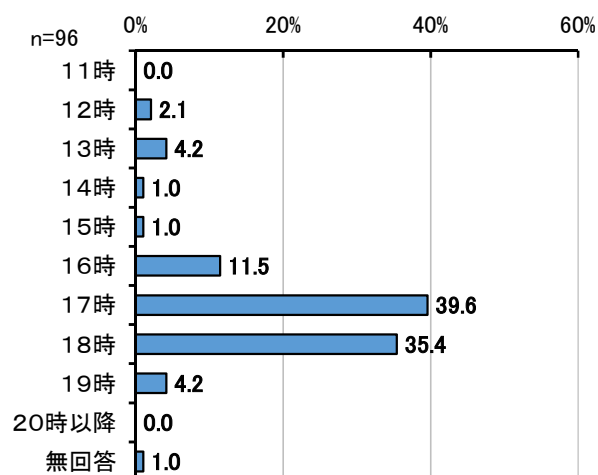


■土曜日の利用希望

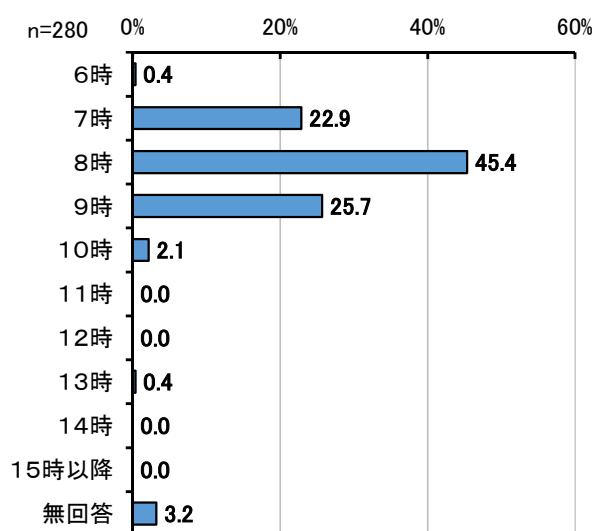
【ほぼ毎週利用したい・開始時間】



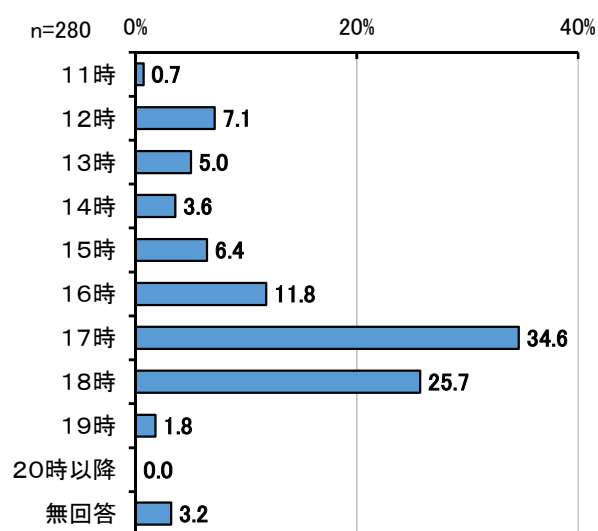
【ほぼ毎週利用したい・終了時間】



【月に1～2回利用したい・開始時間】



【月に1～2回利用したい・終了時

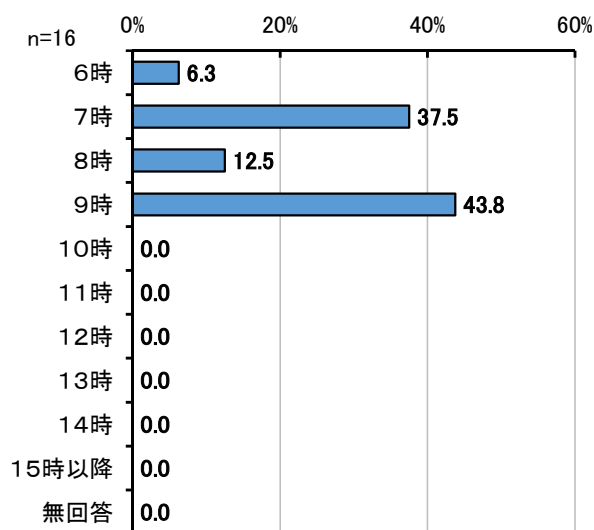


【平均】

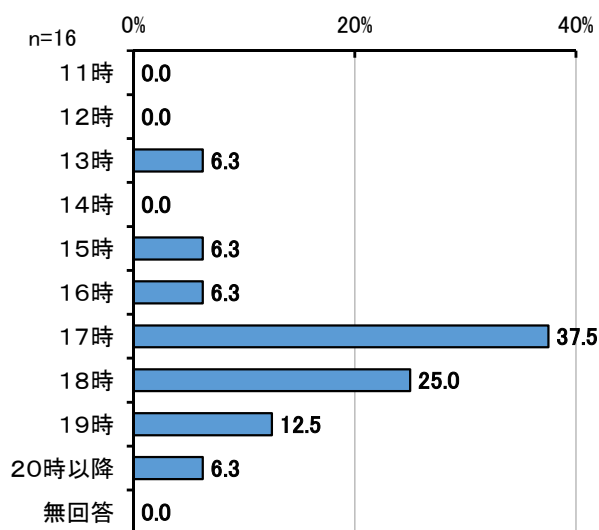
	今回		前回	
	ほぼ毎日利用したい	月に1～2回利用したい	ほぼ毎日利用したい	月に1～2回利用したい
開始時間	8:06	8:14	8:16	8:44
終了時間	17:08	16:26	17:11	16:35

■日曜・祝日の利用希望

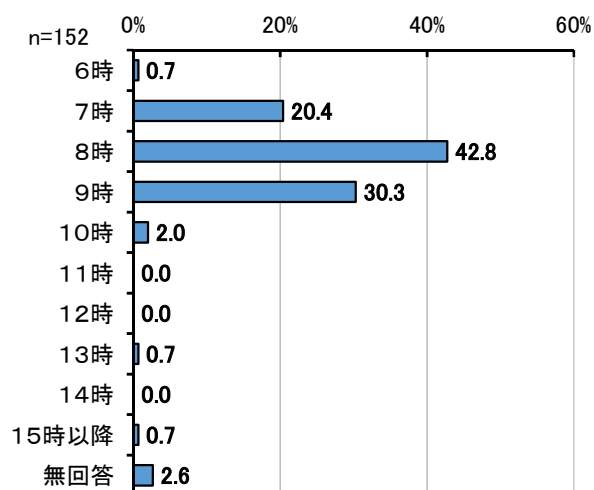
【ほぼ毎週利用したい・開始時間】



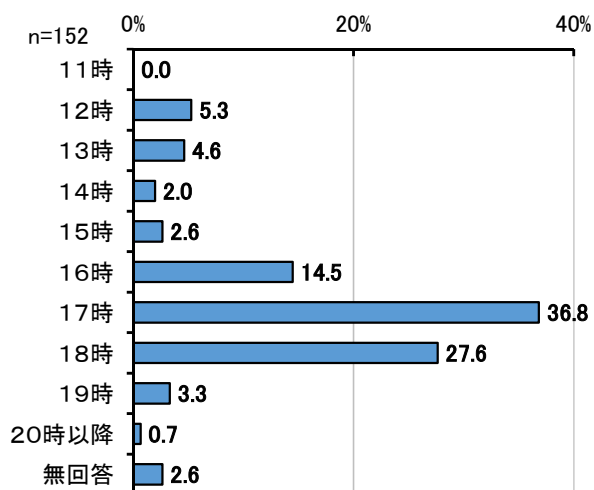
【ほぼ毎週利用したい・終了時間】



【月に1～2回利用したい・開始時間】



【月に1～2回利用したい・終了時間】



【平均】

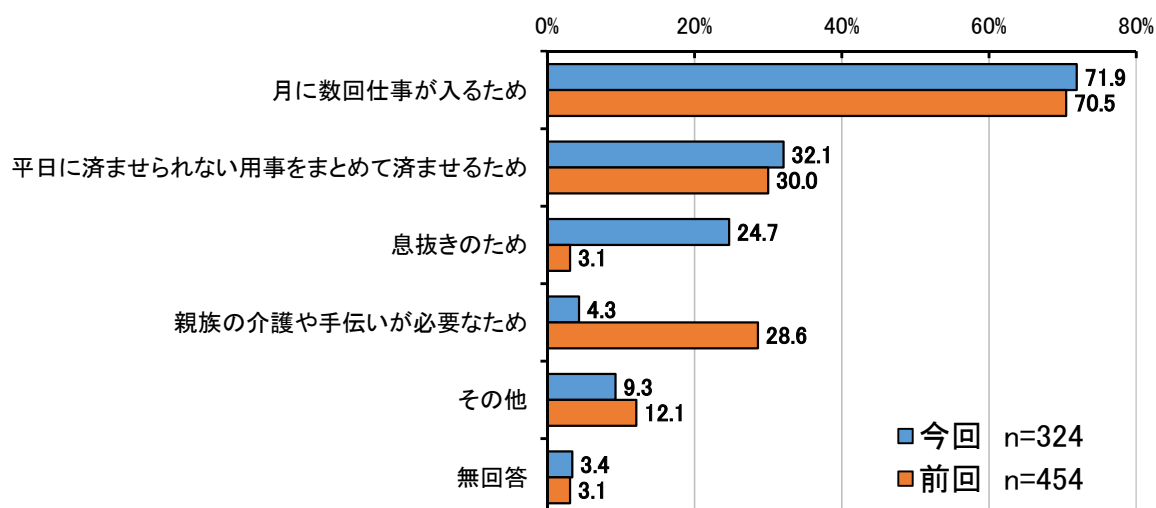
	今回		前回	
	ほぼ毎日利用したい	月に1～2回利用したい	ほぼ毎日利用したい	月に1～2回利用したい
開始時間	8:06	8:19	8:33	8:51
終了時間	17:20	16:44	17:15	17:28

問 22 問 21 で土曜日または日曜日・祝日に「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

土曜日または日曜日・祝日に「月に 1～2 回は利用したい」人のたまに利用したい理由をみると、「月に数回仕事が入るため」の割合が 71.9%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」32.1%、「息抜きのため」24.7%となっています。

前回調査と比較すると、「息抜きのため」が 21.6 ポイント増加しており、「親族の介護や手伝いが必要なため」は 24.3 ポイント減少しています。



【その他の回答】（全 29 件）

- ・土日や祝日出勤があるため 14 件
- ・兄弟のイベント行事など一緒に活動する事に参加したい 4 件
- ・転職を考えているため 2 件
- ・今は祖父母がみてくれているが、いずれはみれなくなった時に困るため 2 件 など

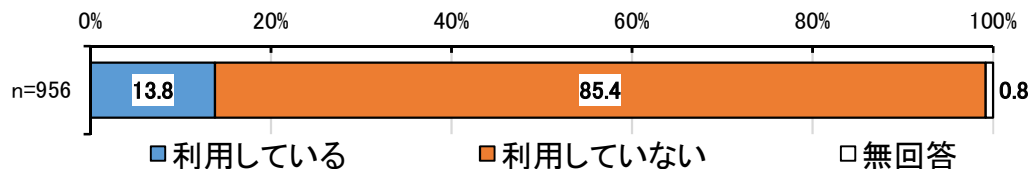
6 あて名のお子さんのつどいの広場（地域子育て支援センター）の利用状況についてうかがいます

問 23 あて名のお子さんは、現在、つどいの広場（地域子育て支援センター）を利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

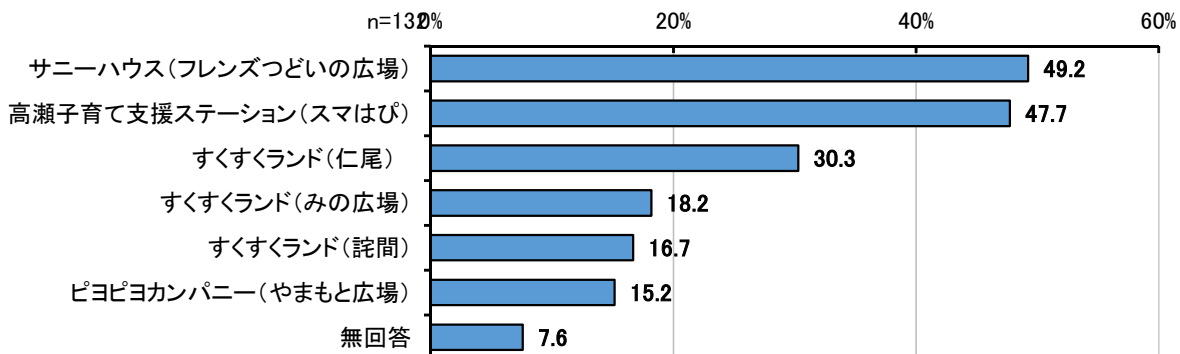
現在のつどいの広場の利用状況を見ると、「利用している」の割合が13.8%、「利用していない」85.4%となっています。

利用しているつどいの広場の施設を見ると、「サニーハウス（フレンズつどいの広場）」が49.2%と最も高く、次いで「高瀬子育て支援ステーション（スマはぴ）」47.7%となっています。

1週間あたりの利用状況を見ると、「1回」が37.1%と最も高く、次いで「2回」8.3%となっています。1か月あたりの利用状況を見ると、「1回」が31.1%と最も高く、次いで「2回」22.7%となっています。

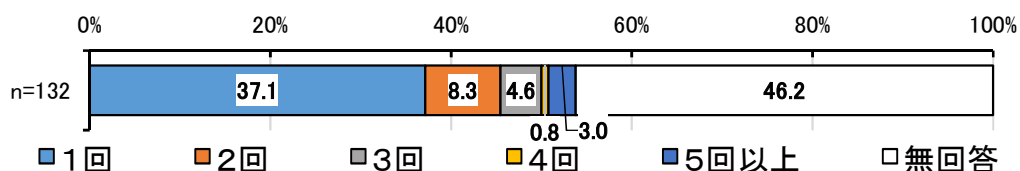


（1）利用しているつどいのひろば

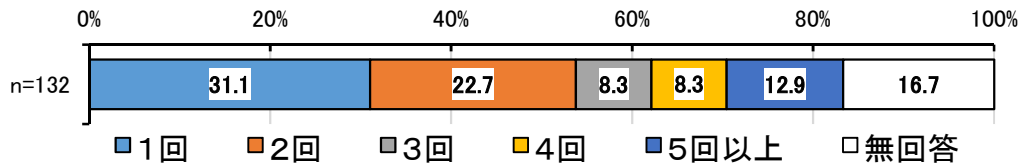


（2）現在の利用回数

【1週間あたり】



【1 か月あたり】

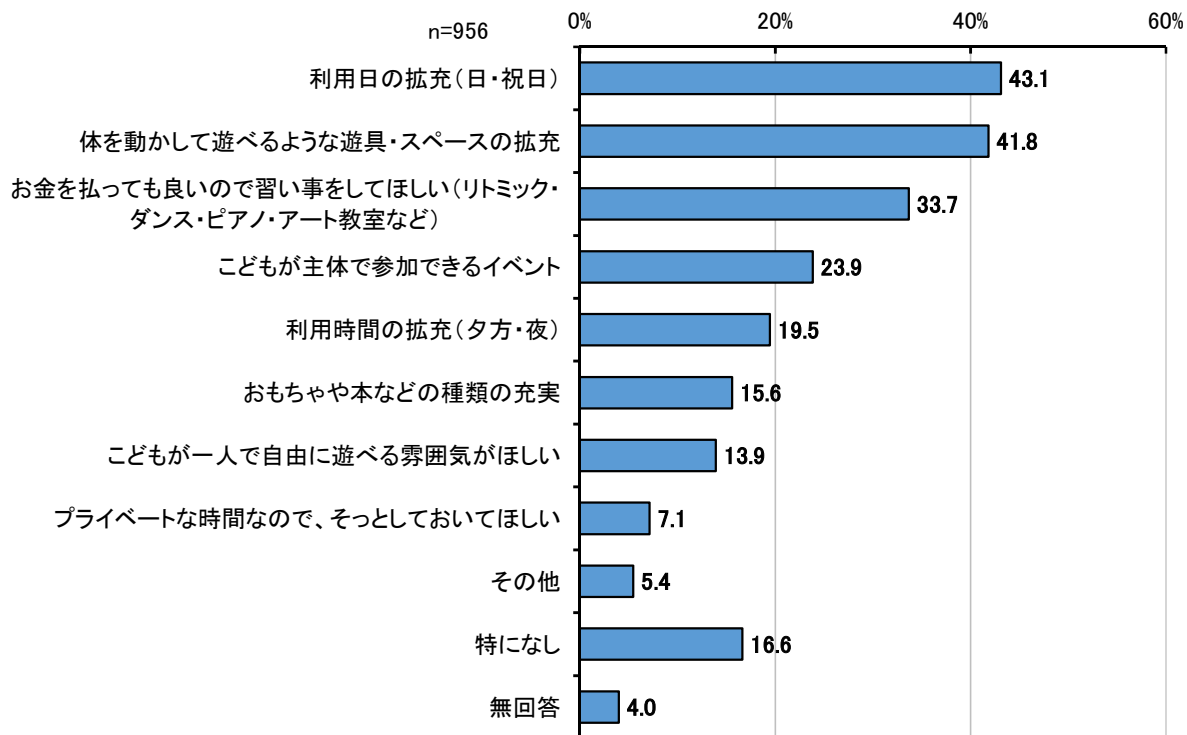


【平均】

1 週間あたり利用回数 (回)	1.6
1 か月あたり利用回数 (回)	3.0

問 24 つどいの広場（地域子育て支援センター）について、より利用しやすくするためにどのようなことがあれば良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

つどいの広場をより利用しやすくする方法をみると、「利用日の拡充（日・祝日）」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「体を動かして遊べるような道具・スペースの拡充」41.8%、「お金を払っても良いので習い事をしてほしい（リトミック・ダンス・ピアノ・アート教室など）」33.7%となっています。



【その他の回答】（全 50 件）

- ・就学前の上の子も一緒に利用できる 8 件
- ・家の近くにほしい 4 件
- ・イベントの実施 4 件
- ・朝早くから利用できるようにしてほしい 3 件
- ・きれいで新しい施設 2 件
- ・戸外で遊べる場の充実 2 件
- ・入りやすい雰囲気 2 件
- ・あまり子育て支援センターを知らない 2 件
- ・預かりサービス受け入れ人数の増員 2 件 など

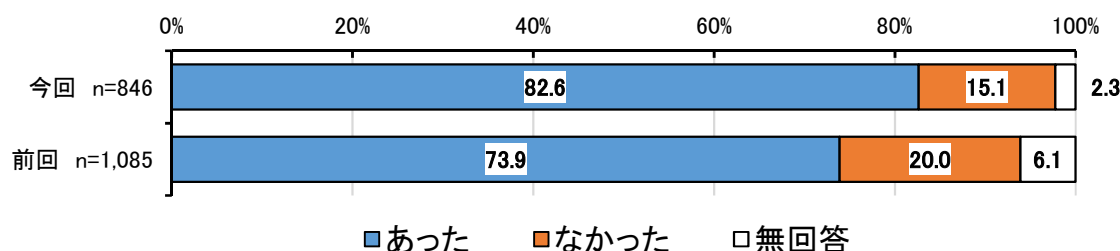
7 あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 25 は、問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。(平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方)

問 25 この 1 年間に、お子さんが病気やケガで通常の教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。(○は 1 つ)

定期的な教育・保育事業を利用している人の、こどもが病気やケガで事業を利用できなかった経験の有無をみると、「あった」の割合が 82.6%、「なかった」が 15.1%となっています。

前回調査と比較すると、「あった」が 8.7 ポイント増加しており、「なかった」は 4.9 ポイント減少しています。



問 26 問 25 で「1. あった」に回答した方にうかがいます。

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間、どのように対応しましたか。(あてはまるものすべてに○)

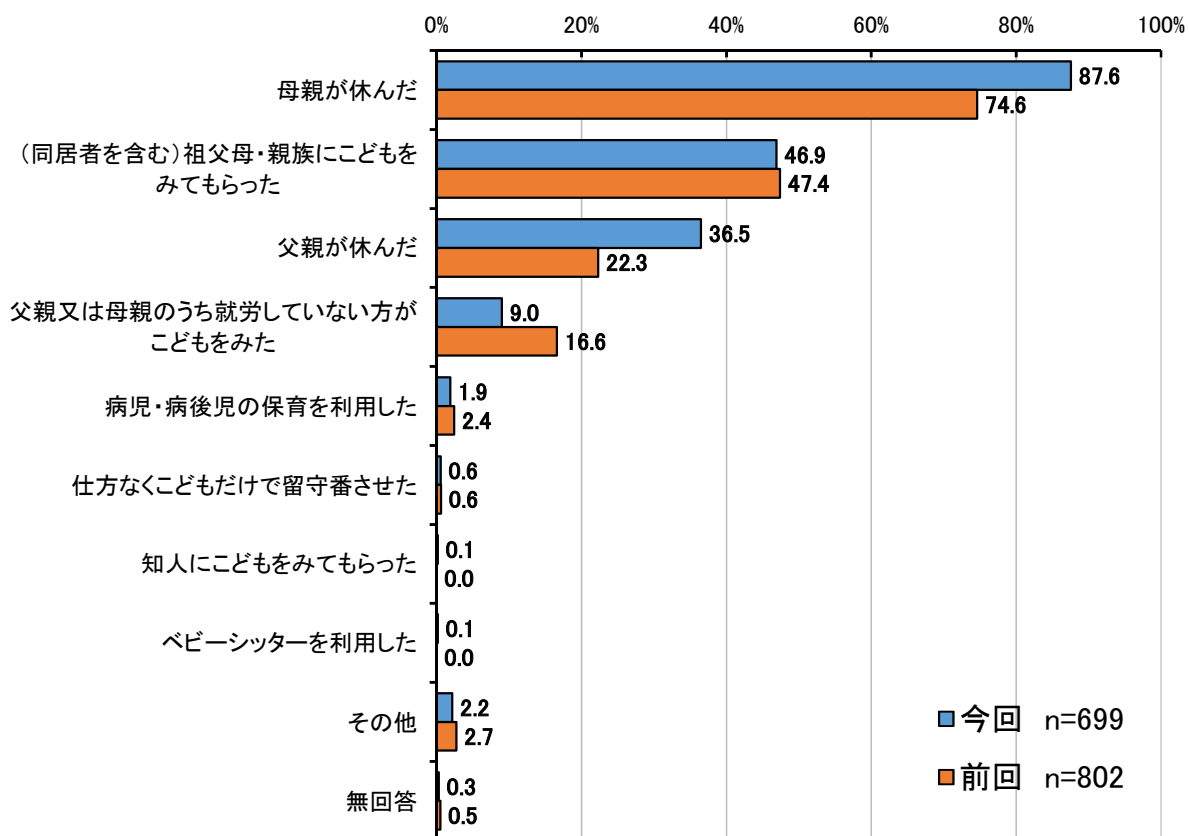
また、それぞれの日数について枠内に数字でご記入ください。

(半日は 1 日とカウント)

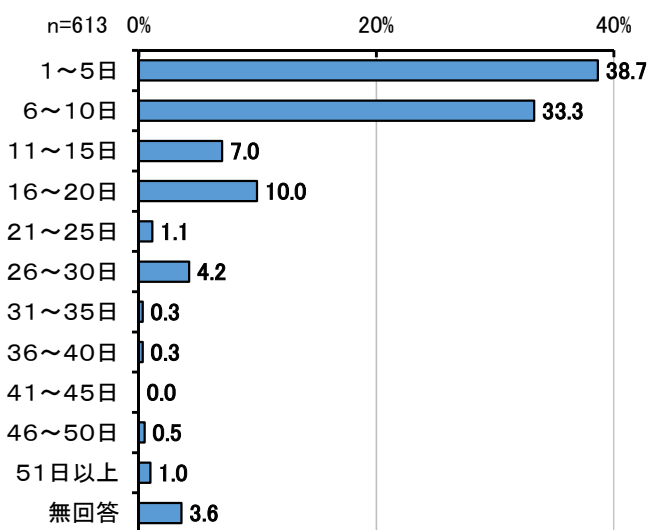
こどもが病気やケガで事業を利用できなかった場合の対応をみると、「母親が休んだ」の割合が 87.6%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 祖父母・親族にこどもをみてもらった」46.9%、「父親が休んだ」36.5%となっています。

前回調査と比較すると、「父親が休んだ」が 14.2 ポイントと最も増加しており、「母親が休んだ」は 13.0 ポイント増加、「父親又は母親のうち就労していない方がこどもをみた」は 7.6 ポイント減少しています。

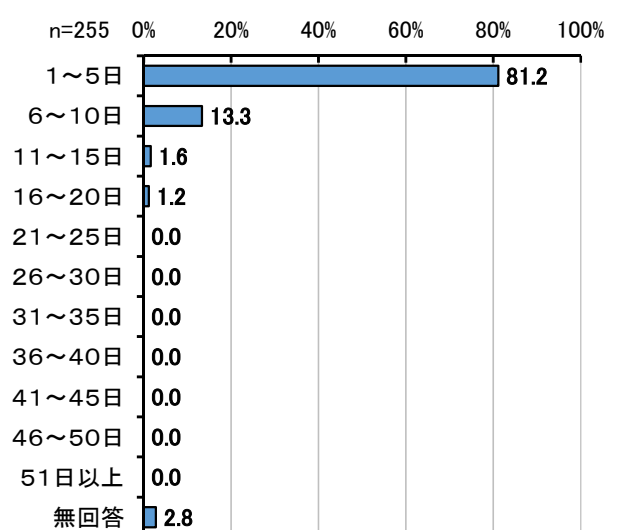
それぞれの対応日数をみると、すべての項目で「1 日～5 日」の割合が最も高く、「母親が休んだ」は 38.7%、「父親が休んだ」は 81.2%、「(同居者を含む) 祖父母・親族にこどもをみてもらった」は 61.0%となっています。



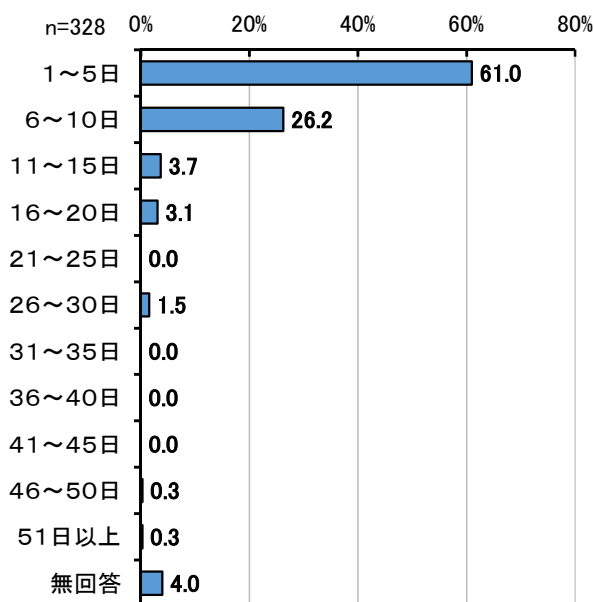
【母親が休んだ・対応日数】



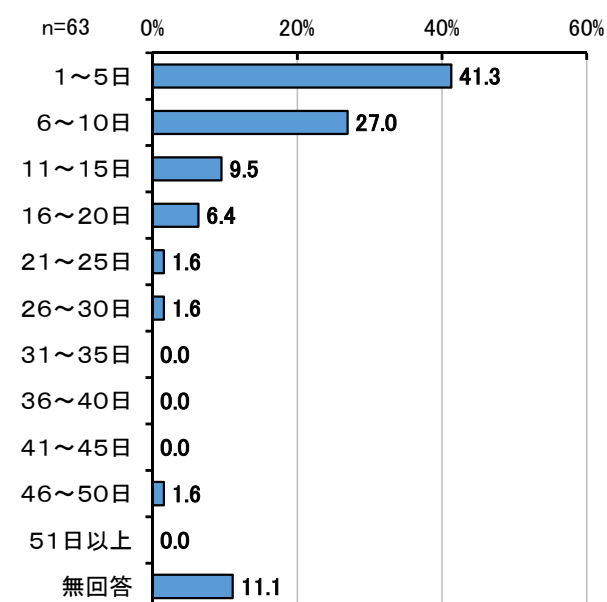
【父親が休んだ・対応日数】



【(同居者を含む) 祖父母・親族に
こどもをみてもらった・対応日数】



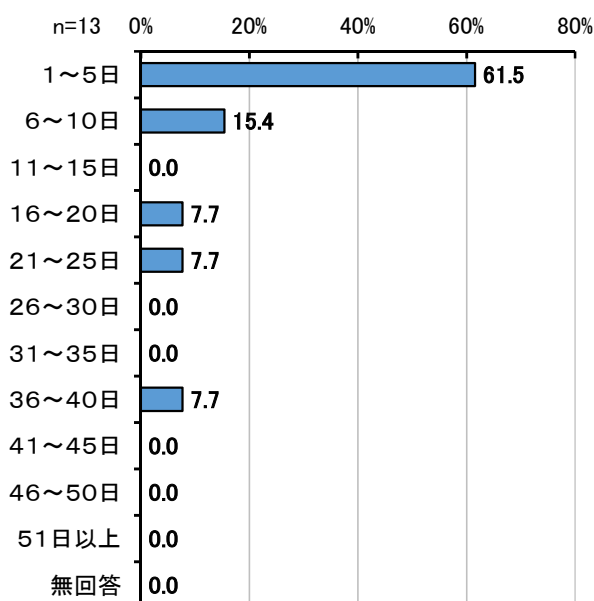
【父親又は母親のうち就労していない方が
こどもをみた・対応日数】



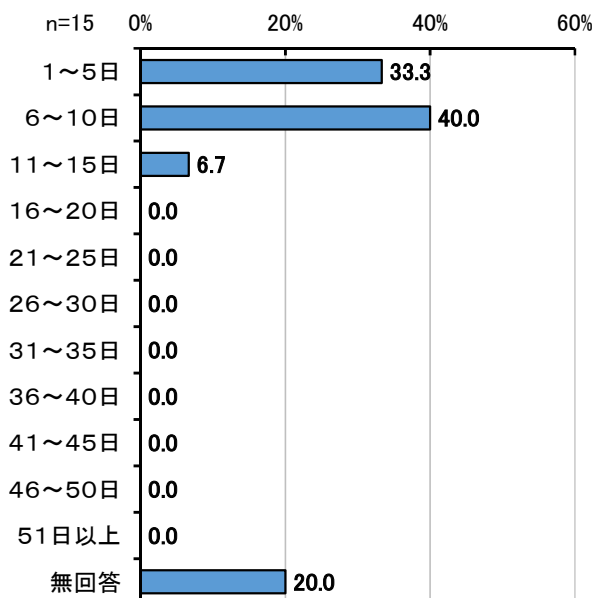
【知人にこどもをみてもらった・対応日数】

「1~5日」に1件の回答がありました。

【病児・病後児の保育を利用した
・対応日数】



【その他・対応日数】



【ベビーシッターを利用した・対応日数】

「1~5日」に1件の回答がありました。

【仕方なくこどもだけで留守番させた・対応日数】

「1~5日」に2件、「6~10日」に2件の回答がありました。

【その他の回答】（全 15 件）

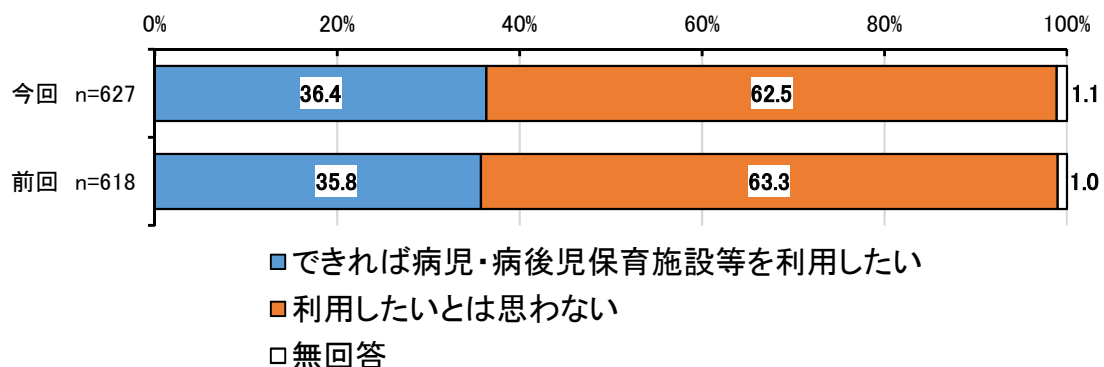
- ・専業主婦の母親がみた 4 件 ・母親が育休中だった。 3 件
- ・仕事をしつつ子どもをみた 2 件 ・在宅のため仕事しながらみた 2 件
- ・自営なので仕事をしながらみた。 2 件 など

【平均】

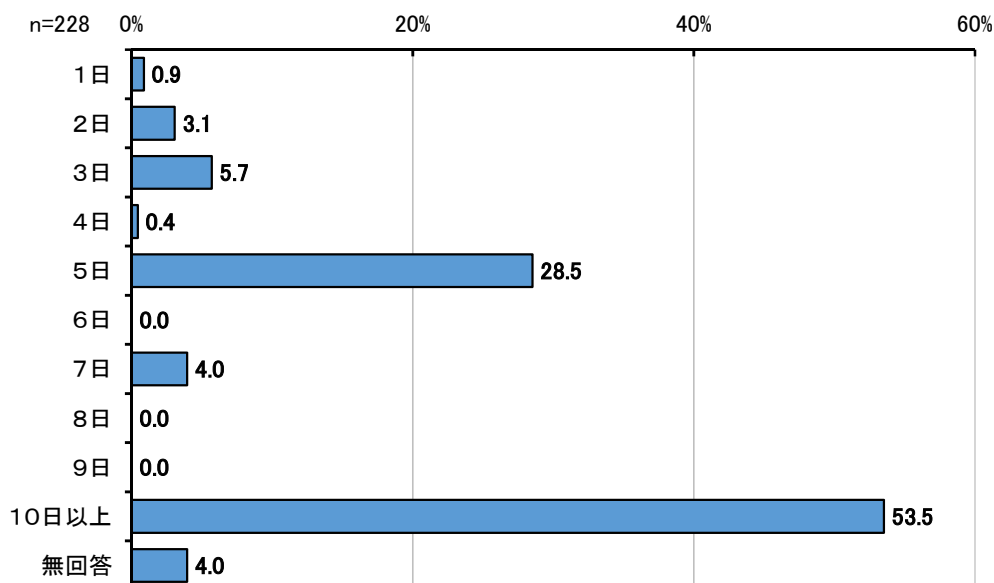
年間利用日数	今回	前回
母親が休んだ（日）	10.7	6.6
父親が休んだ（日）	4.5	
（同居者を含む）祖父母・親族にみてもらった（日）	7.2	
知人にみてもらった（日）	1.0	5.3
父親又は母親のうち就労していないほうがみた（日）	9.1	
病児・病後児の保育を利用した（日）	9.2	
ベビーシッターを利用した（日）	5.0	
仕方なく子どもだけで留守番させた（日）	5.0	
その他（日）	7.3	

問 27 問 26 で「1. 母親が休んだ」「2. 父親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
 （○は 1 つ）また、希望する日数について〔 〕内に数字でご記入ください。
 ※病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、
 利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

こどもの病気・ケガで休んだ際、母親または父親が休んだ人の病児・病後児保育施設の利用希望をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 36.4%、「利用したいとは思わない」62.5%となっています。
 前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。
 利用希望日数をみると、「10 日以上」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「5 日」28.5%となっています。また、平均日数は 10.6 日となっています。

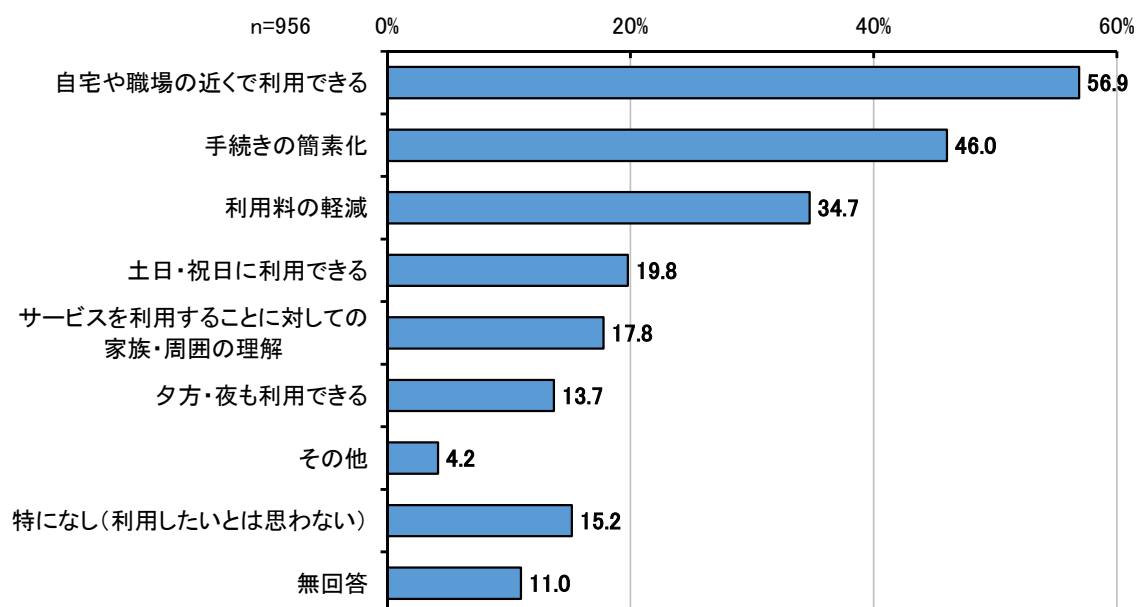


【希望する日数】



問 28 病児・病後児保育施設をより利用しやすくするためにはどのようなことがあれば良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設を利用しやすくするための意見をみると、「自宅や職場の近くで利用できる」の割合が56.9%と最も高く、次いで「手続きの簡素化」46.0%、「利用料の軽減」34.7%となっています。



【その他の回答】(全 39 件)

- ・受け入れ人数の拡大 15件
- ・利用できる施設の増加 5件
- ・衛生面の徹底、医療従事者の常駐
- ・情報をもう少し発信してほしい など
- ・利用可能な時間の拡大 7件
- ・普段利用している保育施設内に開設 2件
- ・当日申込み

8 あて名のお子さんの一時預かり・ファミリー・サポート・センターの利用についてうかがいます

問 29 あて名のお子さんについて、一時預かり・ファミリー・サポート・センターなどのサービスを利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

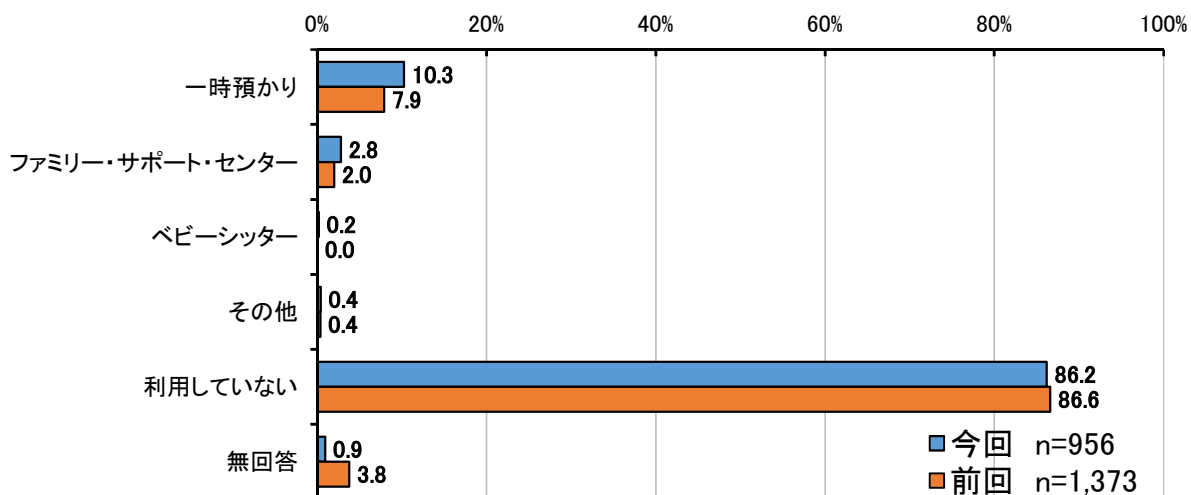
また、それぞれの１年間の利用日数について枠内に数字でご記入ください。

（半日は１日とカウント）

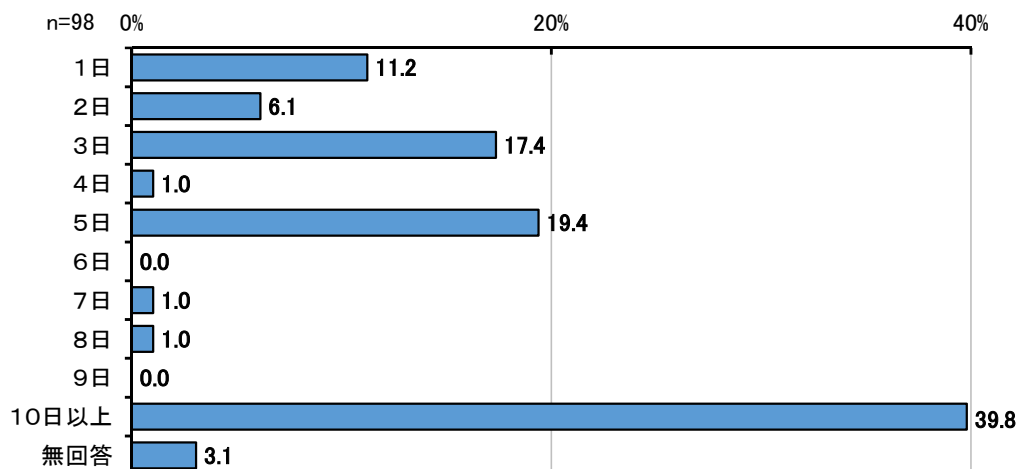
一時預かりやファミリー・サポート・センターの利用状況を見ると、「一時預かり」の割合が10.3%、「ファミリー・サポート・センター」は2.8%が利用しています。一方、「利用していない」の割合は86.2%となっています。

前回調査と比較すると、「一時預かり」が2.4ポイント増加しています。

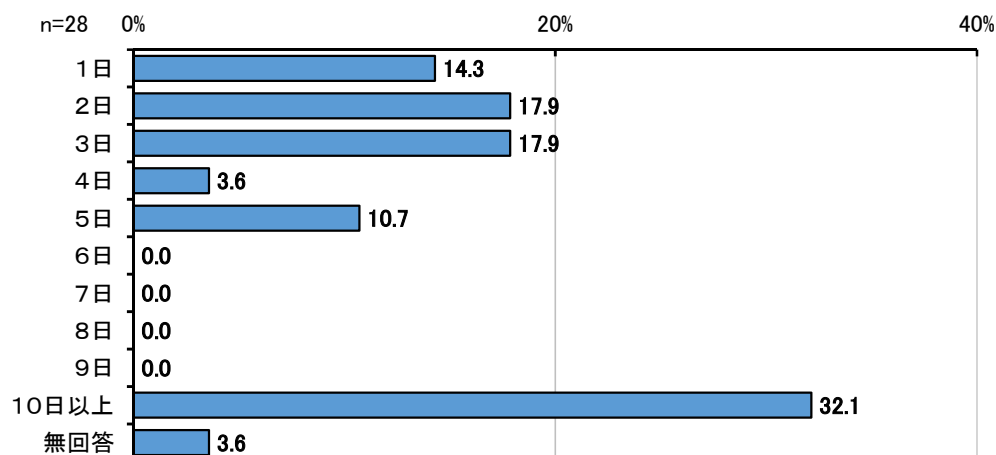
それぞれのサービスの利用日数をみると、すべての項目で「10日以上」の割合が最も高く、「一時預かり」は39.8%、「ファミリー・サポート・センター」は32.1%となっています。



【一時預かり】



【ファミリー・サポート・センター】



【ベビーシッター】

「10日以上」で2件の回答がありました。

【その他】

「3日」で1件、「5日」で1件、「10日以上」で2件の回答がありました。

【その他の回答】（全3件）

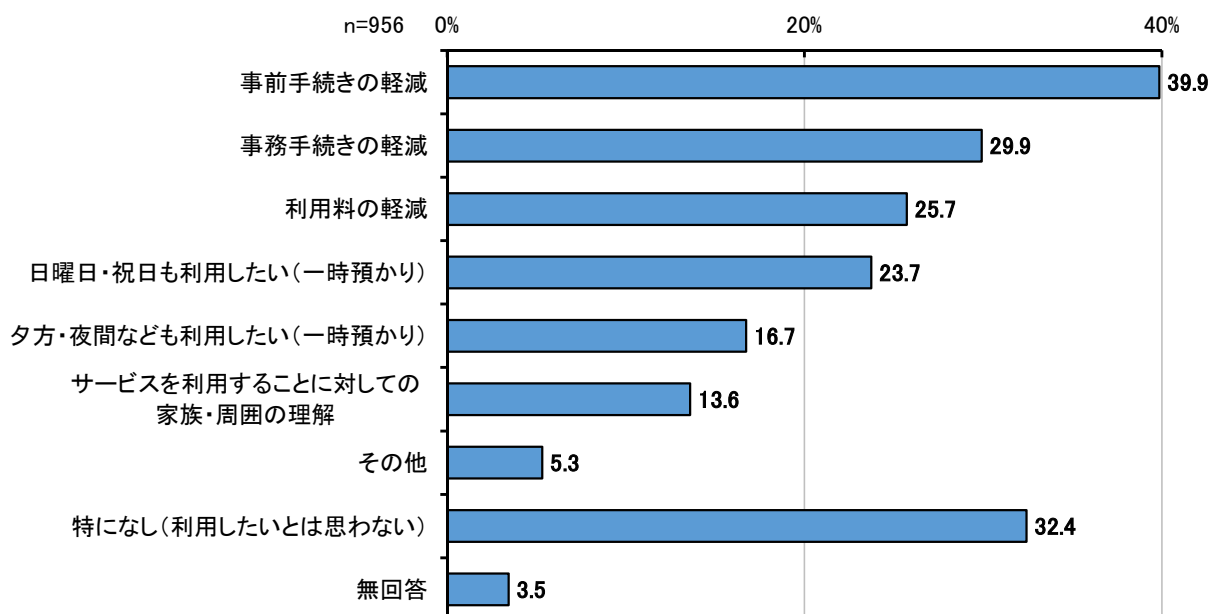
- ・ 数回利用して今は利用していない
- ・ 入園前は利用していた
- ・ 保育所からの迎え

【平均】

年間利用日数	今回	前回
一時預かり（日）	14.9	13.3
ファミリー・サポート・センター（日）	12.0	
ベビーシッター（日）	22.5	
その他（日）	9.5	

問 30 一時預かりやファミリー・サポート・センターをより利用しやすくするために、どのようなことがあれば良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

一時預かりやファミリー・サポート・センターをより利用しやすくするための意見をみると、「事前手続きの軽減」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「事務手続きの軽減」29.9%、「利用料の軽減」25.7%となっています。一方、「特になし（利用したいと思わない）」の割合は 32.4%となっています。



【その他の回答】(全 49 件)

- ・当日の利用、急な利用が可能 5 件
- ・わかりやすい情報発信 5 件
- ・利用人数の枠の増加 4 件
- ・利用した人の声 3 件
- ・一時預かりを土曜日も利用したい 3 件
- ・近くに預かりできる場所がほしい 3 件
- ・知らない素人に預けようとは思わない 3 件
- ・預けに行くための準備などが面倒に感じる 3 件
- ・ネットで予約できる 2 件
- ・利用可能な時間の拡大 2 件
- ・利用理由を聞かれると利用しにくい など

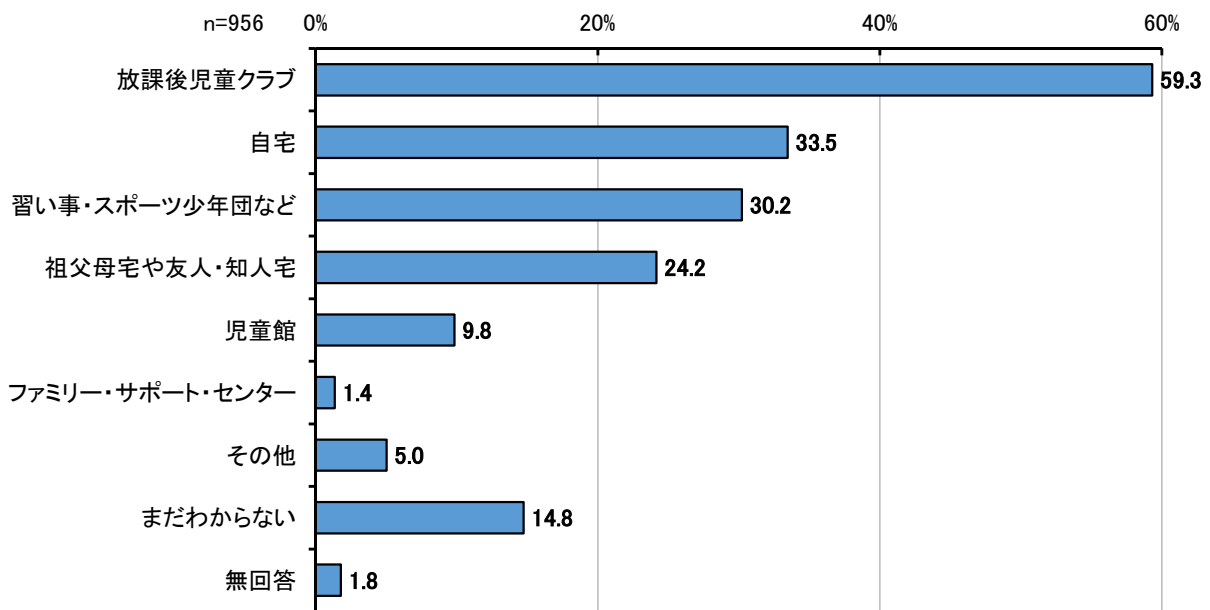
9 あて名のお子さんの小学校就学後の放課後の 過ごし方についてうかがいます

問 31 あて名のお子さんについて、小学校低学年(1~3 年生)のうち、放課後(平日の小
学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

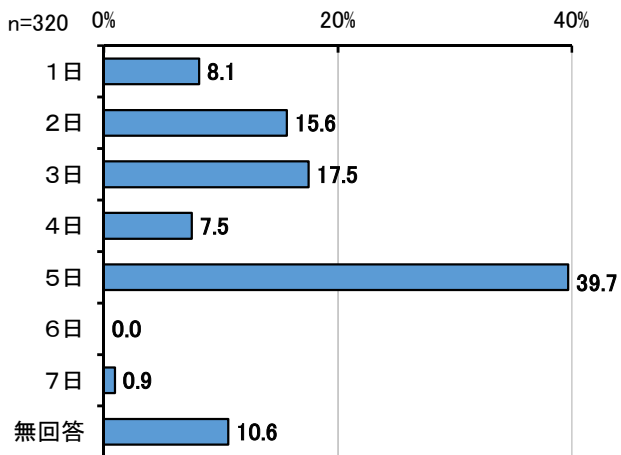
(あてはまるものすべてに○) それぞれに希望する週あたりの日数は[]内に数字で
ご記入ください。

小学校低学年の間、こどもに過ごさせたい場所をみると、「放課後児童クラブ」の割合
が 59.3%と最も高く、次いで「自宅」33.5%、「習い事・スポーツ少年団など」30.2%
となっています。

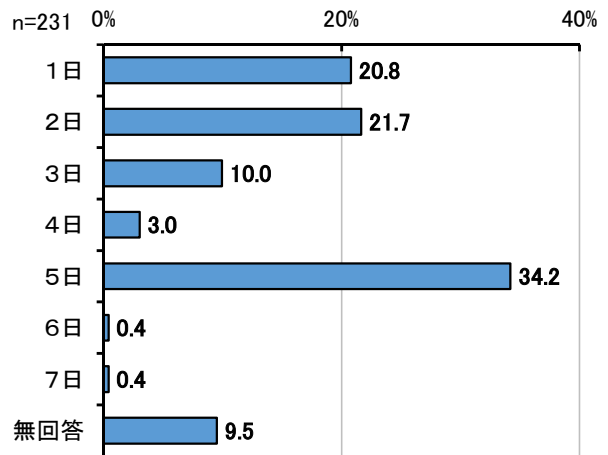
それぞれの場所の週あたりの利用日数をみると、「自宅」、「祖父母宅や友人・知人宅」、
「児童館」、「放課後児童クラブ」は「5 日」の割合が最も高く、「習い事・スポーツ少年
団など」は「2 日」の割合が最も高いです。



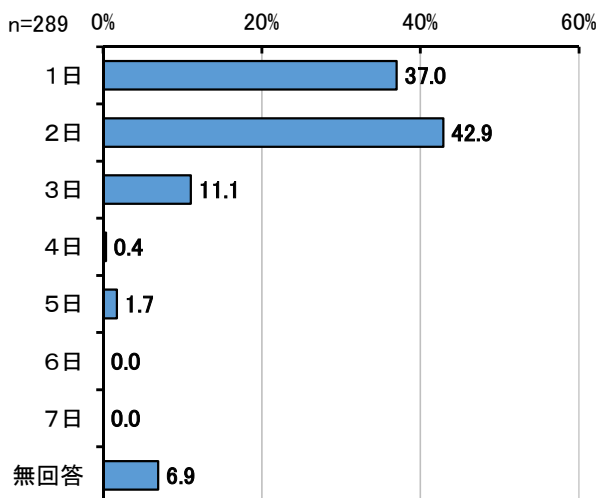
【自宅】



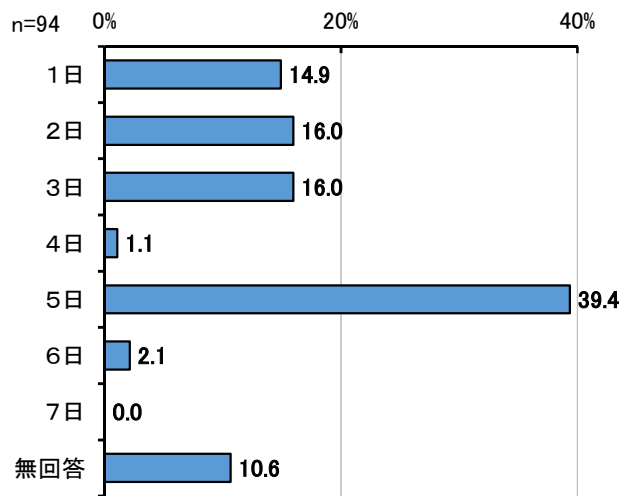
【祖父母宅や友人・知人宅】



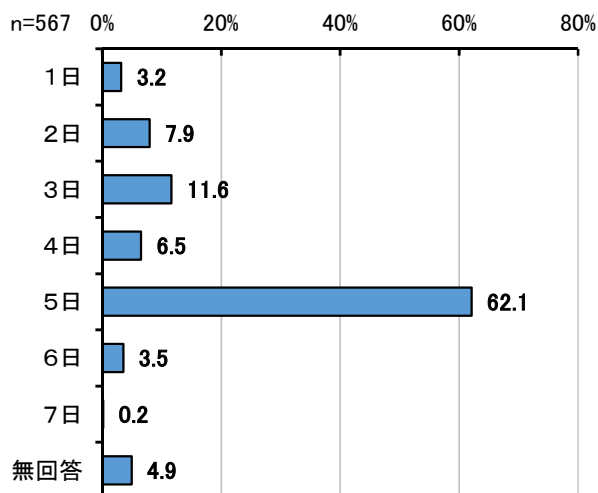
【習い事・スポーツ少年団など】



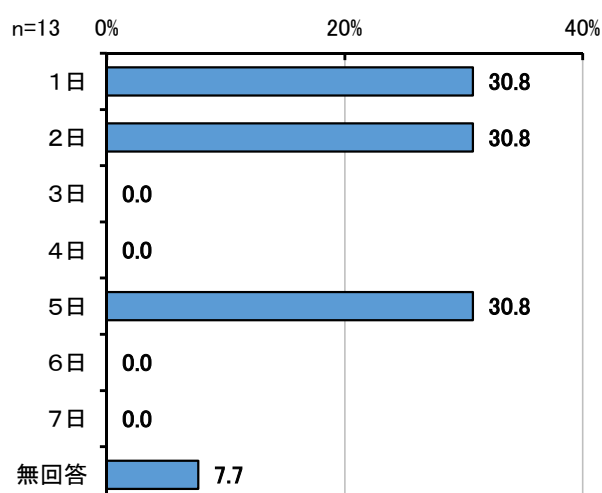
【児童館】



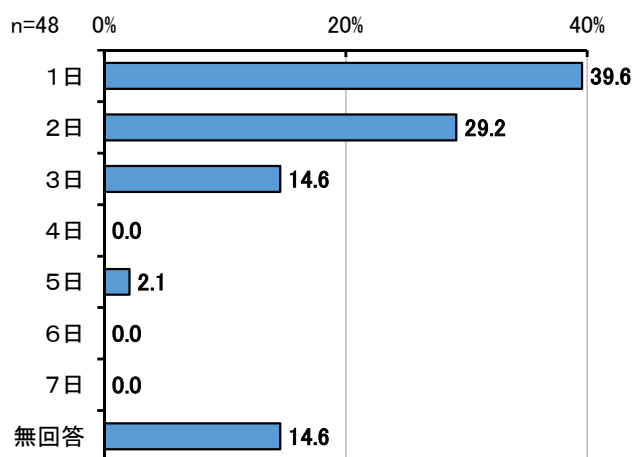
【放課後児童クラブ】



【ファミリー・サポート・センター】



【その他】



【平均】

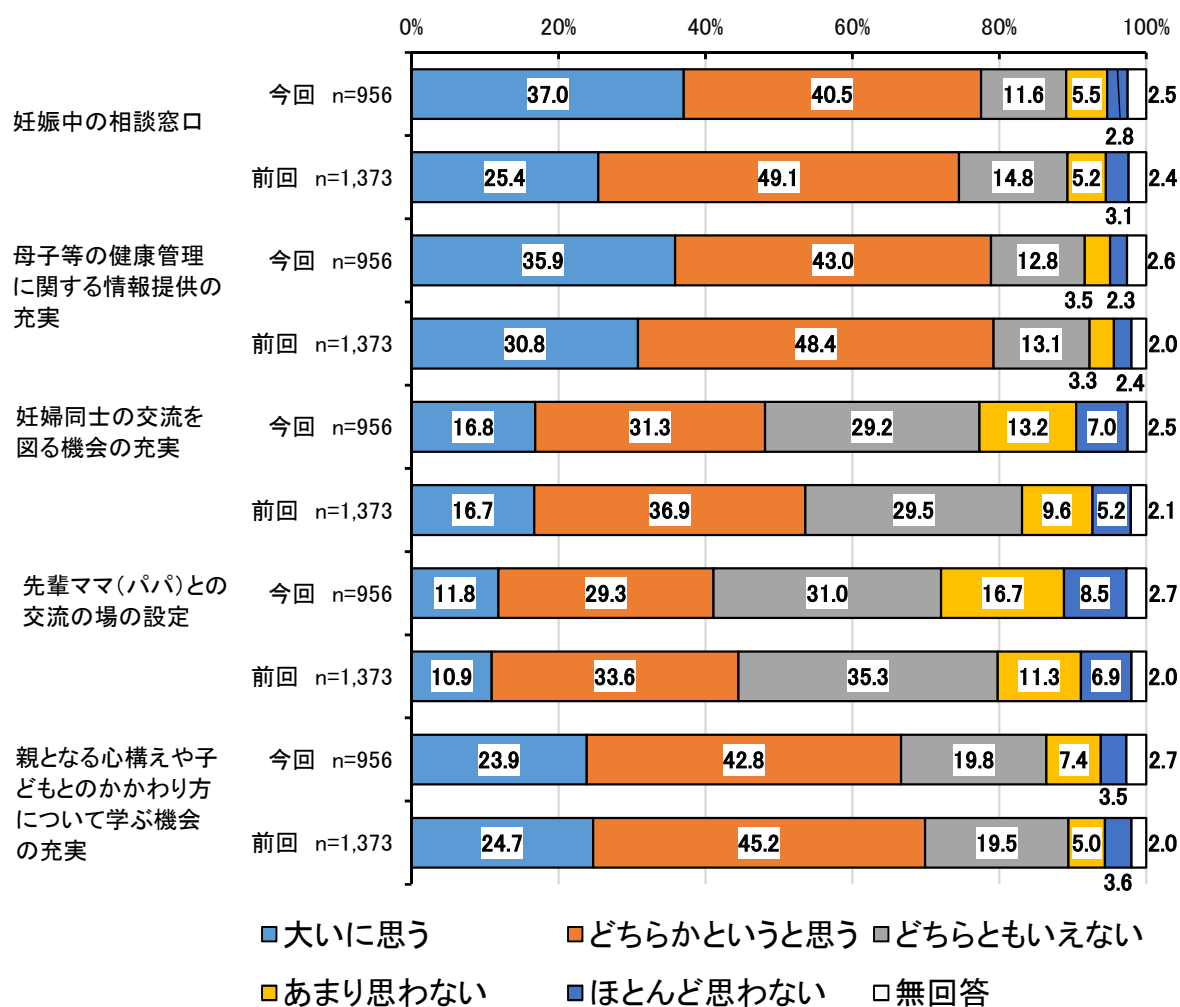
週あたり利用日数	今回	前回（5歳以上のみ回答）
自宅	3.7	
祖父母宅や友人・知人宅	3.1	
習い事・スポーツ少年団など	1.8	
児童館	3.5	
放課後児童クラブ	4.3	4.6
ファミリー・サポート・センター	2.7	
その他	1.8	

10 「産前・産後」サポートについてうかがいます

問 32 育児を安心して行うためには、妊娠中に大切だと思うことについて、該当する番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

妊娠中に大切だと思うことをみると、「先輩ママ（パパ）との交流の場の設定」を除くすべての項目で「どちらかというと思う」の割合が最も高いです。また、『『そう思う』（「大いに思う」と「どちらかというと思う」の合計、以下同じ）の割合をそれぞれみると、「母子等の健康管理に関する情報提供の充実」78.9%が最も高く、次いで「妊娠中の相談窓口の充実」77.5%、「親となる心構えや子どもとのかかわり方について学ぶ機会の充実」66.7%となっています。

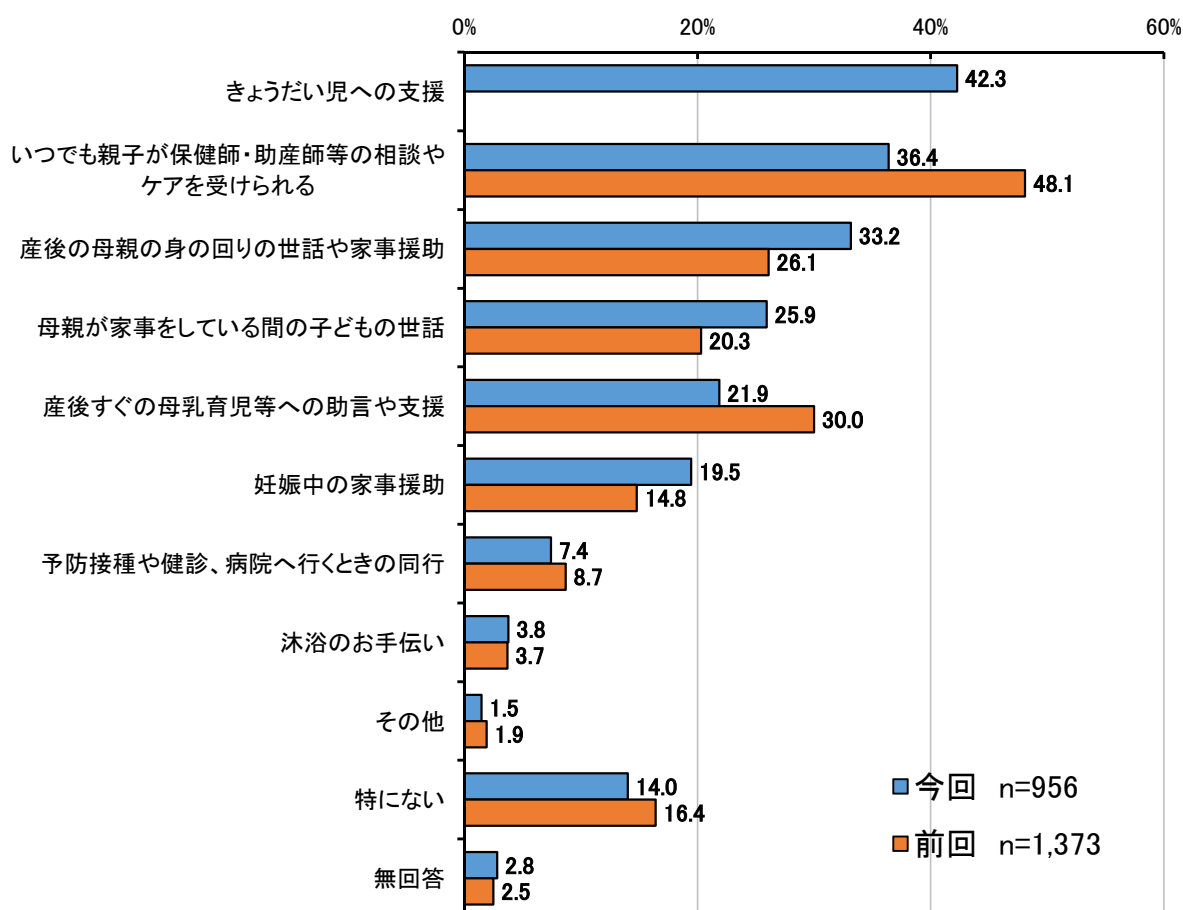
前回調査と比較すると、『『そう思う』は「妊娠中の相談窓口の充実」が3.0ポイントと最も増加しています。



問 33 産前・産後のサポートについて、利用したいと思うサービスはありますか。
(主なもの3つまでに○)

産前・産後サービスの利用希望をみると、「きょうだい児への支援」の割合が42.3%と最も高く、次いで「いつでも親子が保健師・助産師等の相談やケアを受けられる」36.4%、「産後の母親の身の回りの世話や家事援助」33.2%となっています。

前回調査と比較すると、「いつでも親子が保健師・助産師等の相談やケアを受けられる」が11.7ポイント減少しています。



※前回調査は「きょうだい児への支援」の選択肢はありませんでした。

【その他の回答】(全14件)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ・母乳マッサージ 2件 | ・子育ての情報の支援 2件 |
| ・ミルクやおムツなどの支援 2件 | ・きょうだい児との時間確保の為の支援 2件 |
| ・昼寝をしている間のこどもの世話 | ・お金の支援 |
| ・母親の体のケア など | |

Ⅱ 「発達支援」についてうかがいます

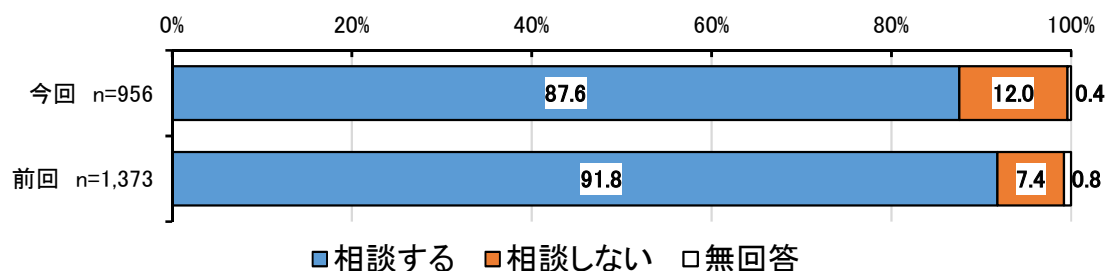
問 34 子育てをする上で、お子さんの成長・発達や特性について気になることがあった場合、家庭外へ相談しますか（しましたか）。

こどもの成長・発達や特性について気になった際、家庭外に相談するかをみると、「相談する」の割合が87.6%、「相談しない」は12.0%となっています。前回調査と比較すると、「相談しない」が4.6ポイント増加しており、「相談する」が4.2ポイント減少しています。

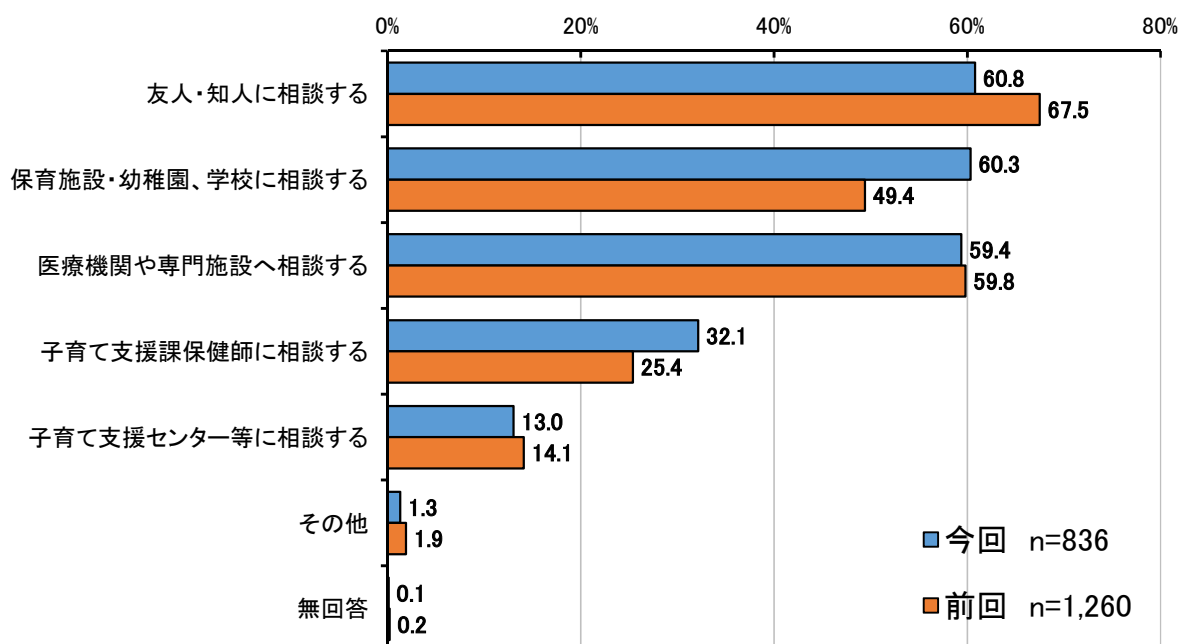
相談する人の対応方法をみると、「友人・知人に相談する」の割合が60.8%と最も高く、次いで「保育施設・幼稚園、学校に相談する」60.3%、「医療機関や専門施設へ相談する」59.4%となっています。前回調査と比較すると、「保育施設・幼稚園、学校に相談する」が10.9ポイントと最も増加しています。

相談しない人の対応方法についてみると、「何もしない」の割合が7.0%、「家族や親族で対応する」は85.2%となっています。前回調査と比較すると、「家族や親族で対応する」が5.0ポイント減少していますが、概ね同じ傾向となっています。

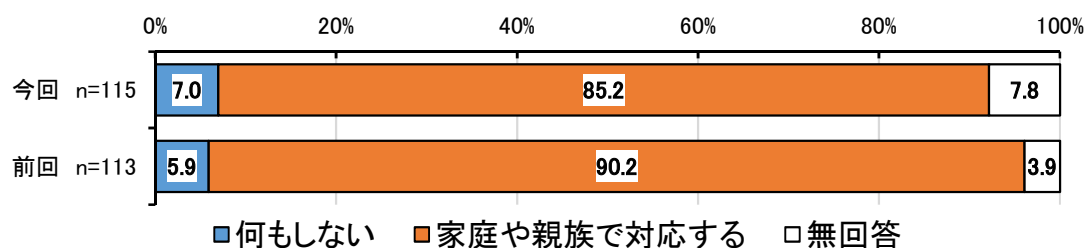
【意向】（○は1つ）



【相談する人・対応方法】（あてはまる記号すべてに○）



【相談しない人・対応方法】（あてはまる記号すべてに○）



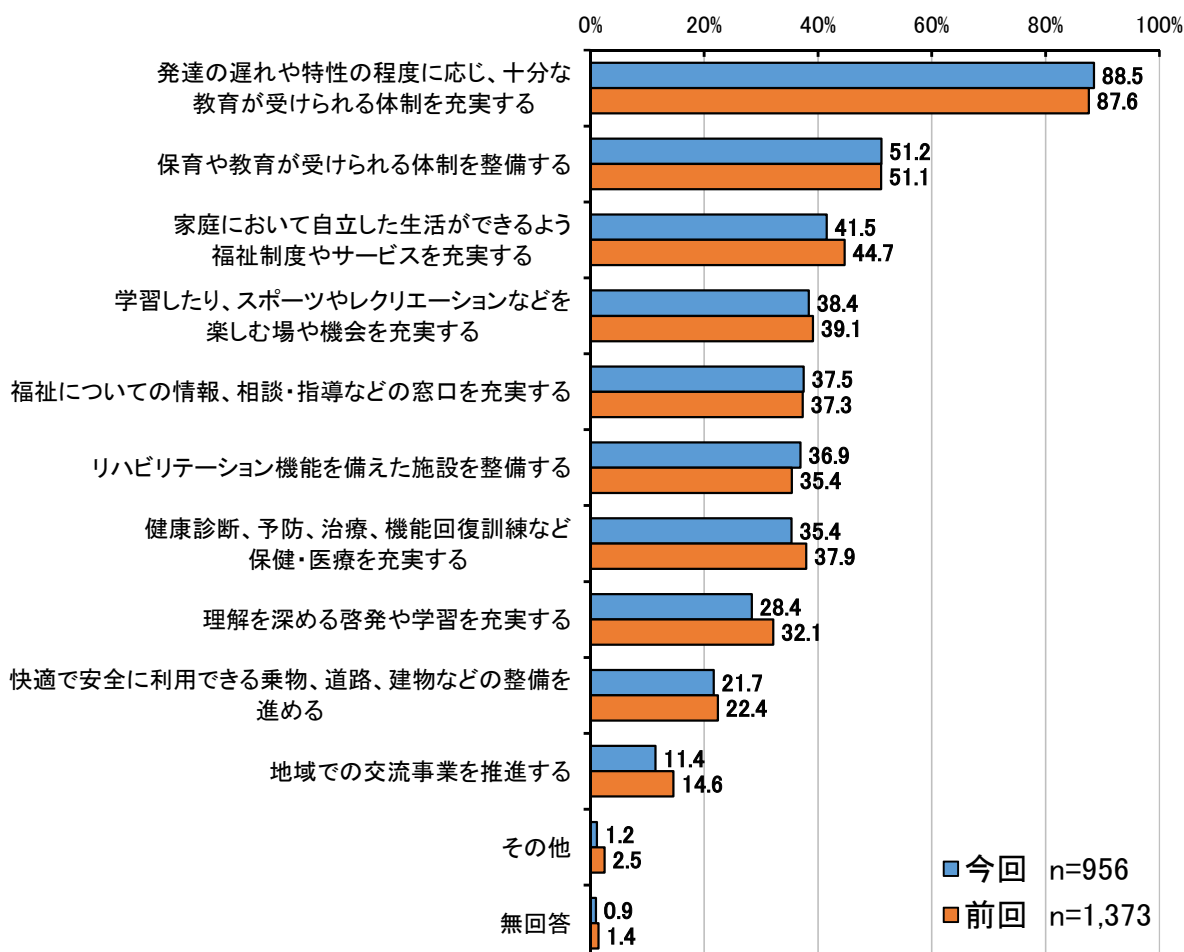
【その他の回答】（全 10 件）

- ・ 家族に相談 4 件
- ・ 市の健診時に相談 2 件
- ・ 社会福祉
- ・ SNS 相談の利用
- ・ こどもが保育所に通う前に、すすくで保健師さんが来る日に相談していました

問 35 あなたのお子さんに成長・発達の特長があった場合、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

こどもに成長・発達の特長があった場合、力を入れてほしいことをみると、「発達の遅れや特性の程度に応じ、十分な教育が受けられる体制を充実する」の割合が 88.5%と最も高く、次いで「保育や教育が受けられる体制を整備する」51.2%、「家庭において自立した生活ができるよう福祉制度やサービスを充実する」41.5%となっています。

前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっていますが、「理解を深める啓発や学習を充実する」が 3.7 ポイント減少しています。



【その他の回答】（全 8 件）

- ・ 親同士の交流
- ・ 医療機関につながりやすい相談窓口がほしい
- ・ 今のこどもの健診は 3 才までなので、もう少し大きくなるまで、せめて小学校入学前まであれば助かる
- ・ 幼稚園や学校などでの相談体制を整える、定期的に行く場で相談ができた方が相談しやすいため
- ・ もっと専門的知識を持った医療、心理のチームを充実させる など

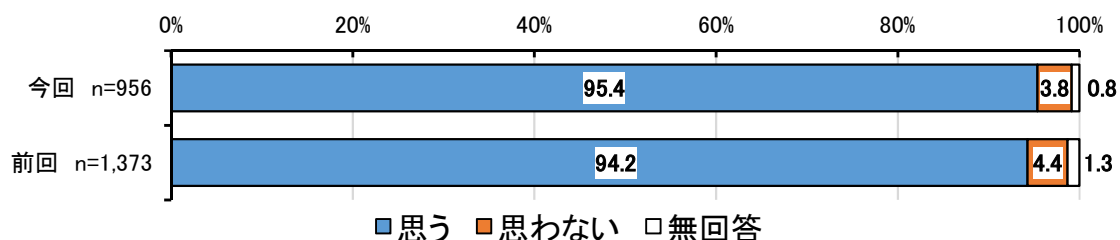
問 36 保護者としてお子さんの個性や成長・発達、情緒面を理解した上で、必要に応じお子さんの発達に合わせた個別の教育（特別支援学級、通級指導教室等）や療育（病院等での言語訓練（療法）等）を受けさせたいと思いますか。

こどもに発達に合わせ個別の教育や療育を受けさせたいかをみると、「思う」の割合が 95.4%、「思わない」は 3.8%となっています。前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。

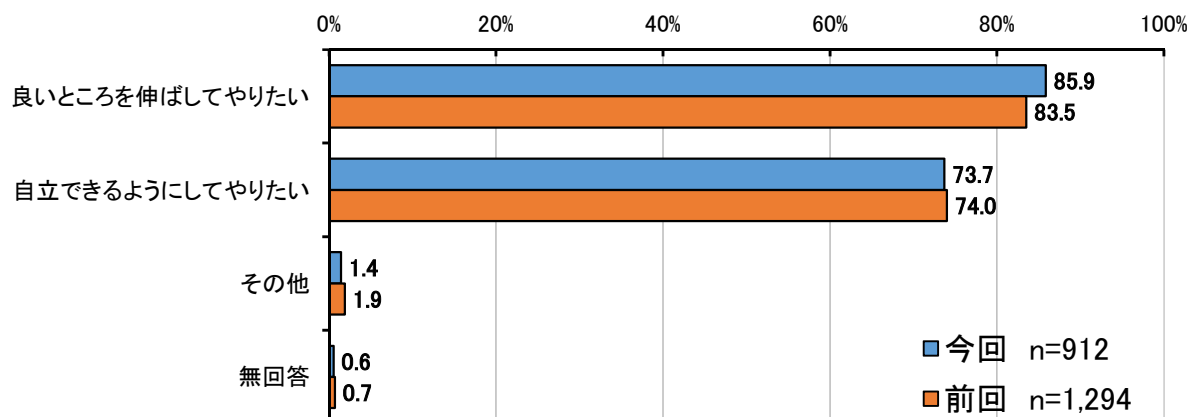
個別の教育や療育を受けさせたい人の対応方法をみると、「良いところを伸ばしてやりたい」の割合が 85.9%、「自立できるようにしてやりたい」は 73.7%となっています。前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。

受けさせたくない人の対応方法をみると、「個別対応の必要はない」の割合が 61.1%、「人と違うことを知られるのが嫌（目立ちたくない）」は 13.9%となっています。前回調査と比較すると、「人と違うことを知られるのが嫌（目立ちたくない）」が 6.2 ポイント増加しており、「個別対応の必要はない」は 11.0 ポイント減少しています。

【意向】（○は 1 つ）



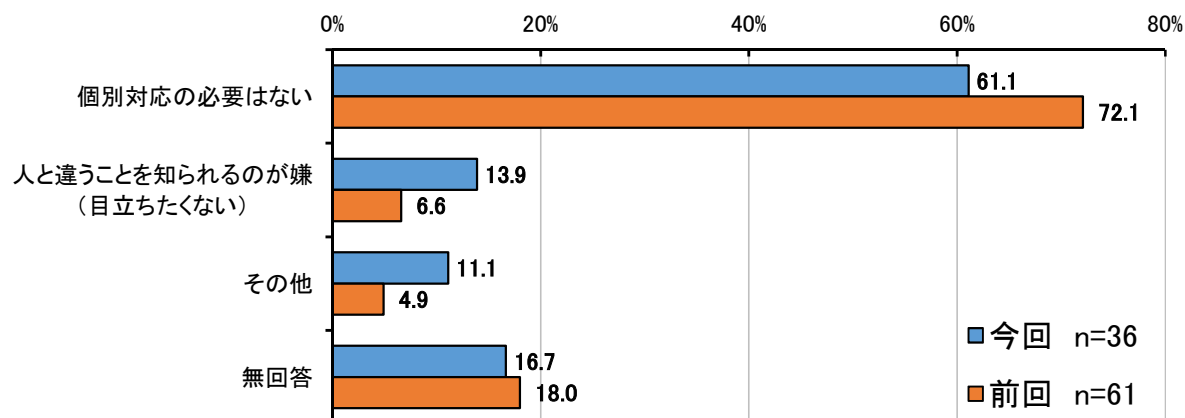
【受けさせたい人・対応方法】（あてはまる記号すべてに○）



【受けさせたい人の対応方法・その他の回答】（全 12 件）

- ・ 落ちつき方を知ってほしい
- ・ 保護者の理解を深めてほしい
- ・ まともになってほしい
- ・ 社会の中で、一緒に生きてほしい
- ・ まだ理解が十分でないので、子本人が傷つかないように教えたい
- ・ 子のペースで楽しい事、出来る事を見つけてあげたい
- ・ 周囲との関係で困らないように対応策を身に着けさせたい
- ・ 無理して周りの子に合わせる必要はないと思えるようにしてあげたい など

【受けさせたくない人・対応方法】（あてはまる記号すべてに○）



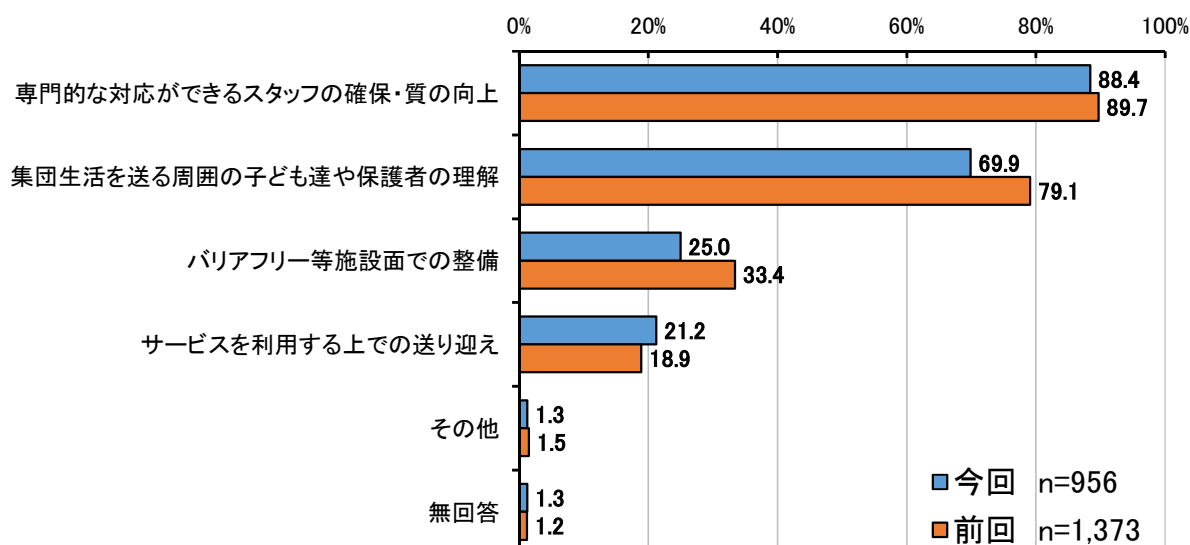
【受けさせたくない人の対応方法・その他の回答】（全 4 件）

- ・ ありのまま、そのままで良いので特別な対応は必要ない
- ・ 少人数なので支援員が正しく対応すれば全く問題ない など

問 37 発達の遅れなど集団生活をする上で支援が必要なこどもの受け入れに対して優先すべきことは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

支援が必要なこどもの受け入れのためにすべきことをみると、「専門的な対応ができるスタッフの確保・質の向上」の割合が88.4%と最も高く、次いで「集団生活を送る周囲のこども達や保護者の理解」69.9%、「バリアフリー等施設面での整備」25.0%、「サービスを利用する上での送り迎え」21.2%となっています。

前回調査と比較すると、「集団生活を送る周囲のこども達や保護者の理解」が9.2ポイント減少しており、「バリアフリー等施設面での整備」は8.4ポイント減少しています。



【その他の回答】(全 11 件)

- ・施設の整備 3件
- ・親へのサポート 2件
- ・同じような発達の遅れを持つ子の、親同士の交流の場 2件
- ・将来、親が死んだあとでも 1人で生きていけるようにサポートする など

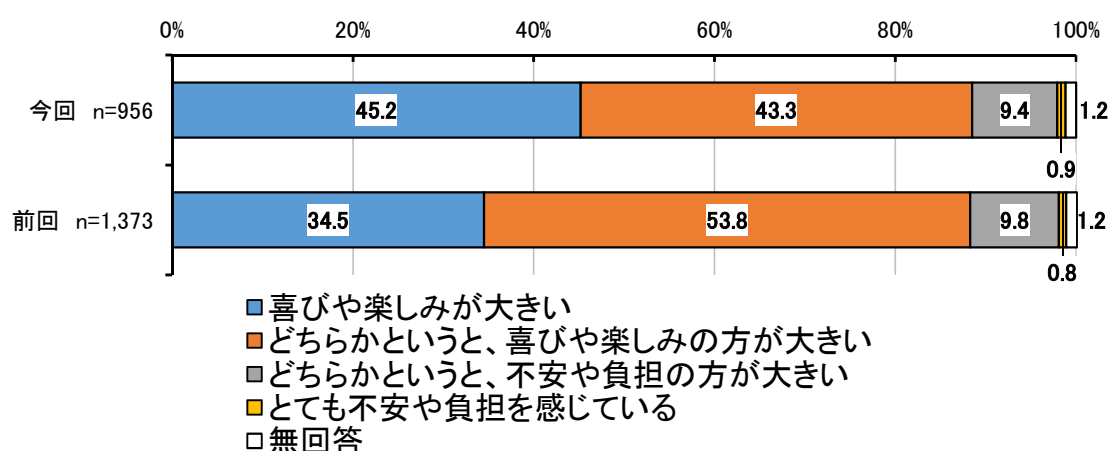
12 家庭の子育て、地域の子育て環境についてうかがいます

(1) 家庭の子育てについて

問 38 子育てをどのように感じていますか。(○は1つ)

子育てに対する感情をみると、『喜びや楽しみが大きい』(「喜びや楽しみが大きい」と「どちらかという、喜びや楽しみの方が大きい」の合計)の割合が88.5%、『不安や負担を感じている』(「どちらかという、不安や負担の方が大きい」と「とても不安や負担を感じている」の合計)の割合が10.3%となっています。

前回調査と比較すると、「喜びや楽しみが大きい」が10.7ポイント増加しており、「どちらかという、喜びや楽しみの方が大きい」が10.5ポイント減少しています。

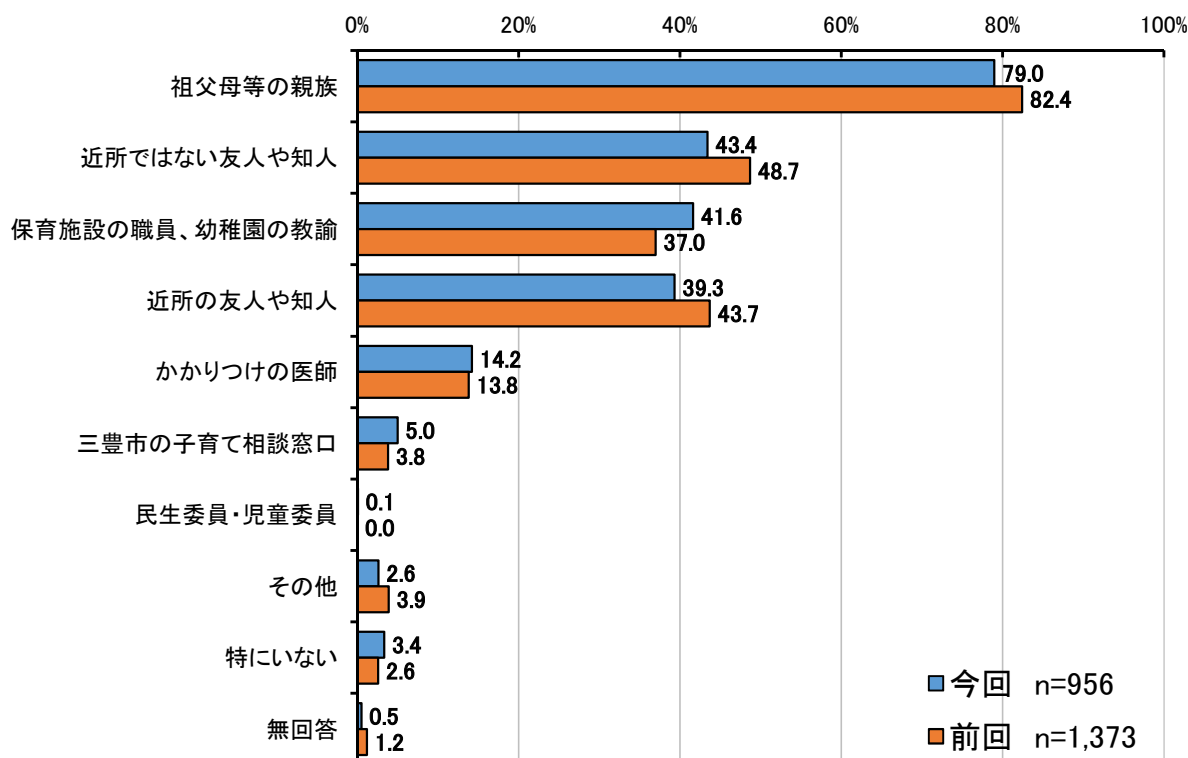


問 39 子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

子育ての相談を気軽に行える人をみると、「祖父母等の親族」の割合が79.0%と最も高く、次いで「近所ではない友人や知人」43.4%、「保育施設の職員、幼稚園の教諭」41.6%となっています。一方、「特にない」の割合は3.4%となっています。

前回調査と比較すると、「保育施設の職員、幼稚園の教諭」が4.6ポイント増加しており、「近所の友人や知人」は4.4ポイント減少、「近所ではない友人や知人」は4.3ポイント減少しています。



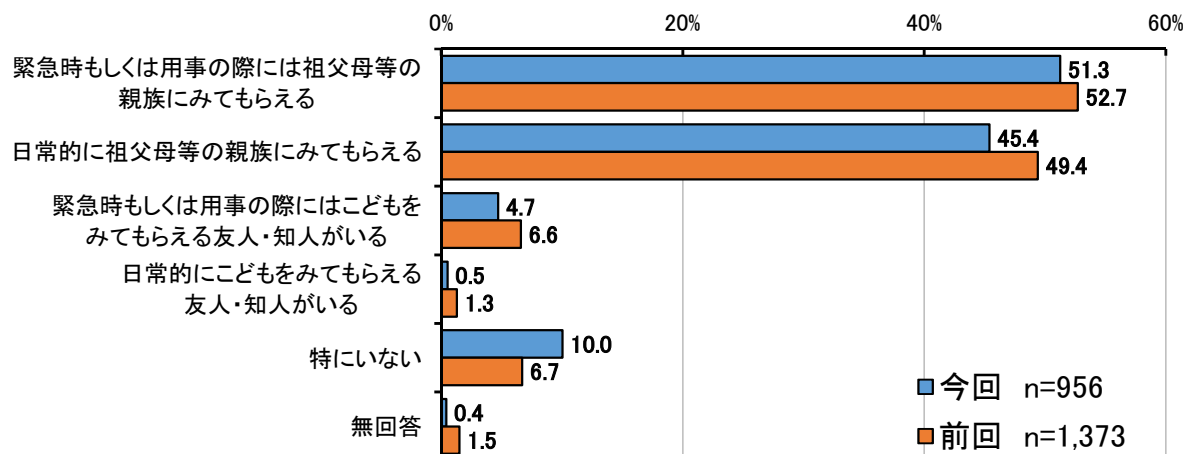
【その他の回答】（全 22 件）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ・ 職場の同僚 6 件 | ・ 配偶者 5 件 |
| ・ 子育て支援センターのスタッフ 3 件 | ・ ネット、SNS 2 件 |
| ・ 兄弟 | ・ 伯父、祖母 |
| ・ 保健師さん | ・ リハビリの先生や療育の先生 |
| ・ カウンセラー | |

問 40 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

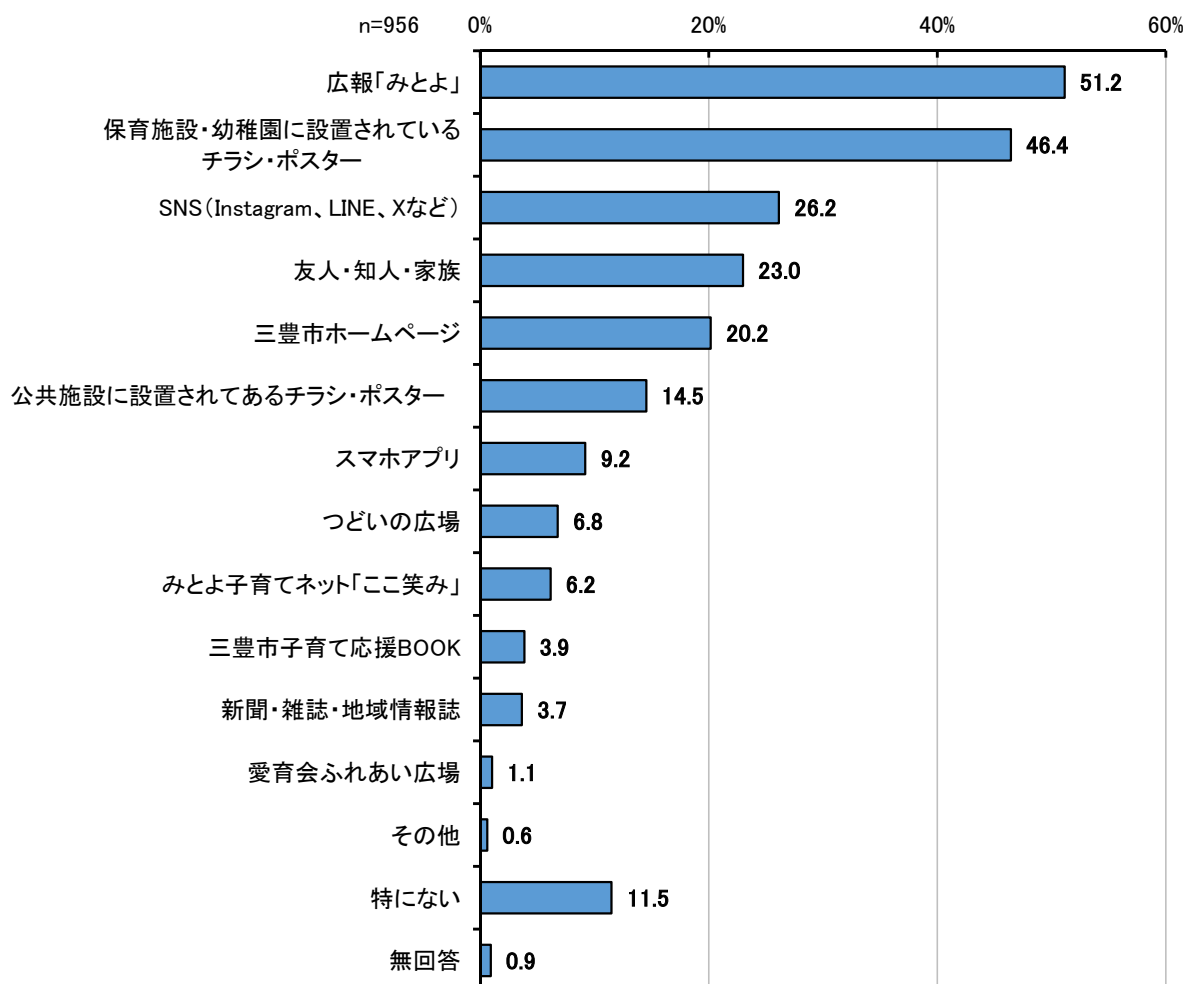
日頃、こどもをみてもらえる親族・友人をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」45.4%となっています。一方、「特にいない」の割合は 10.0%となっています。

前回調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は 4.0 ポイントと最も減少しています。



問 41 三豊市の子育てに関する情報をどのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

三豊市の子育てに関する情報源をみると、「広報「みとよ」」の割合が51.2%と最も高く、次いで「保育施設・幼稚園に設置されているチラシ・ポスター」46.4%、「SNS (Instagram、LINE、X など)」26.2%となっています。



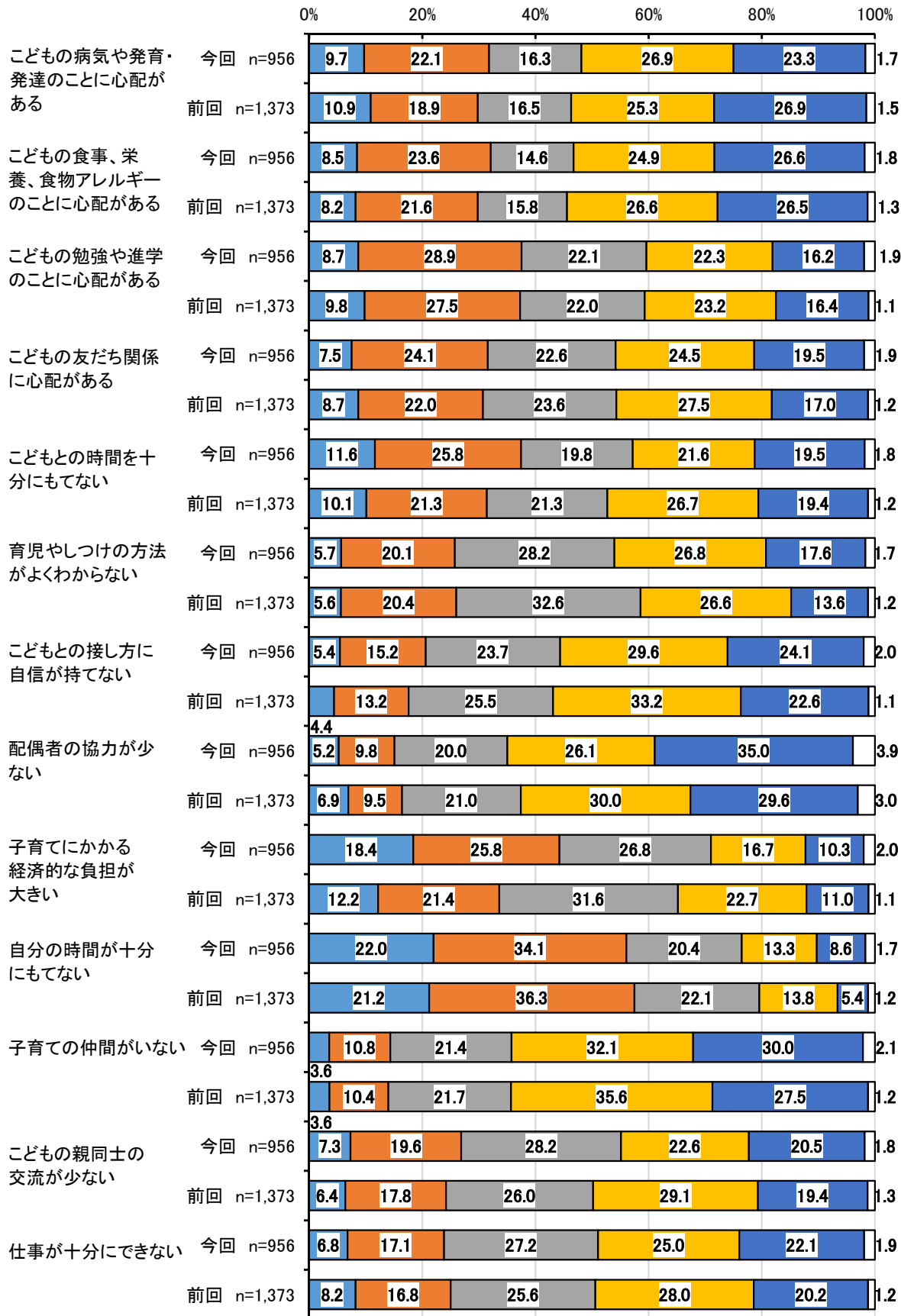
【その他の回答】(全 5 件)

- | | |
|---------------|---------------|
| ・ 幼稚園、保育園 2 件 | ・ 市の保健師さん 2 件 |
| ・ 親族より | ・ メールが届く |

問 42 子育てに関して、悩みや気にかかることはありますか。(項目ごとに○は 1 つ)

子育てに関する心配事について、『そう思う』(「大いに思う」と「どちらかというと思う」の合計、以下同じ)の割合をみると「自分の時間が十分にもてない」が56.1%と最も高く、次いで「子育てにかかる経済的な負担が大きい」44.2%、「こどもの勉強や進学のこと」に心配がある」37.6%となっています。一方、『そう思わない』(「あまり思わない」と「ほとんど思わない」の合計、以下同じ)の割合は「子育ての仲間がいない」が62.1%と最も高く、次いで「配偶者の協力が少ない」61.1%、「こどもとの接し方に自信が持てない」53.7%となっています。

前回調査と比較すると、「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の『そう思う』が10.6ポイントと最も増加しており、『そう思わない』が6.7ポイント減少しています。



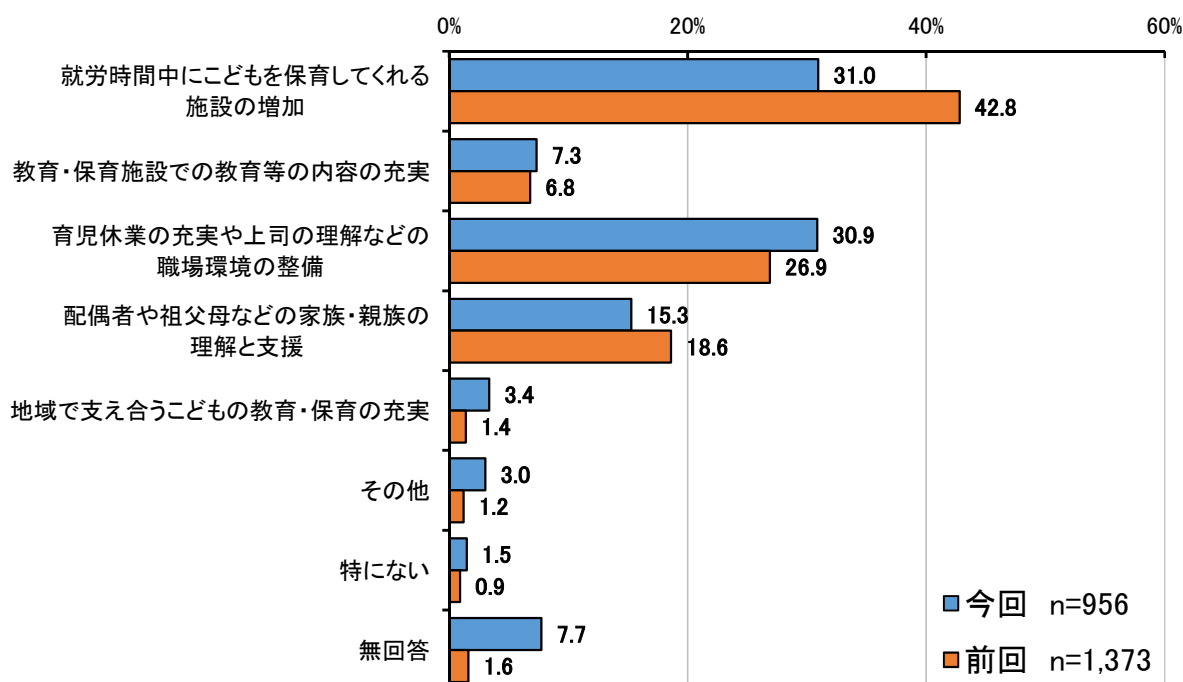
- 大いに思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- ほとんど思わない
- 無回答

(2) 仕事と子育ての両立について

問 43 仕事と子育ての両立のために、最も重要なことは何だと思いますか。(〇は 1 つ)

子育てと仕事の両立のために、最も重要なことをみると、「就労時間中に子どもを保育してくれる施設の増加」の割合が 31.0%となっており最も高く、次いで「育児休業の充実や上司の理解などの職場環境の整備」30.9%、「配偶者や祖父母などの家族・親族の理解と支援」15.3%となっています。

前回調査と比較すると、「就労時間中に子どもを保育してくれる施設の増加」が 11.8 ポイントと最も減少しています。



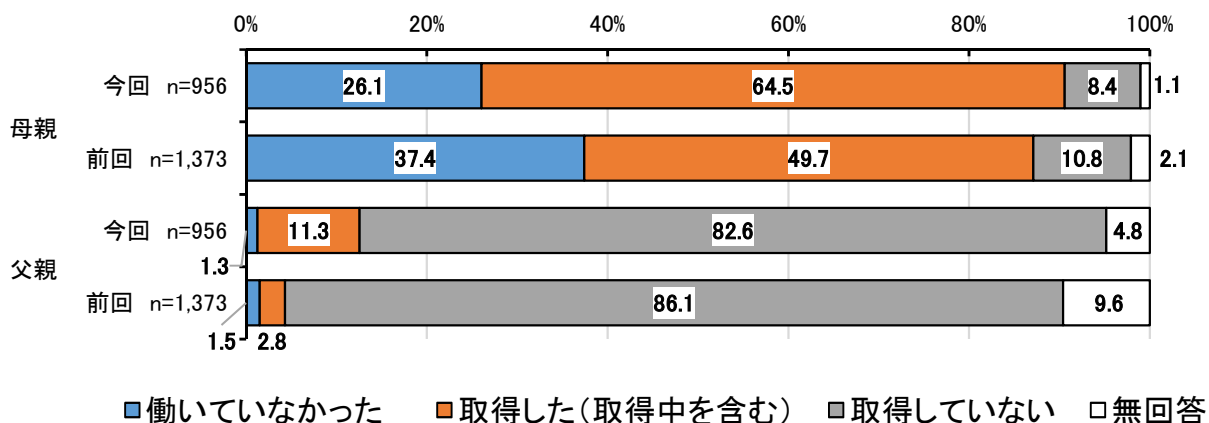
【その他の回答】(全 28 件)

- ・就労先の理解・残業等、働き方改革 6 件
- ・病児保育の充実 4 件
- ・経済的負担軽減、税制優遇 2 件
- ・祖父母等の協力 2 件
- ・送り迎え
- ・子育て手当の拡充
- ・教育の場所や機関の選択幅を広げて欲しい
- ・収入
- ・時間との折り合い、金銭面も含めて
- ・長時間、子どもを見てくれる場所
- ・両立しようとするのがそもそも難しいと思う
- ・自営業なので、急な仕事が入った時でも見てもらいたい など

問 44 お子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。(○は1つ)
また、取得していない方はその理由をご記入ください。

こどもが生まれた際育児休業を取得したかをみると、母親は「働いていなかった」26.1%、「取得した（取得中を含む）」64.5%、「取得していない」8.4%となっています。一方、父親は「働いていなかった」1.3%、「取得した（取得中を含む）」11.3%、「取得していない」82.6%となっています。

前回調査と比較すると、母親は「取得した（取得中を含む）」が14.8ポイント増加しており、「働いていなかった」が11.3ポイント減少しています。父親は「取得した（取得中を含む）」が8.5ポイント増加しており、「取得していない」が3.5ポイント減少しています。父母ともに、前回調査時よりもこどもが生まれた時、育児休業を取得した人が増えています。



【母親の取得していない理由】(全 74 件)

- ・ 自営業なので 24 件
- ・ 仕事を退職したから 16 件
- ・ 取得できなかった 9 件
- ・ 育休制度がない 9 件
- ・ パート・アルバイトなので 8 件
- ・ すぐ職場復帰したため 3 件
- ・ 経済的な理由 2 件
- ・ 在宅ワークだから など

【父親の取得していない理由】(全 790 件)

- ・ 育休制度がなかったから
- ・ 仕事が忙しかった
- ・ 会社で前例がなかった
- ・ 取得できる雰囲気ではなかった
- ・ 母親が取得したから
- ・ 経済的な理由
- ・ 必要がないと思ったから
- ・ 祖父母のサポートがあったから など

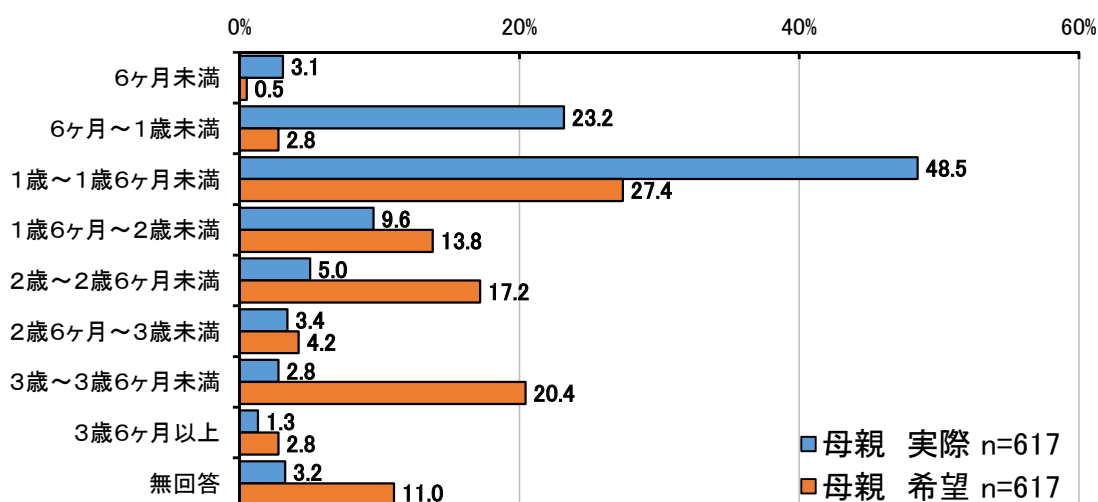
問 45 問 44 で「2. 取得した（取得中を含む）」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からは、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。（または、する予定ですか）。また、希望として、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親、父親それぞれについて〔 〕内に数字でご記入ください。

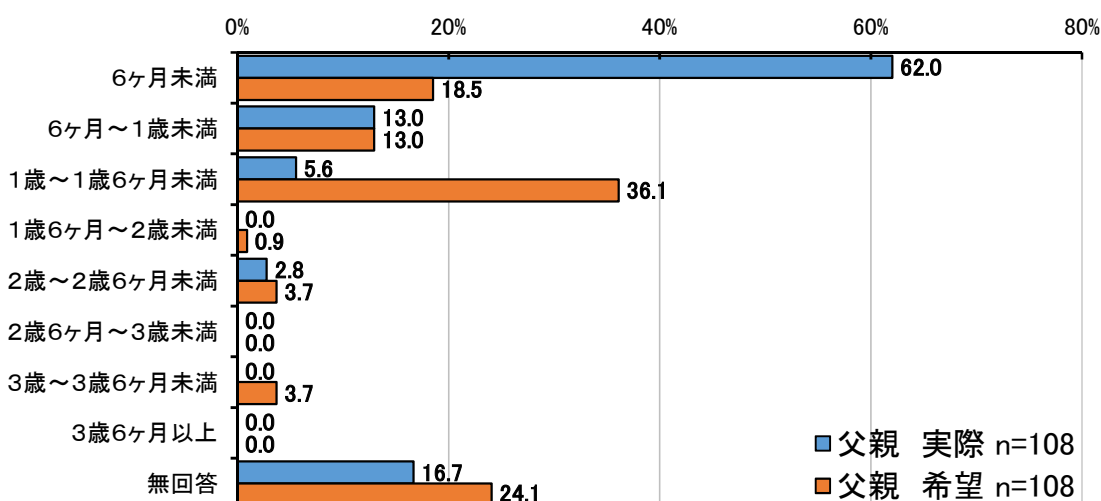
職場復帰した時期をみると、母親の実際は「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が48.5%と最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」23.2%となっています。母親の希望は「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が27.4%と最も高く、次いで「3歳～3歳6ヶ月未満」20.4%となっています。実際と希望の差をみると、実際の方が高いのは「1歳～1歳6ヶ月未満」が21.1ポイントと最も差が大きく、希望の方が高いのは「3歳～3歳6ヶ月未満」が17.6ポイントと最も差が大きくなっています。

父親の実際は「6ヶ月未満」の割合が62.0%と最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」13.0%となっています。父親の希望は「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が36.1%と最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」13.0%となっています。実際と希望の差をみると、実際の方が高いのは「6ヶ月未満」が43.5ポイントと最も差が大きく、希望の方が高いのは「1歳～1歳6ヶ月未満」が30.5ポイントと最も差が大きくなっています。

【母親】



【父親】



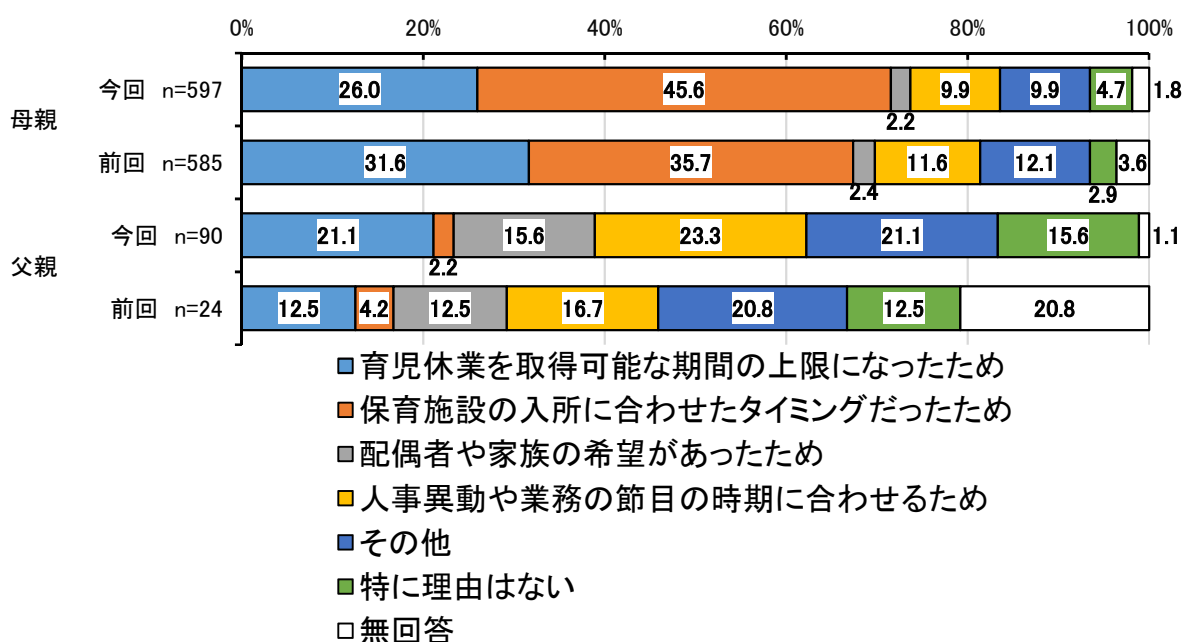
	今回		前回	
	実際	希望	実際	希望
母親の復職時期	1歳3か月	1歳11か月	1歳3か月	1歳8か月
父親の復職時期	0歳4か月	0歳11か月	0歳7か月	0歳10か月

問 46 問 45 で「1. 実際に職場復帰した際のお子さんの年齢」にご記入いただいた方にうかがいます。

実際にそのタイミングで職場復帰された主な理由は何ですか。(○は1つ)

そのタイミングで職場復帰した主な理由をみると、母親は「保育施設の入所に合わせたタイミングだったため」の割合が45.6%と最も高く、次いで「育児休業を取得可能な期間の上限になったため」26.0%となっています。前回調査と比較すると、「保育施設の入所に合わせたタイミングだったため」が9.9ポイントと最も増加しており、「育児休業を取得可能な期間の上限になったため」が5.6ポイント減少しています。

父親は「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が23.3%と最も高く、次いで「育児休業を取得可能な期間の上限になったため」と「その他」がともに21.1%となっています。前回調査と比較すると、「育児休業を取得可能な期間の上限になったため」が8.6ポイントと最も増加しており、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」は6.6ポイント増加しています。



【母親・その他の回答】(59件)

- ・経済的な理由 18件
- ・職場からの希望により 5件
- ・職場が育休取れる雰囲気ではなかった 2件
- ・自営業のため 2件
- ・復帰するしかなかった
- ・職場の産休第替の方が辞めてしまった
- ・早く戻りたかった
- ・育休手当が出る期間の上限のため 7件
- ・外部との関わりが欲しかった 4件
- ・年子だった為
- ・上司のパワハラ
- ・職場の人員不足のため
- ・職場で保育してもらえたため など

【父親・その他の回答】（19 件）

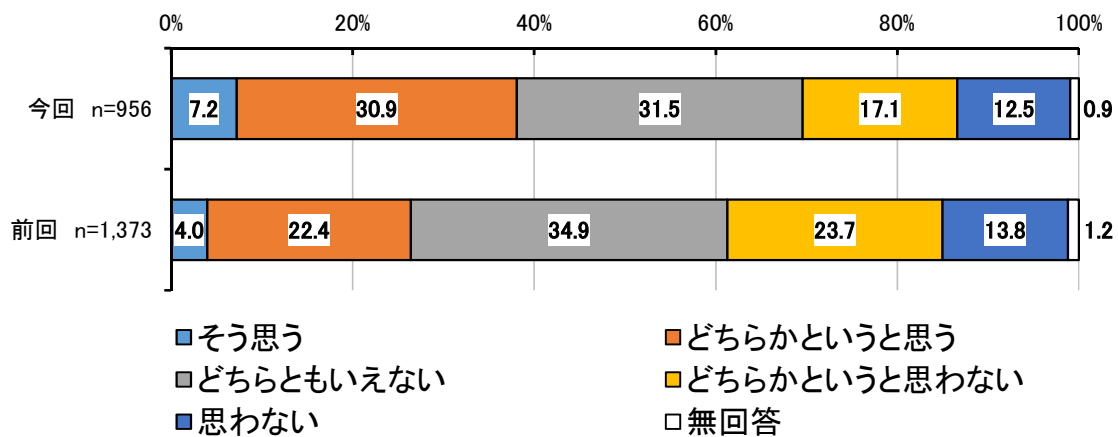
- ・職場の雰囲気 4 件
- ・2 週間のみの休みだった 2 件
- ・長期間休むと迷惑がかかるから 2 件
- ・家族経営なので職場で見れる
- ・上司から長く育休を取得することに理解を得られなかったため など
- ・経済的な理由 3 件
- ・1 週間のみ、休みをとれた 2 件
- ・気持ち的に 3 カ月が上限だった

（3）三豊市の子育て環境について

問 47 こどもや親が安心して外出できる環境（こどもの遊び場や公園等）になっていると思いますか。（○は 1 つ）

こどもや親が安心して外出できる環境になっているかをみると、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計、以下同じ）の割合が 38.1%、『思わない』（「どちらかというと思わない」と「思わない」の合計、以下同じ）は 29.6%、「どちらともいえない」は 31.5%となっています。

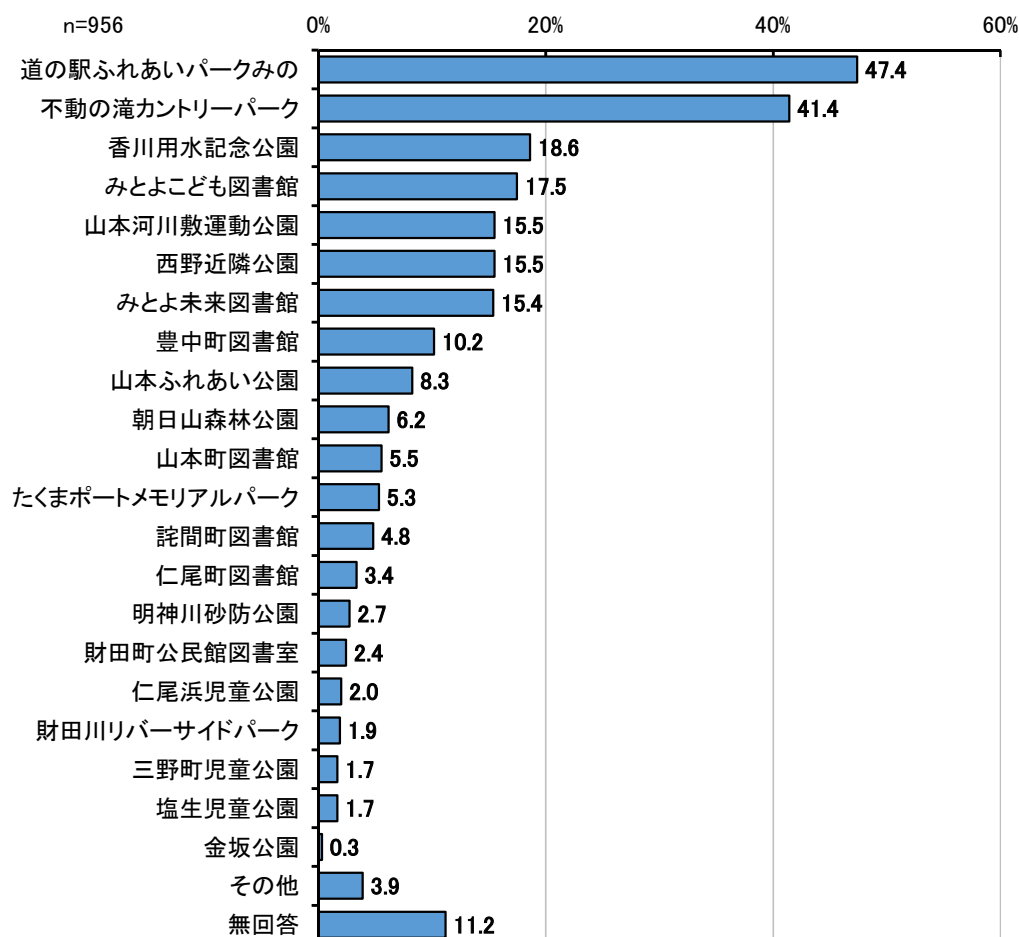
前回調査と比較すると、『そう思う』が 11.7 ポイント増加しており、『思わない』は 7.9 ポイント減少しています。



問 48 あなたが、普段あて名のお子さんと一緒に利用する施設・公園はどこですか。
(あてはまる数字すべてに○)

普段こどもと一緒に利用する市内の施設・公園をみると、「道の駅ふれあいパークみの」の割合が47.3%と最も高く、次いで「不動の滝カントリーパーク」41.5%となっています。
普段こどもと一緒に利用する市外の施設・公園をみると、「国営讃岐まんのう公園」の割合が42.3%と最も高く、次いで「善通寺五岳の里」40.3%となっています。

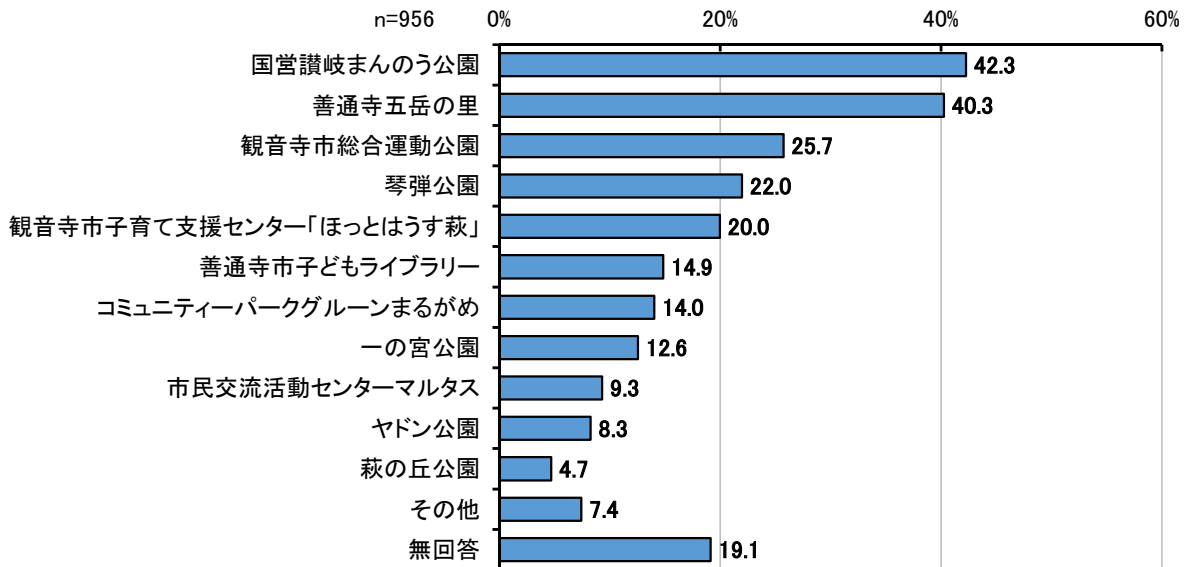
【三豊市内】



【市内・その他の回答】(30 件)

- | | |
|------------------|--------------|
| ・ゆめタウン三豊 4 件 | ・自宅の庭 2 件 |
| ・まだ利用したことがない 2 件 | ・宝山湖 2 件 |
| ・豊中町稲荷公園 2 件 | ・地域の公園 2 件 |
| ・海、広場等 | ・松崎小学校運動場 など |

【三豊市外】



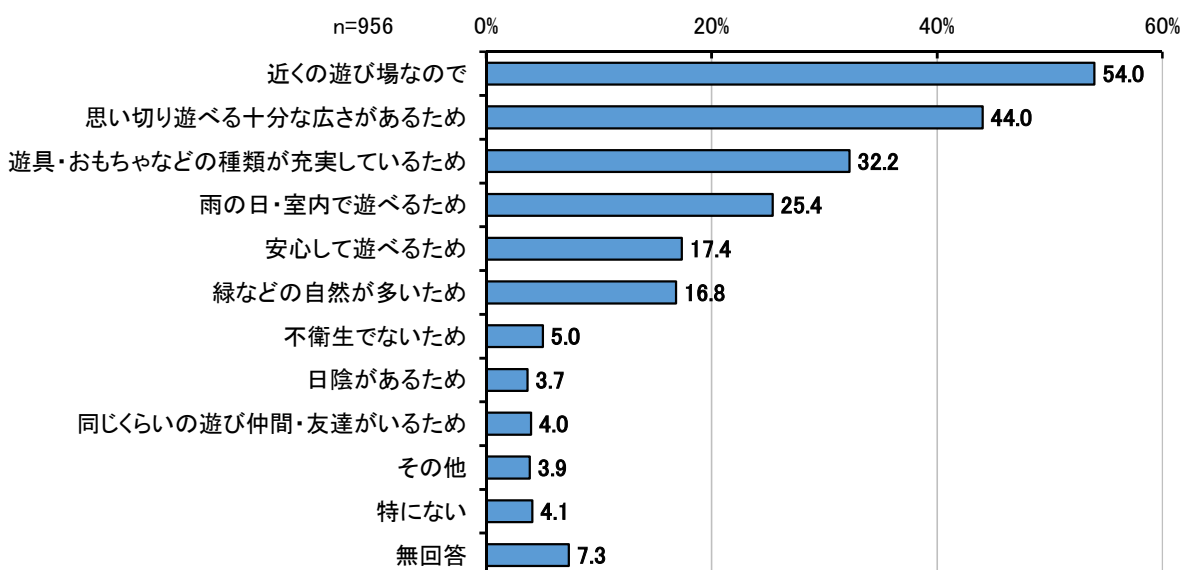
【市外・その他の回答】（65 件）

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ・ さぬきこどもの国 16 件 | ・ 瀬戸大橋記念公園 7 件 |
| ・ 箸蔵とことん 6 件 | ・ うたづ臨海公園 5 件 |
| ・ 道福寺公園 4 件 | ・ 満濃池森林公園 3 件 |
| ・ 東汐入川健康公園 3 件 | ・ かりんの丘公園 3 件 |
| ・ 吉野川ハイウェイオアシス 3 件 など | |

問 49 あなたがあて名のお子さんとその遊び場を利用する理由は何ですか。

（主なもの3つまでに○）

遊び場を利用する理由をみると、「近くの遊び場なので」の割合が54.0%と最も高く、次いで「思い切り遊べる十分な広さがあるため」44.0%、「遊具・おもちゃなどの種類が充実しているため」32.2%となっています。

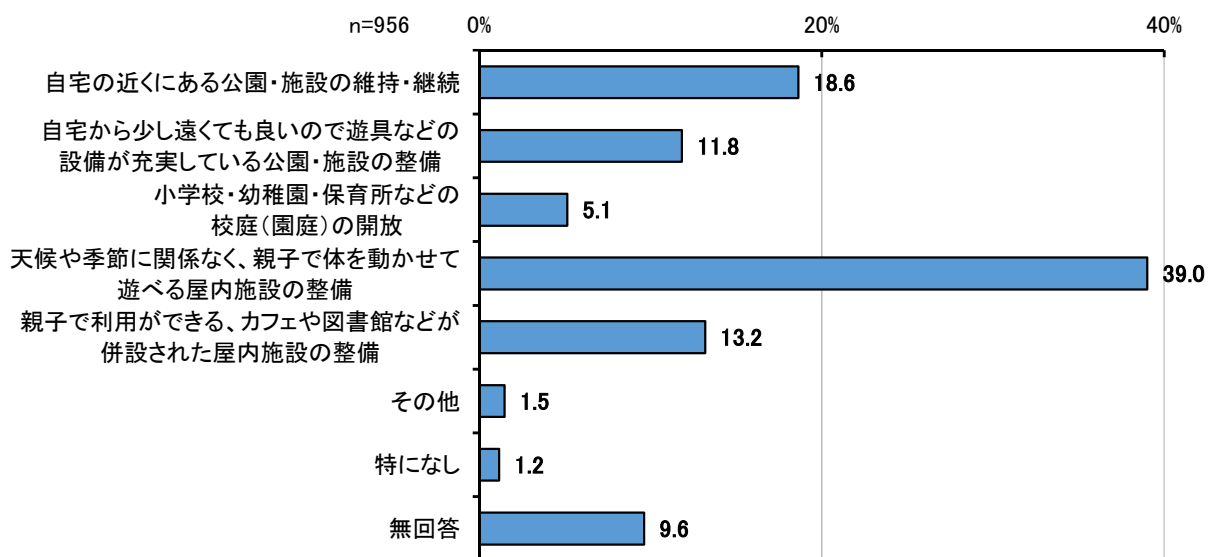


【その他の回答】（全 37 件）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ・ こどもが行きたいと言うから 6 件 | ・ 絵本や本を借りる為 4 件 |
| ・ トイレが利用しやすいから 3 件 | ・ 遊具が充実しているから 3 件 |
| ・ しっかり体を動かせる為 2 件 | ・ 親も楽しめる |
| ・ 家の中ではストレスがたまるため | ・ 歩ける年齢でない為 など |

問 50 あなたが三豊市内の施設・公園に特に望むものは何ですか。（○はひとつ）

三豊市の施設・公園に望むものをみると、「天候や季節に関係なく、親子で体を動かして遊べる屋内施設の整備」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「自宅の近くにある公園・施設の維持・継続」18.6%、「親子で利用ができる、カフェや図書館などが併設された屋内施設の整備」13.2%となっています。



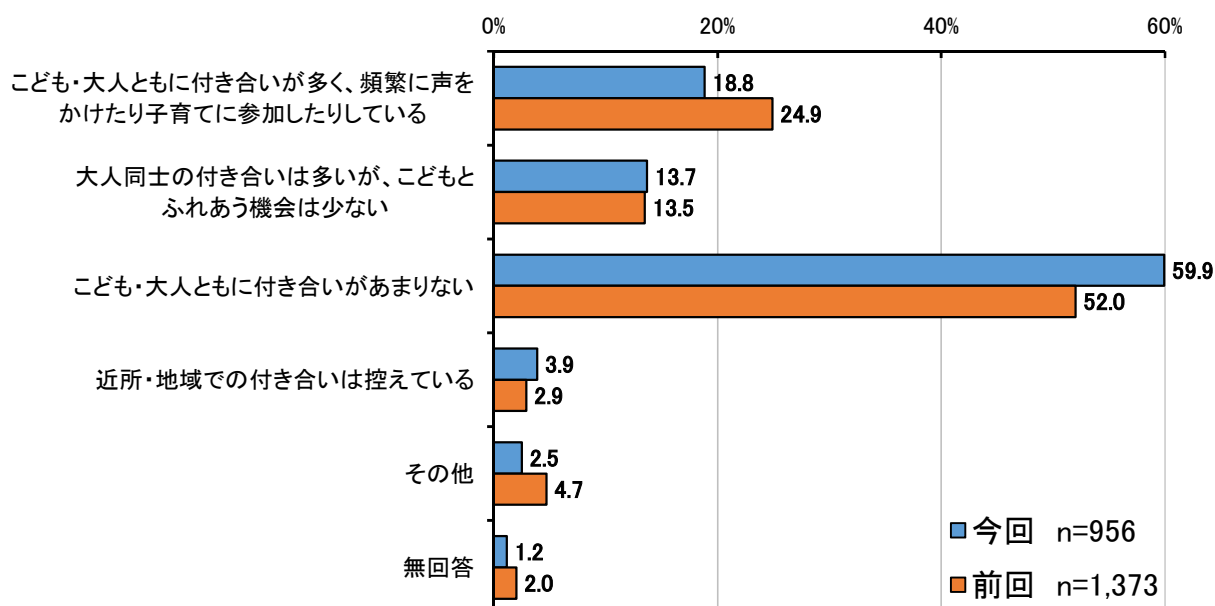
【その他の回答】（全 9 件）

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| ・ 道路から離れた安全で新しい公園 | ・ 清潔なトイレが近くにある |
| ・ 近くに公園を作って欲しい | ・ 年齢別にゾーニングしてほしい |
| ・ 古い遊具を綺麗にしてほしい | ・ バリアフリー、野生動物の対策ができている公園 |
| ・ 雨の日や日差しが強い日でも遊べるように屋根のある公園 など | |

問 51 近所や地域での付き合い・近所の子どもとの関わりはどのような状況ですか。(〇は 1 つ)

近所や地域での付き合い・近所の子どもとの関わりをみると、「子ども・大人ともに付き合いがあまりない」の割合が59.9%と最も高く、次いで「子ども・大人ともに付き合いが多く、頻繁に声をかけたり子育てに参加したりしている」18.8%、「大人同士の付き合いは多いが、子どもとふれあう機会は少ない」13.7%となっています。

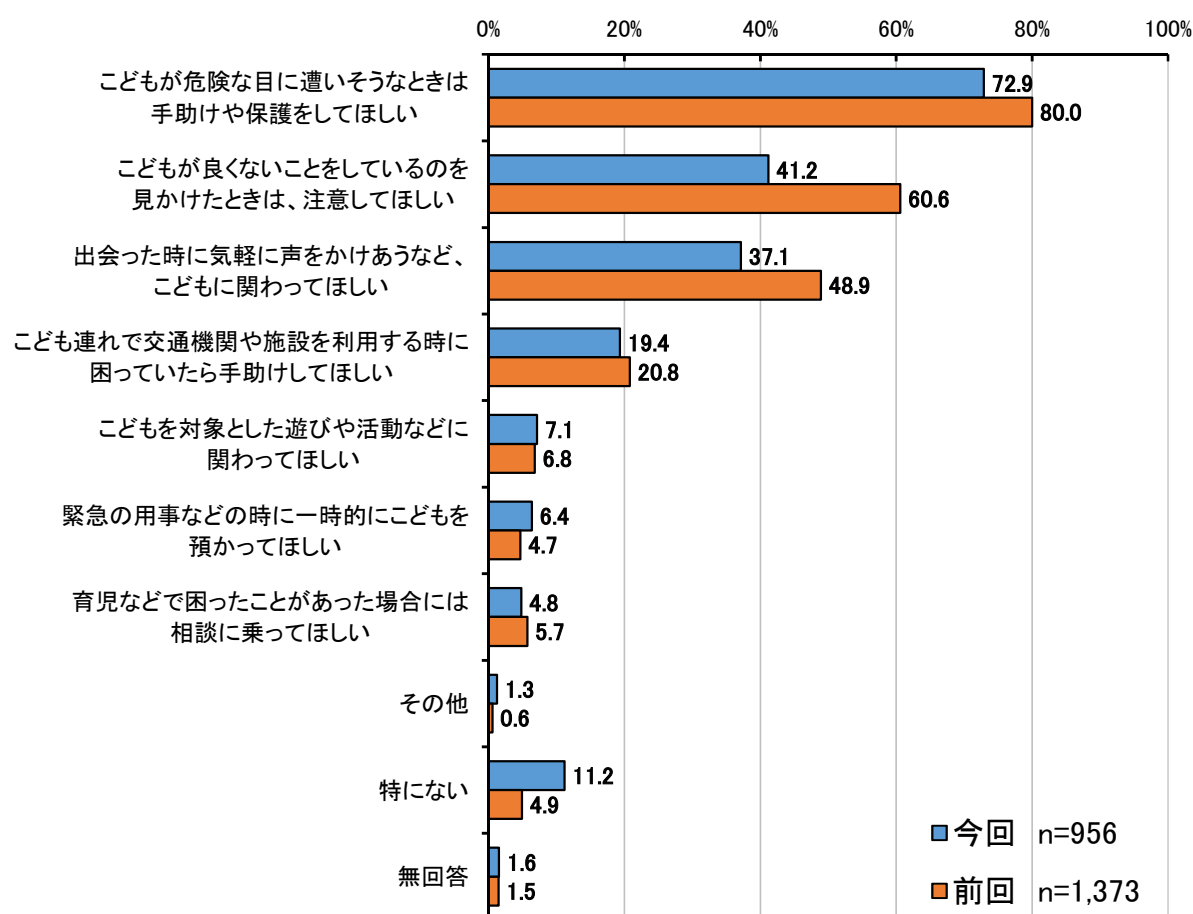
前回調査と比較すると、「子ども・大人ともに付き合いがあまりない」が7.9ポイント増加しており、「子ども・大人ともに付き合いが多く、頻繁に声をかけたり子育てに参加したりしている」が6.1ポイント減少しています。



問 52 子育てをする上で、近所や地域に望むことはありますか。(主なもの 3 つまでに○)

子育てをするうえで、近所や地域に望むことについてみると、「こどもが危険な目に遭いそうなときは手助けや保護をしてほしい」の割合が72.9%と最も高く、次いで「こどもが良くないことをしているのを見かけたときは、注意してほしい」41.2%、「出会った時に気軽に声をかけあうなど、こどもに関わってほしい」37.1%となっています。

前回調査と比較すると、「こどもが良くないことをしているのを見かけたときは、注意してほしい」が19.4ポイント減少しており、「出会った時に気軽に声をかけあうなど、こどもに関わってほしい」は11.8ポイント減少しています。一方、「特にない」は5.3ポイント増加しています。



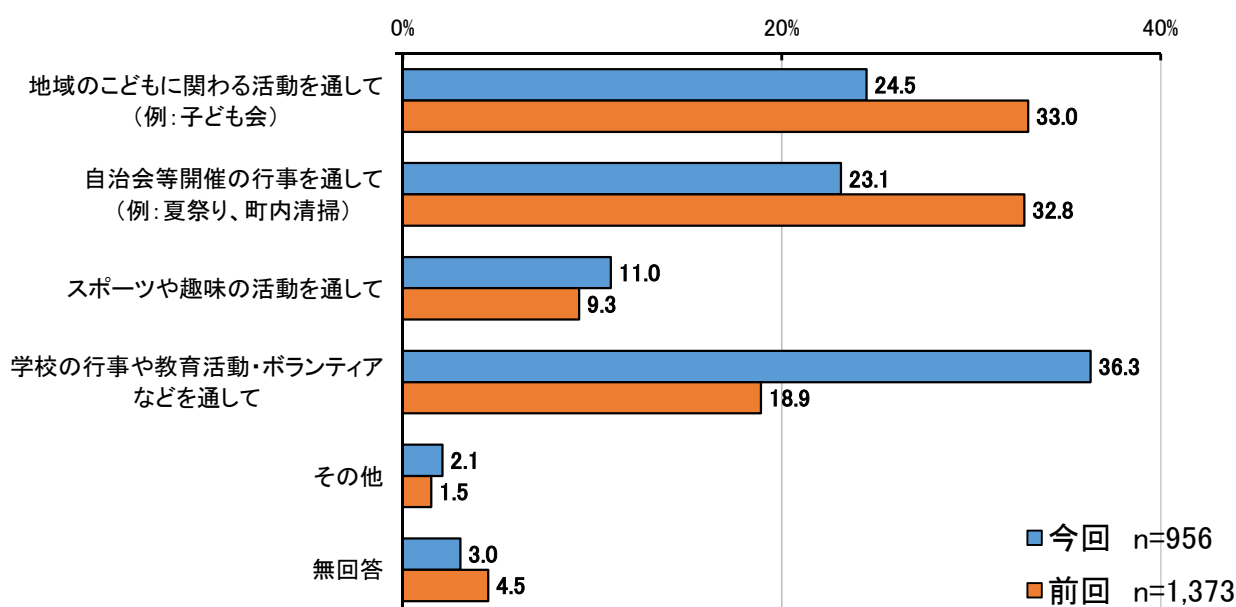
【その他の回答】(全 12 件)

- ・挨拶程度の関わりで十分 3件
- ・少し寛容に見守って欲しい
- ・子育て中は地域の役員の仕事は免除してほしい 2件
- ・発達に特性がある子を連れていても白い目でみないでほしい
- ・自治会の入会、非入会に対する差別をなくしてほしい など

問 53 三豊市では、家庭や学校はもとより、地域や周辺の大人も一緒になって子どもを見守り、次の世代を担う大人に育てる環境づくりを進めています。子どもと地域の大人が関わりを持つきっかけとして、どのような方法が最もよいと思いますか。(〇は1つ)

子どもと地域の大人が関わりを持つ方法をみると、「学校の行事や教育活動・ボランティアなどを通して」の割合が36.3%と最も高く、次いで「地域の子どもに関わる活動を通して(例:子ども会)」24.5%、「自治会等開催の行事を通して(例:夏祭り、町内清掃)」23.1%、「スポーツや趣味の活動を通して」11.0%となっています。

前回調査と比較すると、「学校の行事や教育活動・ボランティアなどを通して」が17.4ポイント増加しており、「自治会等開催の行事を通して(例:夏祭り、町内清掃)」は9.7ポイント減少、「地域の子どもに関わる活動を通して(例:子ども会)」は8.5ポイント減少しています。



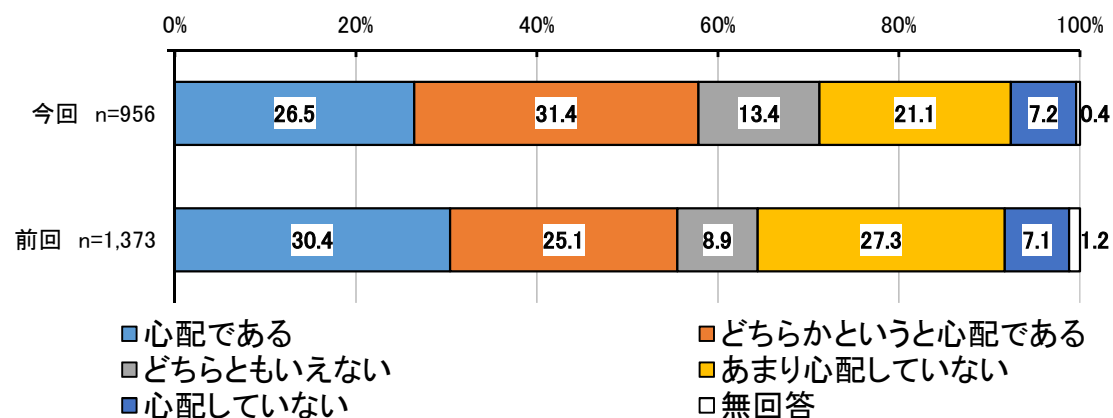
【その他の回答】(全19件)

- ・そっとしておいてほしい 4件
- ・地域のイベント
- ・日々のあいさつからだと思う。
- ・体育祭
- ・わざわざ枠で分けず、普通に話したり接すればいいと思う
- ・公園やカフェなど普段から利用できる施設での交流 など

問 54 お子さんが小学校に進学する際、学校に馴染むまでに時間がかかる、いわゆる「小1プロブレム」を心配していますか。(〇は1つ)

「小1プロブレム」への心配をみると、『心配である』(「心配である」と「どちらかという心配である」の合計、以下同じ)の割合が57.9%、『心配していない』(「心配していない」と「あまり心配していない」の合計、以下同じ)は28.3%、「どちらともいえない」は13.4%となっています。

前回調査と比較すると、『心配である』が2.4ポイント増加しており、「どちらともいえない」は4.5ポイント増加、『心配していない』は6.1ポイント減少しています。

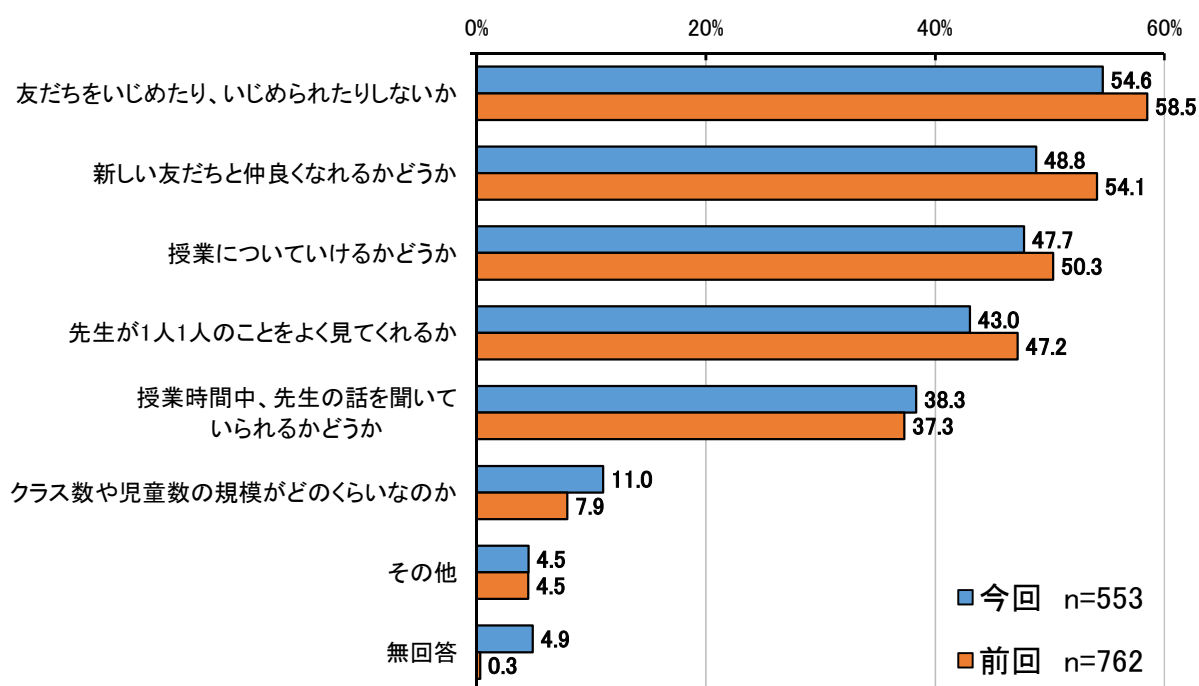


問 55 問 54 で「1. 心配である」または「2. どちらかという心配である」と回答した方にうかがいます。

お子さんが小学校に進学する際に心配することは何ですか。(主なもの 3 つまでに○)

小学校に進学する際に心配することを見ると、「友だちをいじめたり、いじめられたりしないか」の割合が 54.6% と最も高く、次いで「新しい友だちと仲良くなれるかどうか」48.8%、「授業についていけるかどうか」47.7% となっています。

前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっていますが、「新しい友だちと仲良くなれるかどうか」が 5.3 ポイントと最も減少しています。



【その他の回答】(全 24 件)

- ・登下校中の安全面 7 件
- ・小学校になじめるか 2 件
- ・通学の場所、合併の話を聞いた為
- ・学校生活自体に慣れるまで
- ・勉強をすることに対してこどもが不安そう
- ・支援学級を希望しており、友だちが出来るのか など
- ・給食 3 件
- ・枠に押し込もうとするような指導をされないか
- ・本人の気持ちの持ちよう
- ・新しい環境で精神的に不安定にならないか

(4) 今後の三豊市の取組について

問 56 三豊市の子育て支援について、下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。

各サービスに(1)～(3)のそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

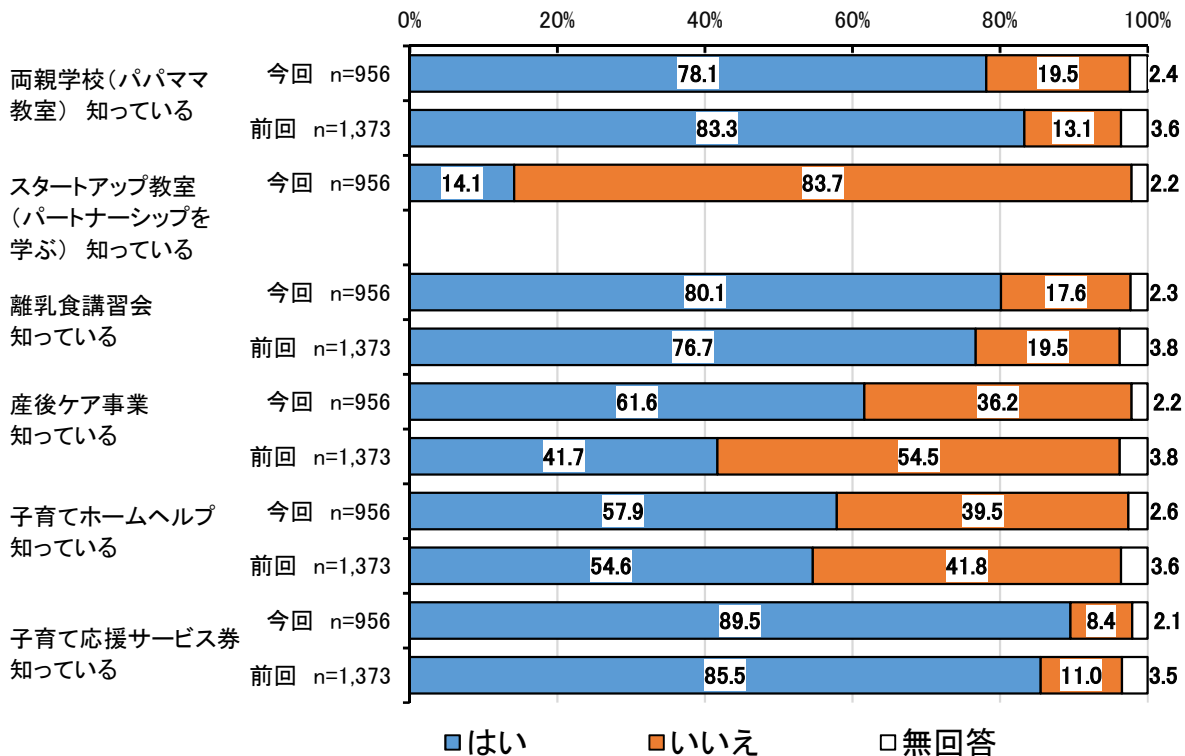
三豊市の子育て支援の取組の認知度をみると、「スタートアップ教室（パートナーシップを学ぶ）」を除くすべての取組について「はい」の割合が最も高くなっています。一方、「スタートアップ教室（パートナーシップを学ぶ）」は、「はい」14.1%、「いいえ」83.7%となっています。前回調査と比較すると、「産後ケア事業」の「はい」が他の項目と比べて19.9ポイントと最も増加しており、「両親学校（パパママ教室）」の「はい」が5.2ポイントと唯一減少しています。

三豊市の子育て支援の取組を利用したことがあるかをみると、すべての取組について「いいえ」の割合が最も高くなっています。前回調査と比較すると、「子育て応援サービス券」の「はい」が4.6ポイントと最も増加しており、「離乳食講習会」の「はい」が3.3ポイントと唯一減少しています。

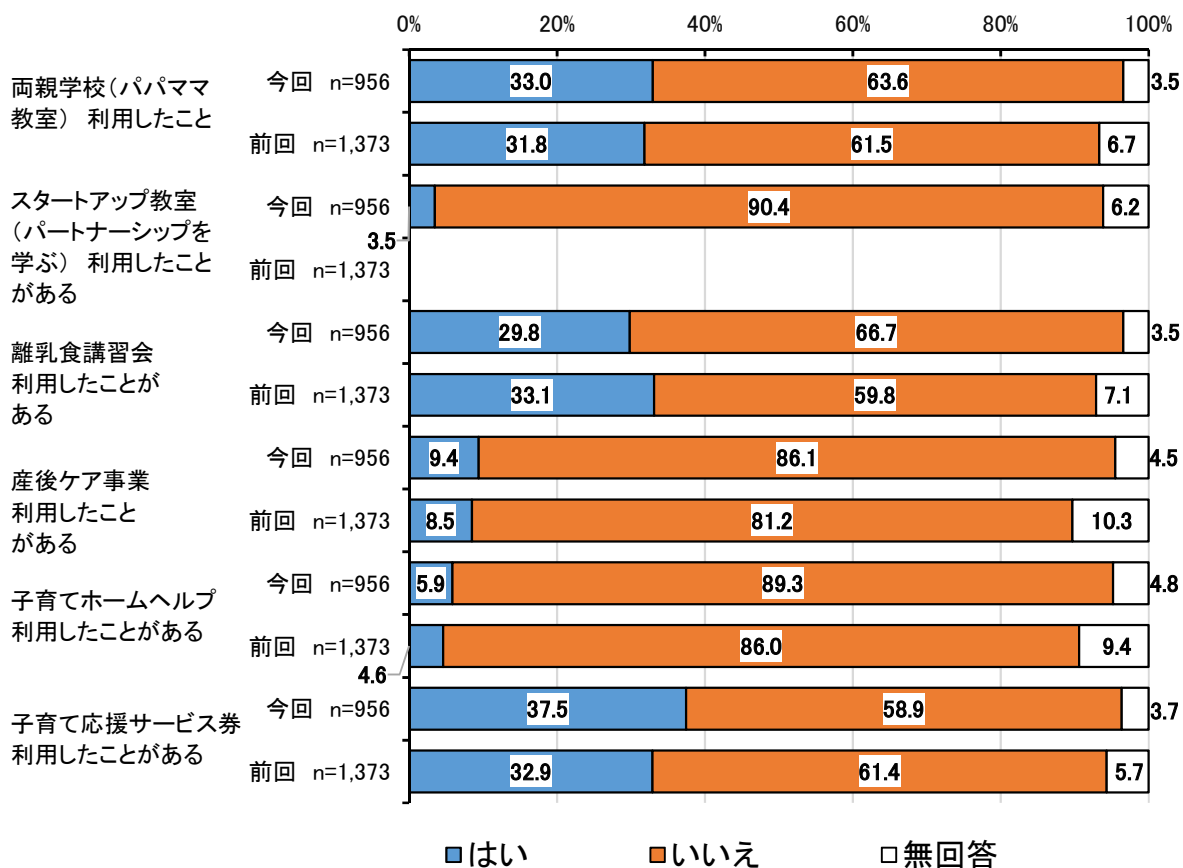
三豊市の子育て支援の取組を今後利用したいかをみると、「子育て応援サービス券」を除くすべての取組について「いいえ」の割合が最も高くなっています。一方、「子育て応援サービス券」は「はい」59.0%、「いいえ」35.3%となっています。前回調査と比較すると、「子育てホームヘルプ」の「はい」が8.4ポイントと最も増加しており、「離乳食講習会」の「はい」が1.9ポイントと若干ですが唯一減少しています。

※ 前回調査は「スタートアップ教室（パートナーシップを学ぶ）」の項目はありませんでした。

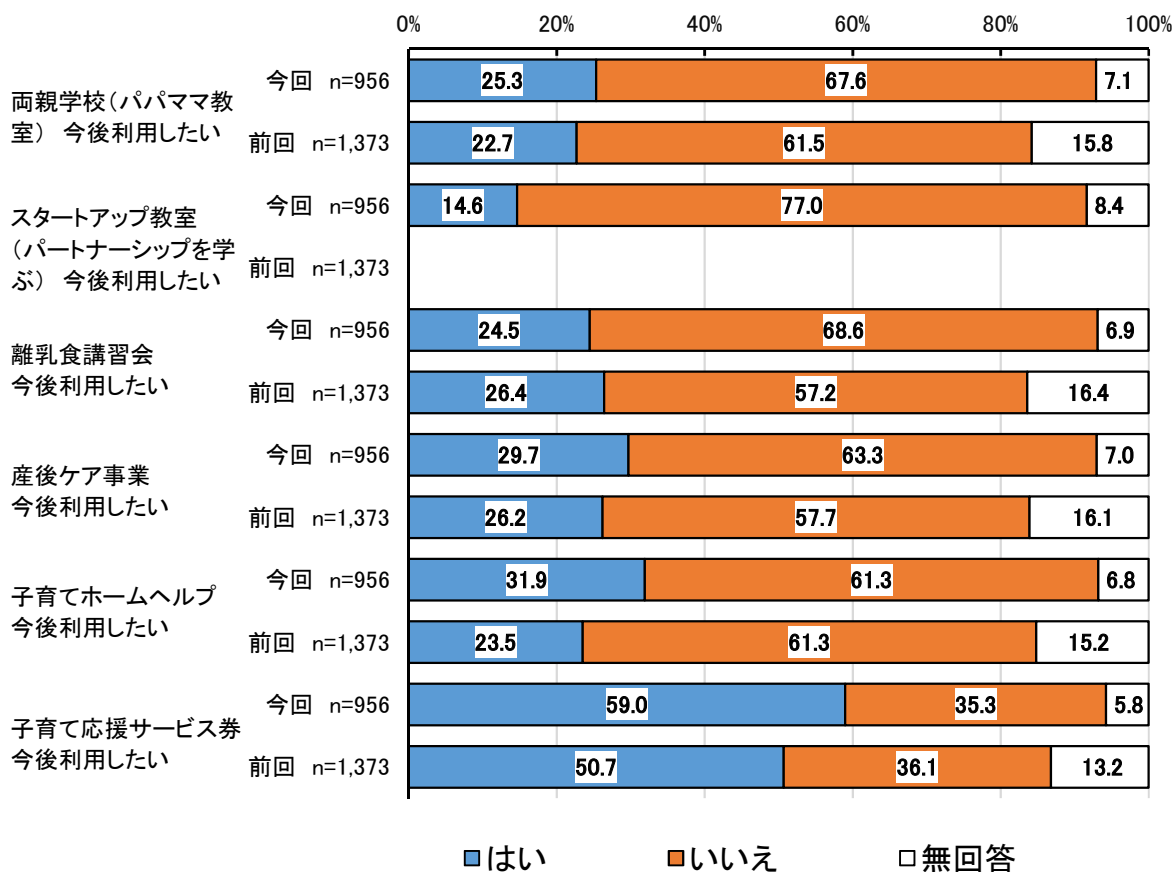
【(1) 知っている】



【(2) 利用したことがある】



【(3) 今後利用したい】

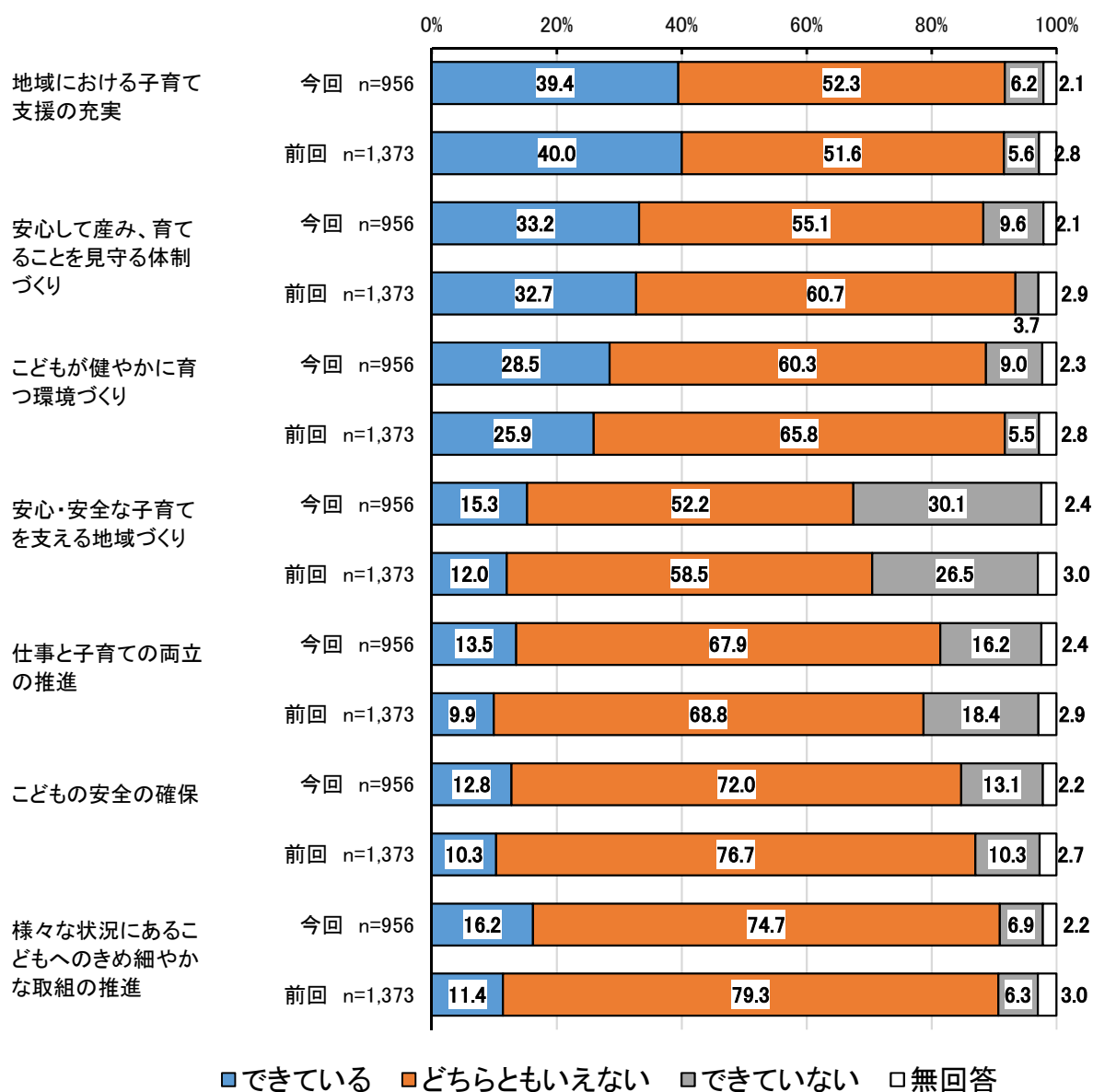


問 57 三豊市の子育て支援の取組分野について、(1) 現状評価、(2) 今後の重要度それぞれに、あなたの考えに最も近い番号 1 つずつに○をつけてください。

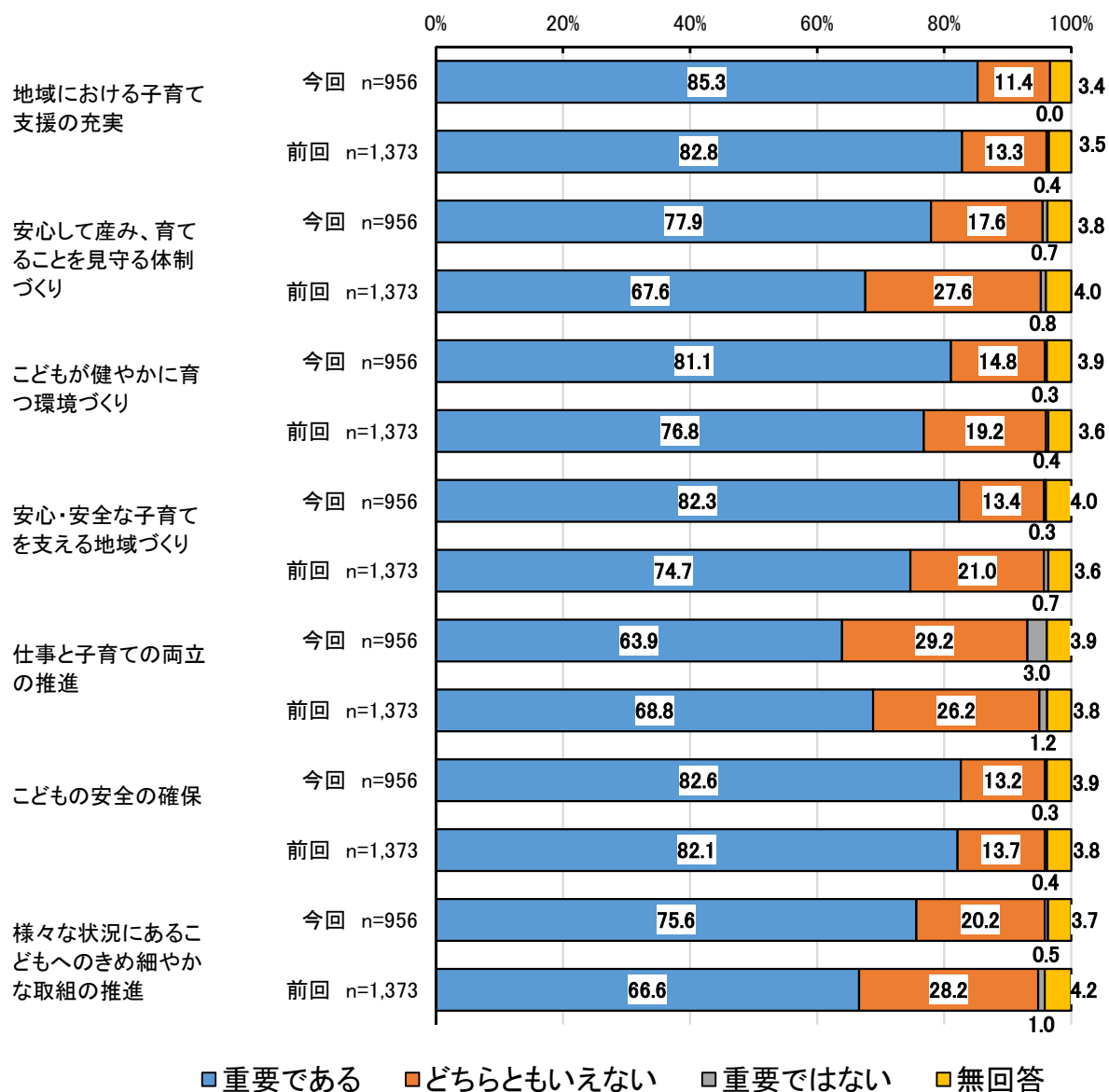
三豊市の子育て支援の取組分野についての現状評価をみると、すべての項目について「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。「地域における子育て支援の充実（保育、地域の子育て支援サービス、児童館、放課後児童クラブなど）」は他の項目と比べて「できている」の割合が39.4%と最も高くなっています。前回調査と比較すると、「様々な状況にある子どもへのきめ細やかな取組の推進（ひとり親家庭、障がいのある子どもへの支援など）」の「できている」が4.8ポイントと最も増加しています。

今後の重要度をみると、すべての項目において「重要である」の割合が最も高くなっています。前回調査と比較すると、「安心して産み、育てることを見守る体制づくり（母子保健、食育、医療サービス、不妊・不育症治療など）」の「重要である」が10.3ポイントと最も増加しています。

【(1) 現状評価】



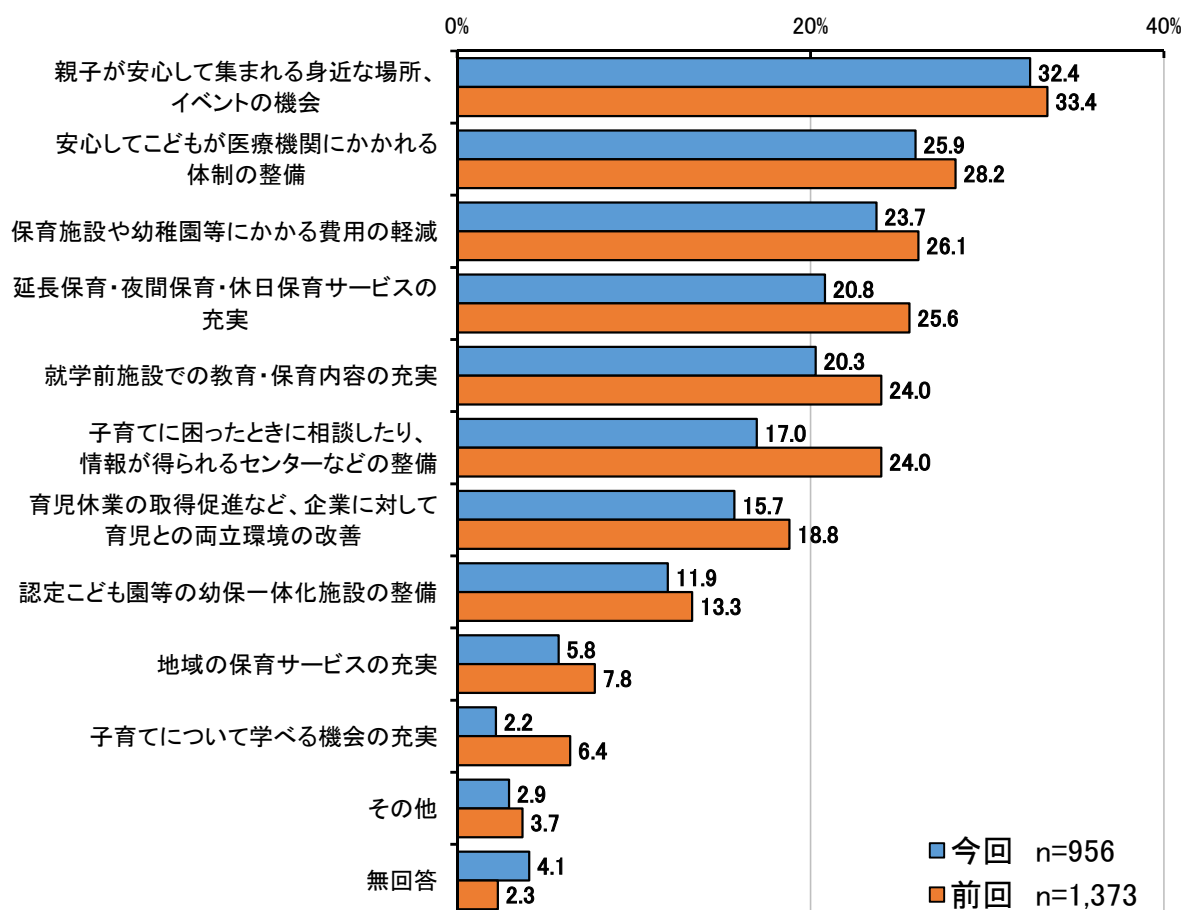
【(2) 今後の重要度】



問 58 三豊市の子育て支援について特に期待することは何ですか。(主なもの2つまでに○)

市の子育て支援について特に期待することをみると、「親子が安心して集まれる身近な場所、イベントの機会」の割合が32.4%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」25.9%、「保育施設や幼稚園等にかかる費用の軽減」23.7%となっています。

前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっていますが、「子育てに困ったときに相談したり、情報が得られるセンターなどの整備」が7.0ポイントと最も減少しています。



【その他の回答】(全19件)

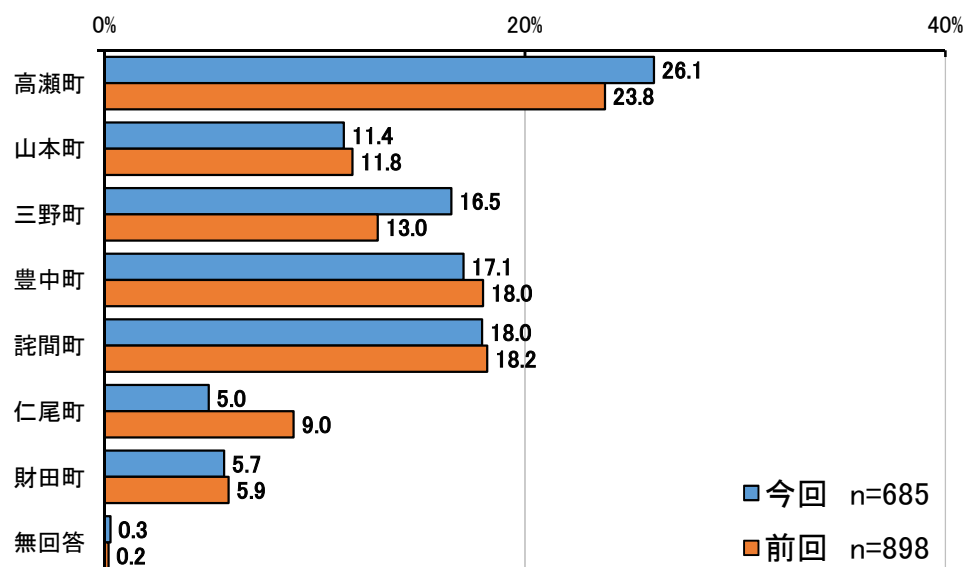
- ・市内に小児科を増やしてほしい 5件
- ・遊び場の充実 4件
- ・ほっとはうす萩のような施設
- ・仕事をしていなくても保育施設を利用できる制度 2件
- ・学童の給食
- ・子育てと仕事の両立環境
- ・療育「のびのび相談」のできる回数を増やしてほしい など
- ・室内で遊べる施設の充実 4件
- ・経済的な支援 3件
- ・病児保育の充実
- ・幼児教育
- ・消えそうな横断歩道の修繕工事

Ⅲ 調査結果 小学生児童

1 お住いの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地区はどちらですか。(〇は1つ)

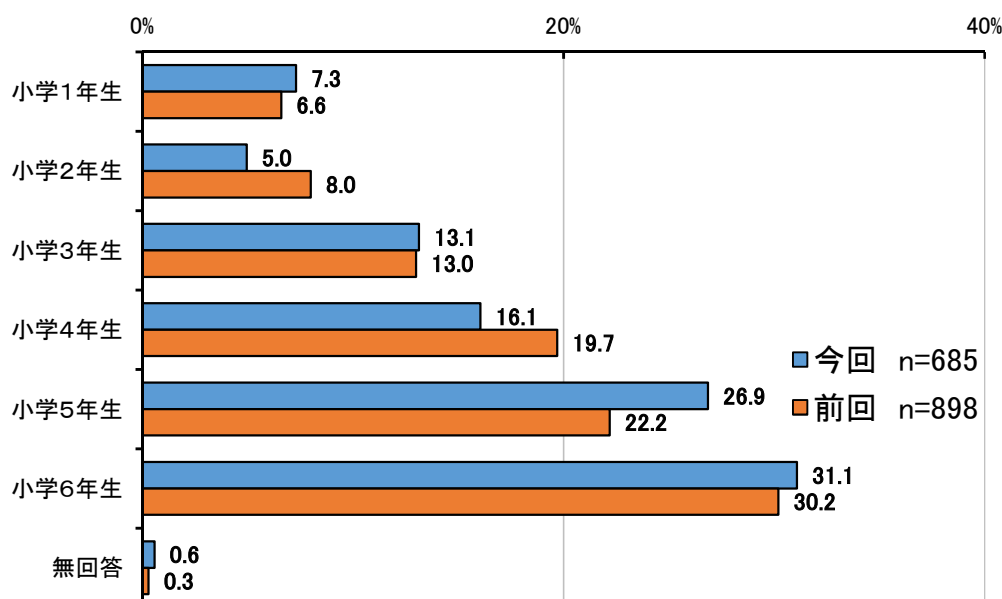
居住地区をみると、「高瀬町」の割合が26.1%と最も高く、次いで「詫間町」18.0%、「豊中町」17.1%となっています。



2 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 あて名のお子さんの令和6年度の学年をお答えください。(〇は1つ)

こどもの学年をみると、「小学6年生」の割合が31.1%と最も高く、次いで「小学5年生」26.9%、「小学4年生」16.1%となっています。

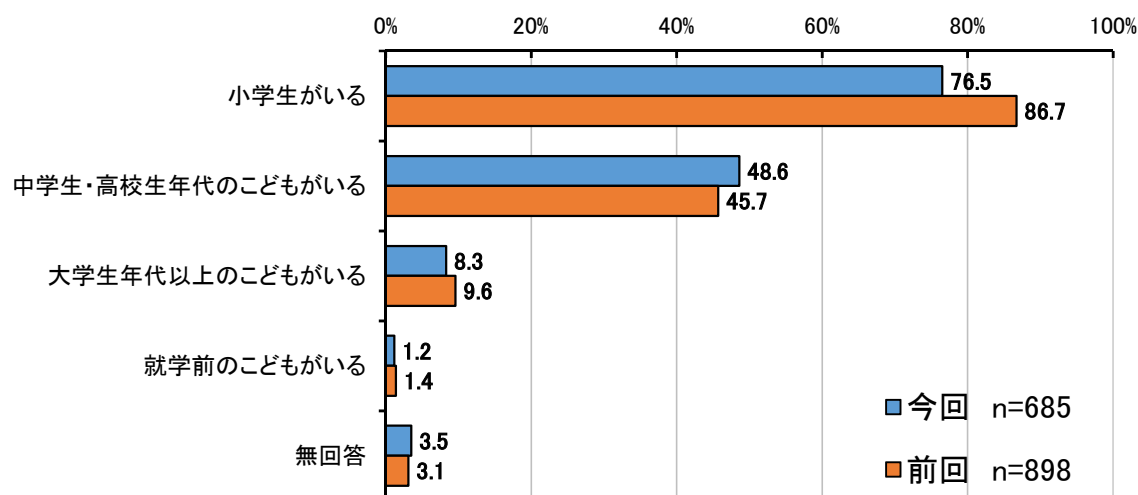


問3 あて名のお子さんを含め、ご家庭の状況はどれにあてはまりますか。(○はいくつでも)

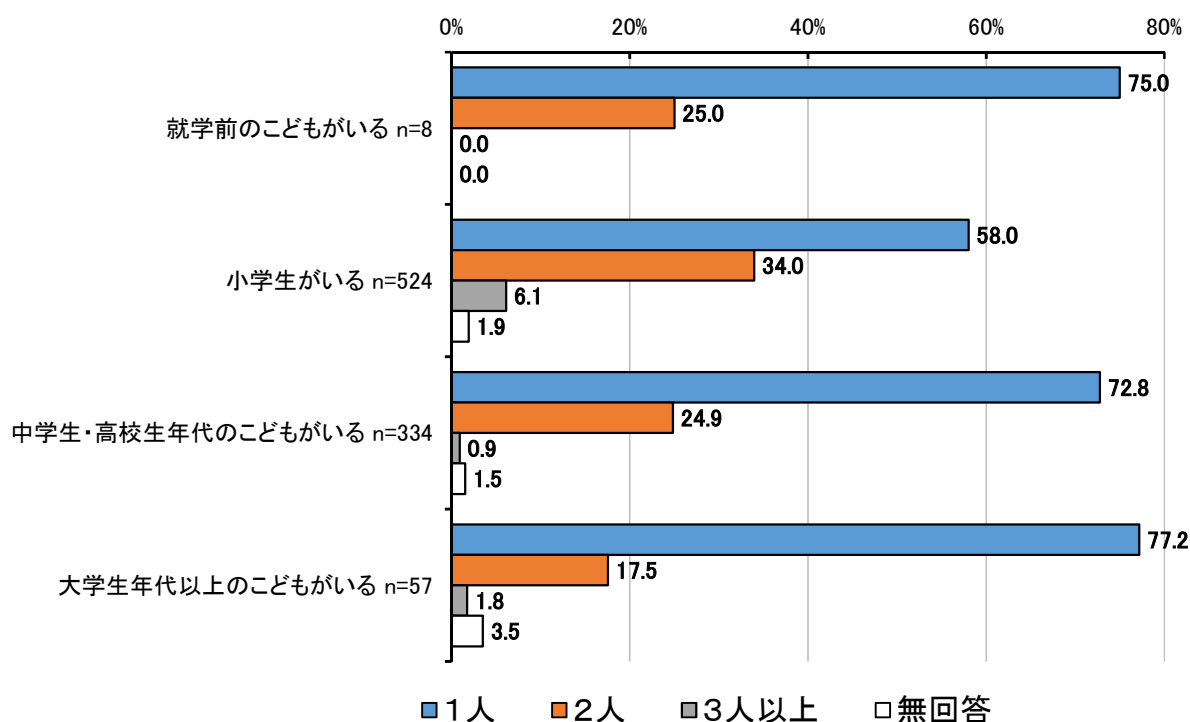
家庭の状況を見ると、「小学生がいる」の割合が76.5%と最も高くなっており、次いで「中学生・高校生年代の子どもがいる」48.6%、「大学生年代以上の子どもがいる」8.3%、「就学前の子どもがいる」1.2%となっています。

前回調査と比較すると、「小学生がいる」が10.2ポイント減少しています。

子どもの状況別人数をみると、すべての項目で「1人」の割合が最も高くなってしています。



【人数】

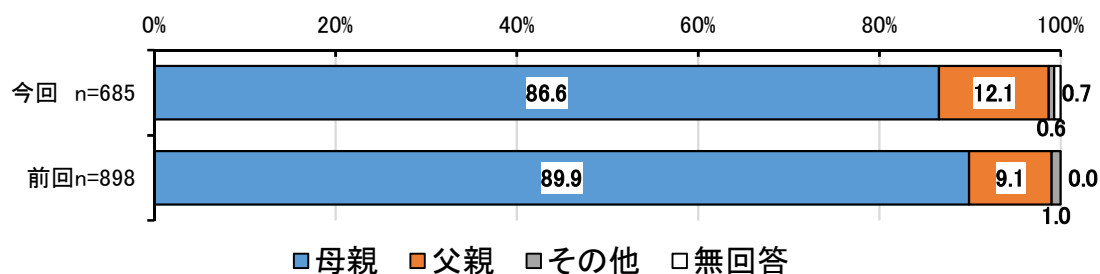


問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

回答者をみると、「母親」の割合が86.6%と最も高く、次いで「父親」12.1%、「その他」0.6%となっています。

前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。



【その他の回答】(全3件)

・祖母 2件

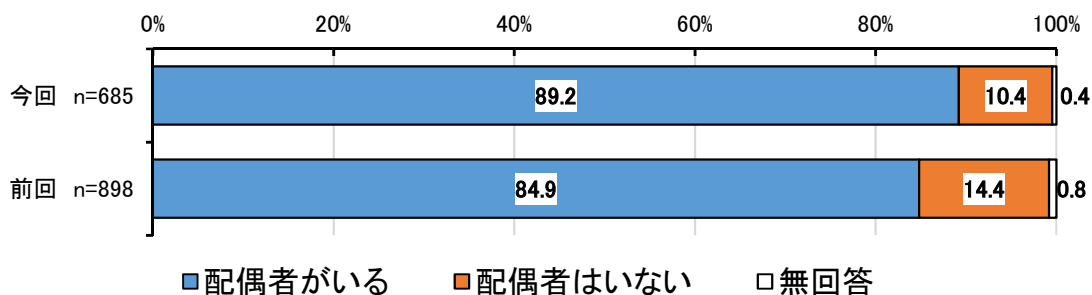
・父母

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。

なお、「配偶者」には、婚姻の届け出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含みます。(○は1つ)

回答者の配偶者の有無をみると、「配偶者がいる」の割合が89.2%、「配偶者はいない」が10.4%となっています。

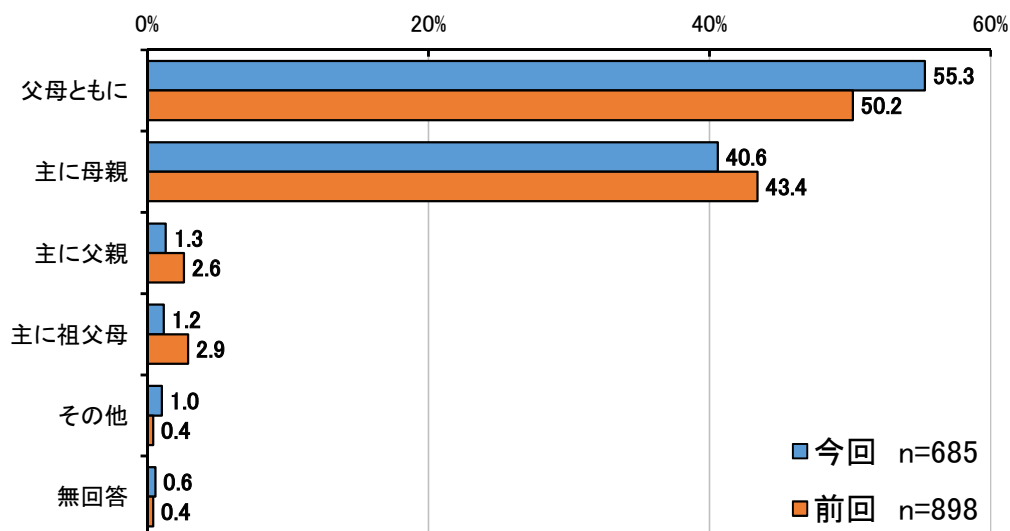
前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっていますが、「配偶者がいる」が4.3ポイント増加しており、「配偶者はいない」は4.0ポイント減少しています。



問6 あて名のお子さんの子育て（教育含む）を主におこなっているのはどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

こどもの子育てを主におこなっている人をみると、「父母ともに」の割合が55.3%と最も高く、次いで「主に母親」40.6%となっています。

前回調査と比較すると、「父母ともに」が5.1ポイントと最も増加しています。



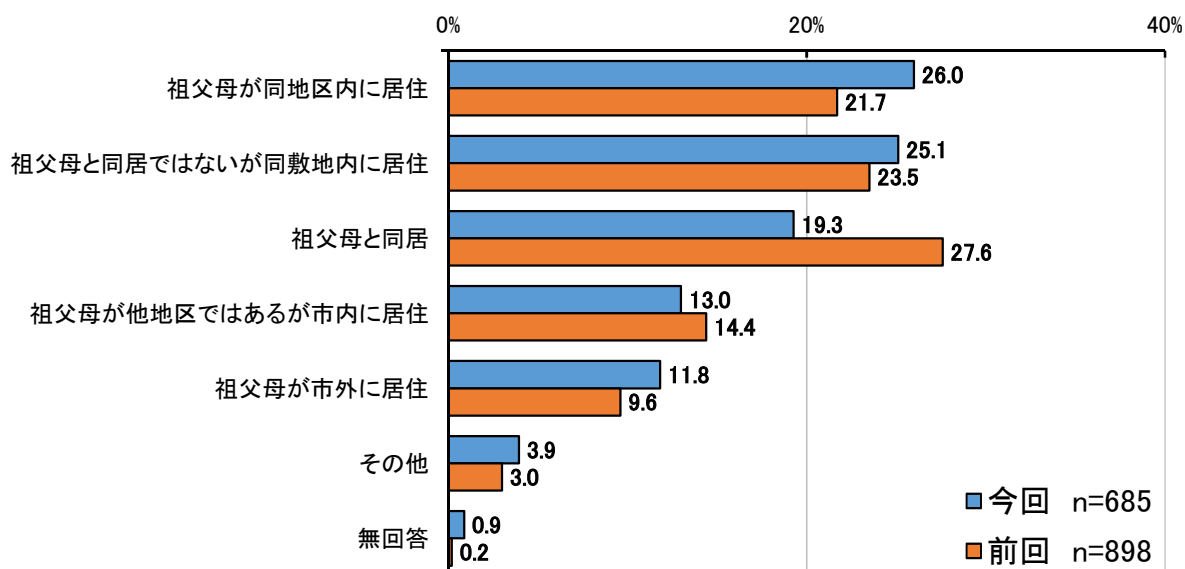
【その他の回答】（全6件）

- ・ 父母・祖母 2件
- ・ 両親と祖父母 2件
- ・ 母、祖母
- ・ 母親70%父親30%

問7 世帯の状況は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

世帯の状況についてみると、「祖父母が同地区内に居住」の割合が26.0%と最も高く、次いで「祖父母と同居ではないが同敷地内に居住」25.1%、「祖父母と同居」19.3%となっています。

前回調査と比較すると、「祖父母と同居」が8.3ポイントと最も減少しています。



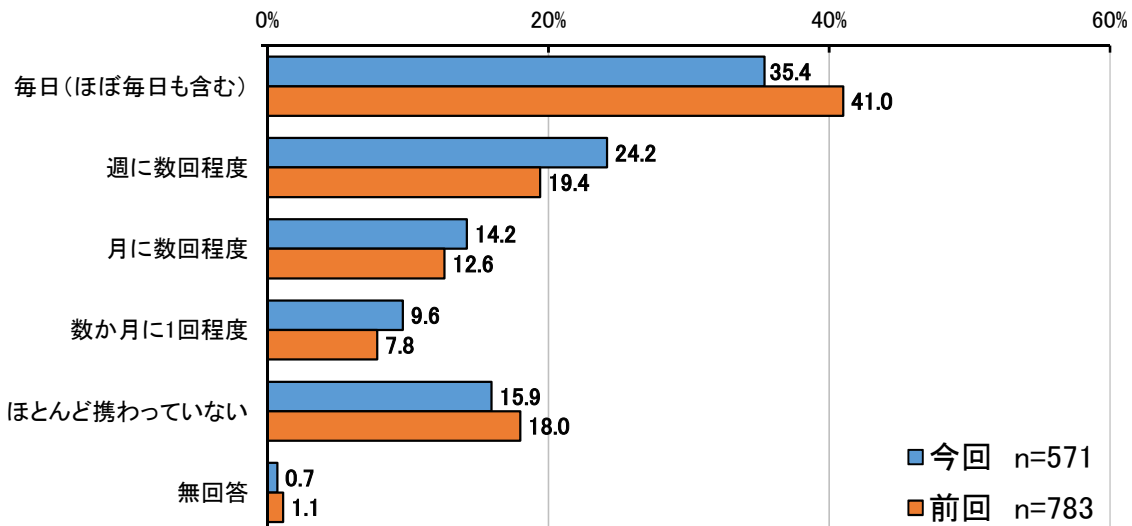
【その他の回答】（全 21 件）

- ・祖父母は他界している 3 件
- ・祖母と同居 2 件
- ・祖父、曾祖母と同居
- ・母親死亡、祖父母と孫の家庭
- ・祖父と同居
- ・祖父は死亡、祖母は再婚の為関東在住
- ・曾祖父母、祖父母と同居 など

問 8 問 7 で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。祖父母がこどもの世話をする等、子育てに携わる頻度はどのくらいですか。（○は 1 つ）

祖父母と同居を含めて、祖父母が市内に住んでいる人で、祖父母が子育てに携わる頻度をみると、「毎日（ほぼ毎日を含む）」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「週に数回程度」24.2%、「月に数回程度」14.2%となっており、一方「ほとんど携わっていない」は 15.9%となっています。

前回調査と比較すると、「週に数回程度」が 4.8 ポイント増加しており、「毎日（ほぼ毎日を含む）」が 5.6 ポイント減少しています。



【その他の回答】（全 77 件）

- ・祖父母の仕事のため 12 件
- ・高齢のため 10 件
- ・病気、体調がよくないため 7 件
- ・自分の生活がある為 4 件
- ・極力頼らないようにしているから 4 件
- ・不仲のため 4 件
- ・こどもが大きくなったから 4 件
- ・必要性がないため 3 件
- ・遠方のため 3 件
- ・祖父母が忙しいから 2 件
- ・父と母で子育てできるため 2 件
- ・わりきっているため
- ・兄弟のこどもの面倒をみているため 2 件 など

3 あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を、母親、父親それぞれについてお答えください。（○は1つ）

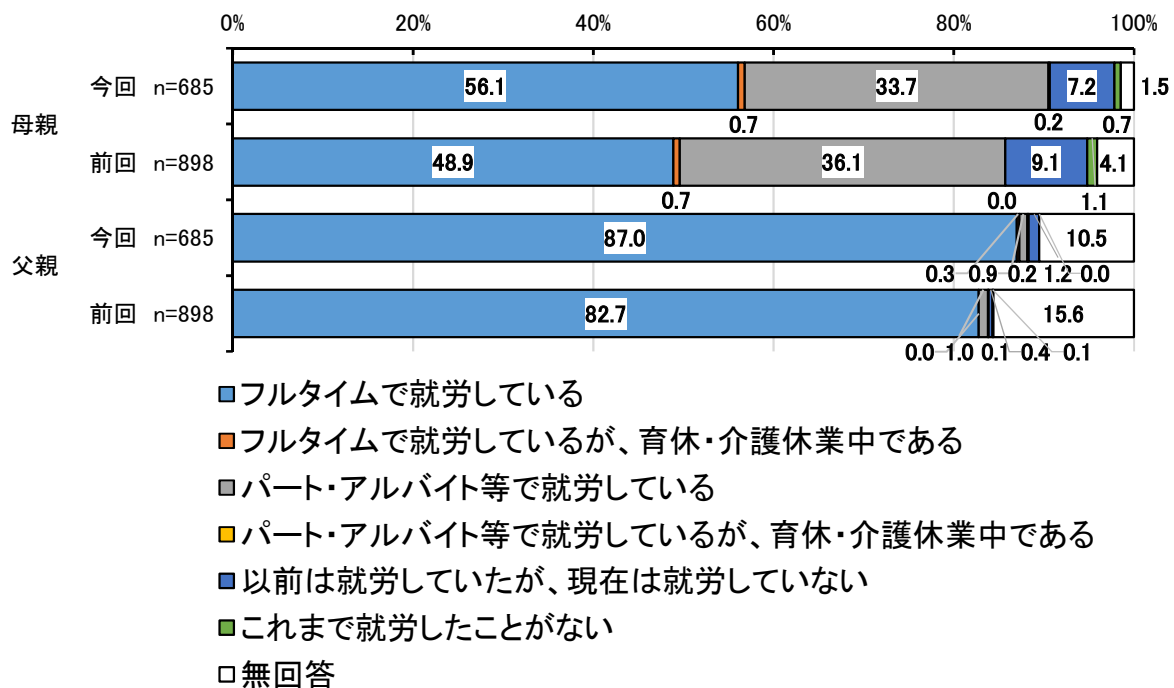
（ひとり親家庭の場合は該当する設問のみ回答。（以下、同様））

※「フルタイム」：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※「パート・アルバイト等」：「フルタイム」以外の短時間の就労

保護者の就労状況をみると、母親は『フルタイム就労』（「フルタイムで就労している」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の合計、以下同じ）の割合が56.8%となっています。『パート・アルバイト就労』（「パート・アルバイト等で就労している」と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の合計）が33.9%となっており、『就労していない』（「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」の合計）7.9%となっています。父親は、『フルタイム就労』は87.3%となっています。

前回調査と比較すると、母親は『フルタイム就労』が7.2ポイント増加しており、『パート・アルバイト就労』は2.2ポイント減少しています。



問 10 問 9 の (1) または (2) で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」について、
[] 内に数字でご記入ください。

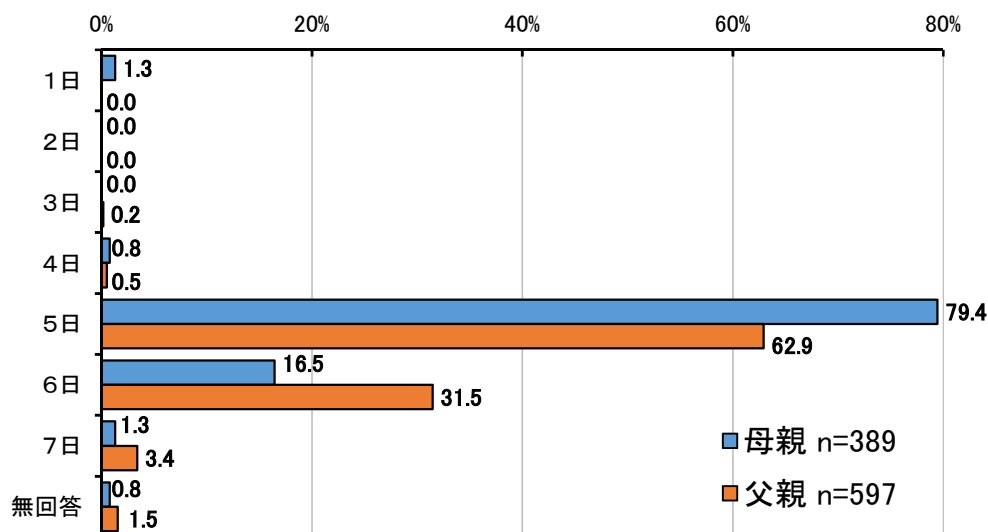
(就労日数や就労時間が一定でない場合は平均的なパターンを回答)

※「2」または「4」に○をつけた方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

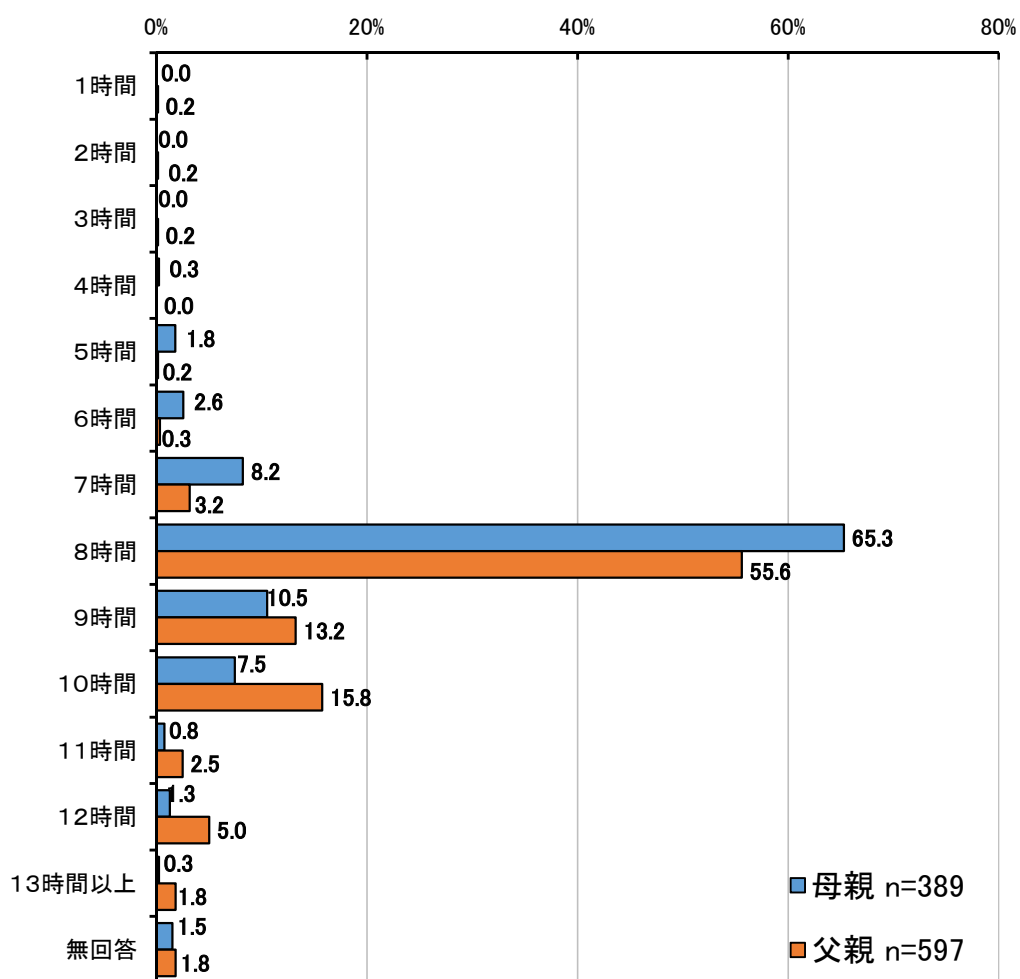
就労している人の就労日数と就労時間をみると、フルタイムは、1 週間あたり「5 日」の割合が、母親 79.4%、父親 62.9%とともに最も高くなっており、1 日あたりの時間は、「8 時間」が母親 65.3%、父親 55.6%とともに最も高くなっています。

パートタイム・アルバイト等をみると、1 週間あたり「5 日」の割合が、母親 60.2%、父親 42.9%（「6 日」と同率）とともに最も高くなっており、1 日あたりの時間は、「6 時間」が母親 27.3%、父親 28.6%（「5 時間」と同率）とともに最も高くなっています。

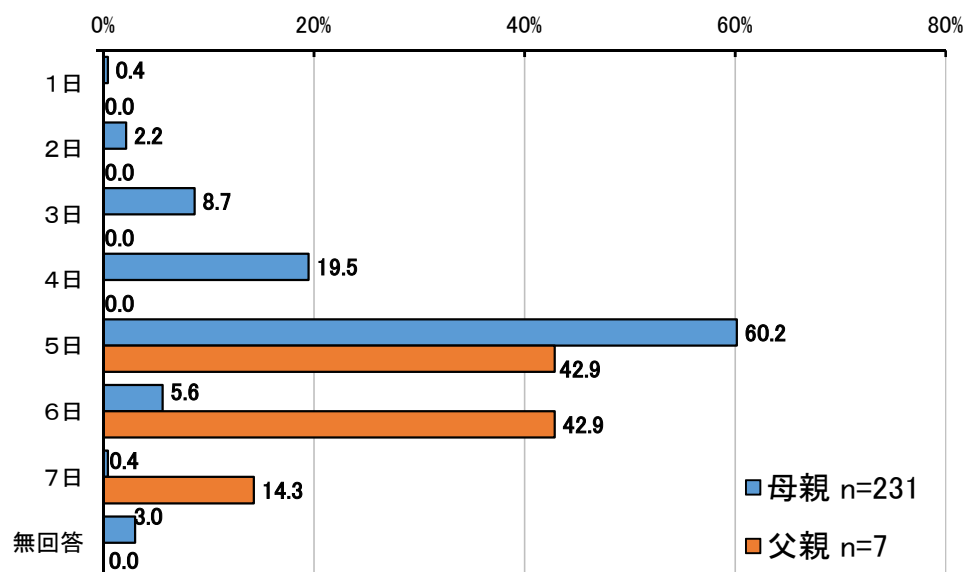
【フルタイム・1 週間あたり】



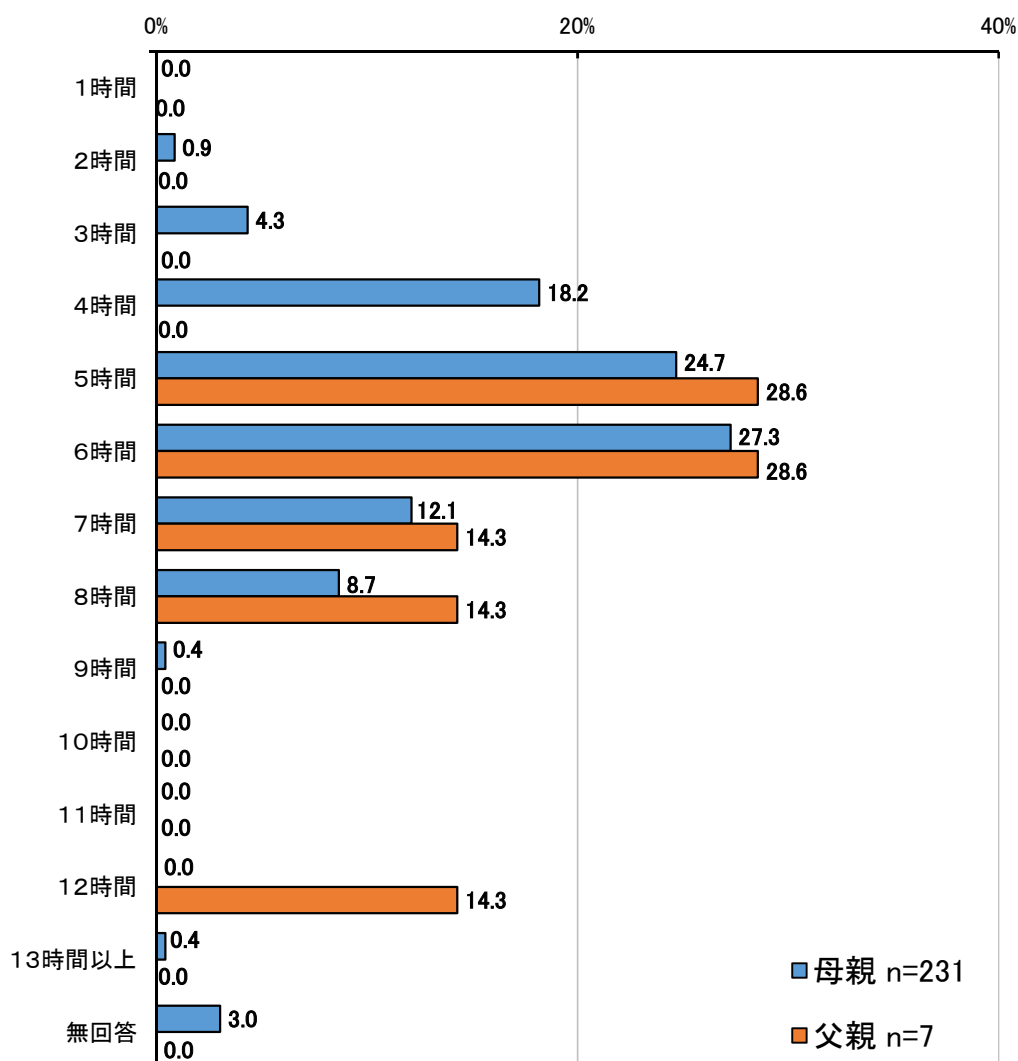
【フルタイム・1日あたり】



【パート・アルバイト・1週間あたり】



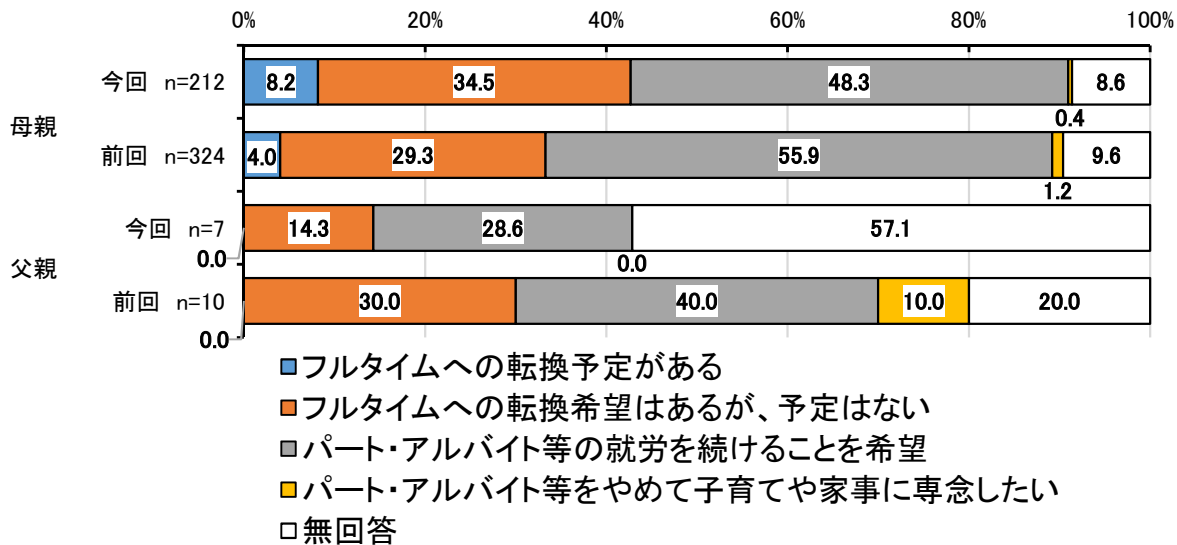
【パート・アルバイト・1日あたり】



問11 問9の(1)または(2)で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望をみると、母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が48.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」34.5%、「フルタイムへの転換予定がある」8.2%となっています。前回調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」が5.2ポイント増加しており、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は7.6ポイント減少しています。

父親をみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が28.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」14.3%となっています。前回調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」が15.7ポイント減少しており、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は11.4ポイント減少しています。



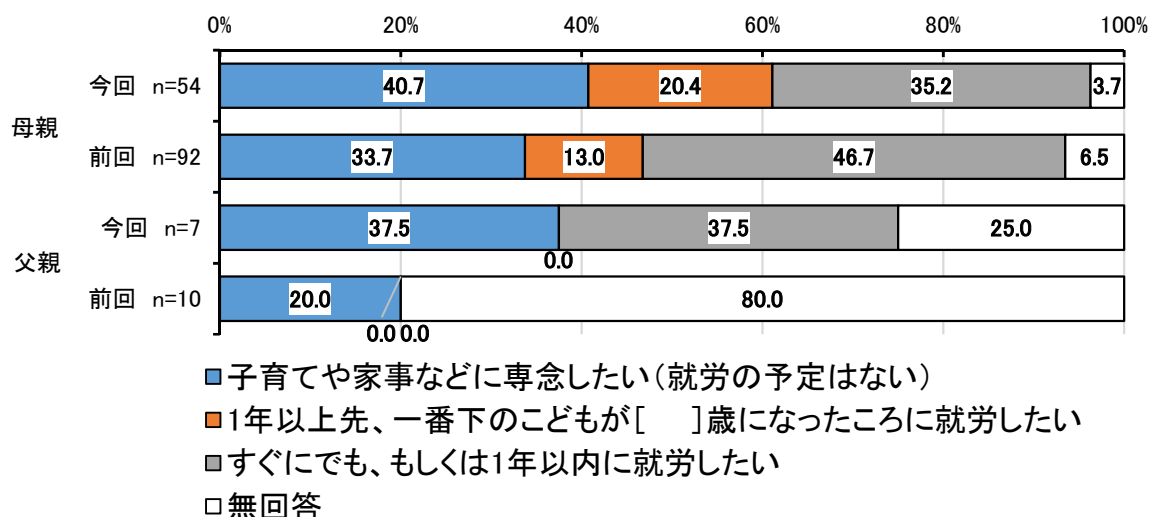
問 12 問 9 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する〔 〕内には数字でご記入ください。

現在就労していない人の就労への希望についてみると、母親は、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」35.2%、「1年以上先、一番下のこどもが〔 〕歳になったところに就労したい」20.4%となっています。前回調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が11.5ポイント減少しています。

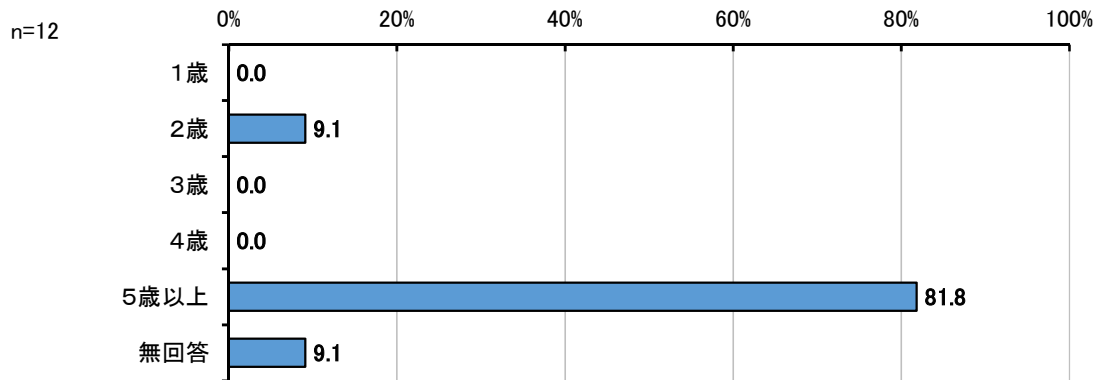
父親をみると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに37.5%と最も高くなっています。

就労を希望するこどもの年齢をみると、「5歳以上」の割合が81.8%と最も高くなっています。

【就労への希望】

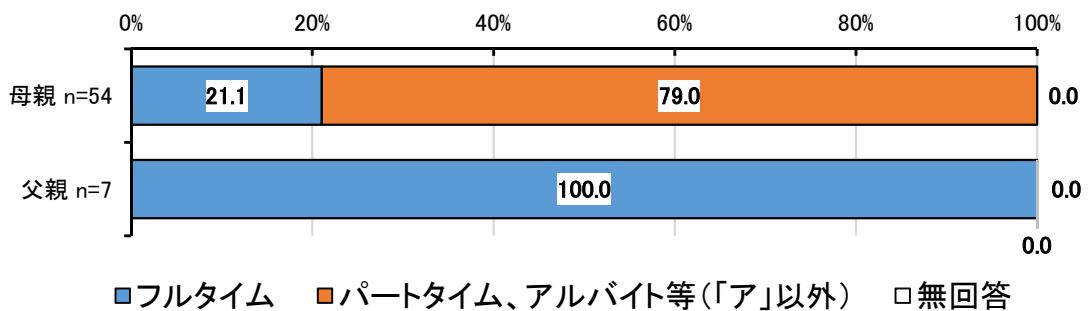


【就労を希望するこどもの年齢・母親】

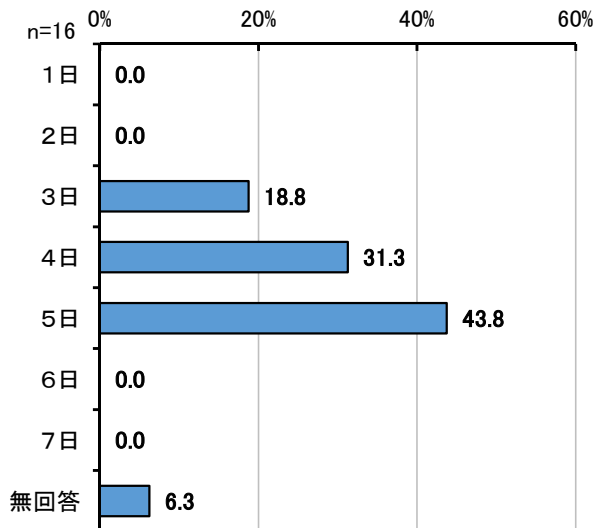


※父親の回答はありませんでした。

【1年以内に希望する就労形態】

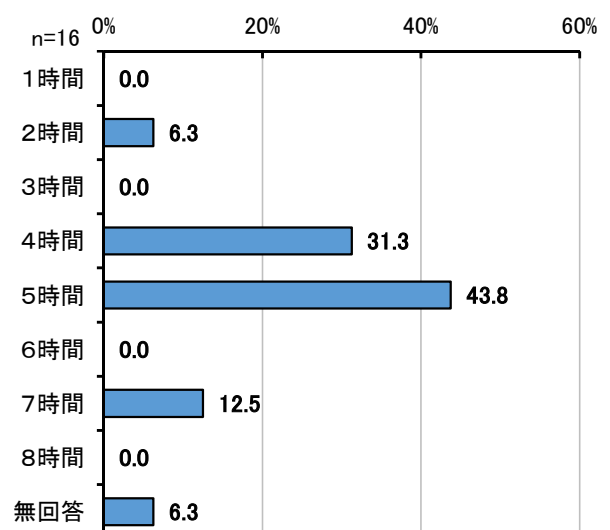


【1年以内に希望する就労形態・
1週間あたり・母親】



※父親の回答はありませんでした。

【1年以内に希望する就労形態・
1日あたり・母親】



※父親の回答はありませんでした。

4 あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

問 13 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

それぞれに利用している週あたりの日数について〔 〕内に数字でご記入ください。

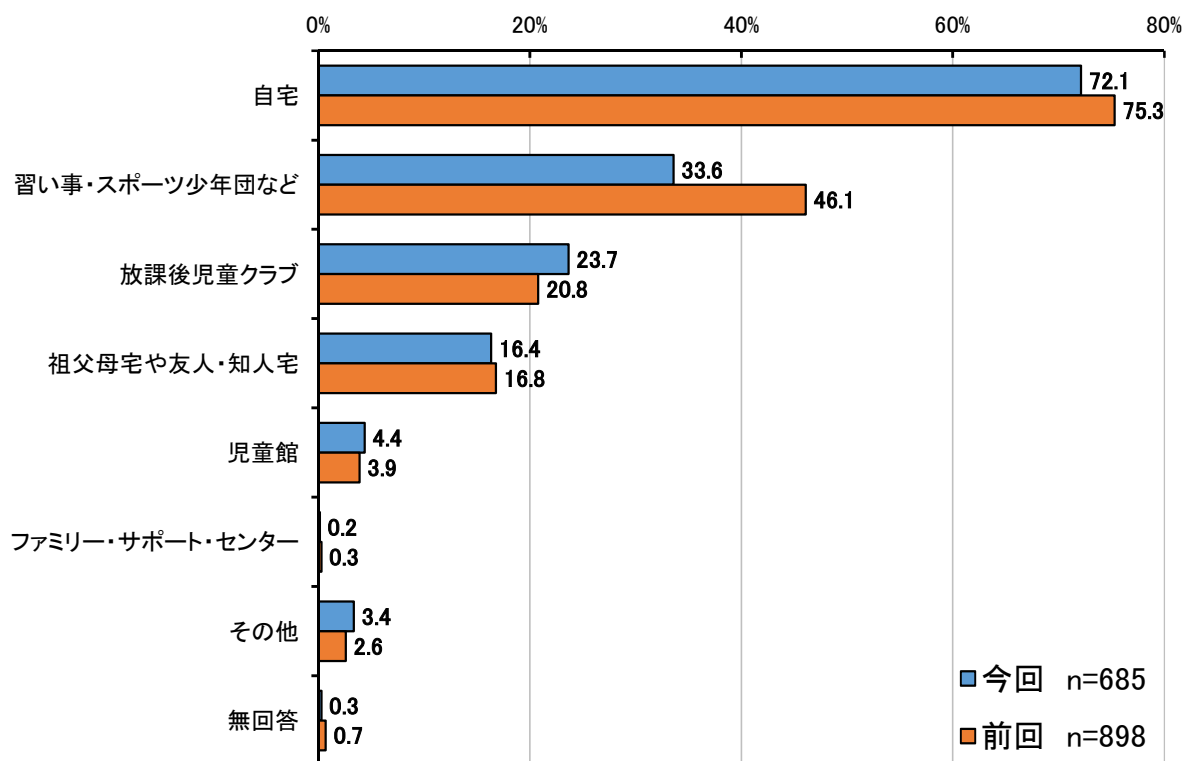
また、「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合は現在利用している時間も〔 〕内に数字でご記入ください。

※時間は～18:00のように、24 時間制で記入

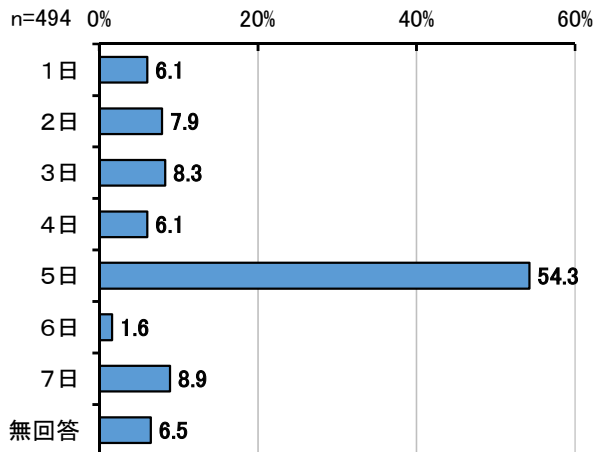
現在、放課後の時間過ごしている場所をみると、「自宅」の割合が72.1%と最も高く、次いで「習い事・スポーツ少年団など」33.6%、「放課後児童クラブ」23.7%となっています。前回調査と比較すると、「習い事・スポーツ少年団など」が12.5ポイントと最も減少しています。

それぞれの場所を利用している週あたりの日数をみると、「習い事・スポーツ少年団など」を除くすべての場所は「5日」の割合が最も高く、「習い事・スポーツ少年団など」は「2日」の割合が最も高くなっています。

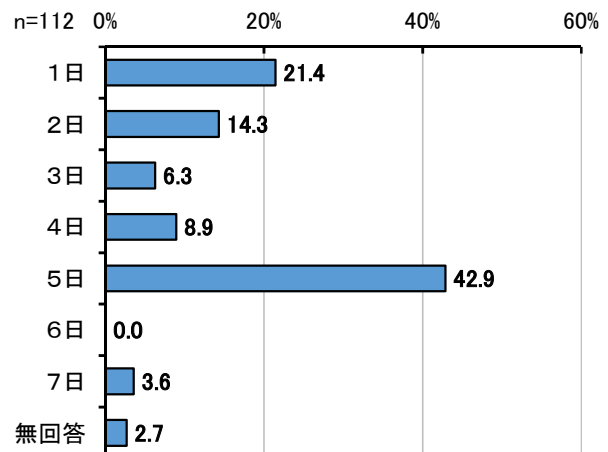
【放課後の過ごし方】



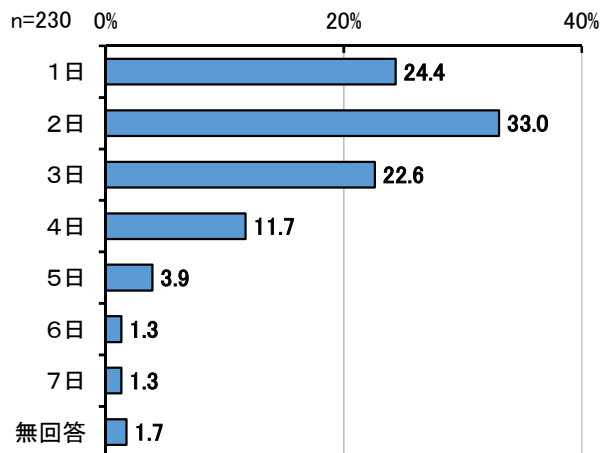
【利用している週あたりの日数・自宅】



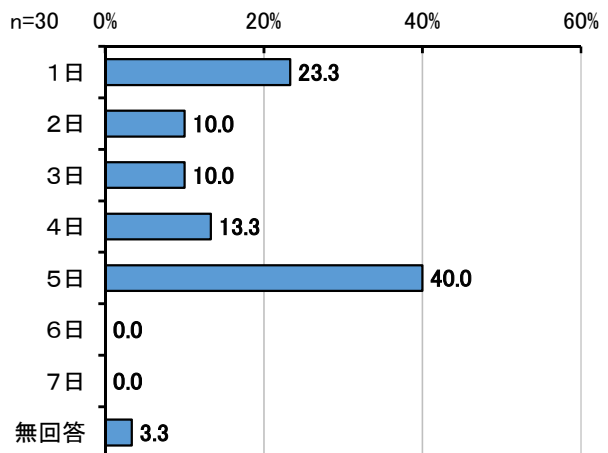
【利用している週あたりの日数・祖父母宅や友人・知人宅】



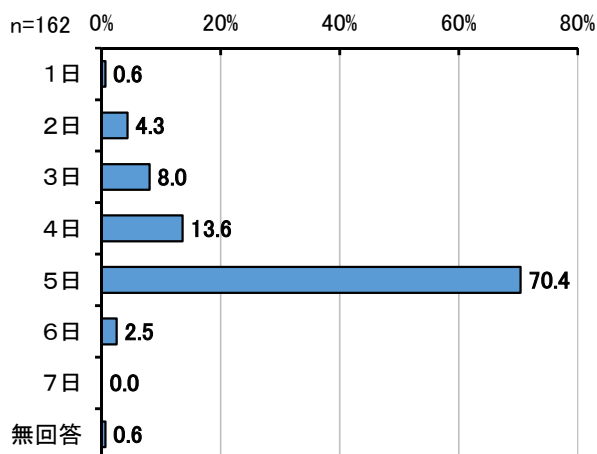
【利用している週あたりの日数・習い事・スポーツ少年団など】



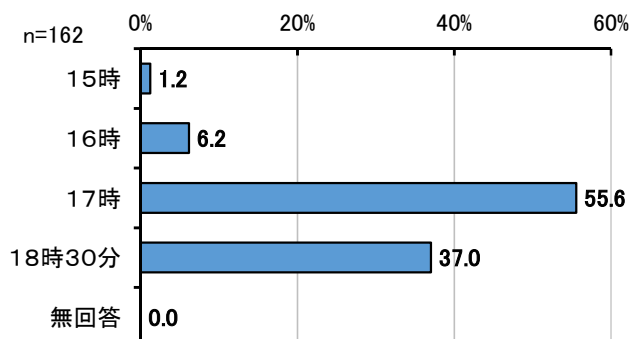
【利用している週あたりの日数・児童館】



【利用している週あたりの日数・放課後児童クラブ】



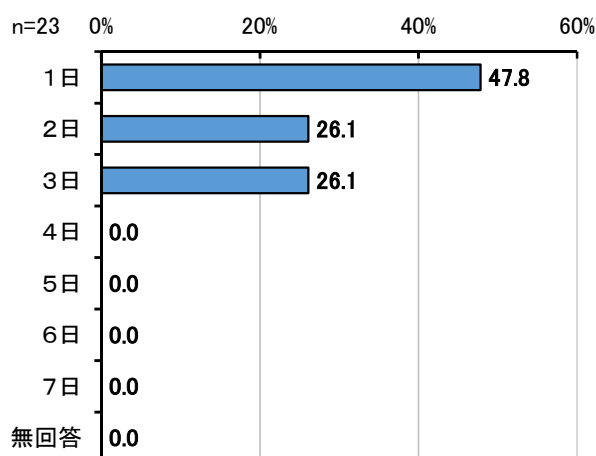
【利用している時間・放課後児童クラブ時まで】



【利用している週あたりの日数・ファミリー・サポート・センター】

「5日」に1件の回答がありました。

【利用している週あたりの日数・その他】



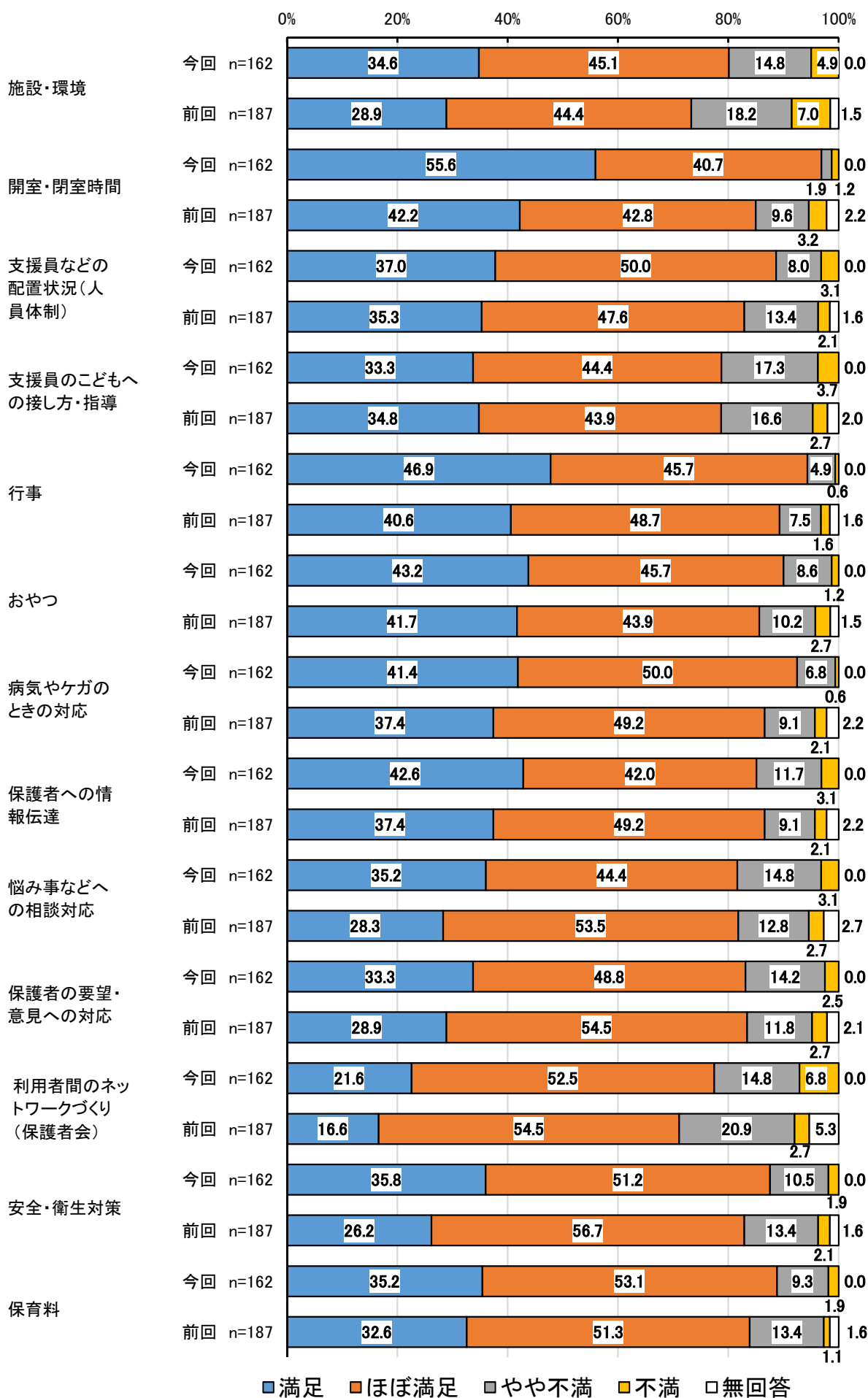
問14 問13で「5.放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

放課後児童クラブにおける次の項目に対して、どのように感じていますか。

（項目ごとに○は1つ）

放課後児童クラブの満足度をみると、すべての項目について「満足」または「ほぼ満足」の割合が最も高くなっています。『満足』（「満足」と「ほぼ満足」の合計）の割合をみると、「開室・閉室時間」が全項目の中で最も高く、96.3%となっています。『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）の割合をみると、「利用者間のネットワークづくり（保護者会）」が21.6%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「開室・閉室時間」の「満足」が13.4ポイントと最も増加しており、「安全・衛生対策」の「満足」は9.6ポイント増加、「悩み事などへの相談対応」の「満足」は6.9ポイント増加しています。



問 15 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

それぞれに利用を希望する週あたりの日数について〔 〕内に数字でご記入ください。

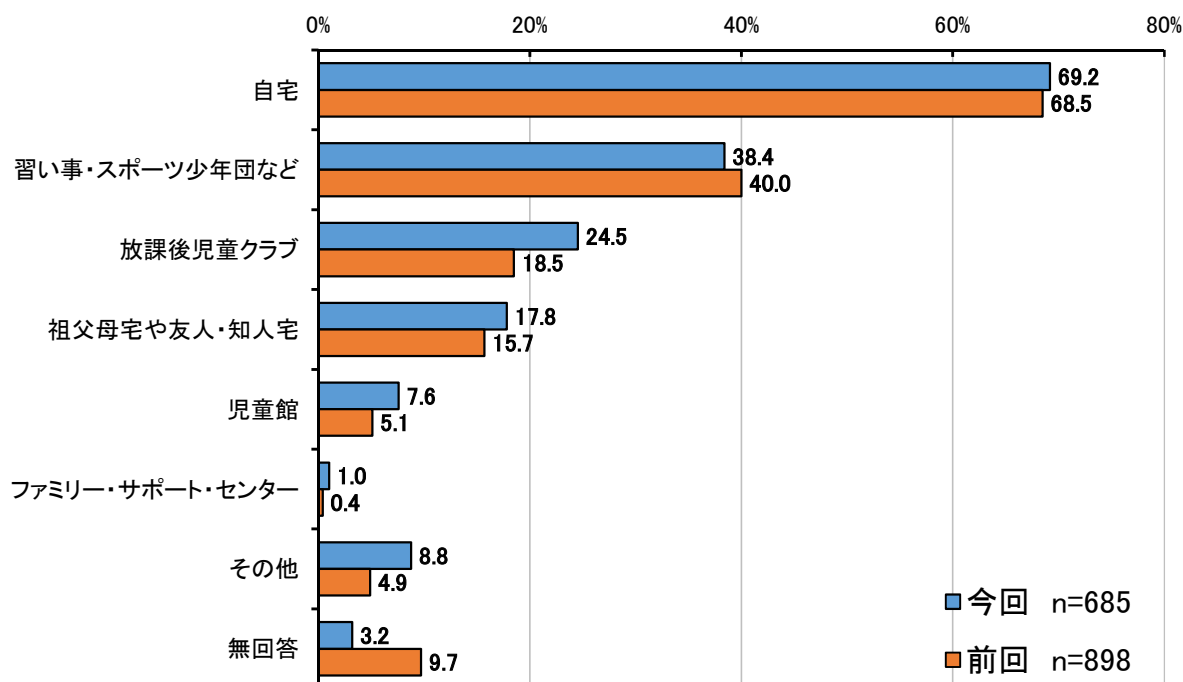
また、「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合は利用を希望する時間も〔 〕内に数字でご記入ください。

※時間は～18:00のように、24 時間制で記入

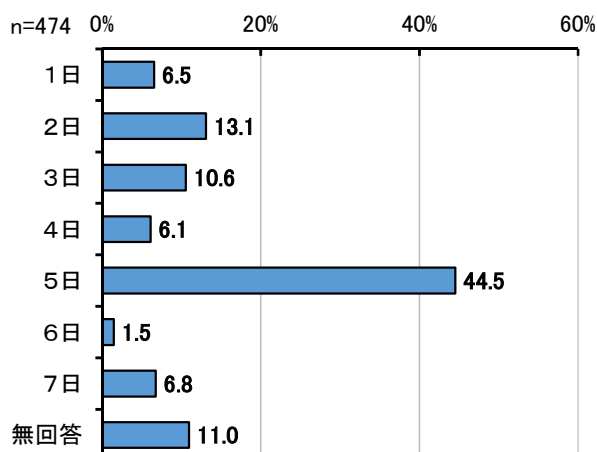
放課後に過ごさせたい場所をみると、「自宅」の割合が69.2%と最も高く、次いで「習い事・スポーツ少年団など」38.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」24.5%となっています。前回調査と比較すると、「放課後児童クラブ」が6.0ポイントと最も増加しています。

それぞれの場所を利用希望する週あたりの日数をみると、「自宅」、「児童館」、「放課後児童クラブ」は「5日」の割合が最も高く、「祖父母宅や友人・知人宅」、「ファミリー・サポート・センター」は「1日」が高く、「習い事・スポーツ少年団など」は「2日」の割合が最も高くなっています。

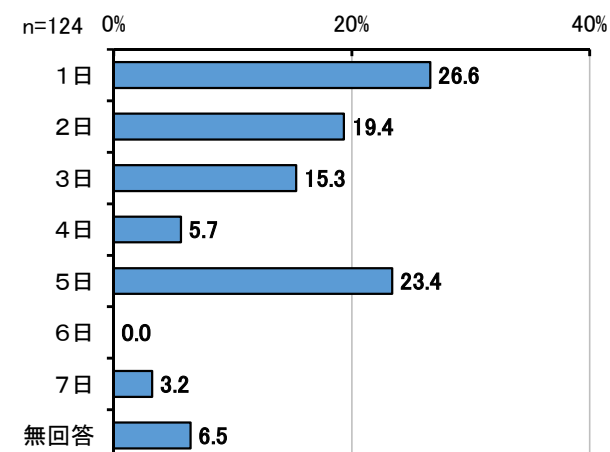
【放課後に過ごさせたい場所】



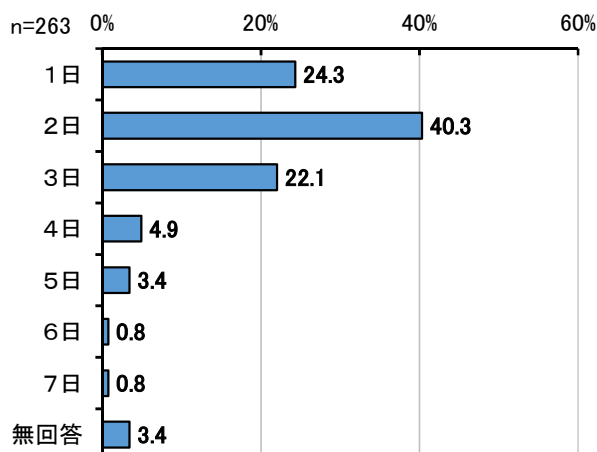
【利用を希望する週あたりの日数・
自宅】



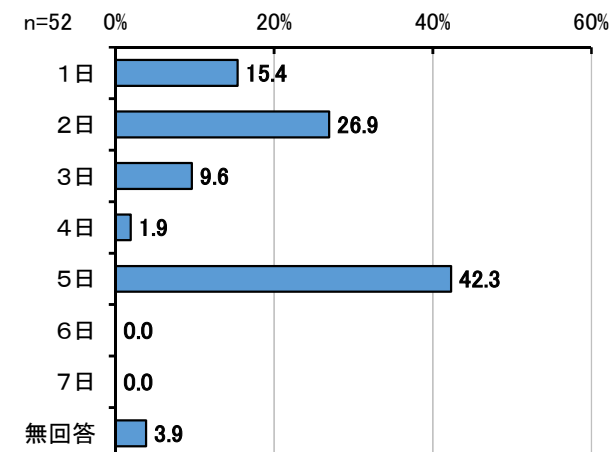
【利用を希望する週あたりの日数・
祖父母宅や友人・知人宅】



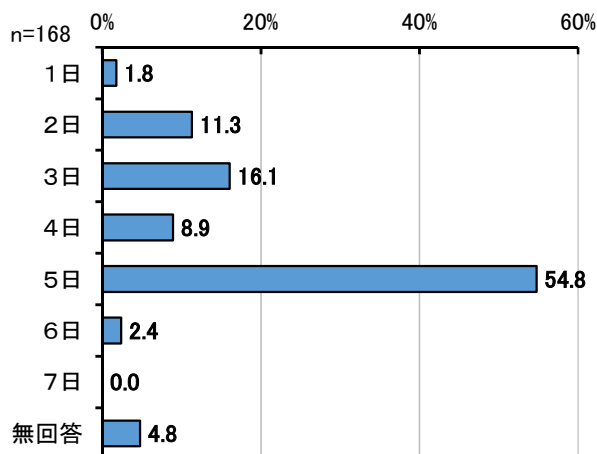
【利用を希望する週あたりの日数・
習い事・スポーツ少年団など】



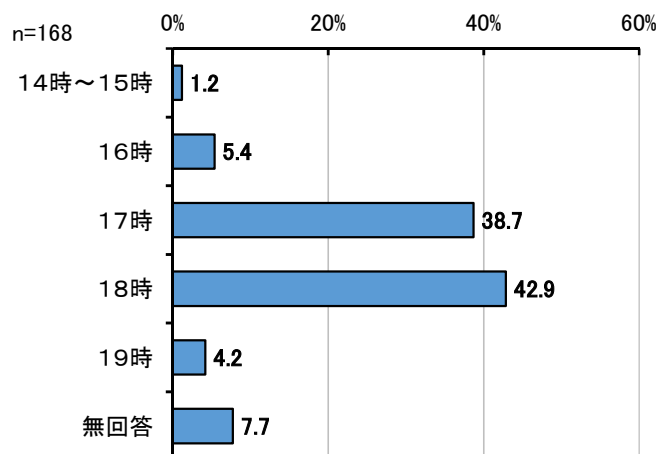
【利用を希望する週あたりの日数・
児童館】



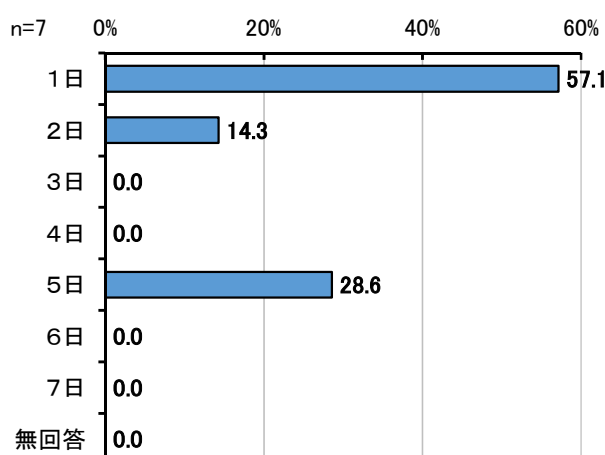
【利用を希望する週あたりの日数・
放課後児童クラブ】



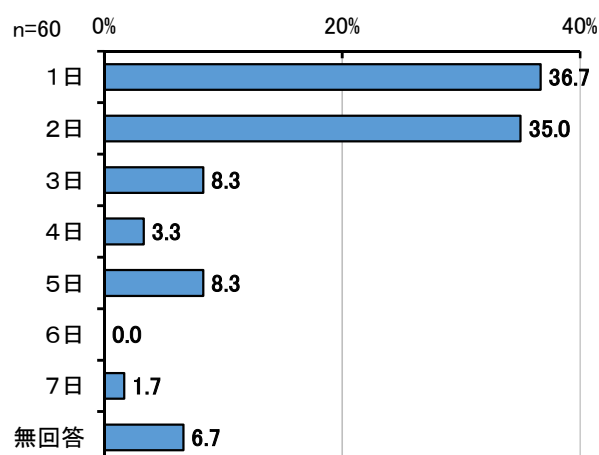
【利用を希望する時間・放課後児童クラブ
時まで】



【利用を希望する週あたりの日数・
ファミリー・サポート・センター】



【利用を希望する週あたりの日数・
その他】



問 16 問 15 で「5.放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

（1）土日祝や夏休みのお盆、冬休みの年末年始時期の利用希望はありますか。

（あてはまるものすべてに○）

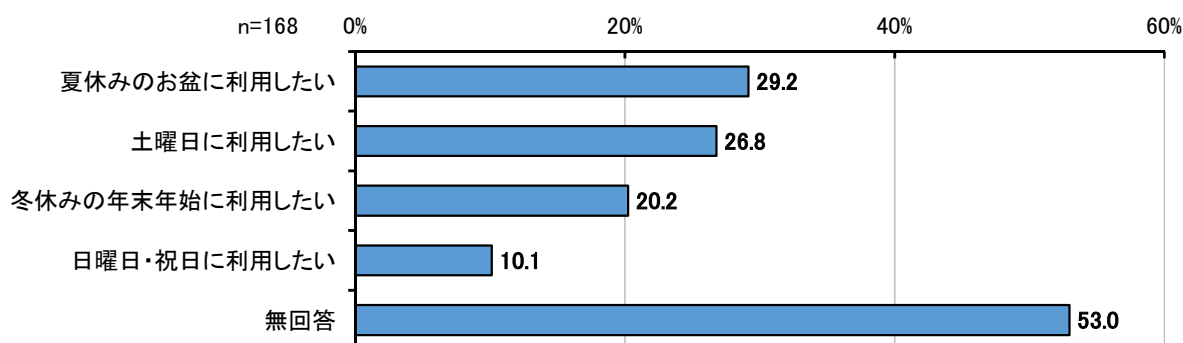
利用を希望する時間も [] 内に数字でご記入ください。

※時間は 9:00～18:00 のように、24 時間制で記入

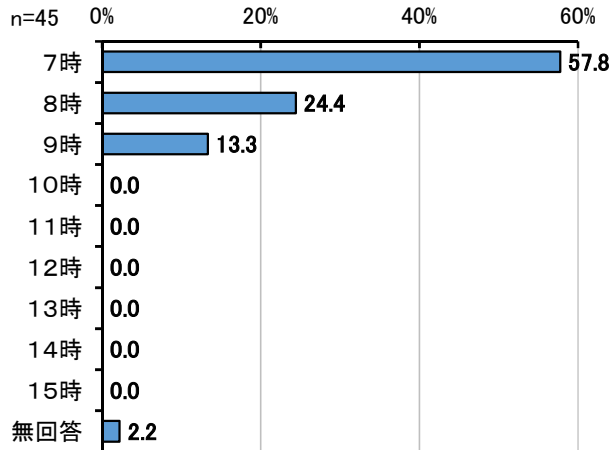
土日祝や夏休みのお盆、冬休みの年末年始時期の利用希望をみると、「夏休みのお盆に利用したい」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「土曜日に利用したい」26.8%、「冬休みの年末年始に利用したい」20.2%、「日曜日・祝日に利用したい」10.1%となっています。

利用開始時刻をみると、すべての項目について「7時」の割合が最も高くなっています（冬休みと日曜日・祝日は「8時」と同率）。利用終了時刻については、すべての項目について「18時」の割合が最も高くなっています（日曜日・祝日は「17時」と同率）。

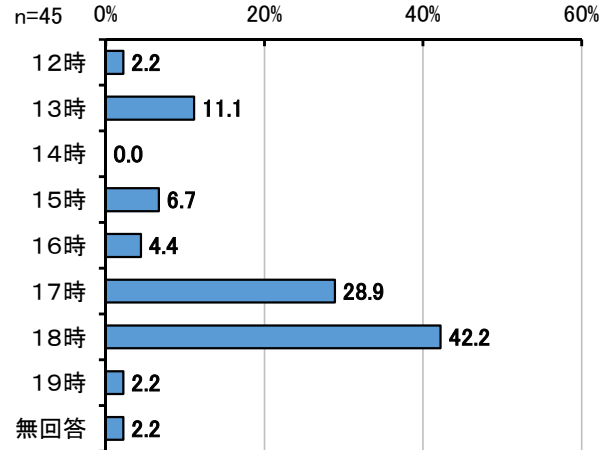
【土日祝や夏休みのお盆、冬休みの年末年始時期の利用希望】



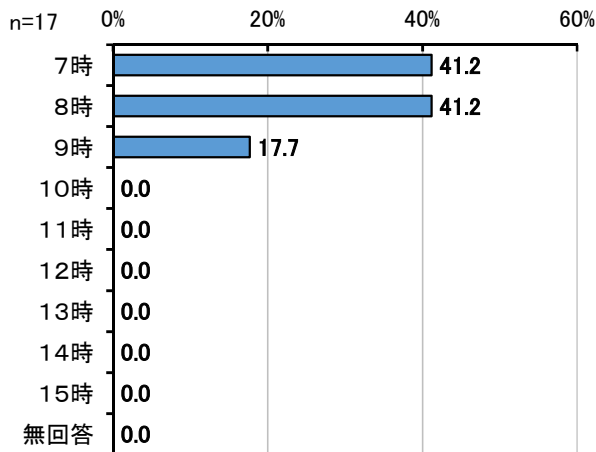
【土曜日に利用したい・利用開始時刻】



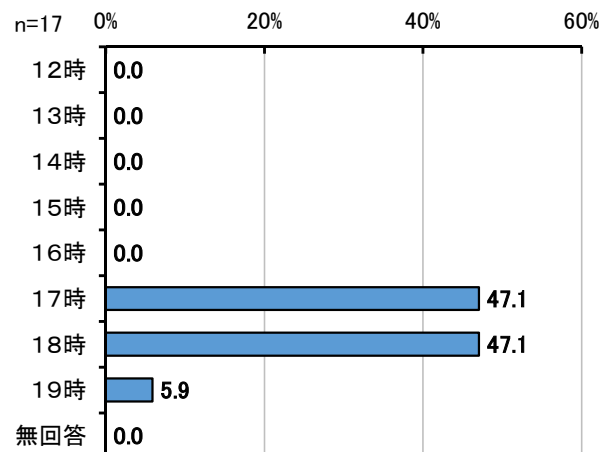
【土曜日に利用したい・利用終了時刻】



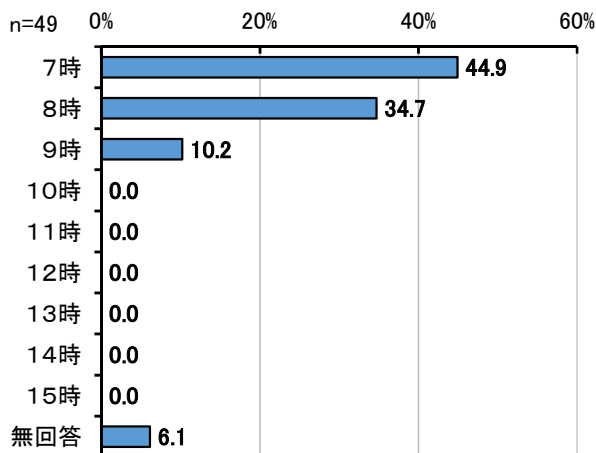
【日曜日・祝日に利用したい・
利用開始時刻】



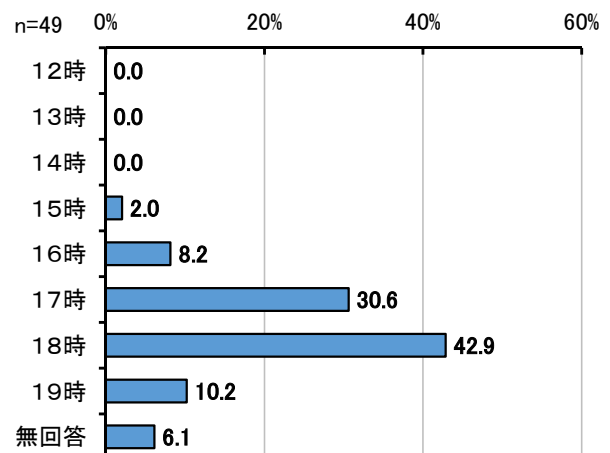
【日曜日・祝日に利用したい・利用終了時刻】



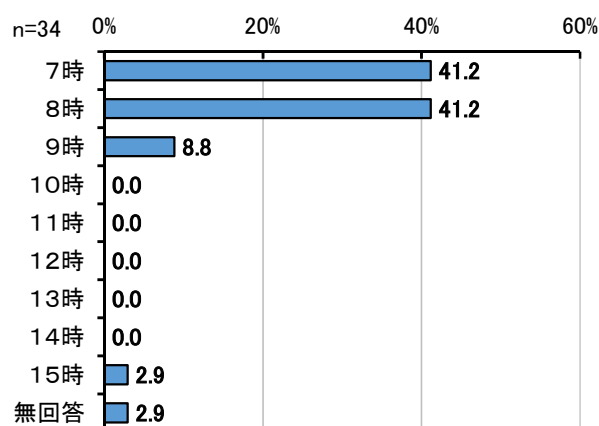
【夏休みのお盆に利用したい・
利用開始時刻】



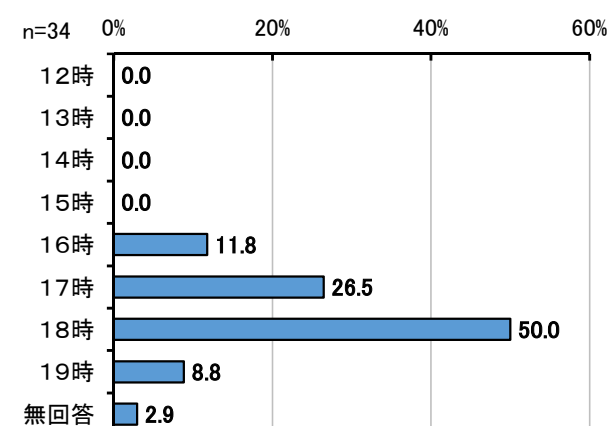
【夏休みのお盆に利用したい・
利用終了時刻】



【冬休みの年末年始に利用したい・
利用開始時刻】



【冬休みの年末年始に利用したい・
利用終了時刻】

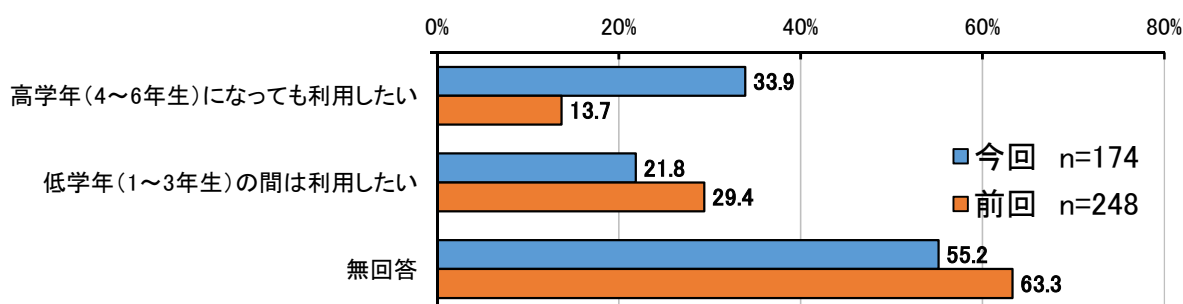


(2) 低学年（1～3年生）の方にうかがいます。

今後の利用希望をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

今後の利用希望についてみると、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が33.9%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」は21.8%となっています。

前回調査と比較すると、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が20.2ポイント増加しており、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」は7.6ポイント減少しています。



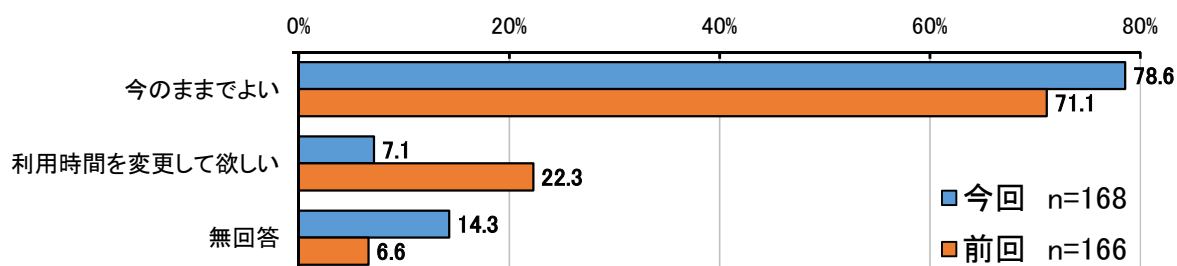
(3) 平日の利用時間について

平日の利用時間について希望はありますか。

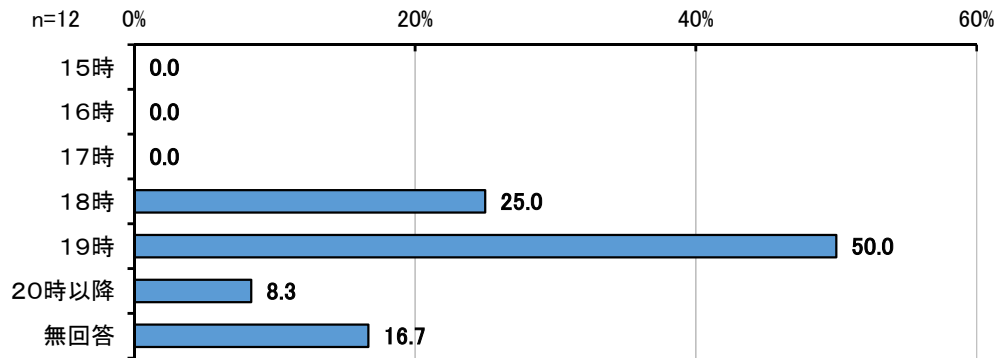
平日の利用時間についての希望をみると、「今のままでよい」の割合が78.6%、「利用時間を変更して欲しい」は7.1%となっています。前回調査と比較すると、「利用時間を変更して欲しい」が15.2ポイント減少しています。

希望する利用終了時刻をみると、「19時」の割合が50.0%と最も高く、次いで「18時」25.0%、「20時以降」8.3%となっています。

【平日の利用時間】



【希望する利用終了時刻】



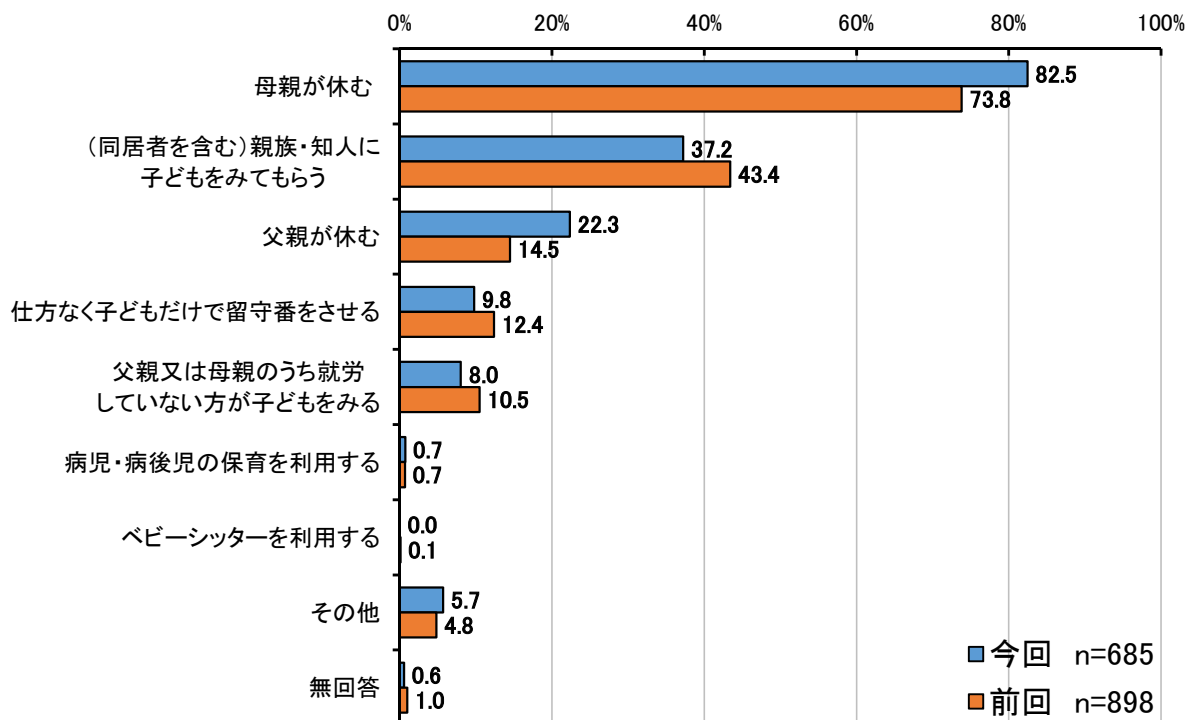
5 あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます

問 17 お子さんが病気やケガで学校を休む場合の主な対応方法は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

こどもが病気やケガで事業を利用できなかった場合の対応をみると、「母親が休む」の割合が 82.5%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 祖父母・親族にこどもをみてもらう」37.2%、「父親が休む」22.3%となっています。

前回調査と比較すると、「母親が休む」が 8.7 ポイント増加しており、「父親が休む」が 7.8 ポイント増加しています。



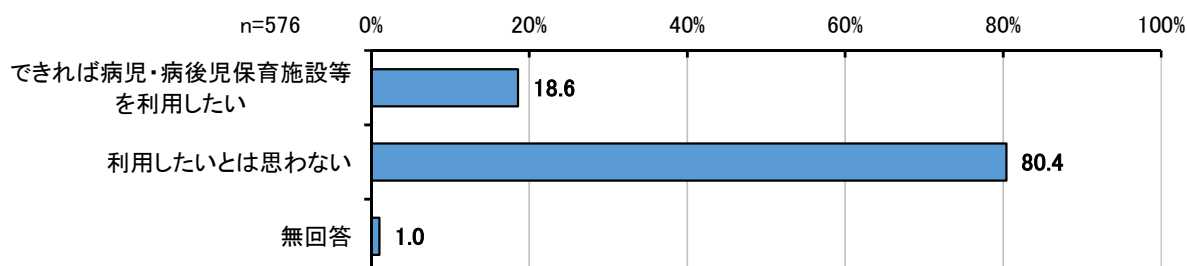
【その他の回答】(全 38 件)

- ・ 祖父母にみてもらう 24 件
- ・ 父または母の都合のつく方が休む 4 件
- ・ 母(私)が自営の為、(自室で)家でいます
- ・ 母が病院へ連れていき、その後は家で留守番している など
- ・ 職場に連れて行く 7 件

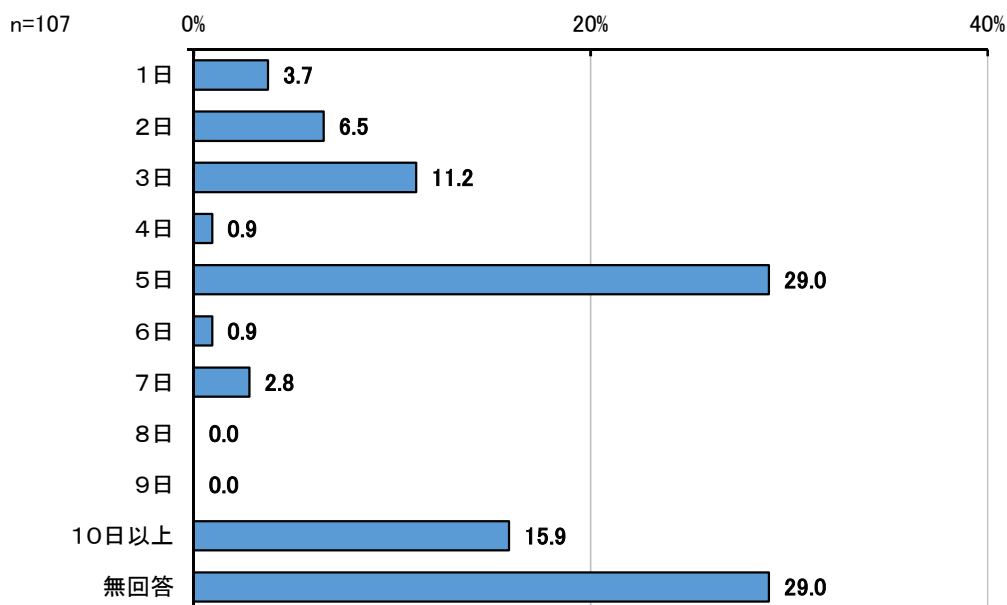
問 18 問 17 で「1. 母親が休んだ」「2. 父親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ) また、希望する日数について〔 〕内に数字でご記入ください。
 ※病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

こどもの病気・ケガで休んだ際、母親または父親が休んだ人の病児・病後児保育施設の利用希望をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 18.6%、「利用したいとは思わない」は 80.4%となっています。
 利用希望日数をみると、「5 日」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「10 日以上」15.9%となっています。

【利用希望】

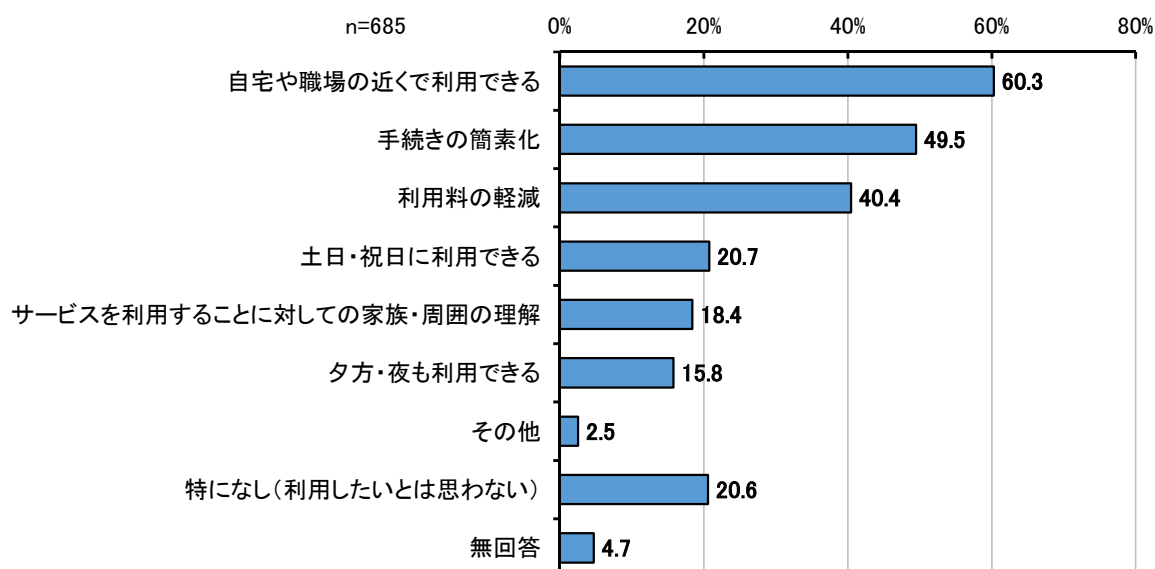


【利用希望日数】



問 19 病児・病後児保育施設をより利用しやすくするためにはどのようなことがあれば良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

病児・病後児保育施設を利用しやすくするための意見をみると、「自宅や職場の近くで利用できる」の割合が60.3%と最も高く、次いで「手続きの簡素化」49.5%、「利用料の軽減」40.4%となっています。



【その他の回答】（全 17 件）

- ・ 利用時間の長期化 2 件
- ・ 施設・サービスの事がよくわからない 2 件
- ・ 当日の朝でも確実に利用できる保障
- ・ 病児保育を使わず、休める社会
- ・ こどもが大きくなって利用を拒否すると思う など
- ・ 衛生面、感染対策の万全化 2 件
- ・ 人数制限なしの受け入れ
- ・ 施設と人材の充実

6 「発達支援」についてうかがいます

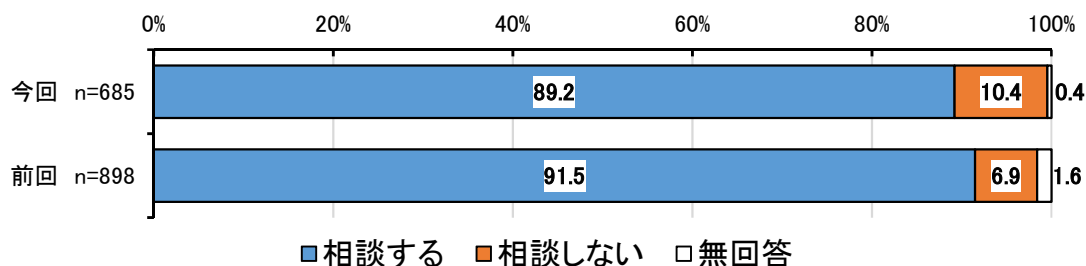
問 20 子育てをする上で、お子さんの成長・発達や特性について気になることがあった場合、家庭外へ相談しますか（しましたか）。

こどもの成長・発達や特性について気になった際、家庭外に相談するかをみると、「相談する」の割合が89.2%、「相談しない」は10.4%となっています。前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。

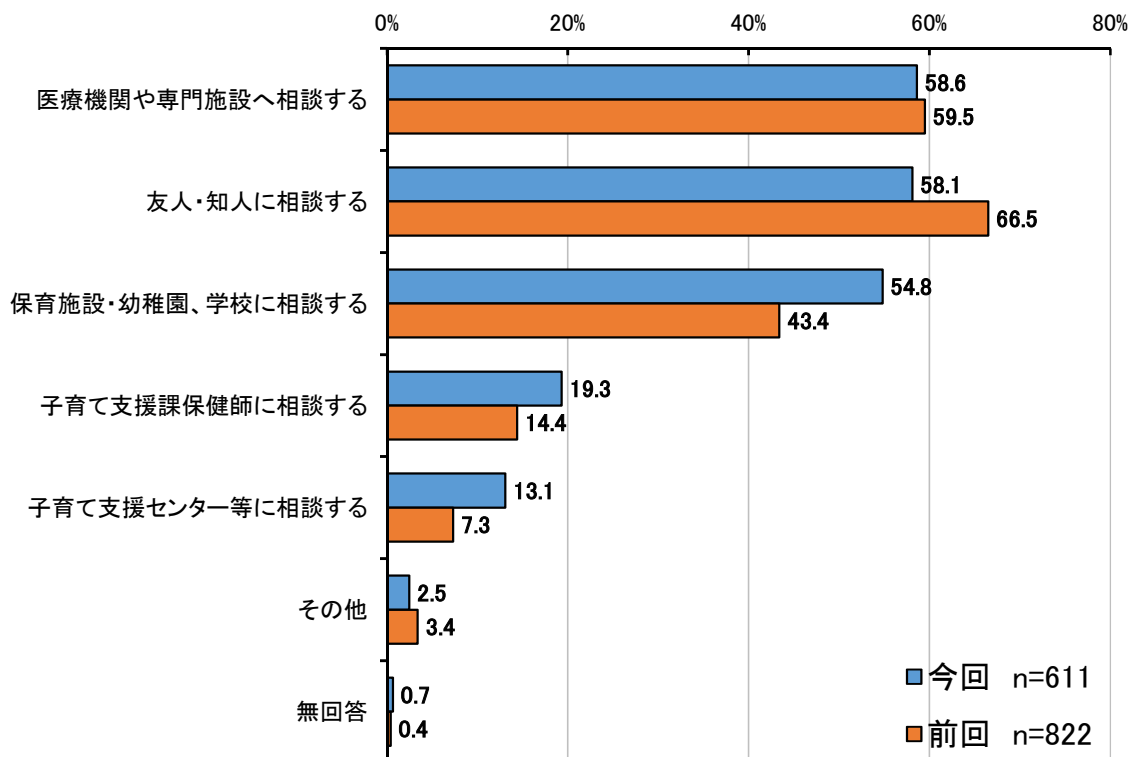
相談先をみると、「医療機関や専門施設へ相談する」の割合が58.6%と最も高く、次いで「友人・知人に相談する」58.1%、「保育施設・幼稚園、学校に相談する」54.8%となっています。前回調査と比較すると、「保育施設・幼稚園、学校に相談する」が11.4ポイント増加しており、「友人・知人に相談する」は8.4ポイント減少しています。

相談しない場合の対処法についてみると、「何もしない」の割合が7.0%、「家族や親族で対応する」は87.3%となっています。前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。

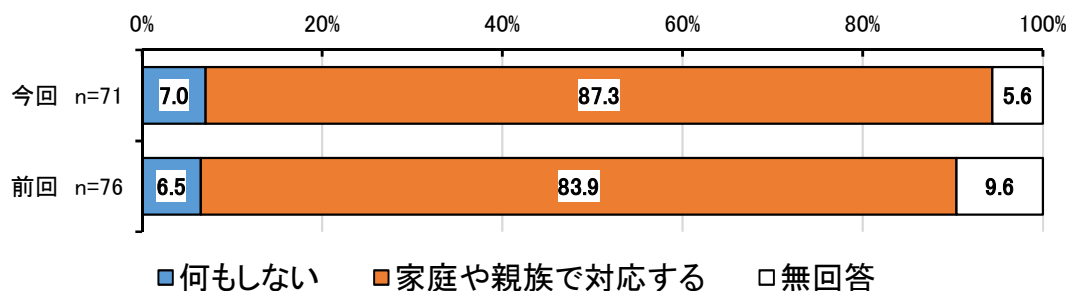
【意向】（○は1つ）



【相談する人・対応方法】（あてはまる記号すべてに○）



【相談しない人・対応方法】（あてはまる記号すべてに○）



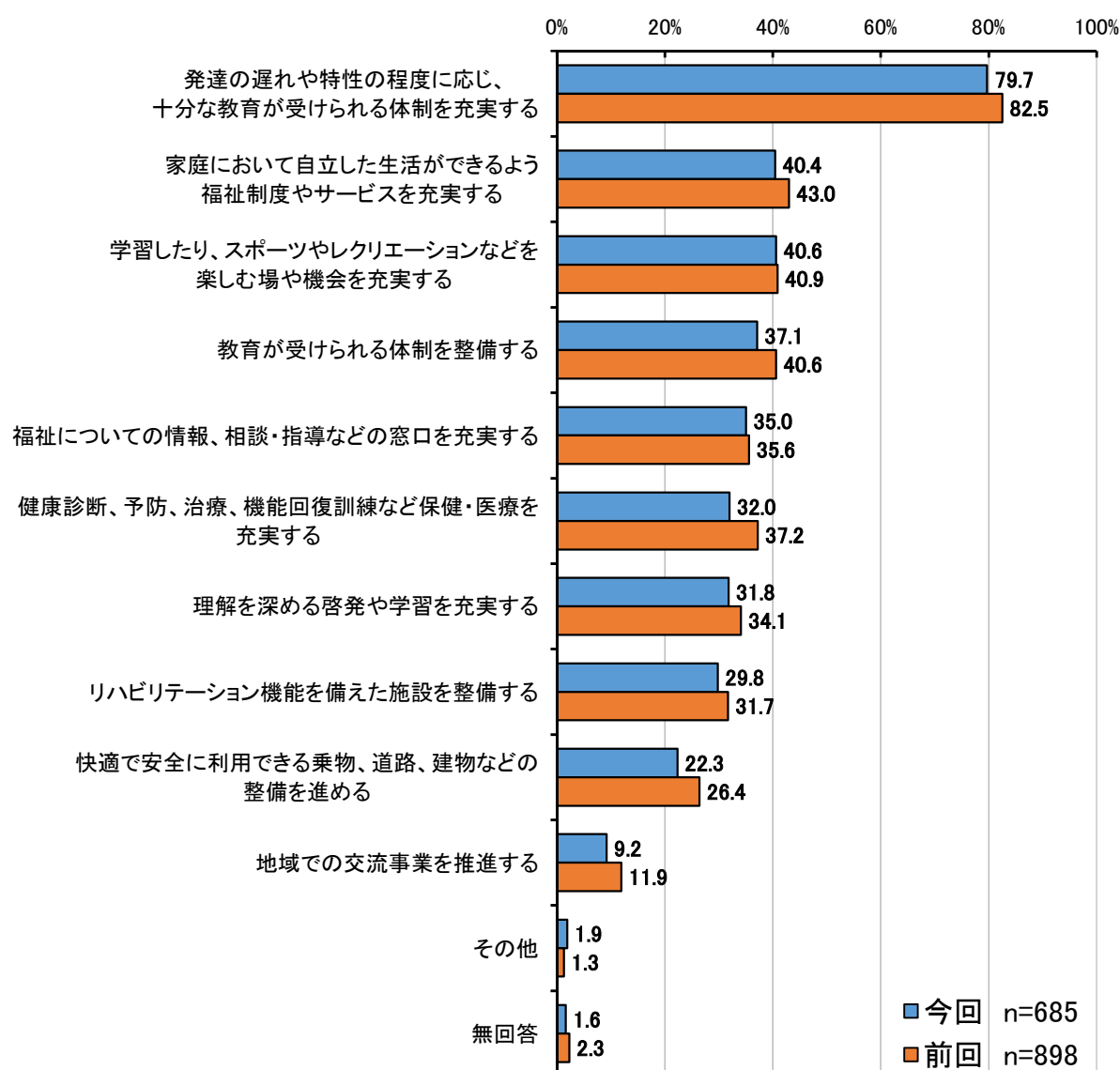
【相談する人の対応方法 その他の回答】（全13件）

- | | |
|---------------------|-------------|
| ・祖父母に相談する 6件 | ・家族に相談する 2件 |
| ・スクールカウンセラーに相談する 4件 | |
| ・放課後デイサービス | ・ペアレントメンター |
| ・姉 | |

問 21 あなたのお子さんに成長・発達の特徴があった場合、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

こどもに成長・発達の特徴があった場合、力を入れてほしいことをみると、「発達の遅れや特性の程度に応じ、十分な教育が受けられる体制を充実する」の割合が79.7%と最も高く、次いで「学習したり、スポーツやレクリエーションなどを楽しむ場や機会を充実する」40.6%、「家庭において自立した生活ができるよう福祉制度やサービスを充実する」40.4%となっています。

前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっており、「健康診断、予防、治療、機能回復訓練など保健・医療を充実する」は5.2ポイント減少しています。



【その他の回答】(全12件)

- ・ 特性により対応が異なる
- ・ 市内に医療機関を充実させる
- ・ 普段の栄養、普段の食事、給食の見直し
- ・ 学校の送迎
- ・ 発達支援の先生を増やすとか、支援に関わらない先生にも理解が必要
- ・ 学校以外での学習が受けられる場の提供等、設備の充実 など

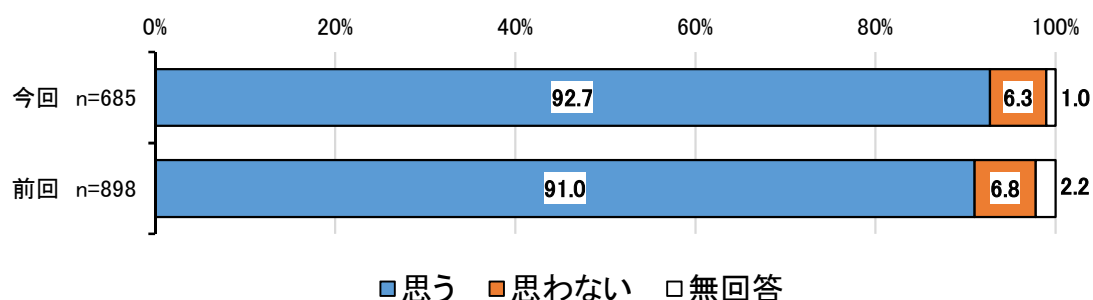
問 22 保護者としてお子さんの個性や成長・発達、情緒面を理解した上で、必要に応じお子さんの発達に合わせた個別の教育（特別支援学級、通級指導教室等）や療育（病院等での言語訓練（療法）等）を受けさせたいと思いますか。

こどもに発達に合わせ個別の教育や療育を受けさせたいかをみると、「思う」の割合が92.7%、「思わない」は6.3%となっています。前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。

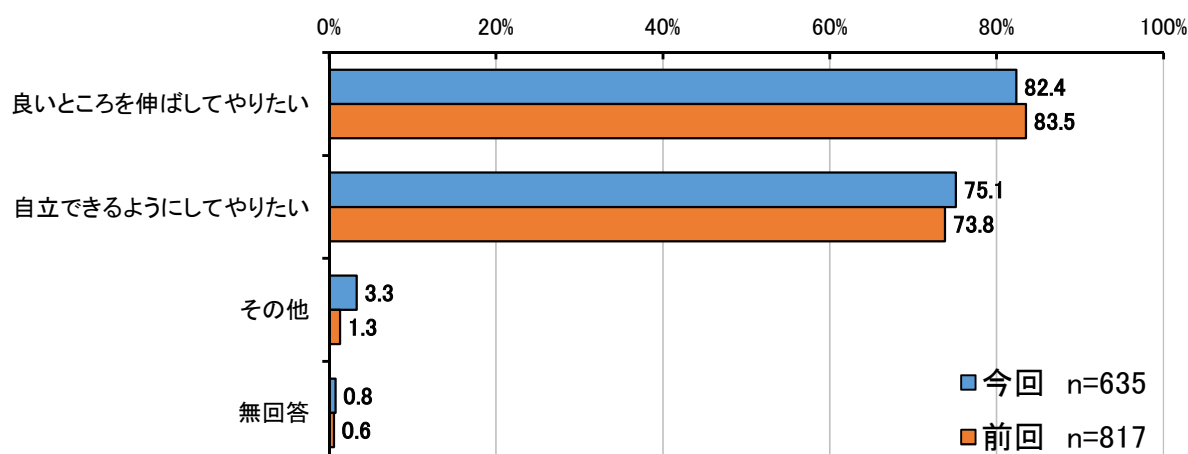
個別の教育や療育を受けさせたい人の対応方法をみると、「良いところを伸ばしてやりたい」の割合が82.4%、「自立できるようにしてやりたい」は75.1%となっています。前回調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。

個別の教育や療育を受けさせたくない人の対応方法をみると、「個別対応の必要はない」の割合が83.7%となっています。前回調査と比較すると、「個別対応の必要はない」が16.5ポイント増加しており、「人と違うことを知られるのが嫌（目立ちたくない）」は8.4ポイント減少しています。

【意向】（○は1つ）



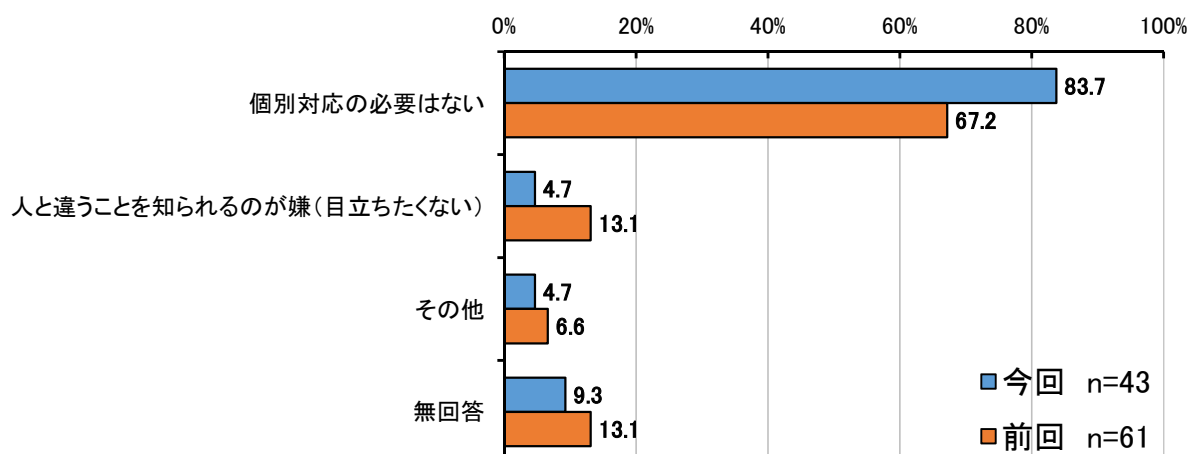
【受けさせたい人・対応方法】（あてはまるものすべてに○）



【受けさせたい人の対応方法 その他の回答】（全17件）

- ・ その子のペースに合わせた学習 2件
- ・ 基本的なこと・・・書き順など
- ・ 先生の移動のない支援を受けたい
- ・ 苦手なところを少しでも伸ばして自信をつけさせたい など
- ・ 安心安全な居場所を作ってあげたい
- ・ その時の状態による
- ・ 個別の対応の充実

【受けさせたくない人・対応方法】（あてはまるものすべてに○）



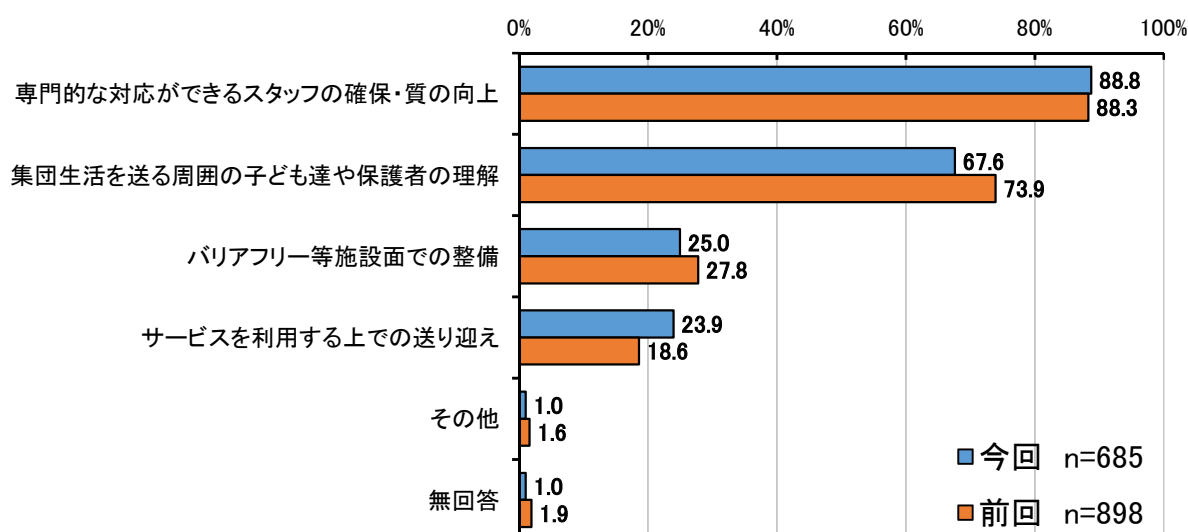
【受けさせたくない人の対応方法 その他回答】（全 1 件）

・自分のこどもに必要がない

問 23 発達の遅れなど集団生活をする上で支援が必要なこどもの受け入れに対して優先すべきことはなんだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

支援が必要なこどもの受け入れのためにすべきことをみると、「専門的な対応ができるスタッフの確保・質の向上」の割合が 88.8%と最も高く、次いで「集団生活を送る周囲のこども達や保護者の理解」67.6%、「バリアフリー等施設面での整備」25.0%、「サービスを利用する上での送り迎え」23.9%となっています。

前回調査と比較すると、「集団生活を送る周囲のこども達や保護者の理解」が 6.3 ポイントと最も減少しています。



【その他の回答】（全 7 件）

・学校のアプローチ	・教職員の理解と対応の仕方	
・全教職員の知識向上	・周囲のこどもに負担をかけない	など

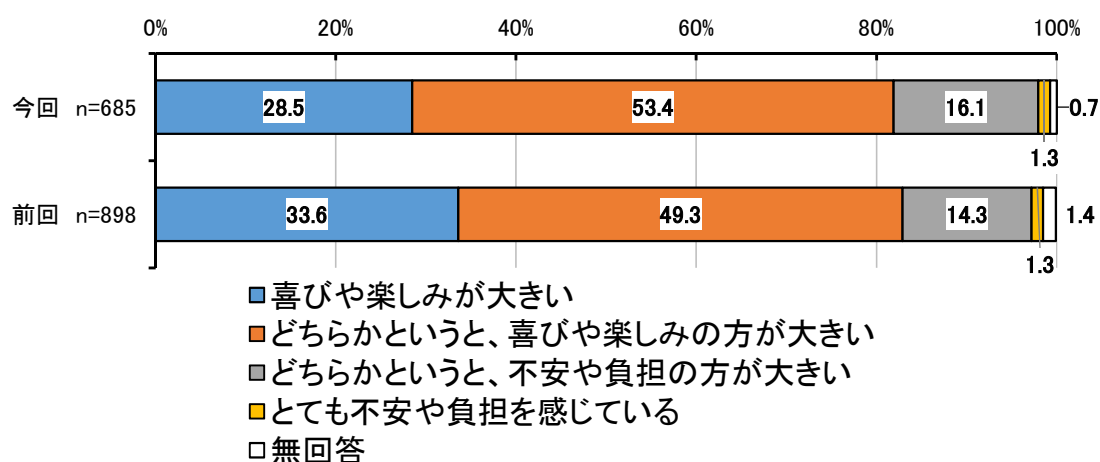
7 家庭の子育て、地域の子育て環境についてうかがいます

(1) 家庭の子育てについて

問 24 子育てをどのように感じていますか。(○は1つ)

子育てに対する感情をみると、『喜びや楽しみが大きい』(「喜びや楽しみが大きい」と「どちらかというと、喜びや楽しみの方が大きい」の合計)の割合が81.9%、『不安や負担を感じている』(「どちらかというと、不安や負担の方が大きい」と「とても不安や負担を感じている」の合計)の割合が17.4%となっています。

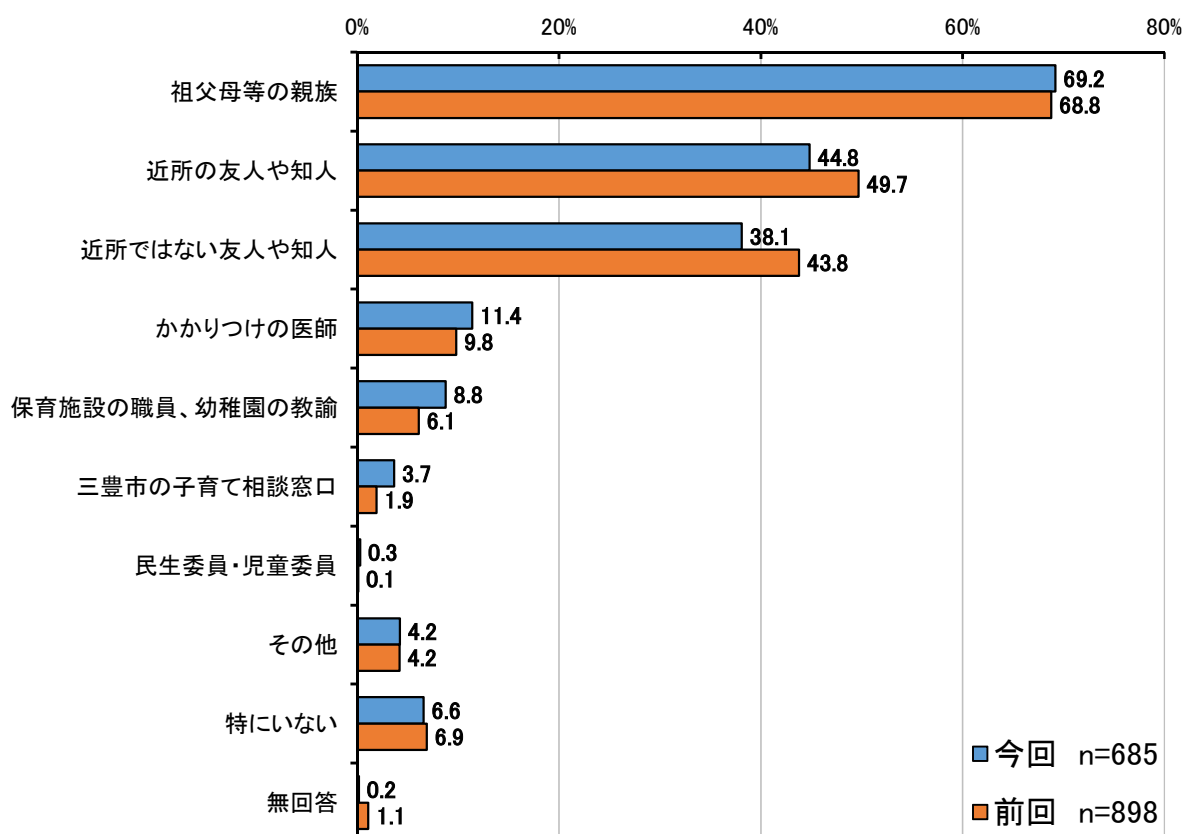
前回調査と比較すると、「どちらかというと、喜びや楽しみの方が大きい」が4.1ポイント増加しており、「喜びや楽しみが大きい」が5.1ポイント減少しています。



問 25 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
（あてはまるものすべてに○）

子育ての相談を気軽に行える人をみると、「祖父母等の親族」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「近所の友人や知人」44.8%、「近所ではない友人や知人」38.1%となっています。一方、「特にない」が6.6%となっています。

前回調査と比較すると、「近所ではない友人や知人」が5.7ポイントと最も減少しており、次いで「近所の友人や知人」が4.9ポイント減少しています。



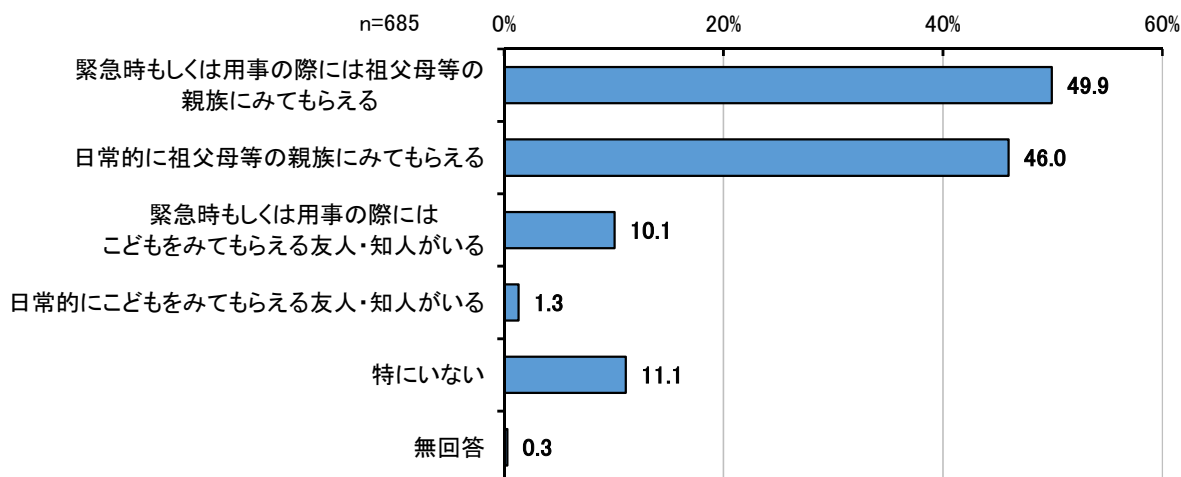
【その他の回答】（全 28 件）

- | | |
|--------------|-----------|
| ・ 職場の人 10 件 | ・ 配偶者 8 件 |
| ・ 学校の先生 3 件 | ・ 姉 2 件 |
| ・ 心理相談の先生 など | |

問 26 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

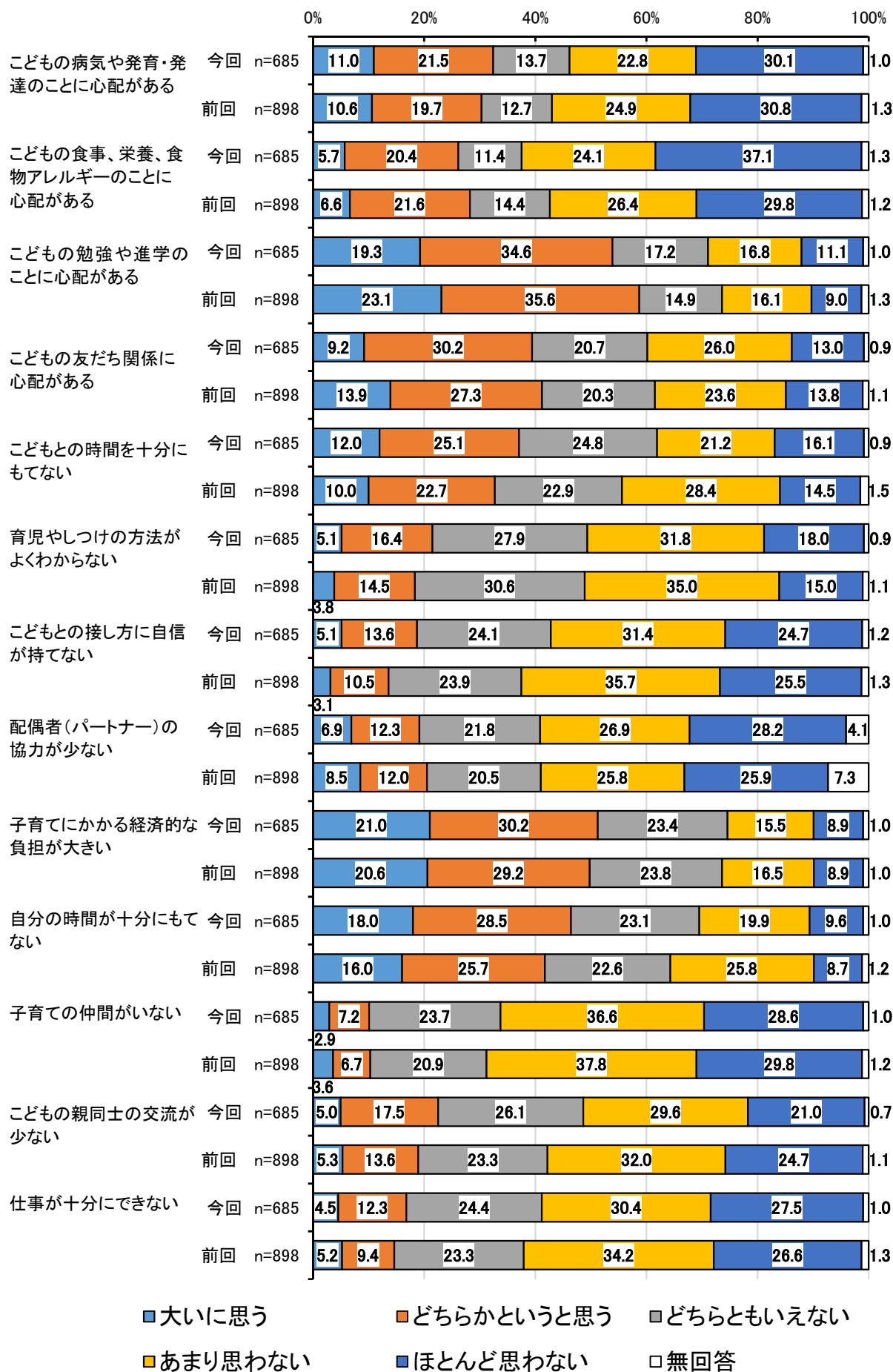
日頃、子どもをみてもらえる親族・友人をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が49.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」46.0%となっています。一方、「特にない」が11.1%となっています。



問 27 子育てに関して、悩みや気にかかることはありますか。(項目ごとに○は1つ)

子育てに関する心配事について、『そう思う』(「大いに思う」と「どちらかというと思う」の合計、以下同じ)の割合をみると、「こどもの勉強や進学のこと」に心配がある」が53.9%と最も高く、次いで「子育てにかかる経済的な負担が大きい」51.2%、「自分の時間が十分にもてない」46.5%となっています。一方、『そう思わない』(「あまり思わない」と「ほとんど思わない」の合計、以下同じ)の割合をみると、「子育ての仲間がいない」が65.2%と最も高く、次いで「こどもの食事、栄養、食物アレルギーのこと」に心配がある」61.2%、「仕事が十分にできない」57.9%となっています。

前回調査と比較すると、『そう思う』は「こどもとの接し方に自信が持てない」が5.1ポイントで最も増加しています。『そう思わない』は、「こどもの食事、栄養、食物アレルギーのこと」に心配がある」が5.0%で最も増加しています。

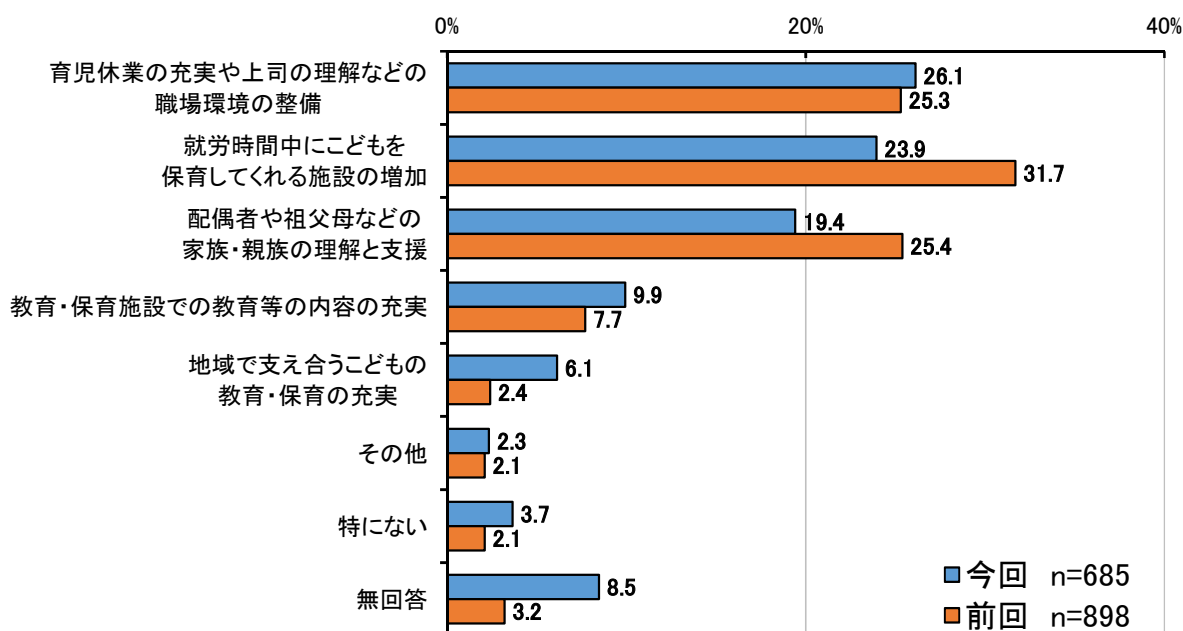


（２）仕事の子育ての両立について

問 28 仕事と子育ての両立のために、最も重要なことは何だと思いますか。（○は 1 つ）

子育てと仕事の両立のために、最も重要なことをみると、「育児休業の充実や上司の理解などの職場環境の整備」の割合が 26.1%と最も高く、次いで「就労時間中にこどもを保育してくれる施設の増加」23.9%、「配偶者や祖父母などの家族・親族の理解と支援」19.4%となっています。

前回調査と比較すると、「就労時間中にこどもを保育してくれる施設の増加」が 7.8 ポイントと最も減少しています。

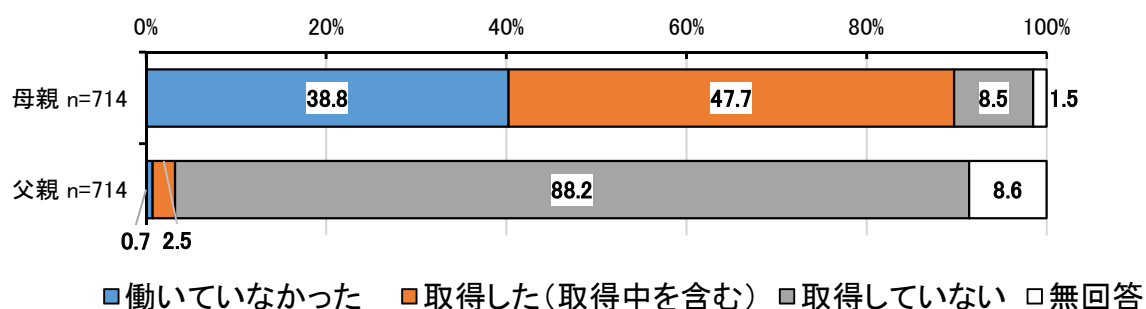


【その他の回答】（全 15 件）

- | | |
|------------------|------------------------|
| ・ 定時に帰れる職場環境 2 件 | ・ 職場の理解 2 件 |
| ・ 自分の健康 | ・ 病気の時の預け先を作る |
| ・ 安心して預けられる環境 | ・ 子育てに充分反映できる収入 |
| ・ 親の健康 | ・ 施設の保育時間（早朝や深夜時間帯） など |

問 29 お子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。（○は1つ）また、取得していない方はその理由をご記入ください。

こどもが生まれた際育児休業を取得したかをみると、母親は「働いていなかった」38.8%、「取得した（取得中を含む）」47.7%、「取得していない」8.5%となっています。父親は「働いていなかった」0.7%、「取得した（取得中を含む）」2.5%、「取得していない」88.2%となっています。



【母親の取得していない理由】（全 73 件）

- | | |
|----------|----------------|
| ・ 自営業なので | ・ パートなので |
| ・ 退職したため | ・ 育休制度がなかった など |

【父親の取得していない理由】（全 483 件）

- | | |
|-------------|---------------------|
| ・ 母親が取得したので | ・ 仕事が忙しかったため |
| ・ 自営業なので | ・ 父親が取得するという考えがなかった |
| ・ 必要がないため | ・ 取得できない雰囲気、前例がないため |
| ・ 育休制度がなかった | ・ 祖父母の手助けがあるため など |

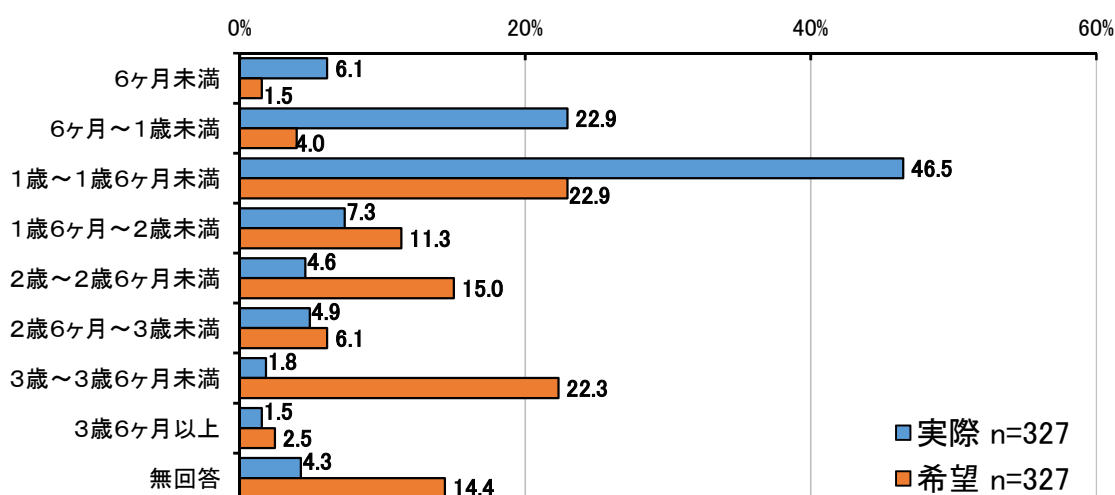
問 30 問 29 で「2. 取得した（取得中を含む）」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からは、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか（または、する予定ですか）。また、希望として、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親、父親それぞれについて〔 〕内に数字でご記入ください。

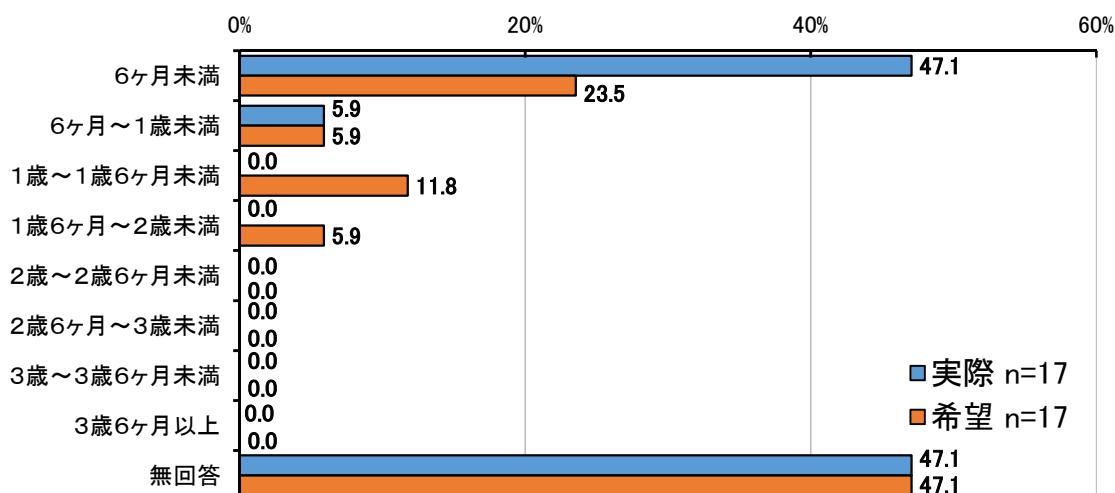
職場復帰した時期をみると、母親の実際は「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が46.5%と最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」22.9%となっています。母親の希望は「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が22.9%と最も高く、次いで「3歳～3歳6ヶ月未満」22.3%となっています。実際と希望の差をみると、実際の方が高いのは「1歳～1歳6ヶ月未満」が23.6ポイントと最も差が大きく、希望の方が高いのは「3歳～3歳6ヶ月未満」が20.5ポイントと最も差が大きくなっています。

父親は「6ヶ月未満」の割合が47.1%と最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」5.9%となっています。父親の希望は「6ヶ月未満」の割合が23.5%と最も高く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」11.8%となっています。実際と希望の差をみると、実際の方が高いのは「6ヶ月未満」が23.6ポイントと最も差が大きく、希望の方が高いのは「1歳～1歳6ヶ月未満」が11.8ポイントと最も差が大きくなっています。

【母親】



【父親】

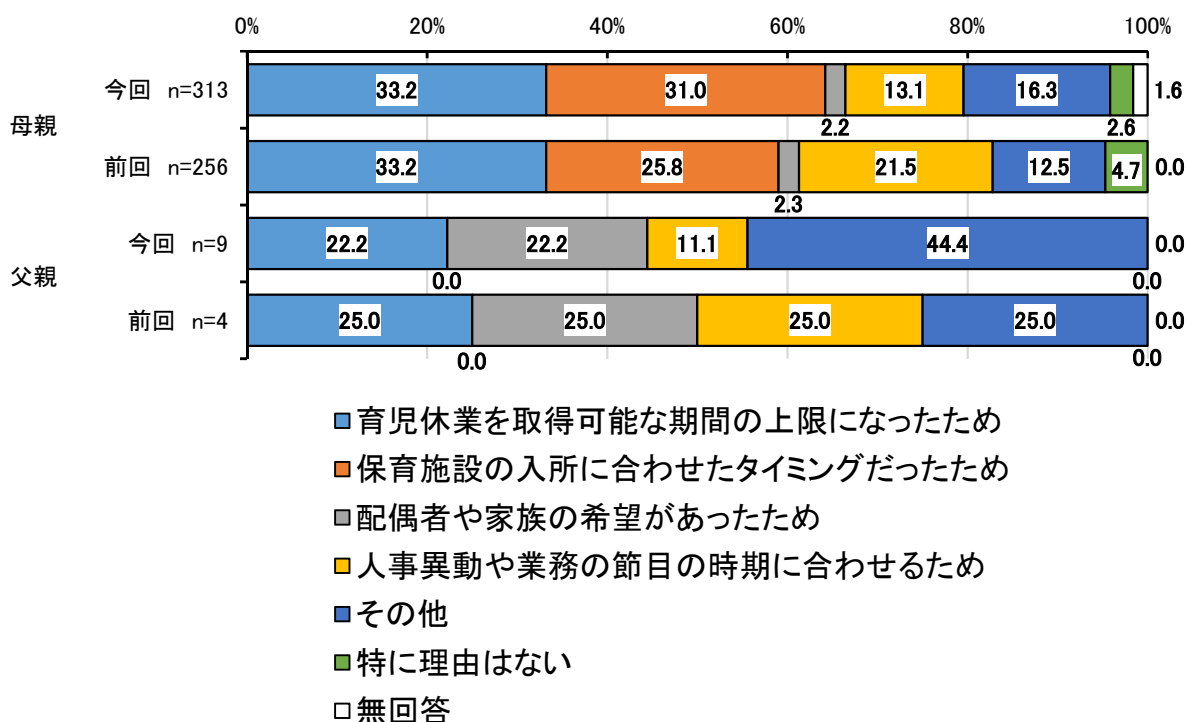


問 31 問 30 で「1. 実際に職場復帰した際のお子さんの年齢」にご記入いただいた方にうかがいます。

実際にそのタイミングで職場復帰された主な理由は何ですか。(○は 1 つ)

そのタイミングで職場復帰した主な理由をみると、母親は「育児休業を取得可能な期間の上限になったため」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「保育施設の入所に合わせたタイミングだったため」31.0%となっています。前回調査と比較すると、「保育施設の入所に合わせたタイミングだったため」が 5.2 ポイント増加しており、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 8.4 ポイント減少しています。

父親は「育児休業を取得可能な期間の上限になったため」と「配偶者や家族の希望があったため」の割合がともに 22.2%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」11.1%となっています。前回調査と比較すると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 14.0 ポイント減少しています。



【母親 その他の回答】(全 51 件)

- ・経済的な理由 14 件
- ・職場から復帰を希望されたため 5 件
- ・手当がもらえなくなる時期だったので 4 件
- ・人手不足の為 4 件
- ・働きたかったから。 4 件
- ・長く休める雰囲気ではないから 4 件
- ・週 2 日 2 時間からの復帰のため
- ・市で 4 月入所が入りやすいと聞いたから
- ・育休後そのまま退職した など

【父親 その他回答】(全 4 件)

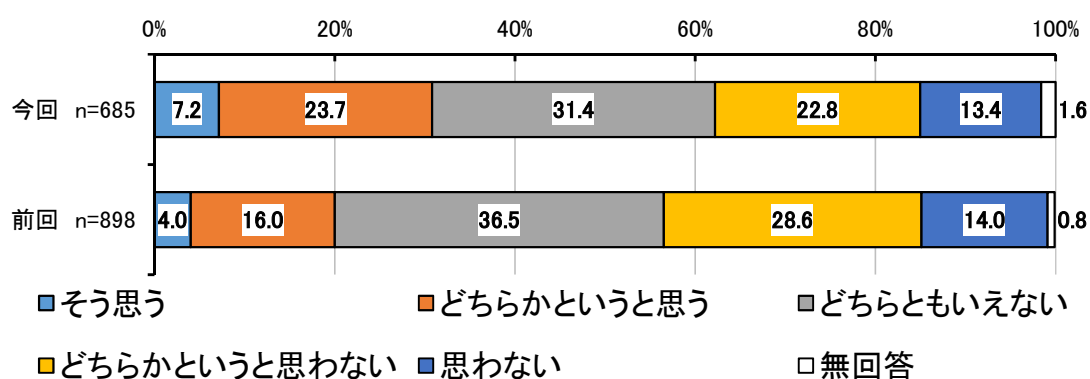
- ・ 1 週間だけ休んだ
- ・給料の全額支給じゃないため
- ・一番大変な時期だから
- ・母が怪我をして育児が不能となっていたが、回復したため

(3) 三豊市の子育て環境について

問 32 こどもや親が安心して外出できる環境（こどもの遊び場や公園等）になっていると思いますか。（○は1つ）

こどもや親が安心して外出できる環境になっているかをみると、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計、以下同じ）の割合が30.9%、『思わない』（「どちらかというと思わない」と「思わない」の合計、以下同じ）は36.2%、「どちらともいえない」は31.4%となっています。

前回調査と比較すると、『そう思う』が10.9ポイント増加しており、『思わない』は6.4ポイント減少、「どちらともいえない」は5.1ポイント減少しています。

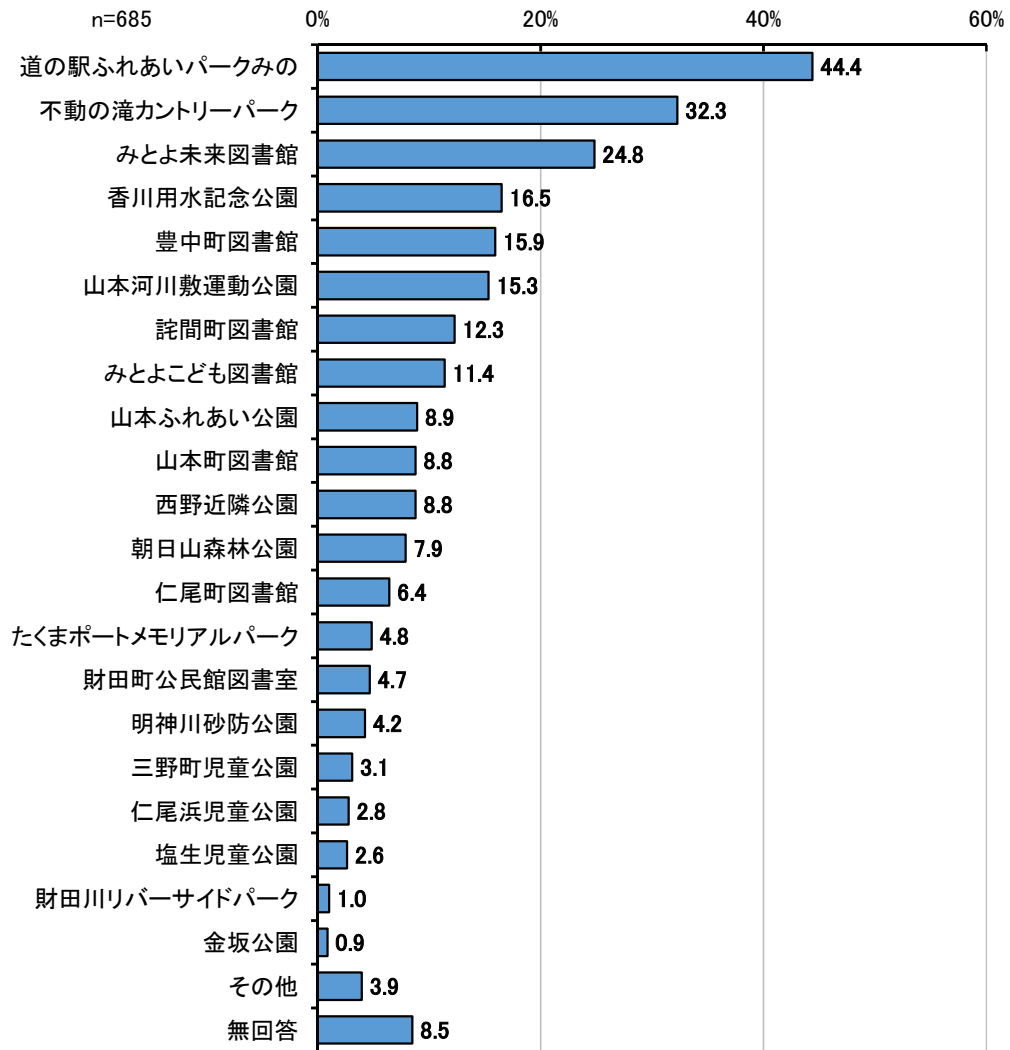


問 33 あなたが、普段あて名のお子さんと一緒に利用する施設・公園はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

普段こどもと一緒に利用する市内の施設・公園をみると、「道の駅ふれあいパークみの」の割合が44.4%と最も高く、次いで「不動の滝カントリーパーク」32.3%「みとよ未来図書館」24.8%となっています。

普段こどもと一緒に利用する市外の施設・公園をみると、「国営讃岐まんのう公園」の割合が41.8%と最も高く、次いで「善通寺五岳の里」21.9%、「琴弾公園」20.6%、「観音寺市総合運動公園」20.2%となっています。

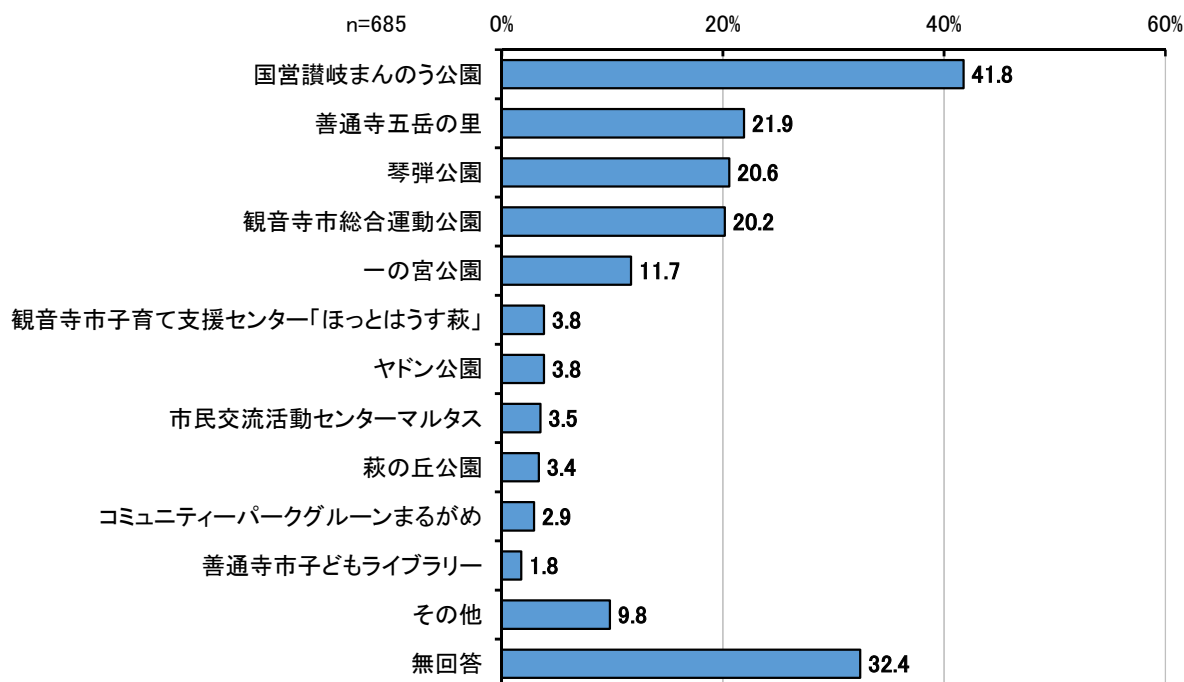
【市内の施設・公園】



【市内・その他の回答】（全 23 件）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ・ 小学校 2 件 | ・ 父母が浜 2 件 |
| ・ 高瀬 B&G 海洋センター 2 件 | ・ こうさい公園 2 件 |
| ・ 宝山湖、満濃森林公園 | ・ 一の宮公園 |
| ・ 大階段で釣り（仁尾町） | ・ もう公園は利用していない 2 件 など |

【市外の施設・公園】



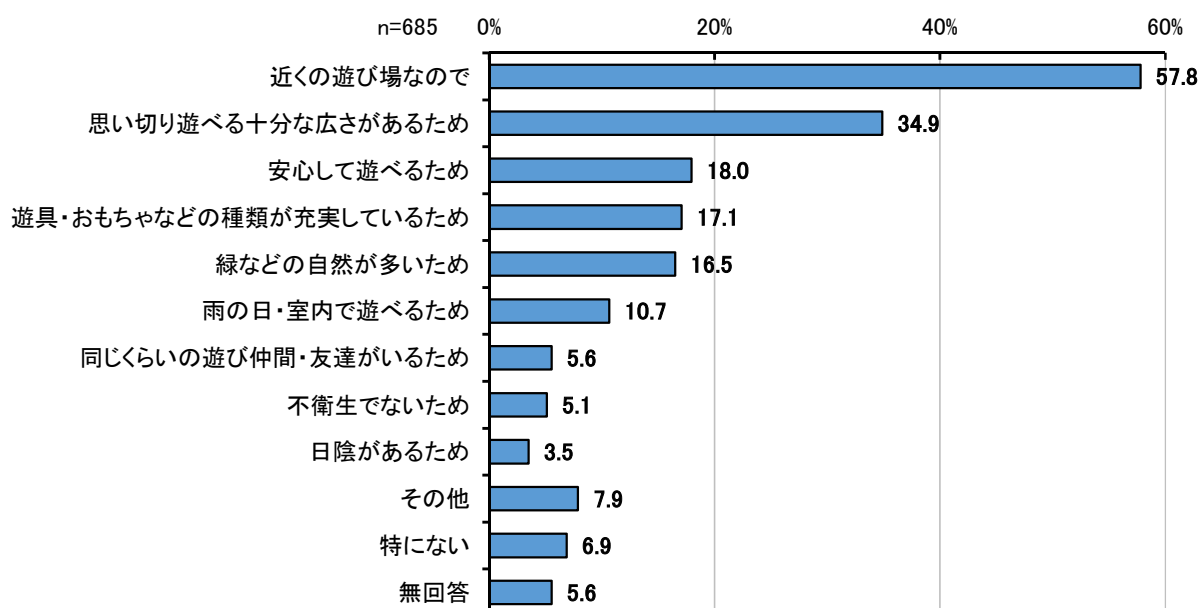
【市外・その他の回答】（全 62 件）

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ・ さぬきこどもの国 22 件 | ・ 観音寺市立中央図書館 7 件 |
| ・ かりんの丘公園 5 件 | ・ 瀬戸大橋記念公園 5 件 |
| ・ 満濃池森林公園 4 件 | ・ mooovi まらがめ 3 件 |
| ・ イオン 3 件 | ・ 猪熊弦一郎現代美術館 2 件 |
| ・ ゴールドタワー 2 件 | ・ もう公園は利用していない 4 件 など |

問 34 あなたがあて名のお子さんとその遊び場を利用する理由は何ですか。

（主なもの 3 つまでに○）

遊び場を利用する理由をみると、「近くの遊び場なので」の割合が 57.8% と最も高く、次いで「思い切り遊べる十分な広さがあるため」34.9% となっています。

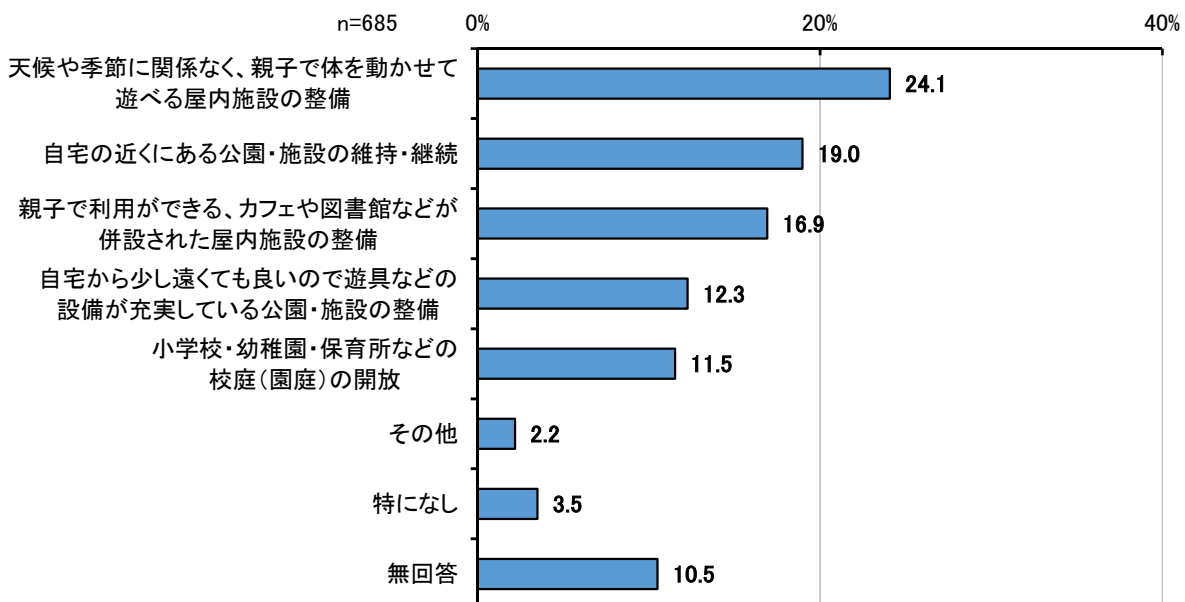


【その他の回答】（全 54 件）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・本を借りるため 10 件 | ・こどもが希望している 5 件 |
| ・本が好きなので 4 件 | ・試合のため 3 件 |
| ・習い事で利用している 3 件 | ・屋外で体を動かせる 2 件 |
| ・行きやすいため 2 件 | ・お金がかからないから 2 件 |
| ・長時間滞在できるため 2 件 | ・こどもの希望 |
| ・成長に良いと思って | ・イベントが多いから など |

問 35 あなたが三豊市内の施設・公園に特に望むものは何ですか（○はひとつ）

三豊市の施設・公園に望むものをみると、「天候や季節に関係なく、親子で体を動かせて遊べる屋内施設の整備」の割合が 24.1%と最も高く、次いで「自宅の近くにある公園・施設の維持・継続」19.0%、「親子で利用ができる、カフェや図書館などが併設された屋内施設の整備」16.9%となっています。



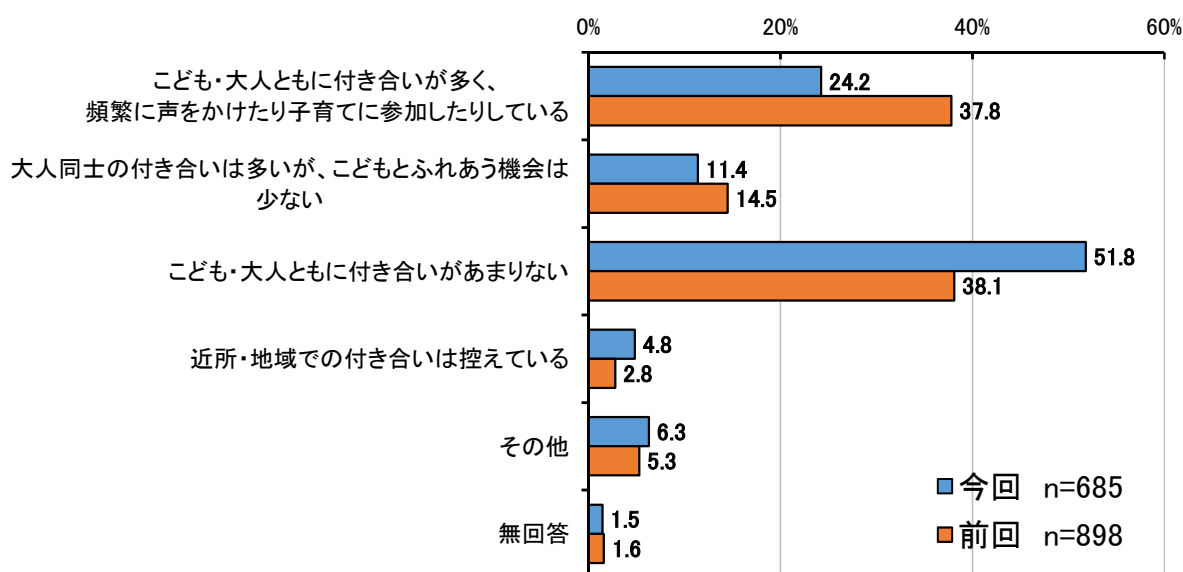
【その他の回答】（全 15 件）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ・自宅の近くの地域に公園がほしい。 2 件 | ・ボール遊びのできる広い公園 2 件 |
| ・公園のトイレをきれいにしてほしい | ・アスレチックのような高学年向けの整備 |
| ・トイレや手洗い場がきれいである所 | ・質のいいもの、緑など環境を生かしたもの |
| ・どの年齢の子でも遊びやすい公園 など | |

問 36 近所や地域での付き合い・近所の子どもとの関わりはどのような状況ですか。
(○は 1 つ)

近所や地域での付き合い・近所の子どもとの関わりをみると、「子ども・大人ともに付き合いがあまりない」の割合が51.8%と最も高く、次いで「子ども・大人ともに付き合いが多く、頻繁に声をかけたり子育てに参加したりしている」24.2%、「大人同士の付き合いは多いが、子どもとふれあう機会は少ない」11.4%となっています。

前回調査と比較すると、「子ども・大人ともに付き合いがあまりない」が13.7ポイント増加しており、「子ども・大人ともに付き合いが多く、頻繁に声をかけたり子育てに参加したりしている」が13.6ポイント減少しています。



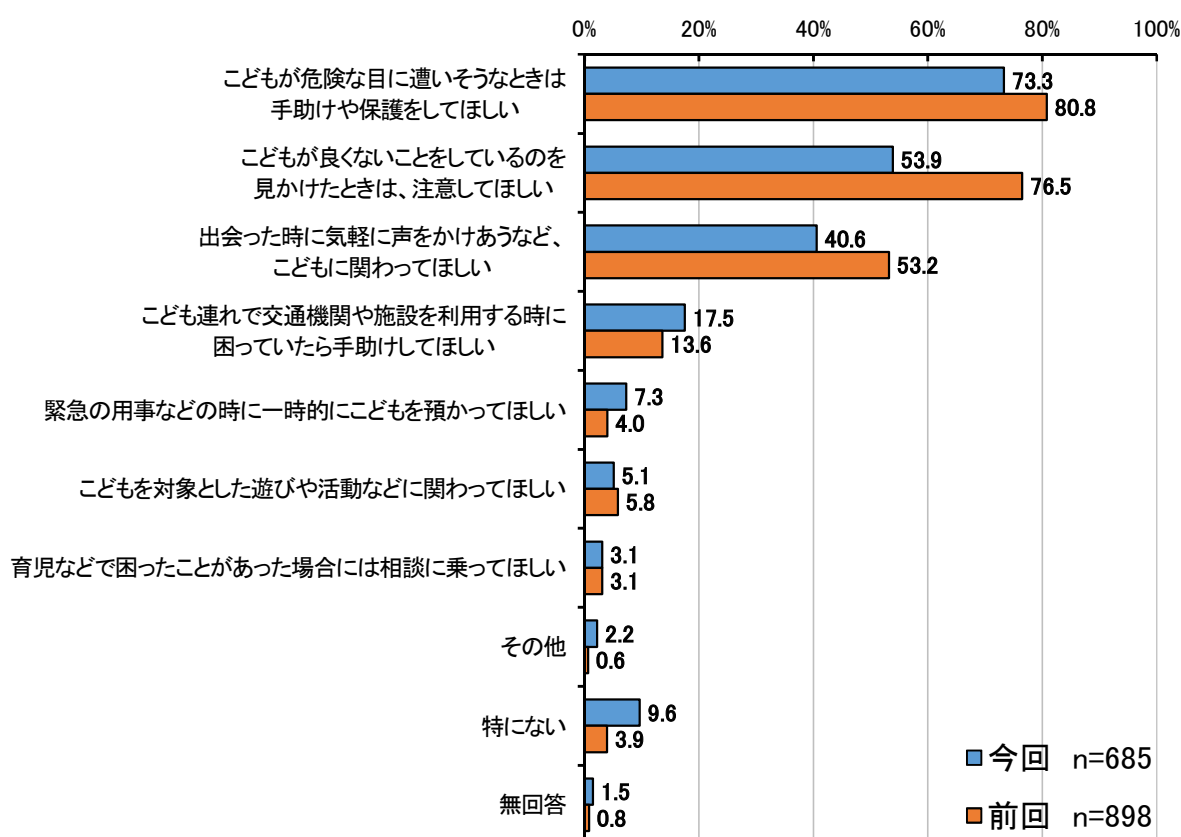
【その他の回答】(全 32 件)

- ・ 子ども同士の付き合いはあるが、大人同士の交流はあまりない 6 件
- ・ 子ども会で関わる 5 件
- ・ 近所は適度な距離をとっている
- ・ 隣家の子どもとたまに遊ぶ
- ・ 近所の子どもとは付き合いが多い など
- ・ 祭りや行事のときにある 4 件
- ・ 少しある
- ・ 子ども、大人ともほどほどにつきあっている

問 37 子育てをする上で、近所や地域に望むことはありますか。(主なもの 3 つまでに○)

子育てをするうえで、近所や地域に望むことについてみると、「こどもが危険な目に遭いそうなときは手助けや保護をしてほしい」の割合が73.3%と最も高く、次いで「こどもが良くないことをしているのを見かけたときは、注意してほしい」53.9%、「出会った時に気軽に声をかけあうなど、こどもに関わってほしい」40.6%となっています。

前回調査と比較すると、「こどもが良くないことをしているのを見かけたときは、注意してほしい」が22.6ポイントと最も減少しており、「出会った時に気軽に声をかけあうなど、こどもに関わってほしい」は12.6ポイント減少しています。



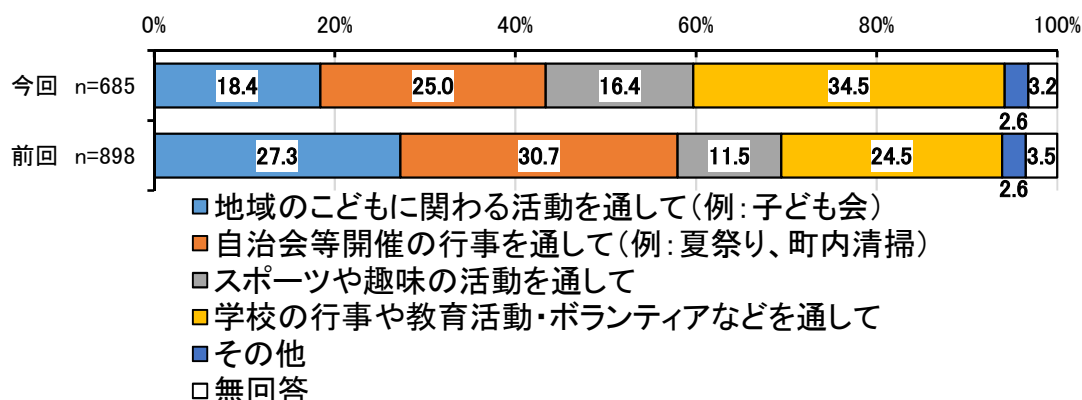
【その他の回答】(全 14 件)

- ・ 登下校時の見守りをしてほしい
- ・ 挨拶をきちんとしてほしい
- ・ 割と皆良い人だと思う
- ・ こどもに制限してほしくない
- ・ 登下校時の見守りはありがたい
- ・ 登下校時の見守りをしてほしい
- ・ こちらからも声掛けをして、家庭を知ってもらおう働きは必要 など

問 38 三豊市では、家庭や学校はもとより、地域や周辺の大人も一緒になってこどもを見守り、次の世代を担う大人に育てる環境づくりを進めています。こどもと地域の大人が関わりを持つきっかけとして、どのような方法が最もよいと思いますか。(〇は1つ)

こどもと地域の大人が関わりを持つ方法をみると、「学校の行事や教育活動・ボランティアなどを通して」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「自治会等開催の行事を通して(例:夏祭り、町内清掃)」25.0%、「地域のこどもに関わる活動を通して(例:子ども会)」の割合が 18.4%となっています。

前回調査と比較すると、「学校の行事や教育活動・ボランティアなどを通して」が 10.0 ポイントと最も増加しており、「地域のこどもに関わる活動を通して(例:子ども会)」は 8.9 ポイント減少しています。



【その他の回答】(全 13 件)

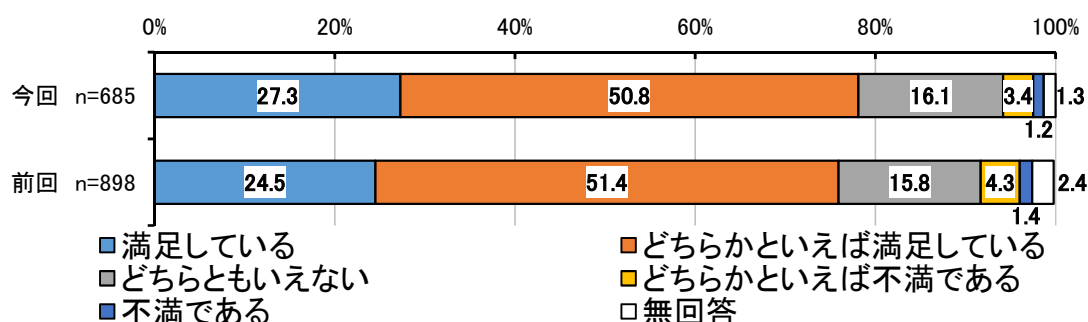
- ・見守り隊など
- ・日々のあいさつ(さんぽの時など)
- ・地域の活動に参加する余裕がない
- ・家族と過ごしたいので、地域の関わりは不要
- ・地域の小学校の役員の人数が少ない。ほぼ強制的な活動が多い。
- ・子ども会に入らず、登校班のみの家族も増えている。 など

(4) 学校教育について

問 39 お子さんが通う小学校の教育について、全体としては満足していますか。(〇は1つ)

小学校の教育の満足度をみると、『満足している』(「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計、以下同じ)の割合が78.1%、『不満である』(「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計、以下同じ)は 4.6%、「どちらともいえない」は 16.1%となっています。

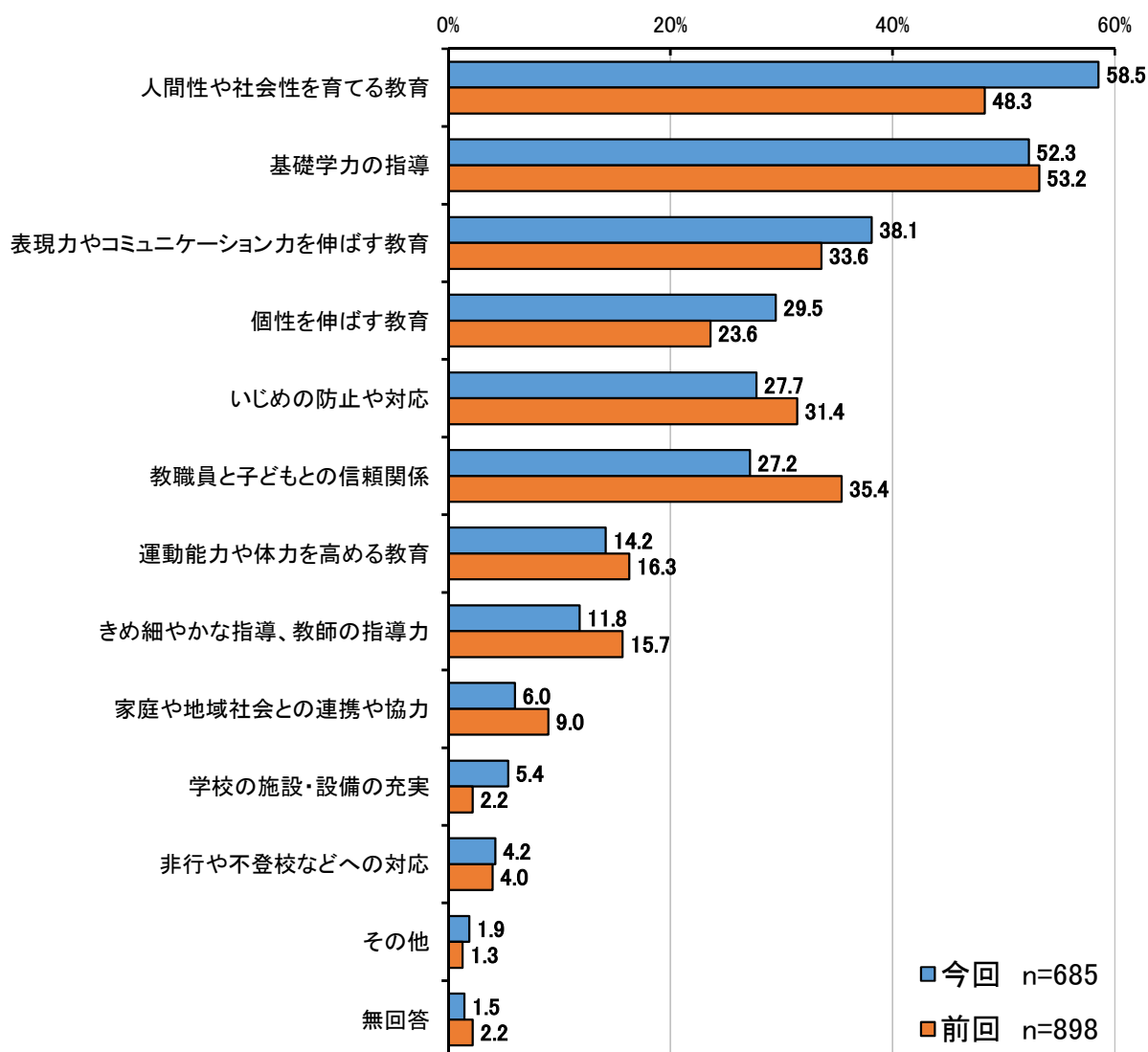
前回調査と比較すると、『満足している』が 2.2 ポイント増加しており、『不満である』は 1.1 ポイント減少しています。



問 40 お子さんが通う小学校に特に期待することは何ですか。(主なもの 3 つまでに○)

小学校に期待することをみると、「人間性や社会性を育てる教育」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「基礎学力の指導」52.3%、「表現力やコミュニケーション力を伸ばす教育」38.1%となっています。

前回調査と比較すると、「人間性や社会性を育てる教育」が 10.2 ポイントと最も増加しており、「教職員とこどもの信頼関係」が 8.2 ポイントと最も減少しています。



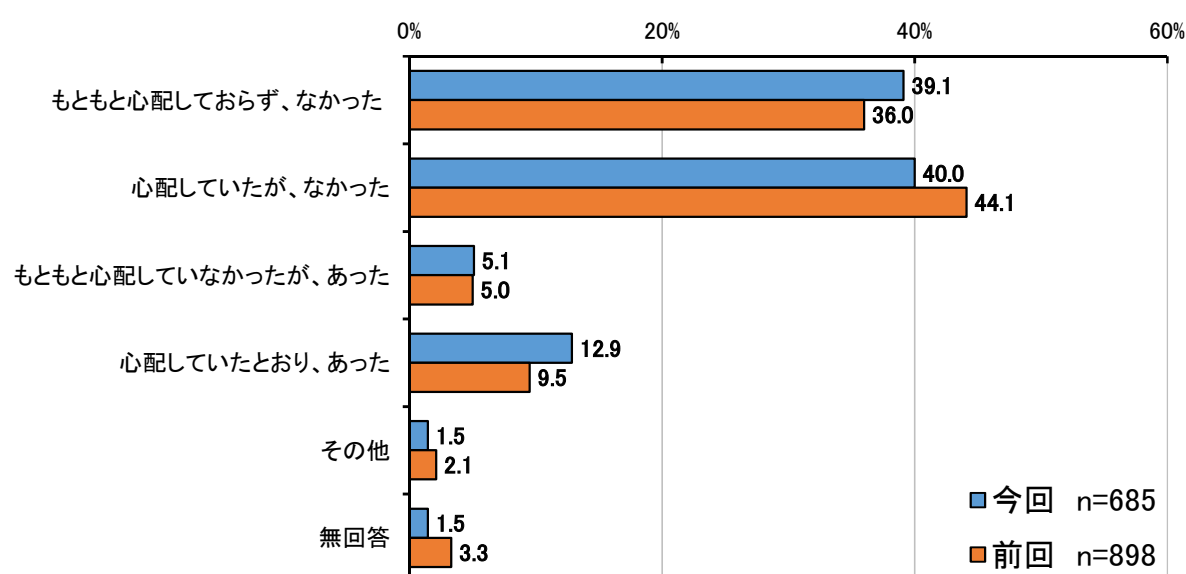
【その他の回答】(全 12 件)

- ・ 楽しめること
- ・ 放課後活動の充実
- ・ 性教育
- ・ 陸上大会への参加
- ・ 宿題を減らしてもらいたい。夏休みのポスター、読書感想文など、働く親の負担となっている。 など
- ・ 時代の変化にあわせて変化してほしい
- ・ 期待していない
- ・ クラス替えができるこどもの人数
- ・ 心を育てること

問 41 お子さんが小学校に進学した際、学校に馴染むまでに時間がかかる、いわゆる「小1プロブレム」はありましたか。(〇は1つ)

「小1プロブレム」への心配と発生をみると、「もともと心配しておらず、なかった」の割合が39.1%、「心配していたが、なかった」40.0%、「もともと心配していなかったが、あった」5.1%、「心配していたとおり、あった」12.9%となっています。『「小1プロブレム」があった』（「もともと心配していなかったが、あった」と「心配していたとおり、あった」の合計）の割合は18.0%となっています。

前回調査と比較すると、「心配していたとおり、あった」が3.4ポイントと最も増加しており、「心配していたが、なかった」は4.1ポイントと最も減少となっています。



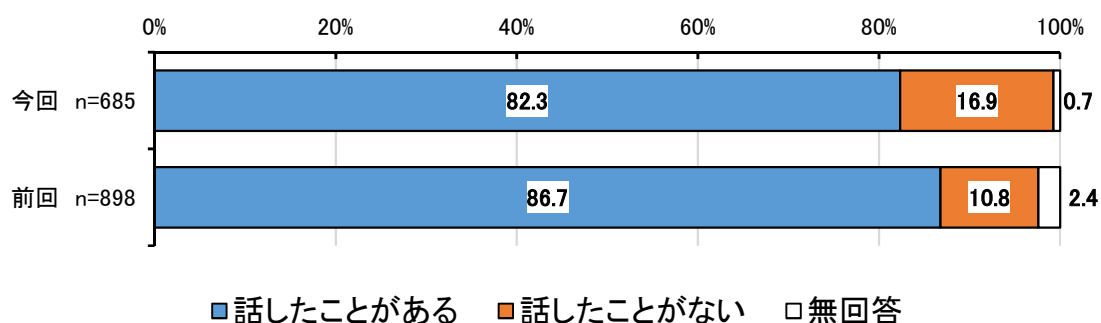
【その他の回答】(全9件)

- ・少し心配したが、思ったほどはなく、少しだけだった
- ・「小1プログラム」がよくわからない
- ・コロナで入学始めはずっと休みだった など

問 42 あなたは、「いじめ」に関して、お子さんと話し合うことはありますか。(〇は1つ)

「いじめ」についてこどもと話し合う機会があるかをみると、「話したことがある」82.3%、「話したことがない」16.9%となっています。

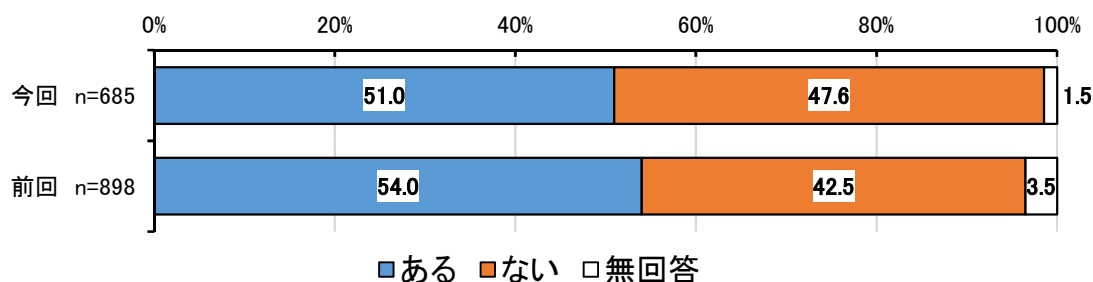
前回調査と比較すると、「話したことがない」が6.1ポイント増加しており、「話したことがある」が4.4ポイント減少しています。



問 43 あなたは、子ども同士の「いじめ」と思われる場面を見たり、聞いたりしたことがありますか。(○は1つ)

「いじめ」を見聞きしたことがあるかをみると、「ある」が51.0%、「ない」は47.6%となっています。

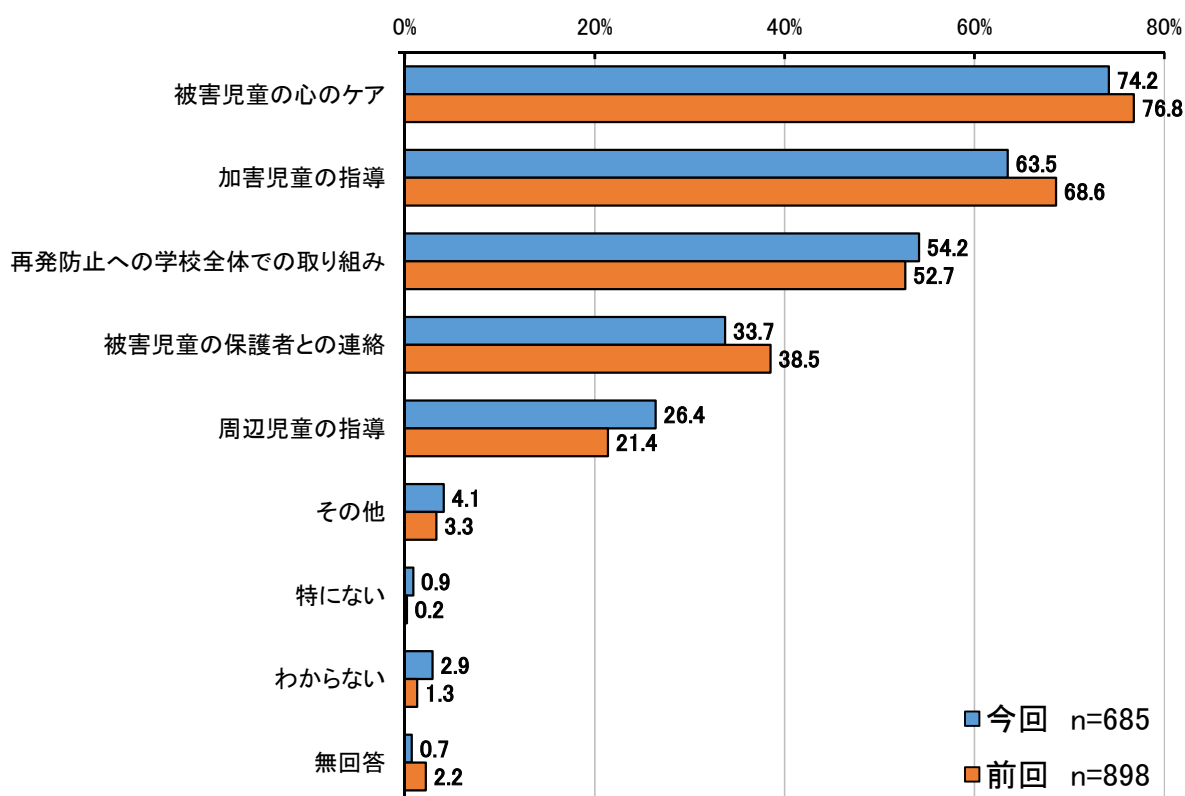
前回調査と比較すると、「ない」が5.1ポイント増加しており、「ある」が3.0ポイント減少しています。



問 44 万が一、「いじめ」が発生した時、まず、最初に学校に求めたいことはなんですか。(主なもの3つまでに○)

「いじめ」が発生した場合、学校に求めたいことをみると、「被害児童の心のケア」の割合が74.2%と最も高く、次いで「加害児童の指導」63.5%、「再発防止への学校全体での取り組み」54.2%となっています。

前回調査と比較すると、「周辺児童の教育」が5.0ポイントと最も増加し、「加害児童の指導」が5.1ポイントと最も減少しています。



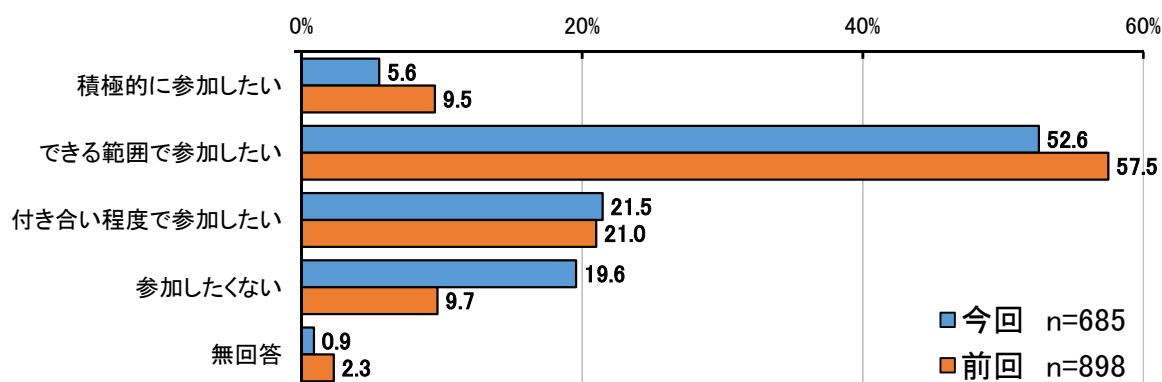
【その他の回答】（全 27 件）

- ・加害児童の保護者へ連絡・警告 9 件
- ・事実確認 4 件
- ・両方、周辺児童の聞きとり 3 件
- ・加害児童の転校 2 件
- ・加害児童の心のケア 2 件
- ・真実を明らかにすること
- ・こどもたちでの解決への導き
- ・両児童の心のケア
- ・要因、ストレスなどの把握 など

問 45 お子さんが通う小学校の活動（PTA 活動を含む）に参加したいと思いますか。
（○は 1 つ）

小学校の活動に参加したいかをみると、「できる範囲で参加したい」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「付き合い程度で参加したい」21.5%、「積極的に参加したい」5.6%となっており、一方、「参加したくない」19.6%となっています。

前回調査と比較すると、「参加したくない」が 9.9 ポイントと最も増加しており、「できる範囲で参加したい」が 4.9 ポイントと最も減少しており、「積極的に参加したい」も 3.9 ポイント減少しています。



（5）今後の三豊市の取組について

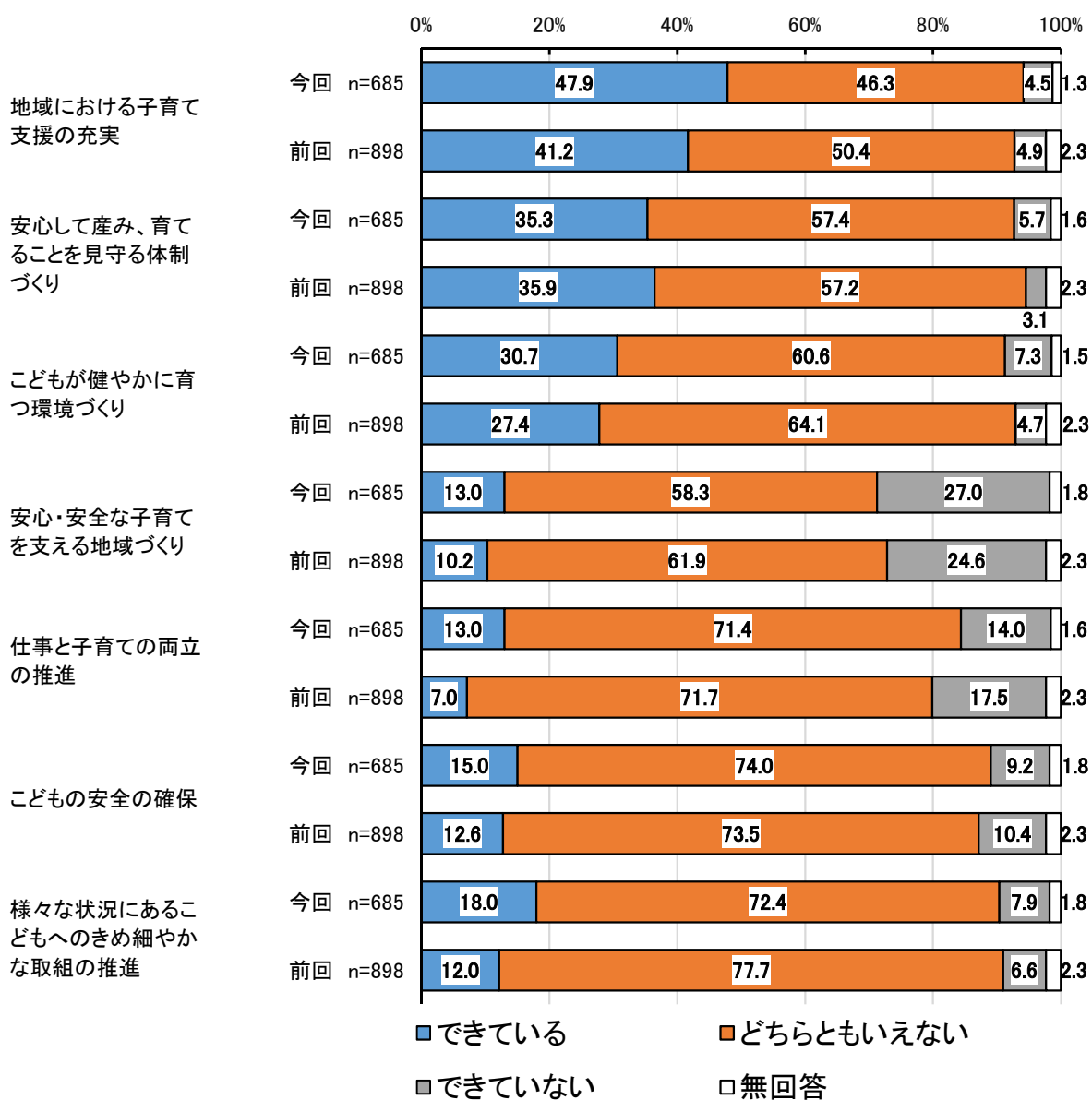
問 46 三豊市の子育て支援の取組分野について、(1) 現状評価、(2) 今後の重要度それぞれに、あなたの考えに最も近い番号 1 つずつに○をつけてください。

三豊市の子育て支援の取組分野についての現状評価をみると、「地域における子育て支援の充実」を除くすべての項目について、「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。「地域における子育て支援の充実」は、「できている」の割合が 47.9%と他の項目と比べて最も高くなっています。「安心・安全な子育てを支える地域づくり」は「できていない」が 27.0%と他の項目と比べて最も高くなっています。

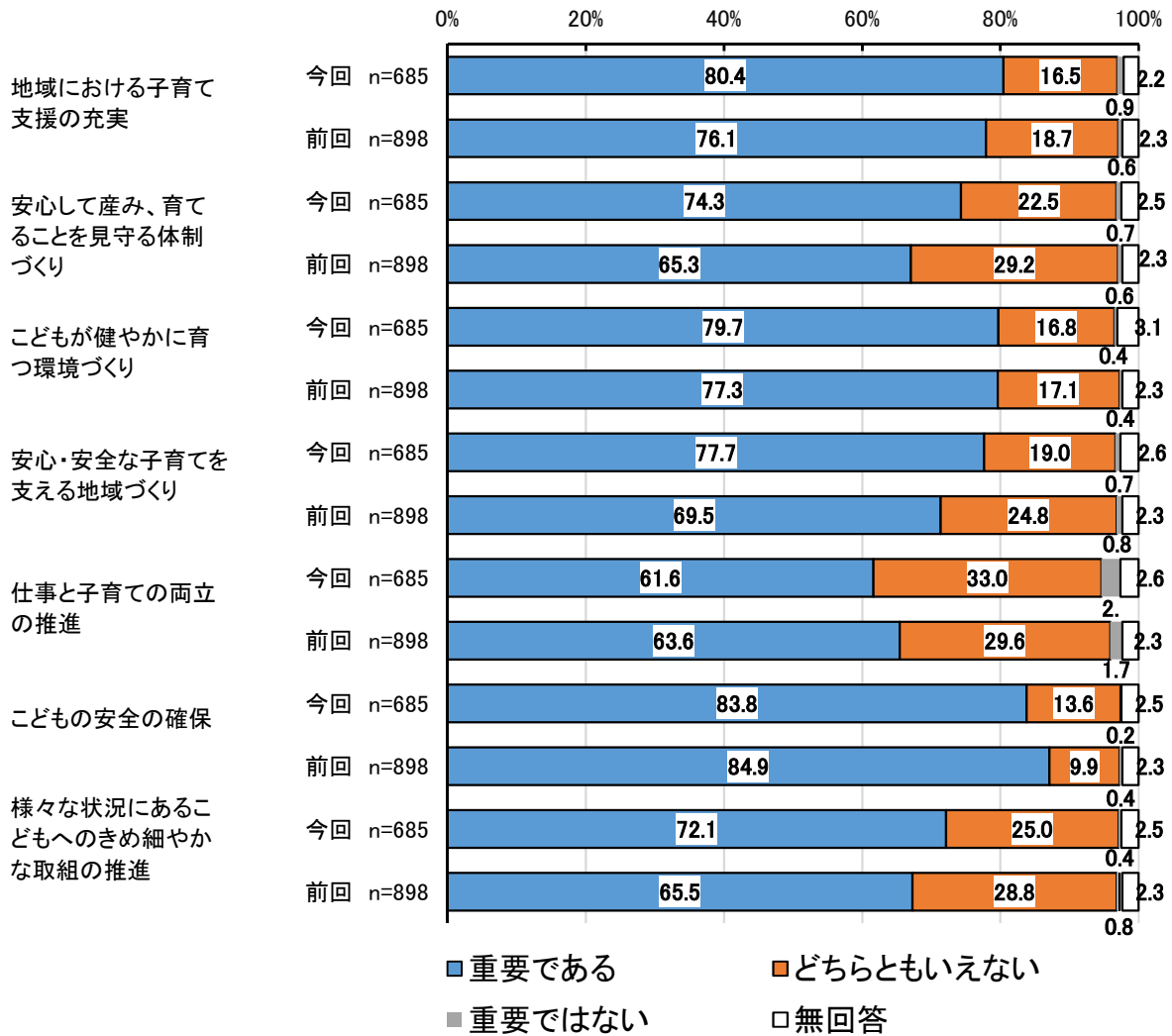
前回調査と比較すると、「地域における子育て支援の充実」の「できている」が 6.7 ポイントと最も増加しています。

今後の重要度をみると、すべての項目で「重要である」の割合が最も高くなっています。前回調査と比較すると、「安心して産み、育てることを見守る体制づくり」の「重要である」が 9.0 ポイントと最も増加しています。

【現状評価】



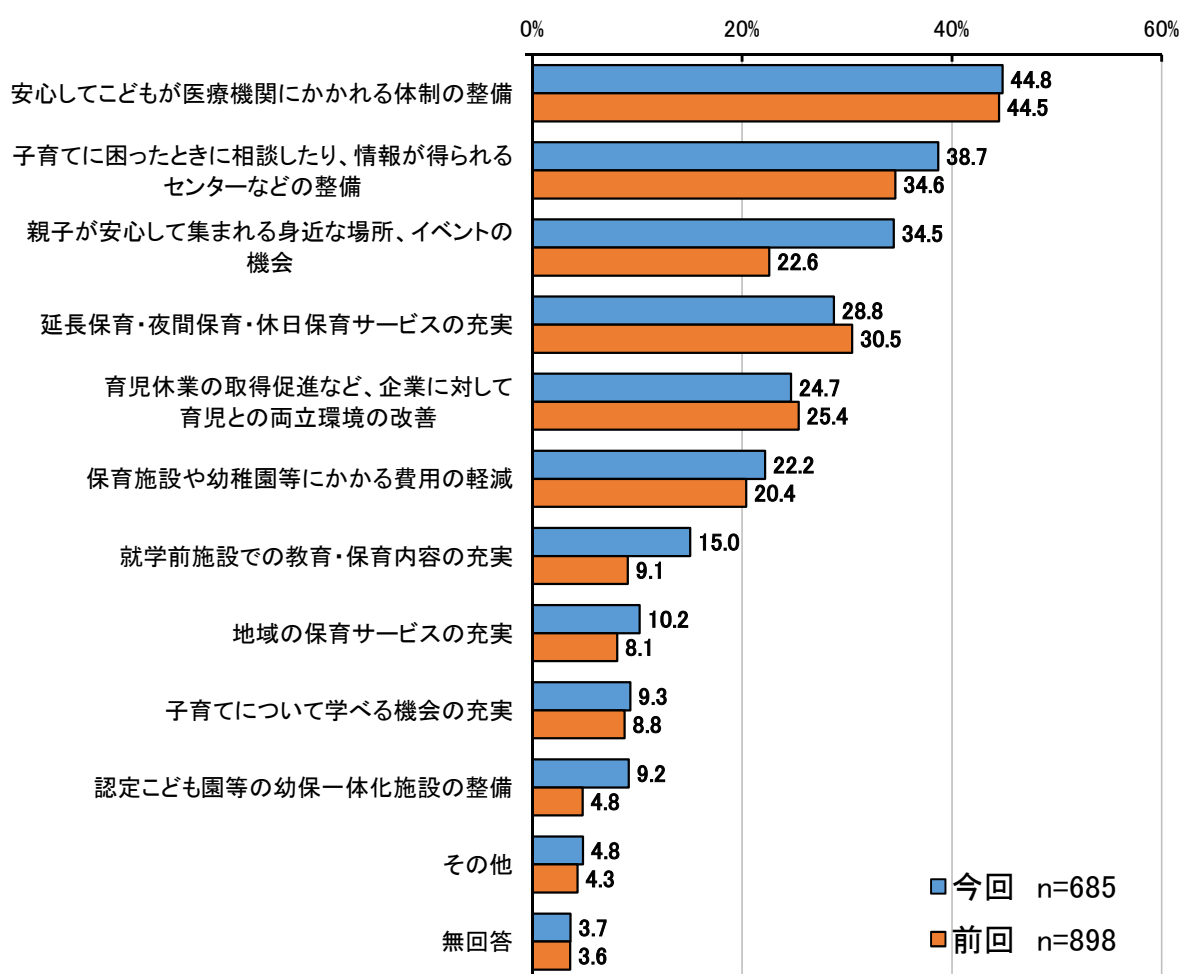
【今後の重要度】



問 47 あなたのこれまでの子育ての経験をふまえ、三豊市の子育て支援について充実すべきことは何だと考えますか。（主なもの3つまでに○）

市の子育て支援について特に期待することをみると、「安心してこどもが医療機関にかかる体制の整備」の割合が44.8%と最も高く、次いで「子育てに困ったときに相談したり、情報が得られるセンターなどの整備」38.7%、「親子が安心して集まれる身近な場所、イベントの機会」34.5%となっています。

前回調査と比較すると、「親子が安心して集まれる身近な場所、イベントの機会」が11.9ポイントと最も増加しており、次いで「就学前施設での教育・保育内容の充実」は5.9ポイント増加しています。



【その他の回答】（全 31 件）

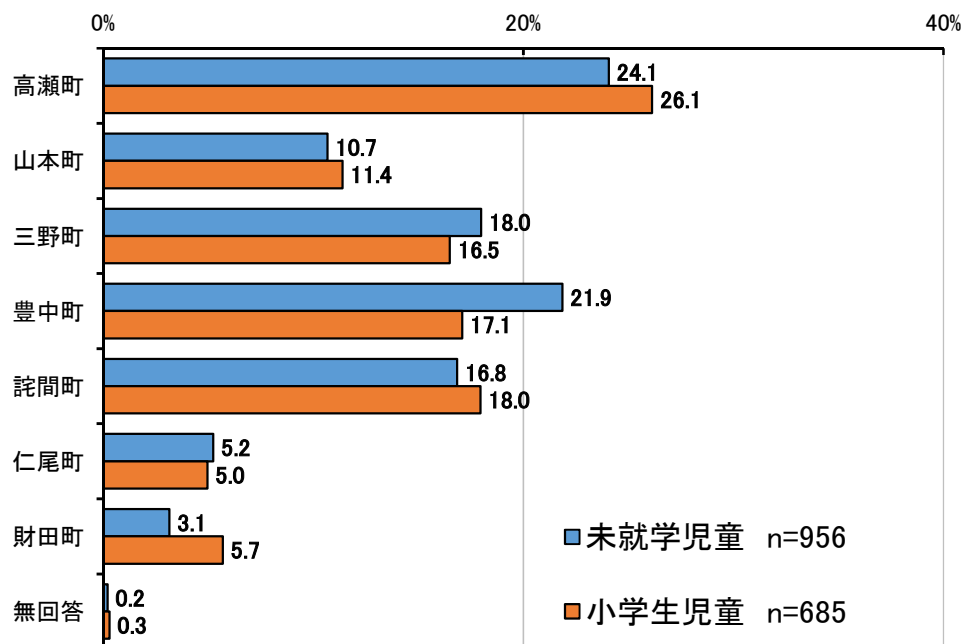
- ・ こどもがいる世帯への支援 2件
- ・ フリースクールの充実 2件
- ・ 一人親の家庭環境をどうにかしたい。
- ・ 給食メニューの改革
- ・ こどもへの支援金、給食費無料
- ・ 非常時の学校での生徒預かり
- ・ 学力向上のための施設の充実 2件
- ・ 児童館、図書館の拡充。
- ・ 小学校や幼稚園のスタッフの増員や質の向上
- ・ 公園や室内パークを増やす 2件
- ・ 保育士の賃上げ
- ・ 安心して預ける事のできる学童保育 など

IV 調査結果比較 未就学児童・小学生児童

お住いの地域についてうかがいます

未就学児童：問Ⅰ、小学生児童：問Ⅰ お住まいの地区はどちらですか。（○はⅠつ）

未就学児童と小学生児童を比較すると、未就学児童と小学生児童ともに、「高瀬町」の割合が最も高くなっています。

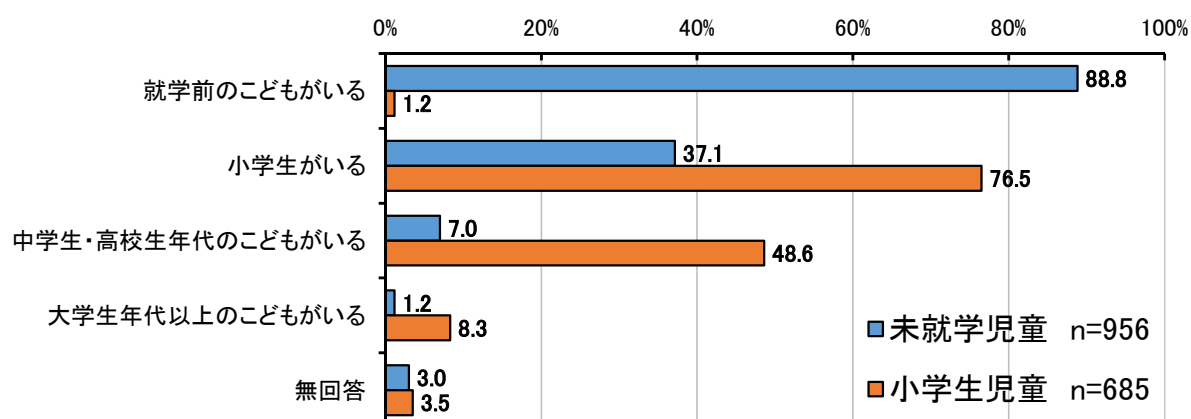


あて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます

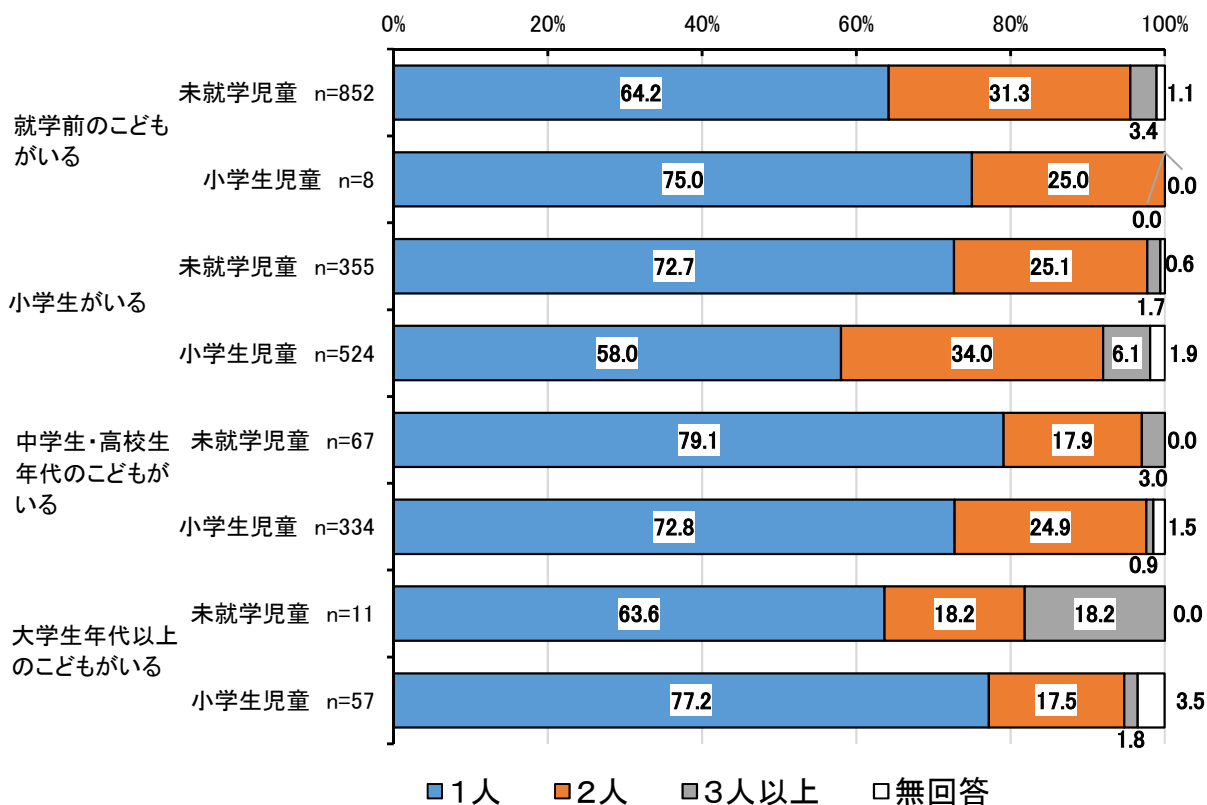
未就学児童：問3、小学生児童：問3 あて名のお子さんを含め、ご家庭の状況はどれにあてはまりますか。(〇はいくつでも)

未就学児童と小学生児童を比較すると、「就学前のこどもがいる」は未就学児童が87.6ポイント高くなっています。一方、小学生年代以上はすべての年代において小学生児童の方が高くなっており、「小学生がいる」は39.4ポイント、「中学生・高校生年代のこどもがいる」は41.6ポイント高くなっています。

こどもの状況別人数をみると、未就学児童と小学生児童はともに、すべての年代において「1人」の割合が最も高く、5割以上となっています。

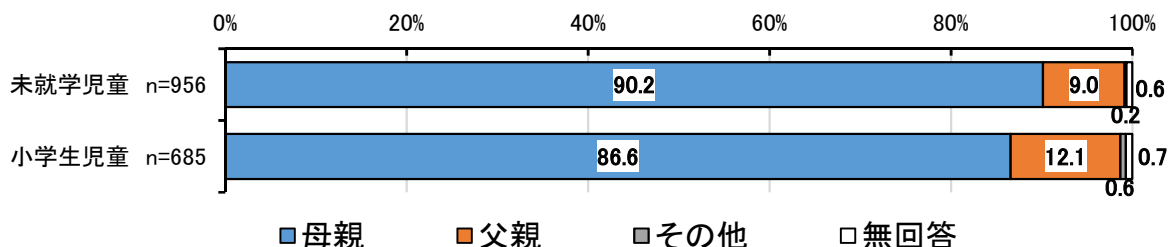


【人数】



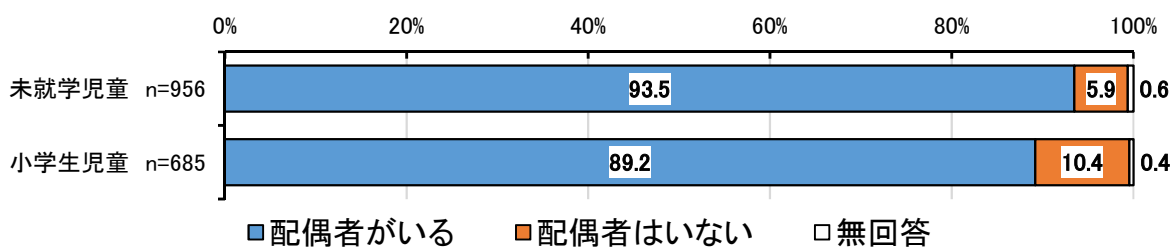
未就学児童：問 4、小学生児童：問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は 1 つ）

未就学児童と小学生児童を比較すると、ともに、「母親」が最も高くなっており、8 割以上となっています。「母親」は、未就学児童が 3.6 ポイント高くなっています。



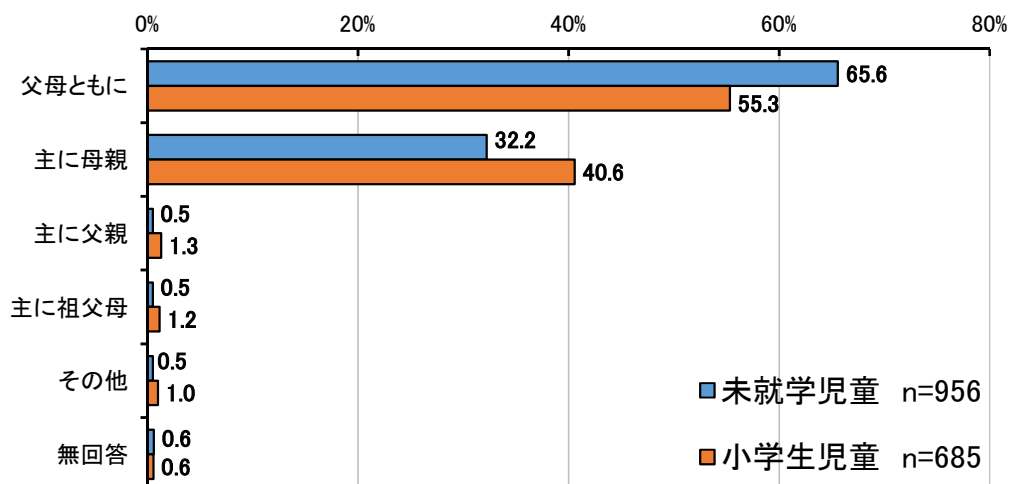
未就学児童：問 5、小学生児童：問 5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届け出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含みます。（○は 1 つ）

未就学児童と小学生児童を比較すると、ともに「配偶者がいる」が最も高くなっており、8 割以上となっています。「配偶者がいる」は、未就学児童が 4.3 ポイント高くなっています。



未就学児童：問 6、小学生児童：問 6 あて名のお子さんの子育て（教育含む）を主におこなっているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は 1 つ）

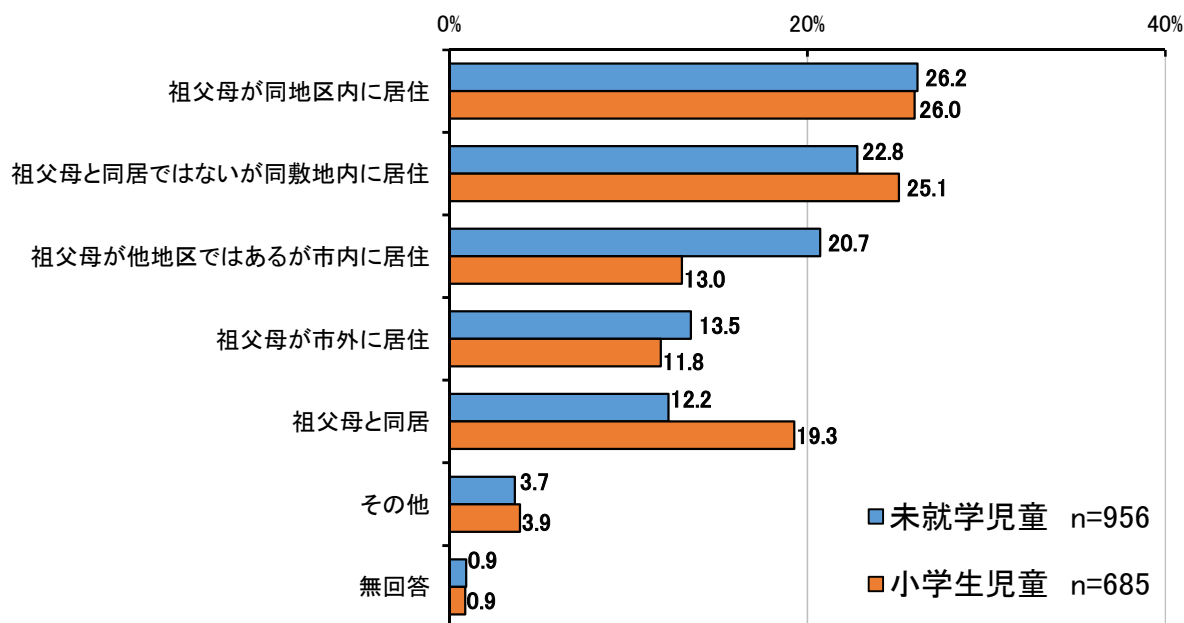
未就学児童と小学生児童を比較すると、ともに、「父母ともに」と「主に母親」の合計が 9 割以上となっています。「父母ともに」は未就学児童が 10.3 ポイント高くなっており、「主に母親」は小学生児童が 8.4 ポイント高くなっています。



未就学児童：問 7、小学生児童：問 7 世帯の状況は、次のどれにあてはまりますか。

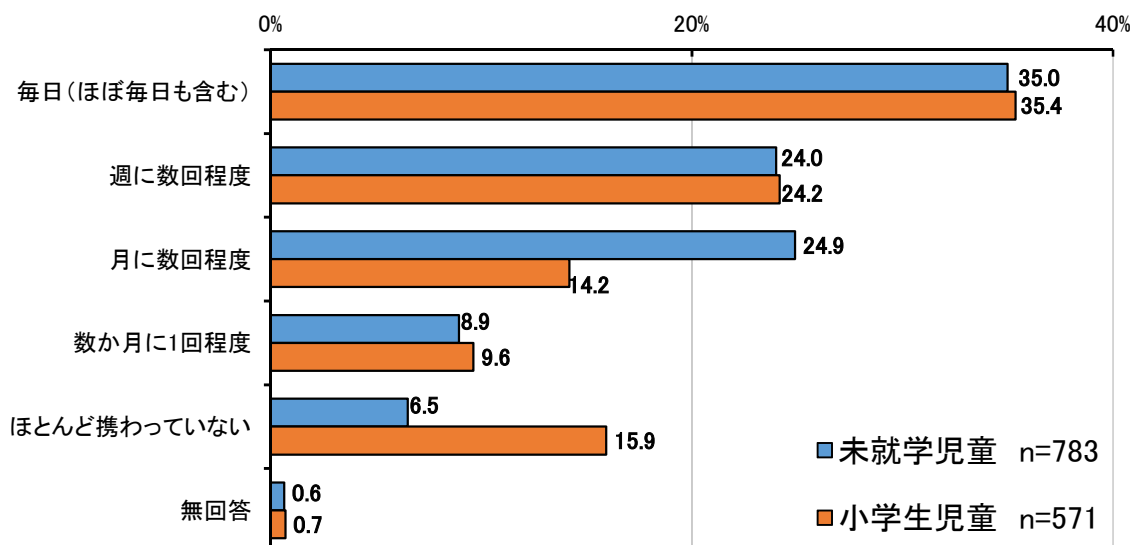
(○は 1 つ)

未就学児童と小学生児童を比較すると、「祖父母が他地区ではあるが市内に居住」は未就学児童が 7.7 ポイント高く、差が最も大きくなっており、「祖父母と同居」は小学生児童が 7.1 ポイント高くなっています。



未就学児童：問 8、小学生児童：問 8 祖父母がこどもの世話をする等、子育てに携わる頻度はどのくらいですか。(○は 1 つ)

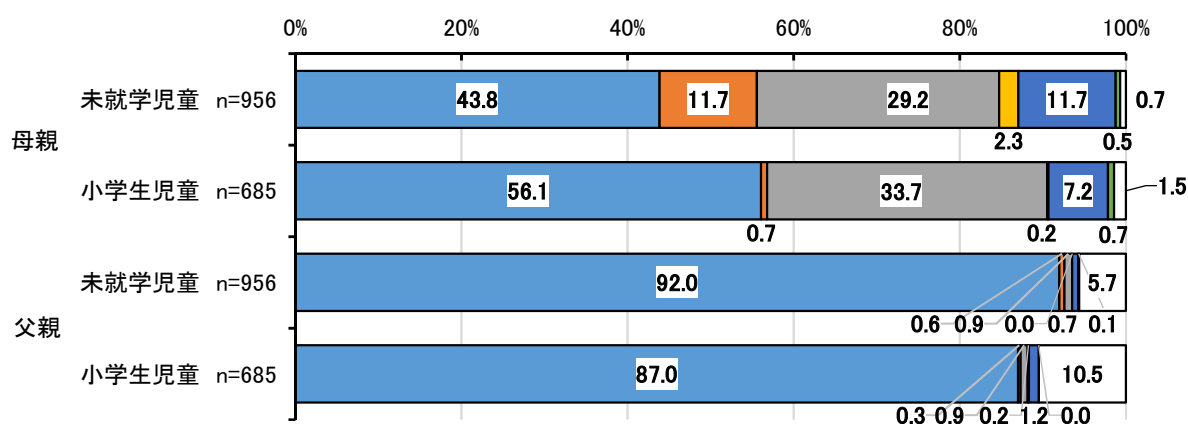
未就学児童と小学生児童を比較すると、ともに、「毎日 (ほぼ毎日も含む)」の割合が最も高く、約 35%となっています。「月に数回程度」は未就学児童が 10.7 ポイント高く、差が最も大きくなっており、「ほとんど携わっていない」は小学生児童が 9.4 ポイント高くなっています。



あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

未就学児童：問 9、小学生児童：問 9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を、母親、父親それぞれについてお答えください。（○は1つ）
（ひとり親家庭の場合は該当する設問のみ回答。（以下、同様））

未就学児童と小学生児童を比較すると、母親では、「フルタイムで就労している」は小学生児童が12.3ポイント高く、差が最も大きくなっており、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は未就学児童が11.0ポイント高くなっています。父親では、未就学児童と小学生児童はともに、「フルタイムで就労している」の割合が最も高く、8割以上となっています。



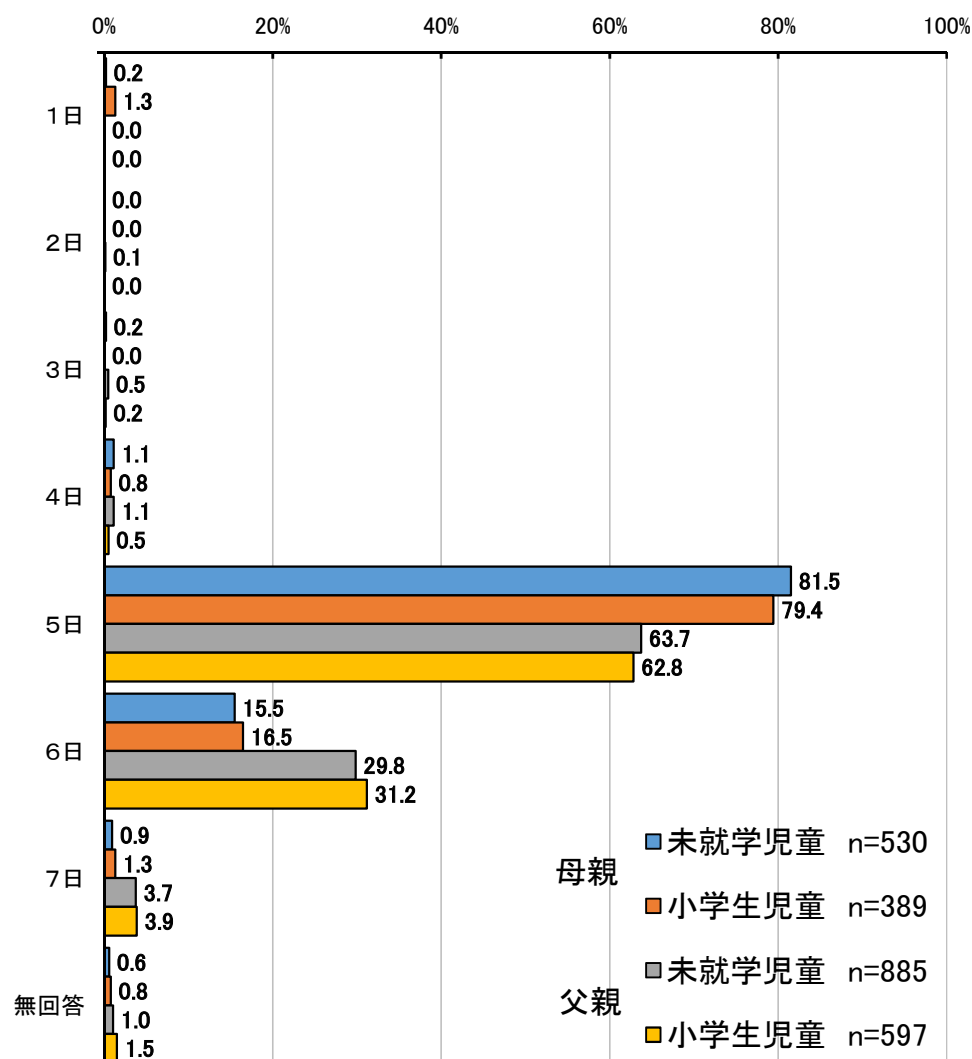
- フルタイムで就労している
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労している
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

未就学児童：問 10、小学生児童：問 10 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」について、[] 内に数字でご記入ください。（就労日数や就労時間が一定でない場合は平均的なパターンを回答）

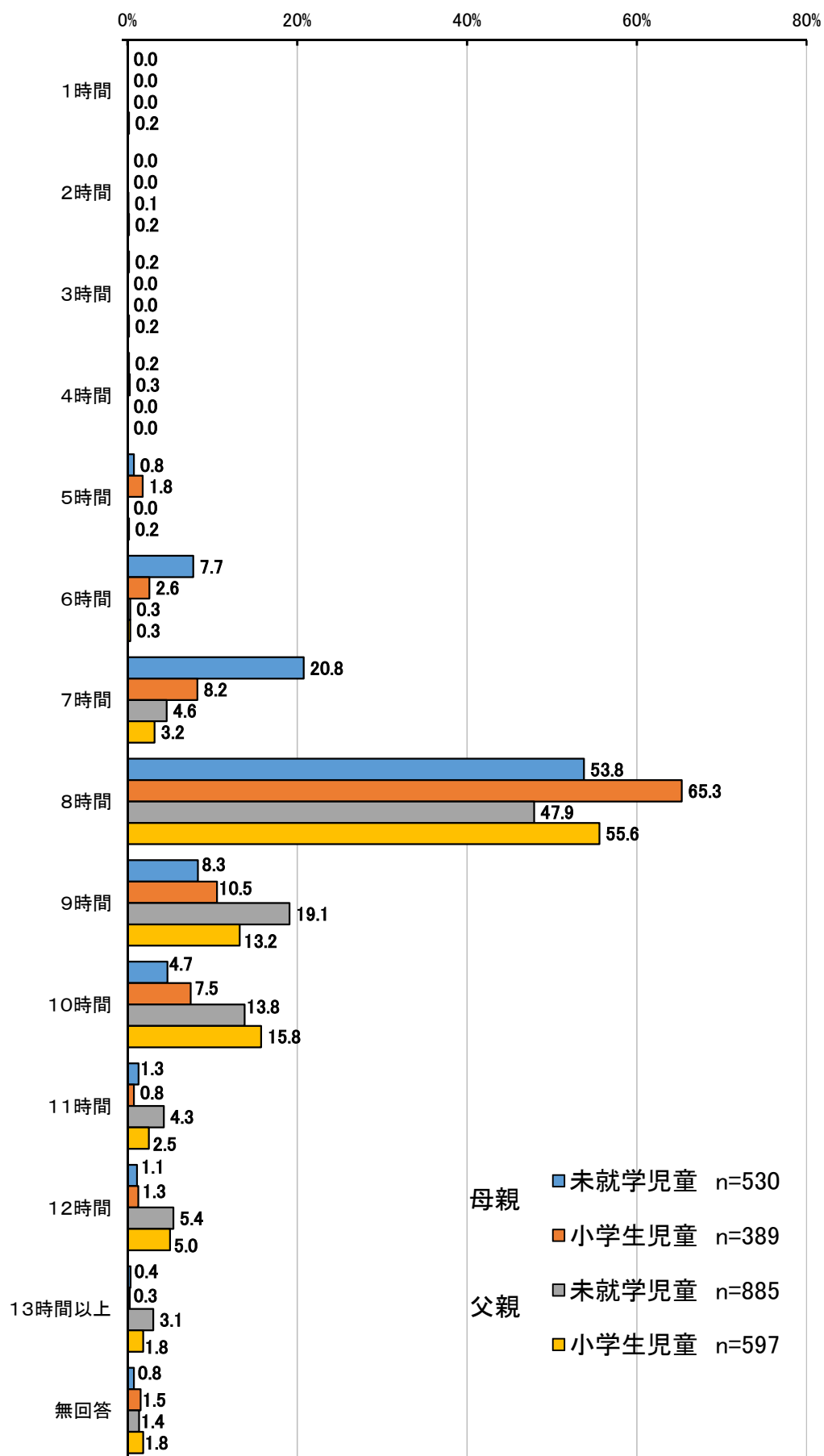
フルタイムでは、未就学児童と小学生児童はともに、1 週間あたり「5 日」の割合が父親と母親の両方で最も高くなっています。1 日あたりの時間は、父母ともに「8 時間」が最も高くなっています。また、未就学児童と小学生の母親の 1 日あたりの時間をみると、「7 時間」は未就学児童が 12.6 ポイント高くなっており、「8 時間」は小学生児童が 11.5 ポイント高くなっています。

パートタイム・アルバイト等をみると、1 週間あたり「5 日」の割合が父親と母親の両方で最も高くなっています。1 日あたりの時間は、母親は「6 時間」、父親は「5 時間」が最も高くなっています。また、未就学児童と小学生の母親の 1 日あたりの時間をみると、「7 時間」は未就学児童が 9.2 ポイント高くなっており、「5 時間」は小学生児童が 5.7 ポイント高くなっています。

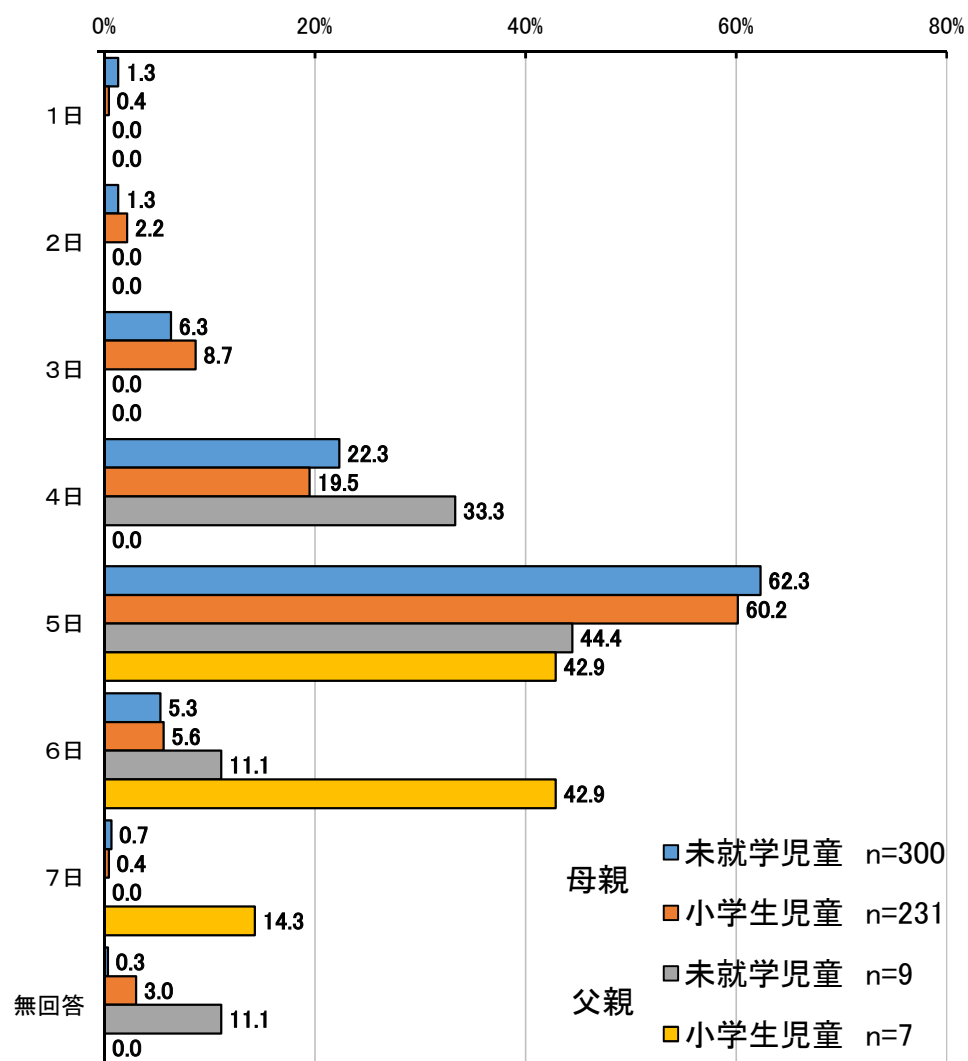
【フルタイム・1 週間あたり】



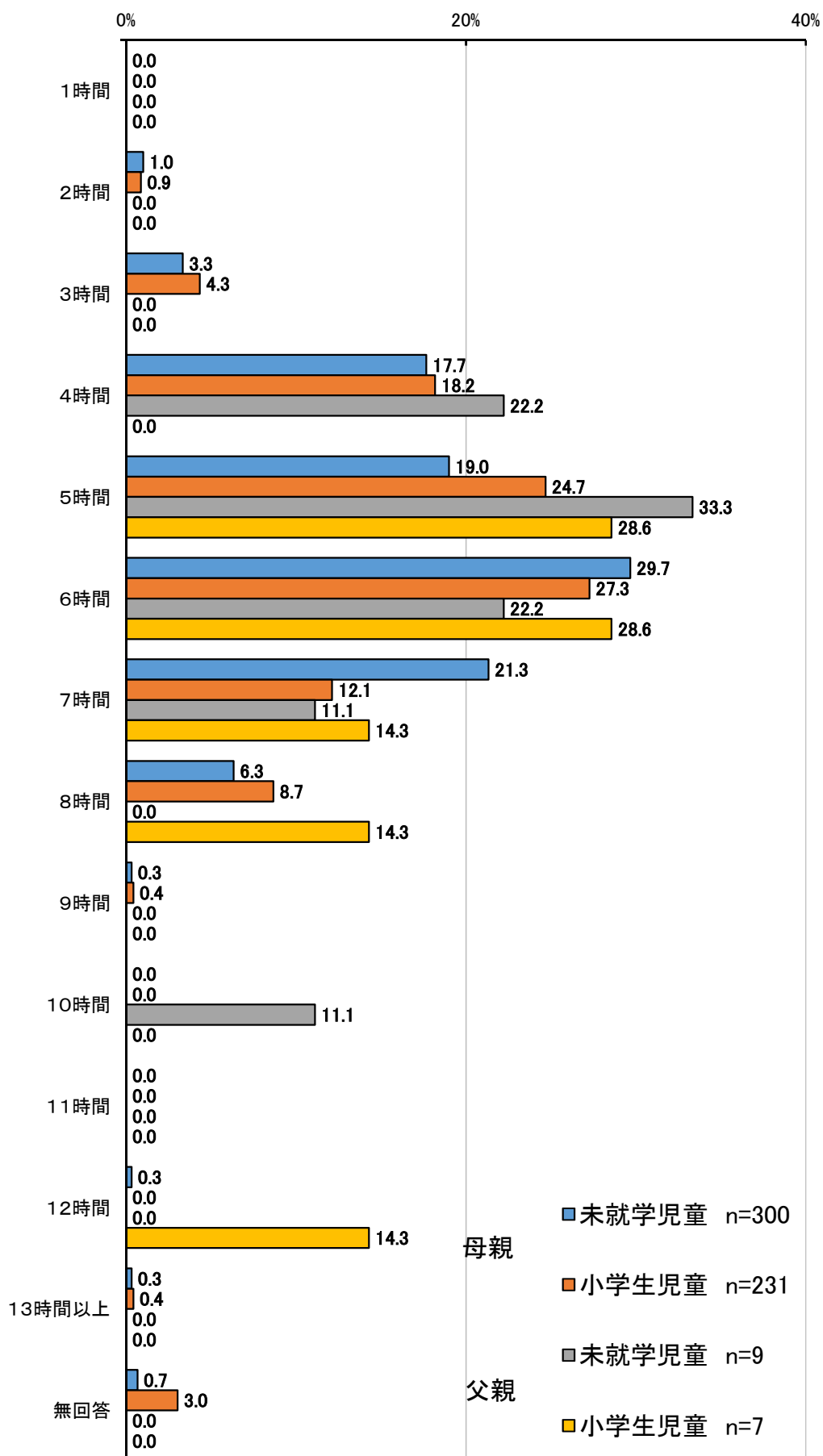
【フルタイム・1日あたり】



【パート・アルバイト・1週間あたり】

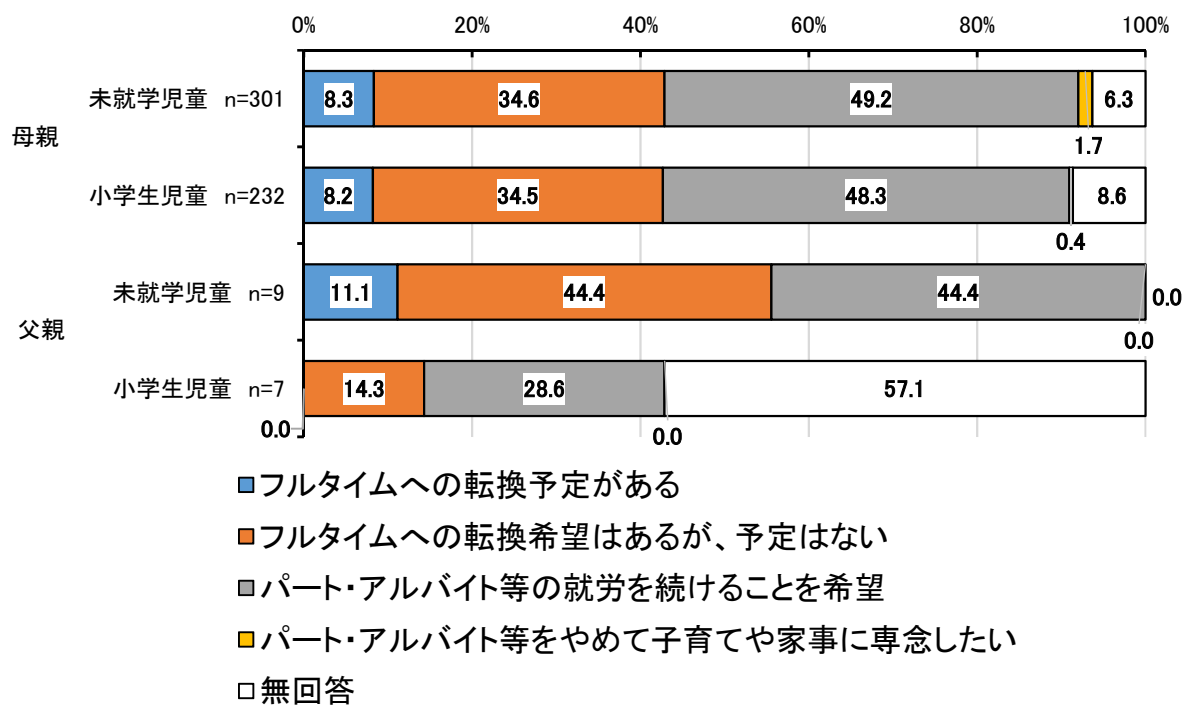


【パート・アルバイト・1日あたり】



未就学児童：問 11、小学生児童：問 11 フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

母親をみると、未就学児童と小学生児童のフルタイムへの転換希望は、概ね同じ傾向となっています。いずれも「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も高く、約5割となっています。



未就学児童：問 12、小学生児童：問 12 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する〔 〕内には数字でご記入ください。

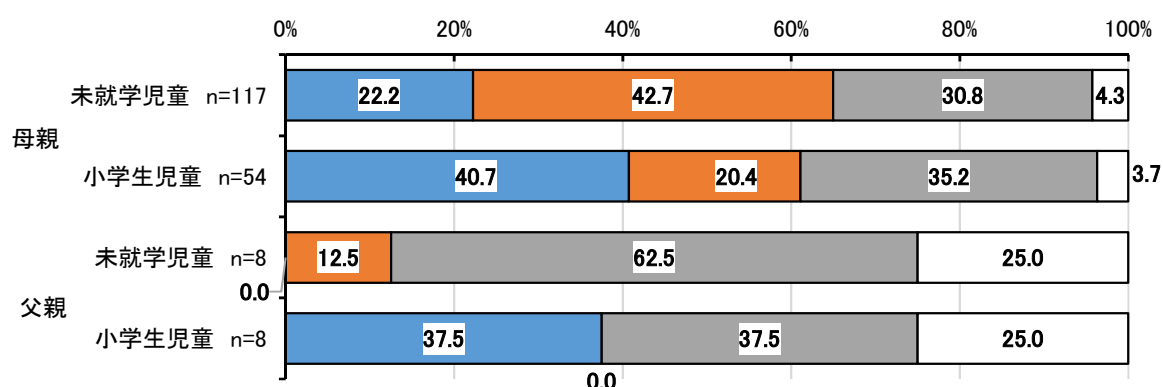
現在就労していない人の就労への希望についてみると、母親では、「1 年以上先、一番下のこどもが〔 〕歳になったところに就労したい」は未就学児童が 22.3 ポイント高くなっており、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」は小学生児童が 18.5 ポイント高くなっています。父親では、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が最も高くなっており、小学生児童は同じく「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」も高くなっています。

母親の就労を希望するこどもの年齢をみると、未就学児童と小学生児童はともに「5 歳以上」の割合が最も高くなっています。ただし傾向は異なり、未就学児童は「5 歳以上」と「3 歳」がともに 3 割以上となっており、小学生児童は「5 歳以上」が 8 割以上を占めています。

希望する就労形態と、一週間あたりの就労日数の未就学児童と小学生児童は、概ね同じ傾向となっています。

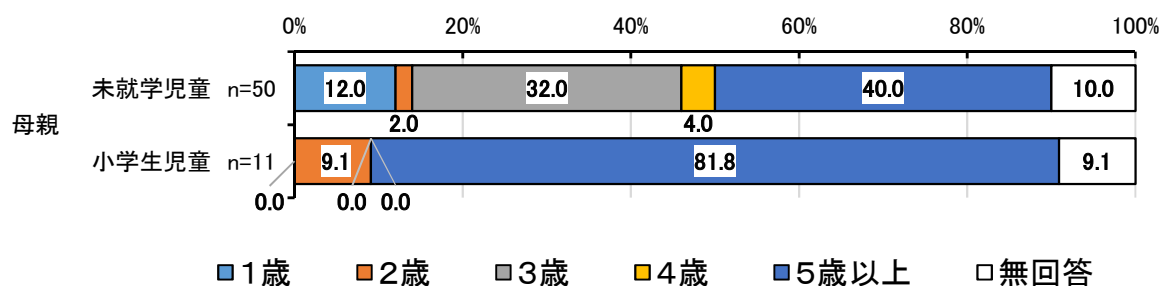
母親の希望する 1 日あたりの就労時間をみると、「6 時間」は未就学児童が 37.9 ポイント高くなっており、「5 時間」は小学生児童が 19.7 ポイント高くなっています。

【就労への希望】



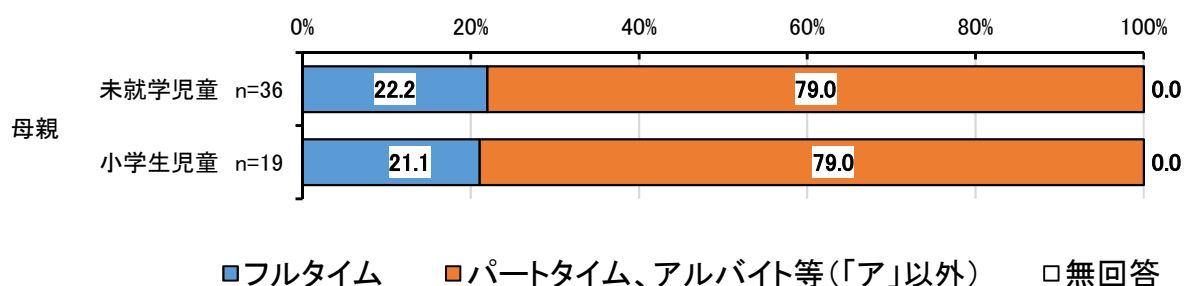
- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年以上先、一番下のこどもが〔 〕歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

【就労を希望するこどもの年齢】



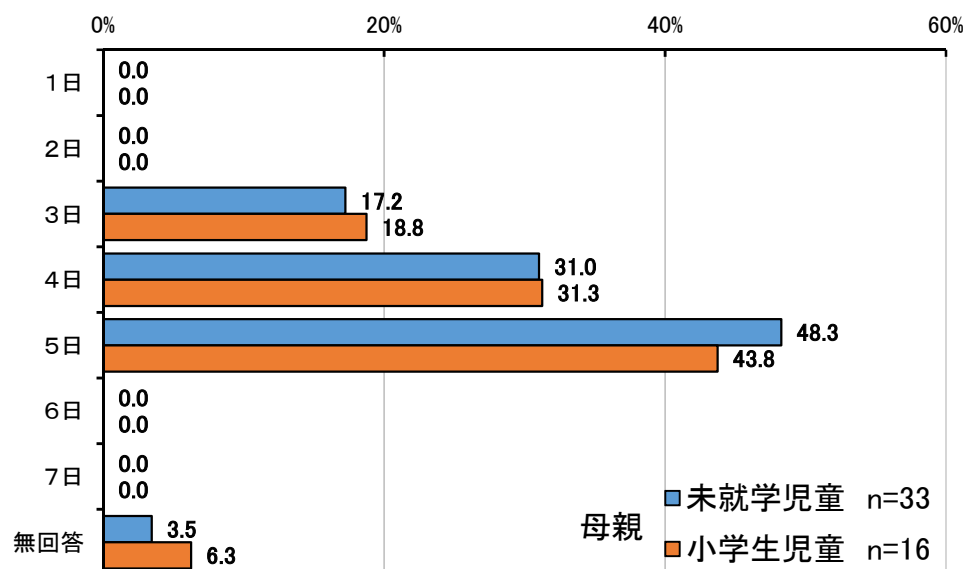
※未就学児童の父親は「5歳以上」が1件ありました。

【就労形態】



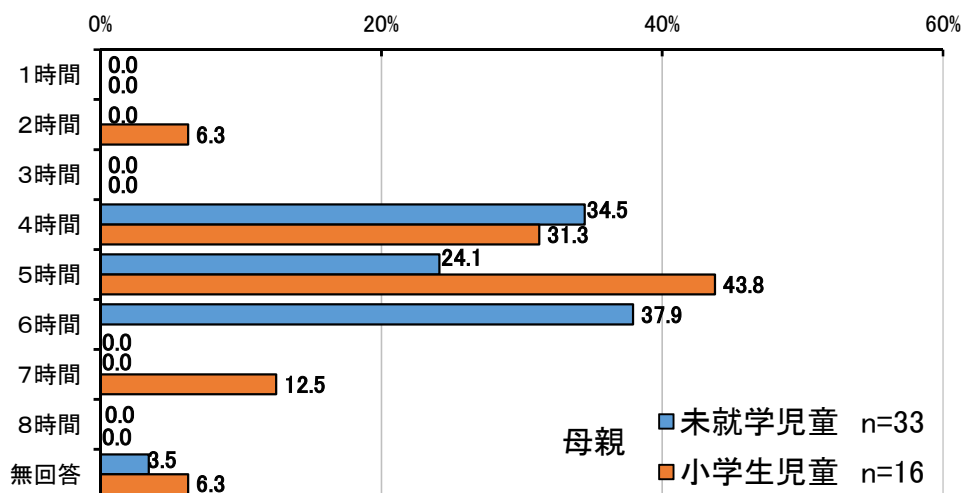
※未就学児童の父親は「フルタイム」が5件、小学生児童の父親は「フルタイム」が3件ありました。

【1週あたり】



※父親は回答がありませんでした。

【1日あたり】



※父親は回答がありませんでした。

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます

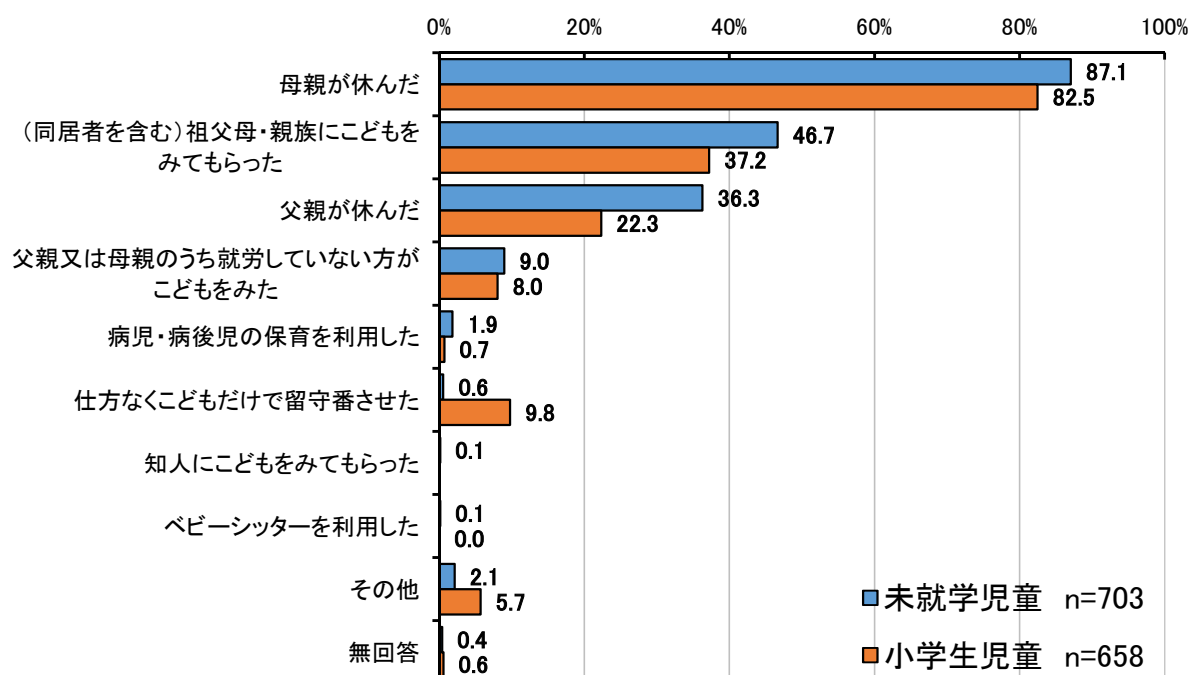
未就学児童：問 26 お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間、どのように対応しましたか。

(あてはまるものすべてに○)

小学生児童：問 17 お子さんが病気やケガで学校を休む場合の主な対応方法は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

未就学児童と小学生児童を比較すると、未就学児童と小学生児童はともに「母親が休んだ」の割合が最も高く、8割以上となっています。「父親が休んだ」は未就学児童が14.3ポイント高くなっており、「仕方なくこどもだけで留守番させた」は小学生児童が9.2ポイント高くなっています。

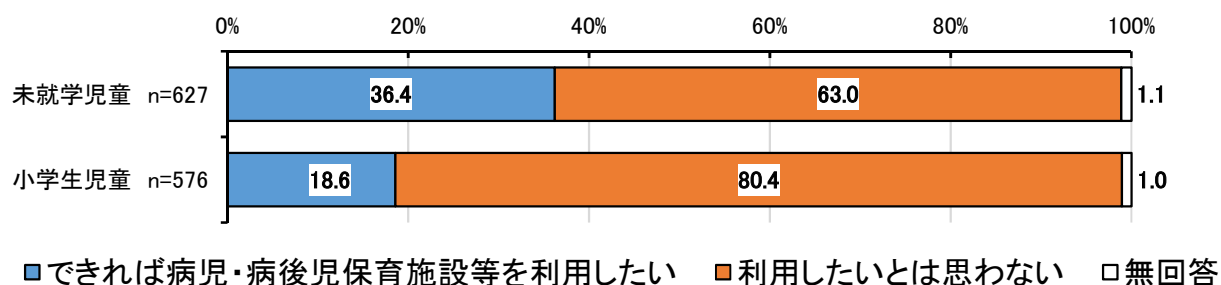


※小学生児童は「知人にこどもをみてもらった」の選択肢はありませんでした。

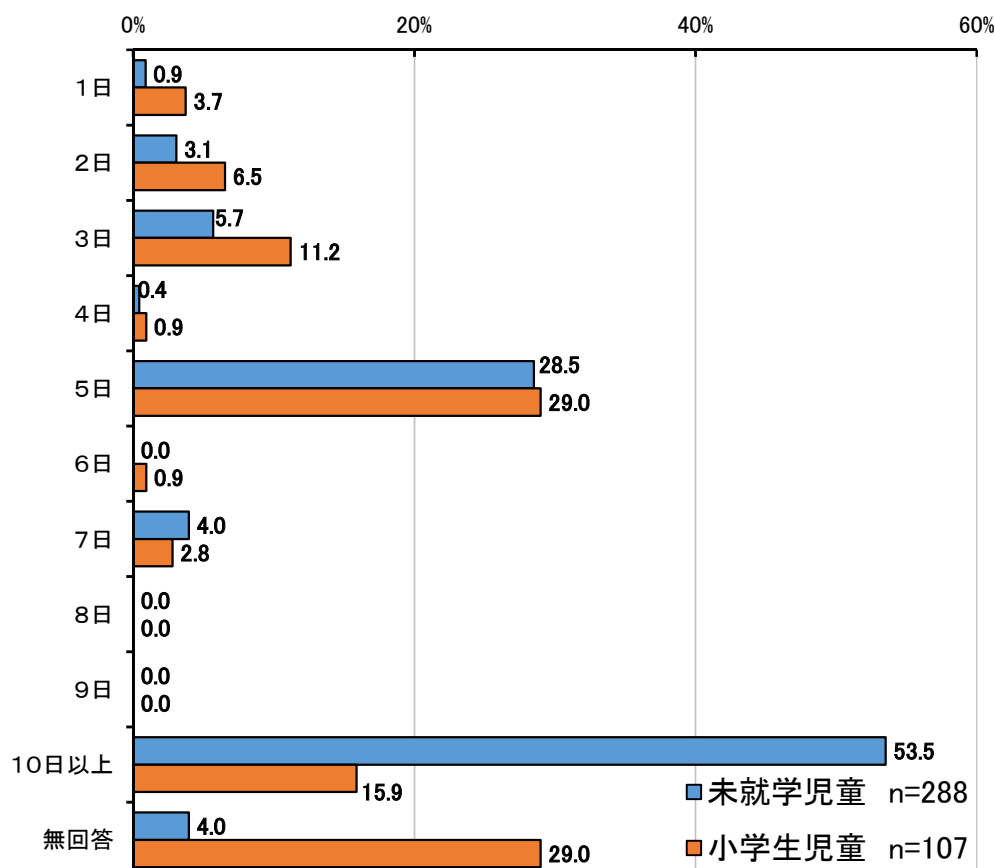
未就学児童：問 27、小学生児童：問 18 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ) また、希望する日数について〔 〕内に数字でご記入ください。

未就学児童と小学生児童を比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は未就学児童が17.8ポイント高くなっています。

希望する日数をみると、未就学児童と小学生児童ともに「5日」が3割近く希望されています。「10日以上」は未就学児童が37.6ポイント高くなっています。一方、「1日」「2日」「3日」等の短い日数は小学生児童が高くなっています。また、

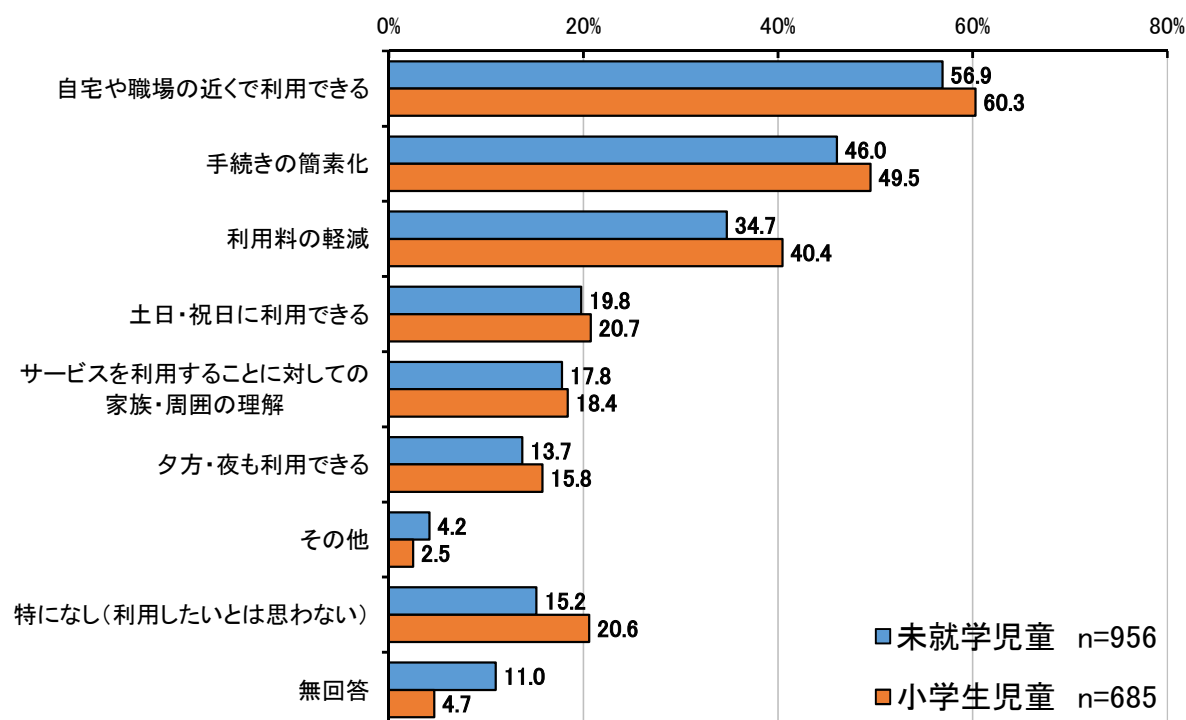


【希望する日数】



未就学児童：問 28、小学生児童：問 19 病児・病後児保育施設をより利用しやすくするためにはどのようなことがあれば良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

未就学児童と小学生児童を比較すると、すべての項目で小学生児童の割合が未就学児よりも高くなっており「利用料の軽減」は小学生児童が 5.7 ポイント高く、「手続きの簡略化」は小学生児童が 3.5 ポイント高くなっています。一方、「特になし（利用したいとは思わない）」は小学生児童が 5.4 ポイント高くなっています。



あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

未就学児童：問 31 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3 年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

それぞれに希望する週あたりの日数は〔 〕内に数字でご記入ください。

小学生児童：問 15 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

それぞれに利用を希望する週あたりの日数について〔 〕内に数字でご記入ください。

未就学児童と小学生児童を比較すると、「放課後児童クラブ」は未就学児童が 24.8 ポイント高くなっており、「自宅」は小学生児童が 35.7 ポイント高くなっています。

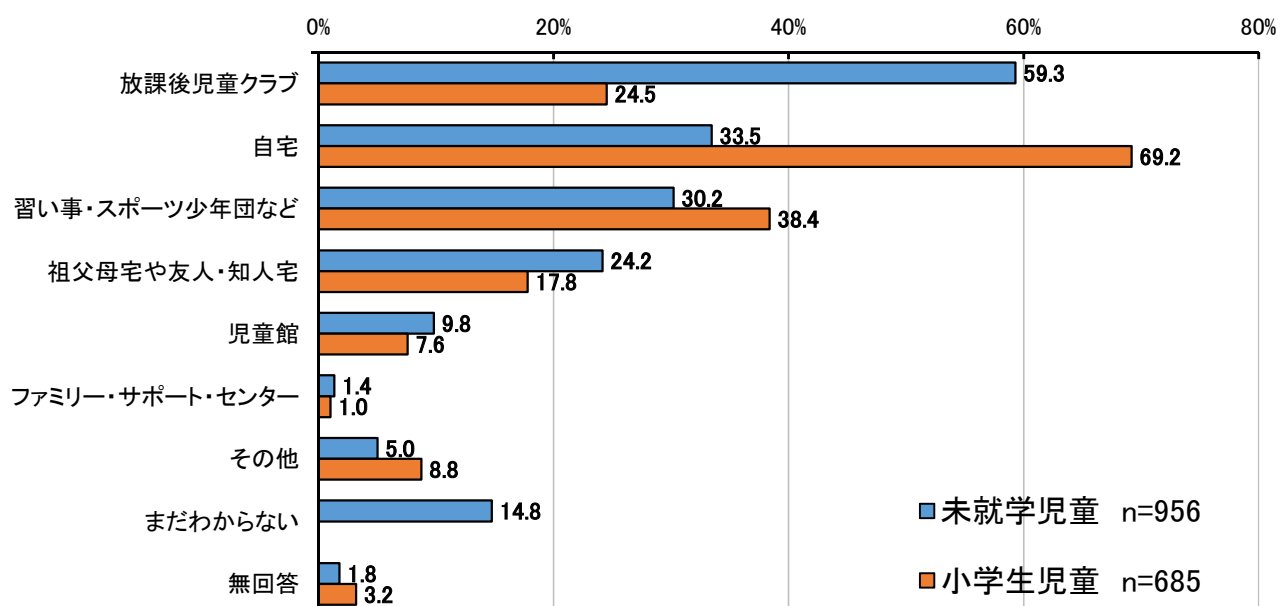
利用する日数をみると、

【自宅】は、未就学児童と小学生児童はともに「5 日」の割合が最も高くなっており、「3 日」は未就学児童が 5.9 ポイント高く、「7 日」は小学生児童が 5.9 ポイント高くなっています。

【祖父母宅や友人・知人宅】は、「5 日」は未就学児童が 10.8 ポイント高くなっており、「1 日」は小学生児童が 5.8 ポイント高くなっています。また、未就学児童は「5 日」が、小学生児童は「1 日」が最も高くなっています。

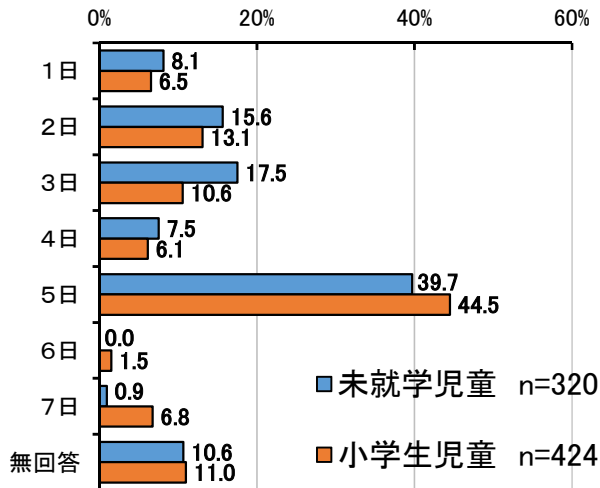
【習い事・スポーツ少年団など】は、未就学児童と小学生児童はともに「2 日」の割合が最も高くなっており、「1 日」は未就学児童が 12.7 ポイント高く、「3 日」は小学生児童が 11.0 ポイント高くなっています。

【放課後児童クラブ】は、未就学児童と小学生児童はともに「5 日」の割合が最も高くなっており、「5 日」は未就学児童が 7.3 ポイント高く、「3 日」は小学生児童が 4.5 ポイント高くなっています。

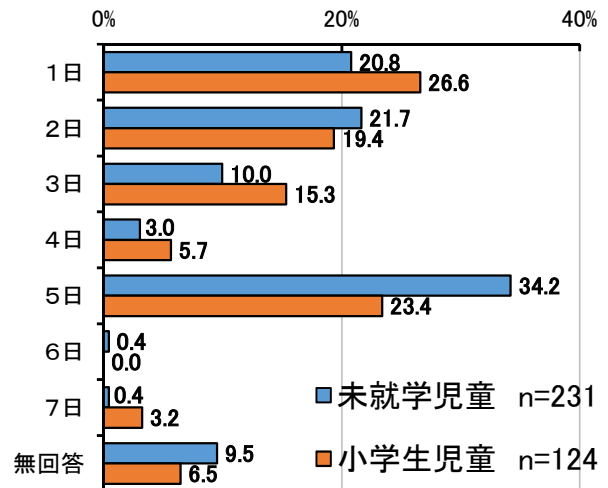


※小学生児童は「まだわからない」の選択肢はありませんでした。

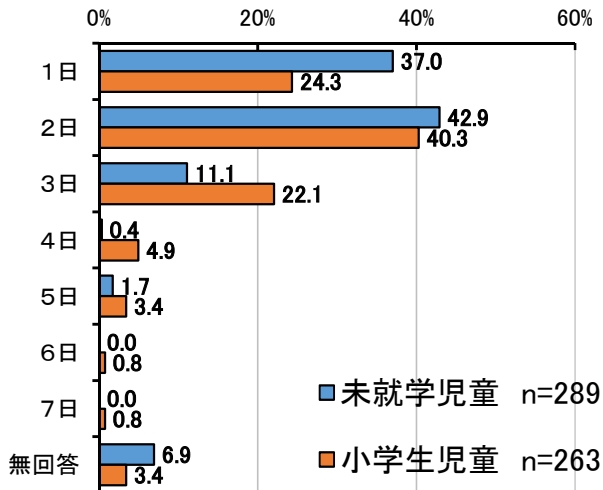
【自宅】



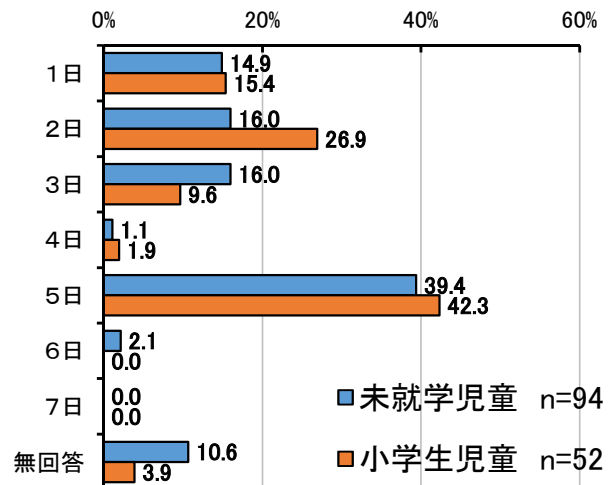
【祖父母宅や知人・友人宅】



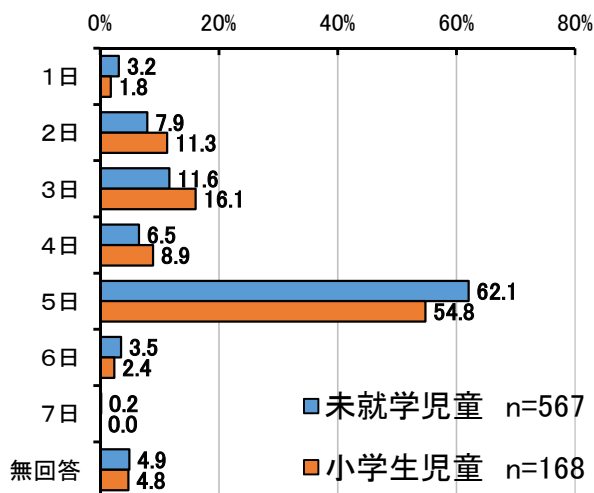
【習い事・スポーツ少年団など】



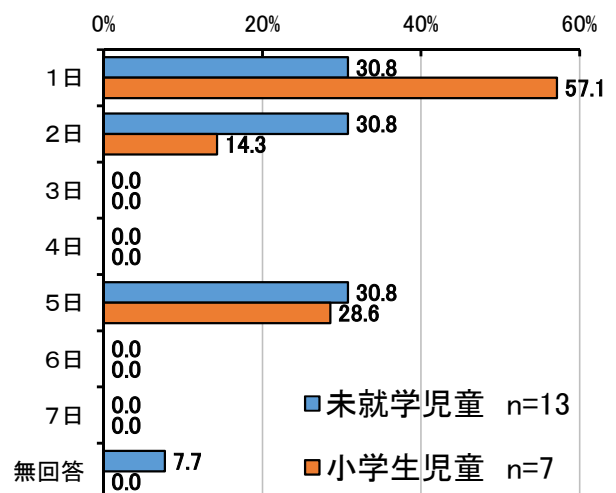
【児童館】



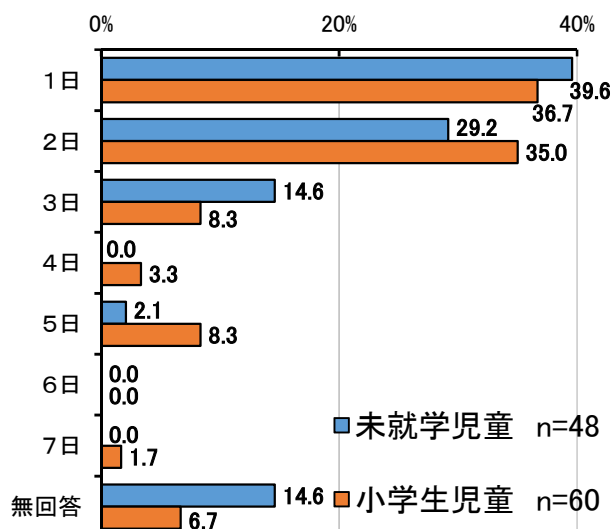
【放課後児童クラブ】



【ファミリー・サポート・センター】



【その他】



「発達支援」についてうかがいます

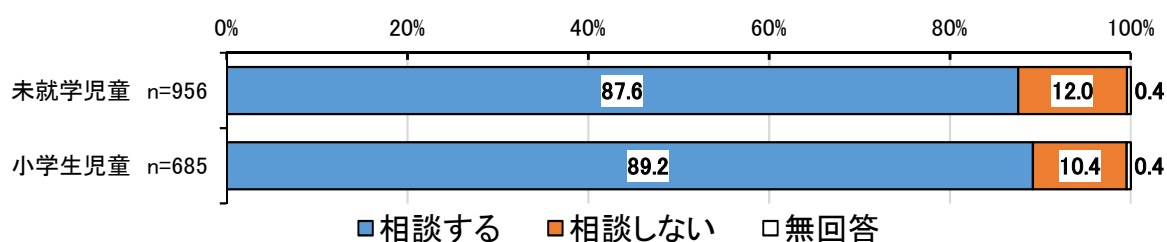
未就学児童：問 34、小学生児童：問 20 子育てをする上で、お子さんの成長・発達や特性について気になることがあった場合、家庭外へ相談しますか（しましたか）。

意向をみると、未就学児童と小学生児童は概ね同じ傾向となっています。

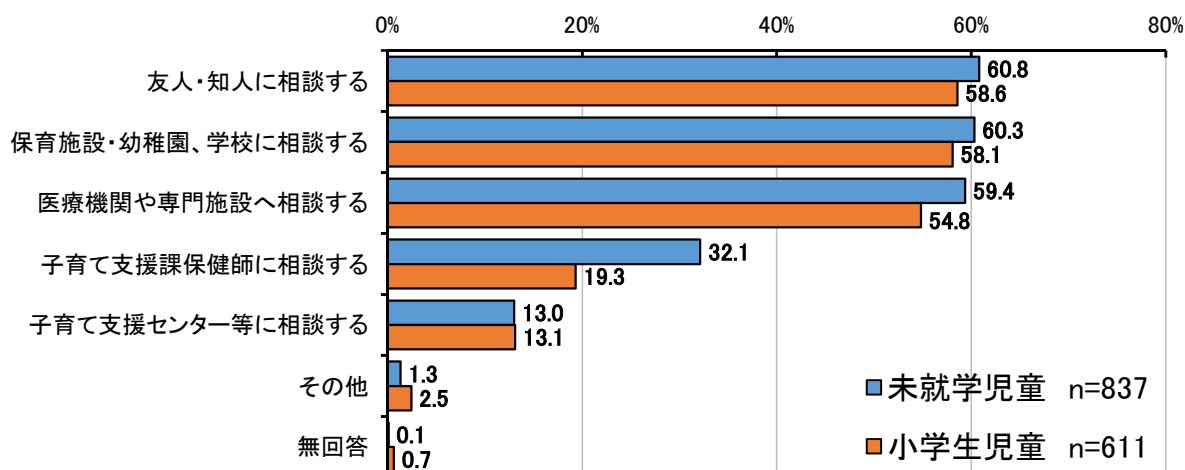
相談する人の対応方法は概ね同じ傾向となっていますが、「子育て支援課保健師」は未就学児童が9.2ポイント高く、差が最も大きくなっています。

相談しない人の対応方法をみると、未就学児童と小学生児童は同じ傾向となっています。

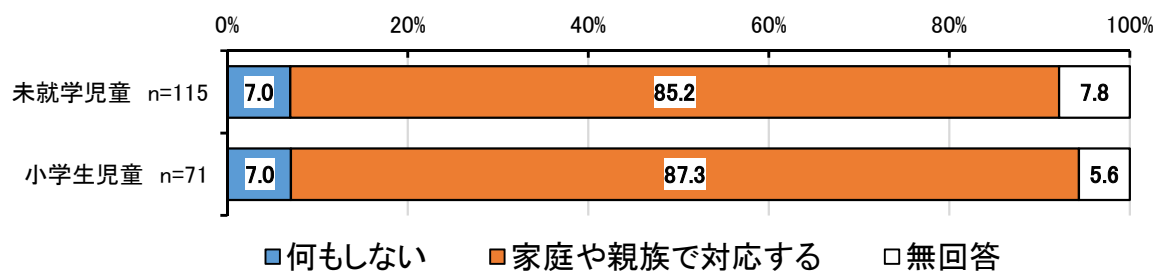
【意向】（○は1つ）



【相談する人・対応方法】（あてはまる記号すべてに○）

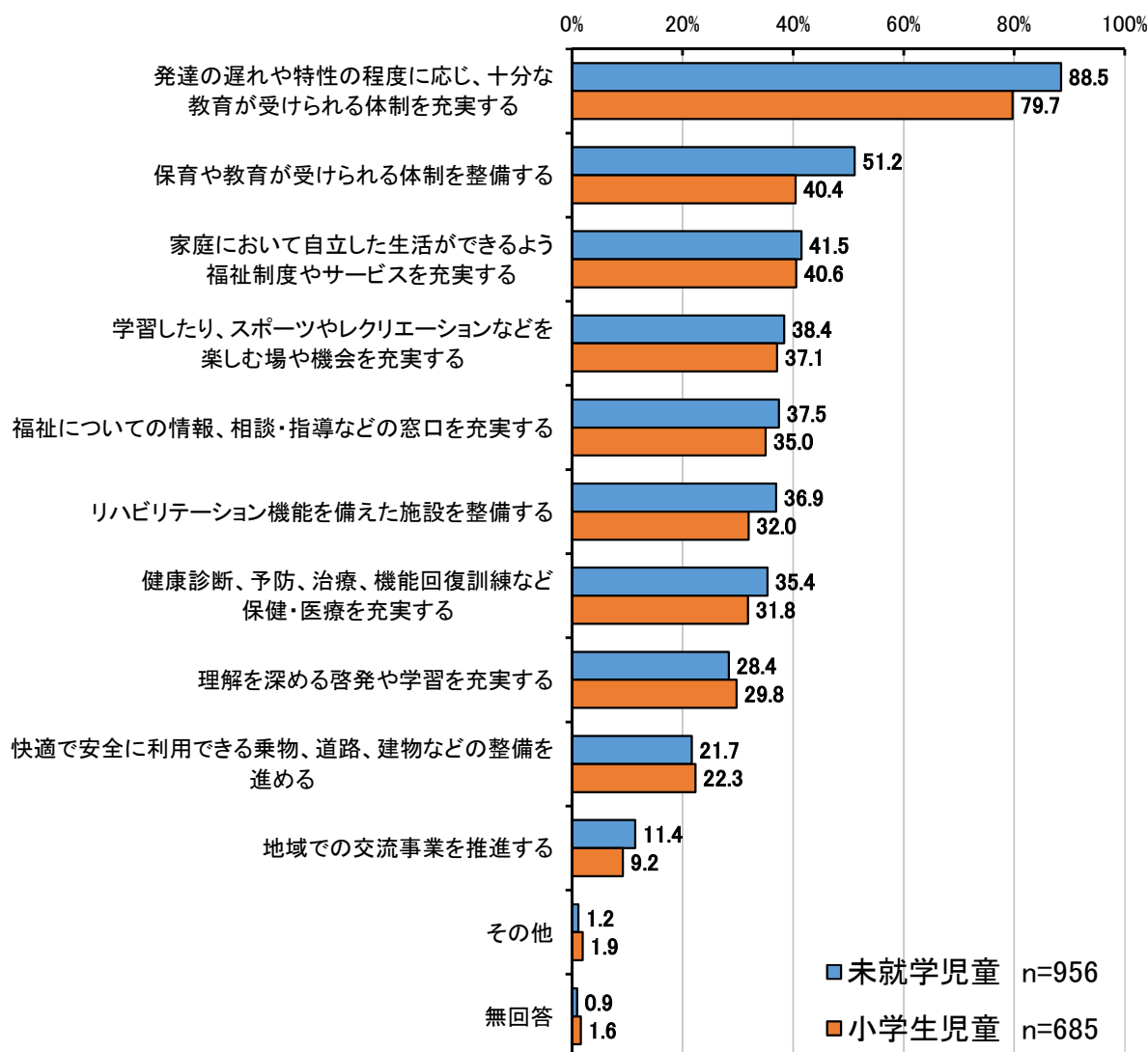


【相談しない人・対処方法】（あてはまる記号すべてに○）



未就学児童：問 35、小学生児童：問 21 あなたのお子さんに成長・発達の特徴があった場合、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

未就学児童と小学生児童は概ね同じ傾向となっていますが、「保育や教育が受けられる体制を整備する」は未就学児童が10.8ポイント高くなっており、「発達の遅れや特性の程度に応じ、十分な教育が受けられる体制を充実する」は未就学児童が8.8ポイント高くなっています。



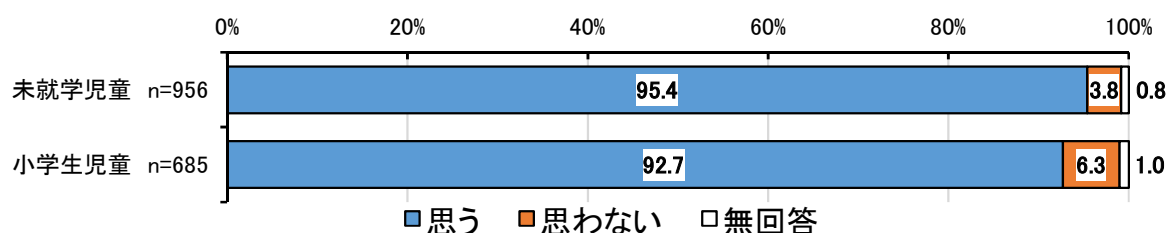
未就学児童：問 36、小学生児童：問 22 保護者としてお子さんの個性や成長・発達、情緒面を理解した上で、必要に応じお子さんの発達に合わせた個別の教育（特別支援学級、通級指導教室等）や療育（病院等での言語訓練（療法）等）を受けさせたいと思いますか。

意向をみると、未就学児童と小学生児童は概ね同じ傾向となっています。

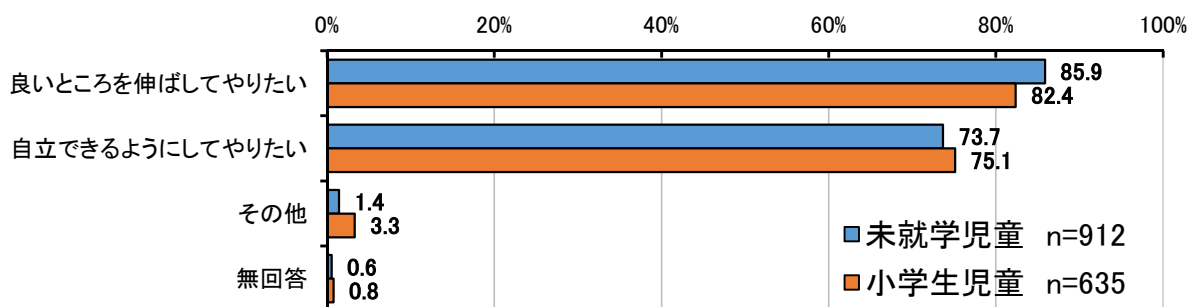
受けさせたい人の対応方法も概ね同じ傾向となっています。

受けさせたくない人の対応方法をみると、「人と違うことを知られるのが嫌」は未就学児童が9.2ポイント高くなっており、「個別対応の必要はない」は小学生児童が22.6ポイント高くなっています。

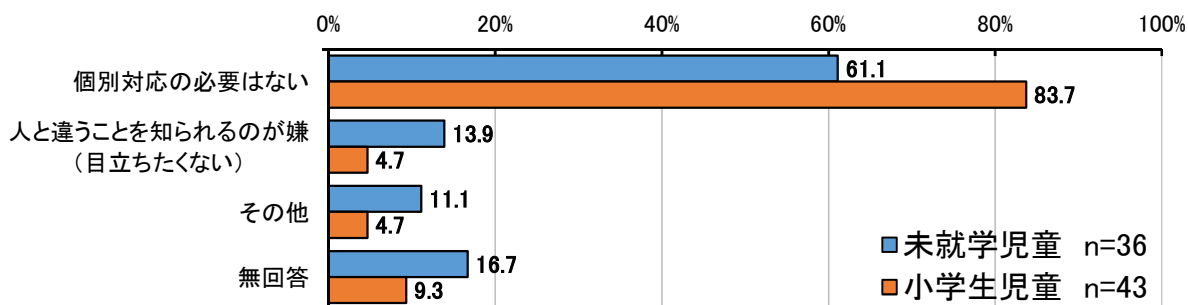
【意向】（○は1つ）



【受けさせたい人・対応方法】（あてはまる記号すべてに○）



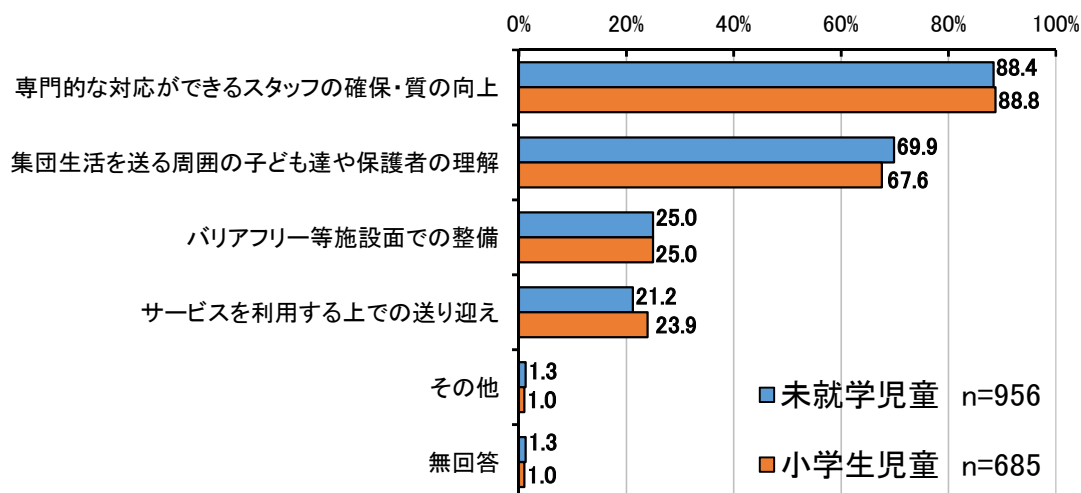
【受けさせたくない人・対応方法】（あてはまる記号すべてに○）



未就学児童：問 37、小学生児童：問 23 発達の遅れなど集団生活をする上で支援が必要なこどもの受け入れに対して優先すべきことは何だと思いませんか。

(あてはまるものすべてに○)

未就学児童と小学生児童を比較すると、概ね同じ傾向となっています。ともに「専門的な対応ができるスタッフの確保・質の向上」の割合が最も高く、約 88%となっています。

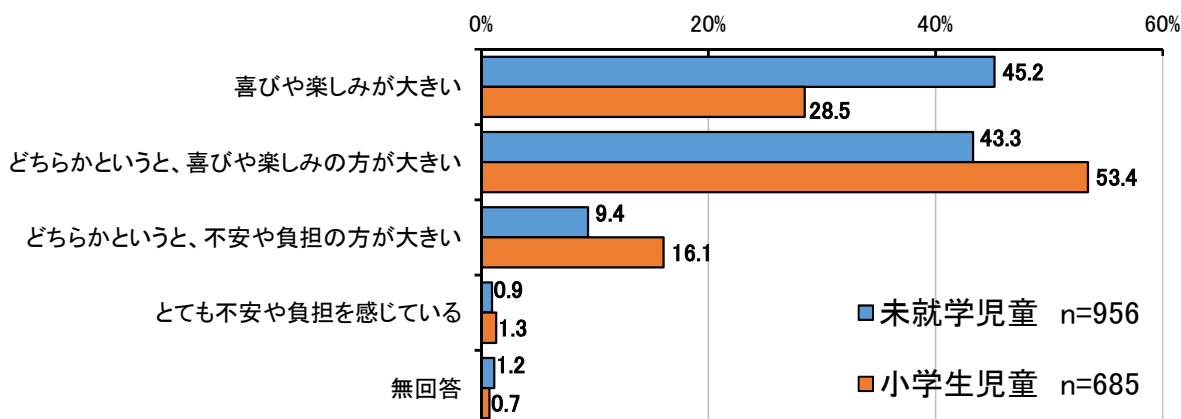


家庭の子育て、地域の子育て環境についてうかがいます

(1) 家庭の子育てについて

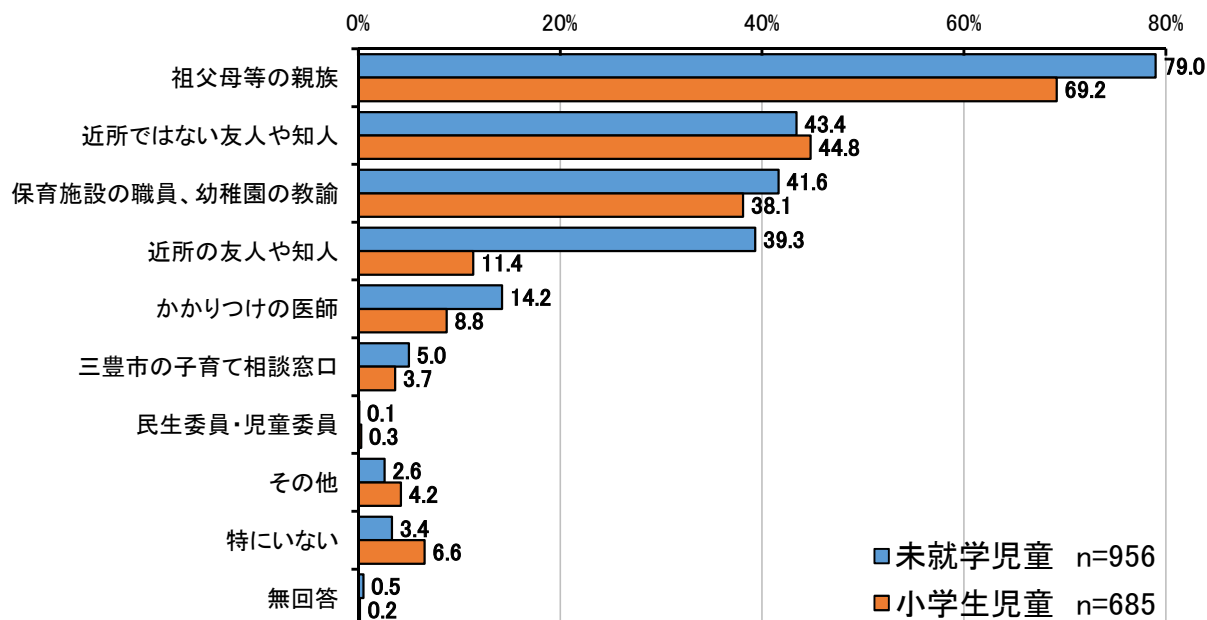
未就学児童：問 38、小学生児童：問 24 子育てをどのように感じていますか。(○は 1 つ)

未就学児童と小学生児童を比較すると、「喜びや楽しみが大きい」は未就学児童が 16.7 ポイント高くなっており、「どちらかというと、喜びや楽しみの方が大きい」は小学生児童が 10.1 ポイント高くなっています。また『喜びや楽しみが大きい』（「喜びや楽しみが大きい」と「どちらかというと、喜びや楽しみの方が大きい」の合計）は、未就学児童が 88.5%、小学生児童は 81.9 ポイントとなっており、未就学児童が 6.6 ポイント高くなっています。



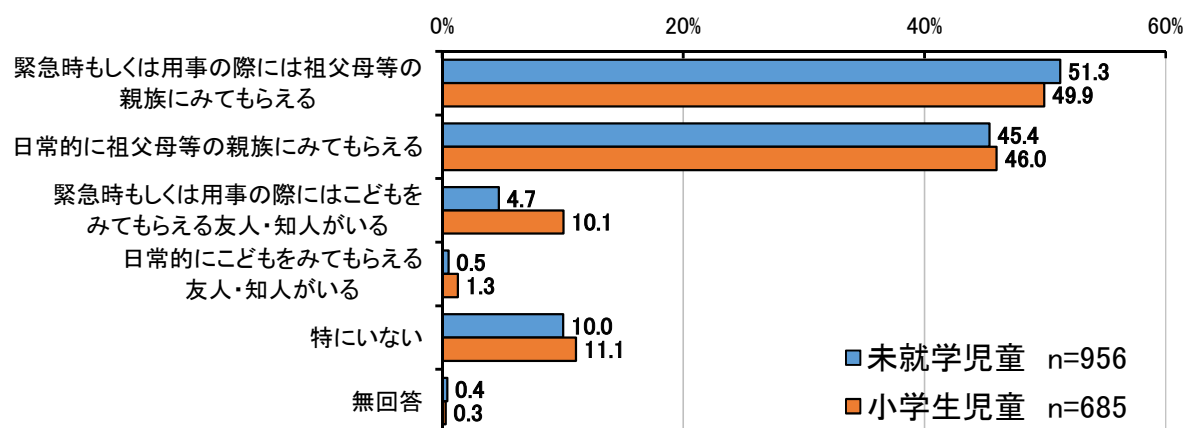
未就学児童：問 39、小学生児童：問 25 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

未就学児童と小学生児童を比較すると、「近所の友人や知人」は未就学児童が 27.9 ポイント高くなっており、「祖父母等の親族」は未就学児童が 9.8 ポイント高くなっています。



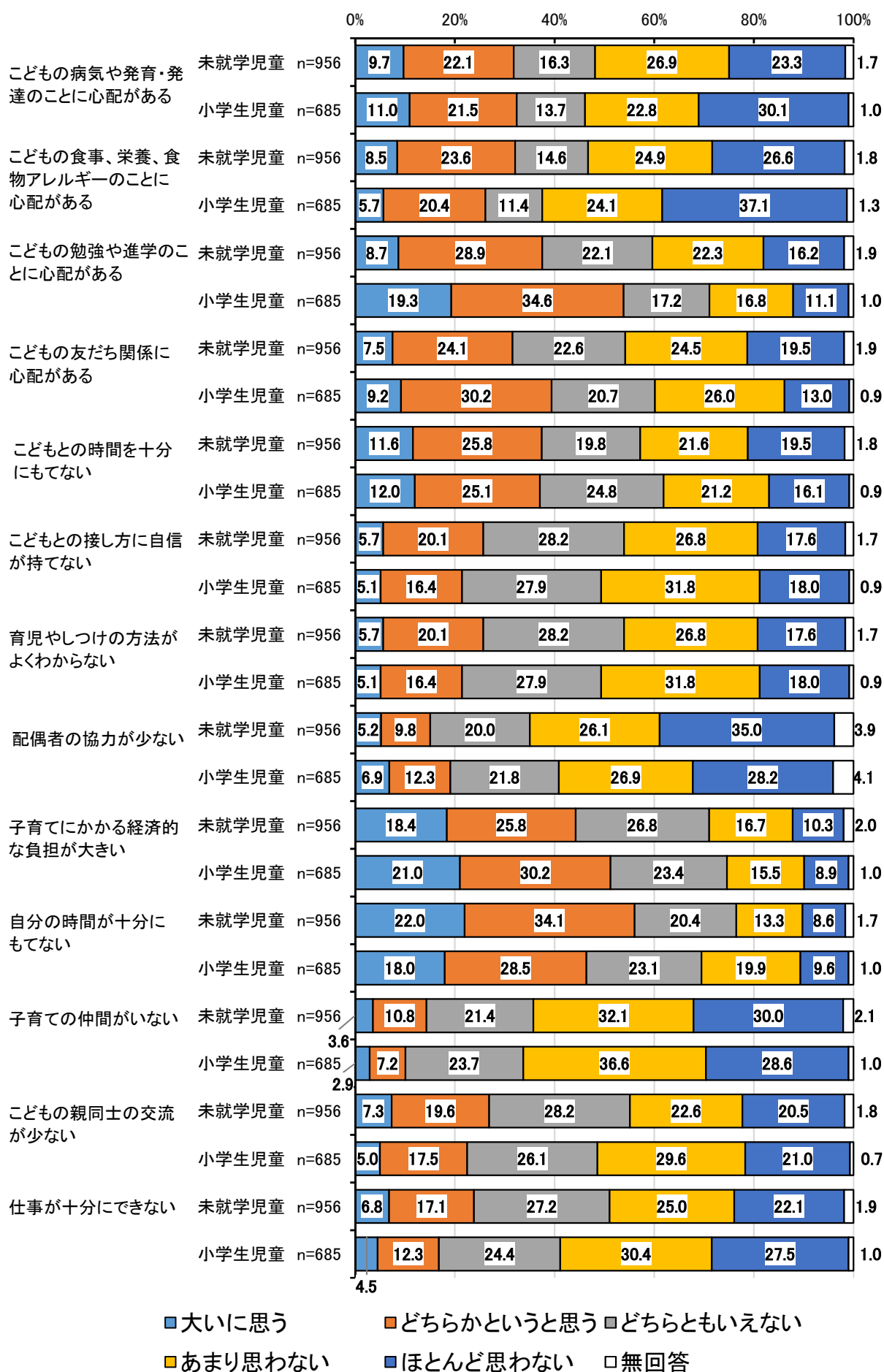
未就学児童：問 40、小学生児童：問 26 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

未就学児童と小学生児童を比較すると、「緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる」は小学生児童が 5.4 ポイント高くなっています。



未就学児童：問 42、小学生児童：問 27 子育てに関して、悩みや気にかかることはありますか。（項目ごとに○は 1 つ）

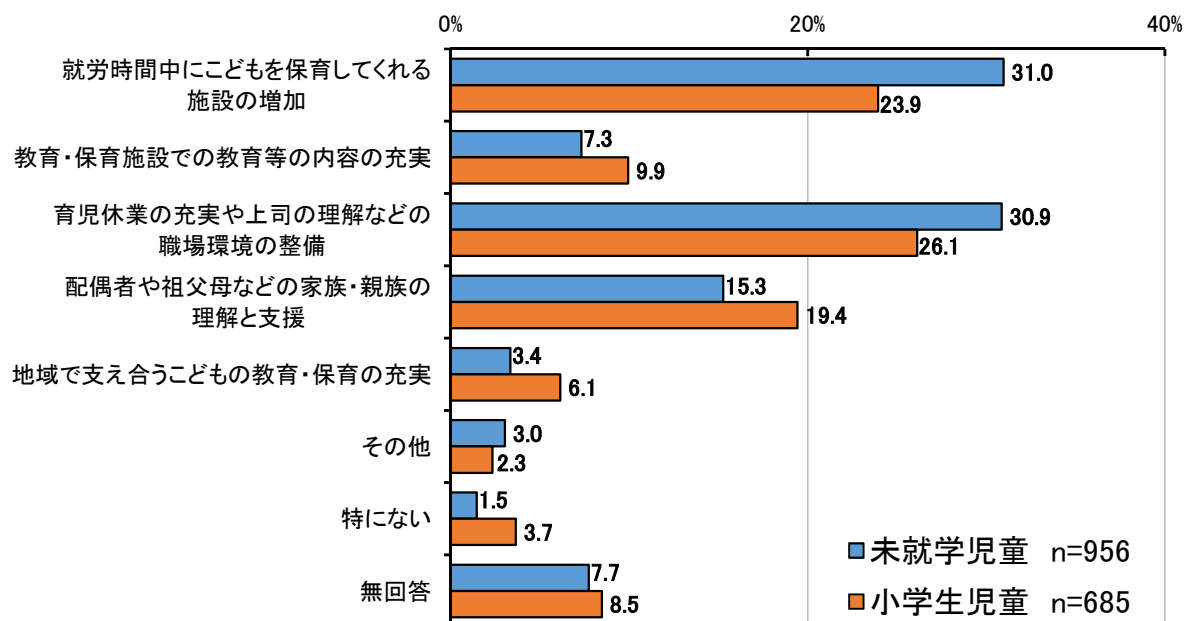
未就学児童と小学生児童を比較すると、『思う』（「大いに思う」と「どちらかというと思う」の合計）は「こどもの勉強や進学のこと」に心配がある」の小学生児童が 16.3 ポイント高く、差が最も大きくなっています。『思わない』（「あまり思わない」と「ほとんど思わない」の合計）は「仕事が十分にできない」の小学生児童が 10.8 ポイント高く、差が最も大きくなっています。



(2) 仕事と子育ての両立について

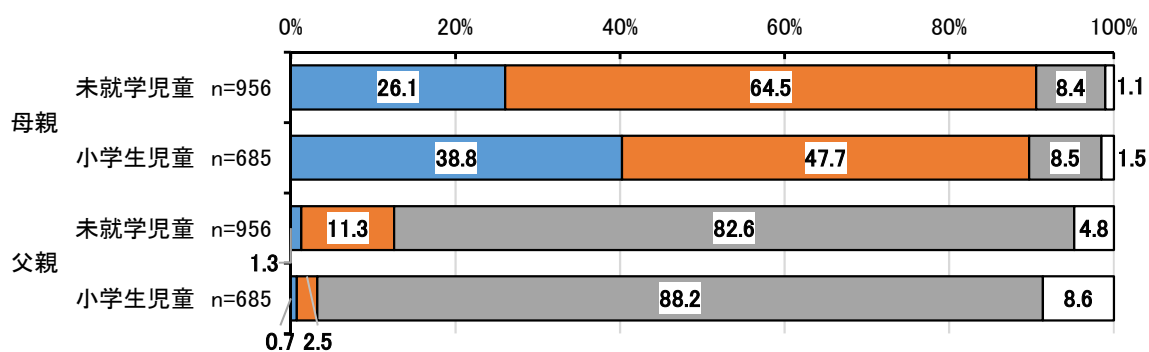
未就学児童：問 43、小学生児童：問 28 仕事と子育ての両立のために、最も重要なことは何だと思いますか。(〇は1つ)

未就学児童と小学生児童を比較すると、「就労時間中にこどもを保育してくれる施設の増加」は未就学児童が7.2ポイント高くなっており、「育児休業の充実や上司の理解などの職場環境の整備」は小学生児童が4.8ポイント高くなっています。



未就学児童：問 44、小学生児童：問 29 お子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。(〇は1つ)

未就学児童と小学生児童を比較すると、母親では、「取得した(取得中を含む)」は未就学児童が16.8ポイント高くなっており、「働いていなかった」は小学生児童が12.7ポイント高くなっています。父親では、「取得した(取得中を含む)」は未就学児童が8.8ポイント高くなっており、「取得していない」は小学生児童が5.6ポイント高くなっています。



■働いていなかった ■取得した(取得中を含む) ■取得していない □無回答

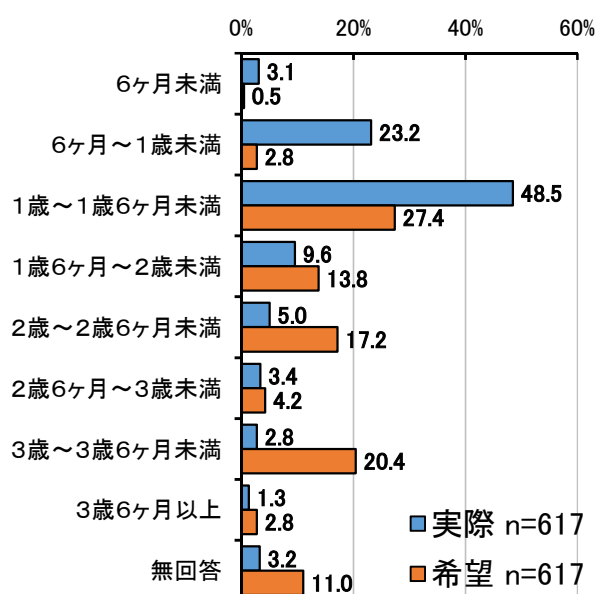
未就学児童：問 45

小学生児童：問 30 育児休業からは、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。

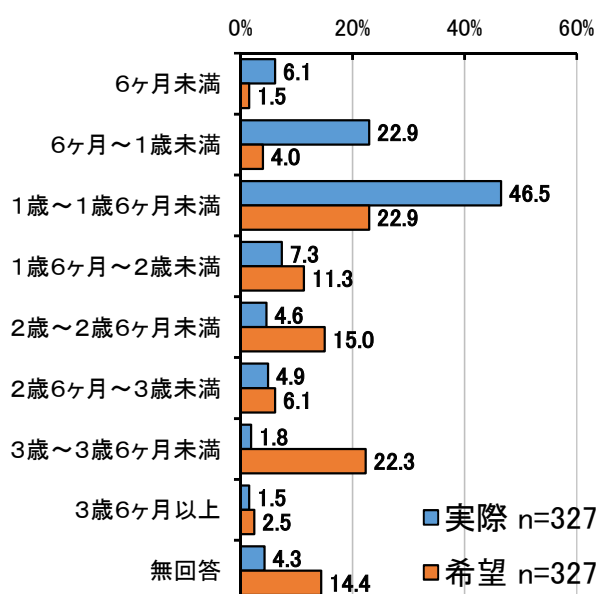
(または、する予定ですか)。また、希望として、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親、父親それぞれについて [] 内に数字でご記入ください。

母親では、未就学児童と小学生児童では概ね同じ傾向となっており、ともに「実際」は「1歳～1歳6ヶ月未満」と「6ヶ月～1歳未満」の割合が高く、「希望」は「1歳～1歳6ヶ月未満」、「3歳～3歳6ヶ月未満」の割合が高くなっています。父親では、未就学児童と小学生児童では概ね同じ傾向となっており、ともに「実際」は「6ヶ月未満」が最も高くなっており、「希望」は「6ヶ月未満」と「1歳～1歳6ヶ月未満」が高くなっています。

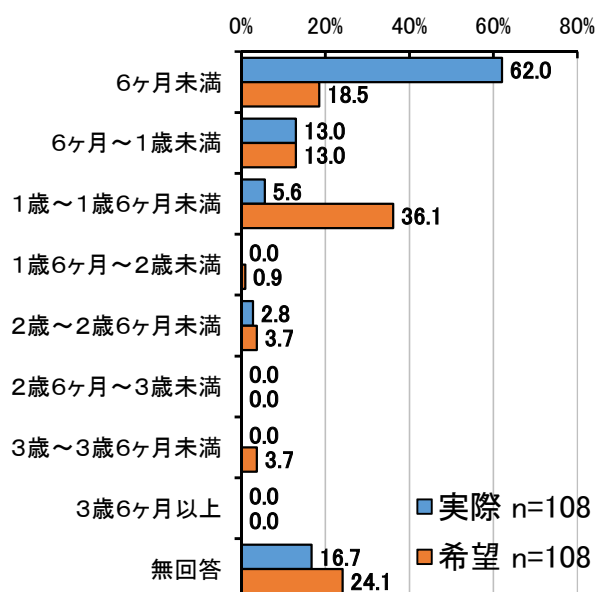
【未就学児童：母親】



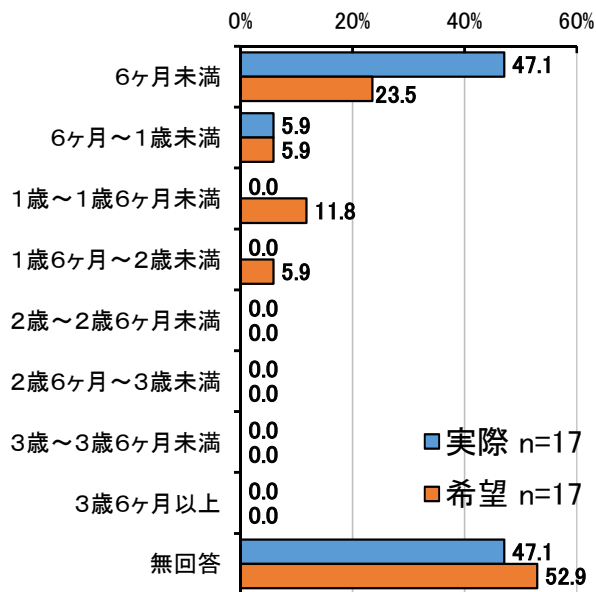
【小学生児童：母親】



【未就学児童：父親】



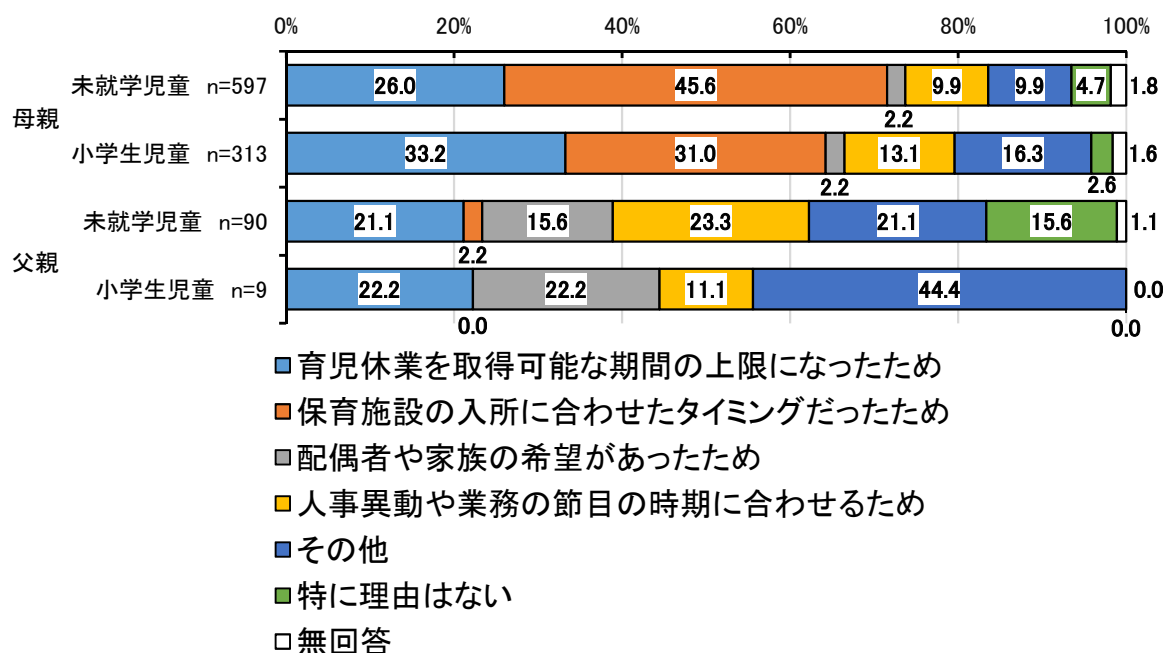
【小学生児童：父親】



未就学児童：問 46、小学生児童：問 31 実際にそのタイミングで職場復帰された主な理由は何ですか。（○は1つ）

未就学児童と小学生児童を比較すると、母親では、「保育施設の入所に合わせたタイミングだったため」は未就学児童が14.6ポイント高くなっており、「育児休業を取得可能な期間の上限になったため」は小学生児童が6.2ポイント高くなっています。

父親では、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」は未就学児童が12.2ポイント高くなっており、「保育施設の入所に合わせたタイミングだったため」は小学生児童が6.6ポイント高くなっています。

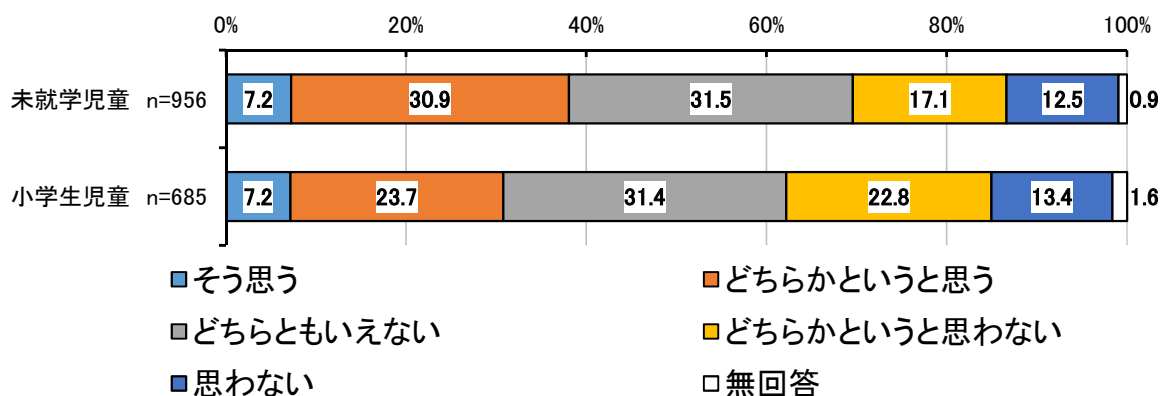


（3）三豊市の子育て環境について

未就学児童：問 47、小学生児童：問 32 こどもや親が安心して外出できる環境（こどもの遊び場や公園等）になっていると思いますか。（○は1つ）

未就学児童と小学生児童を比較すると、ともに「どちらともいえない」の割合が最も高く、およそ31%となっています。

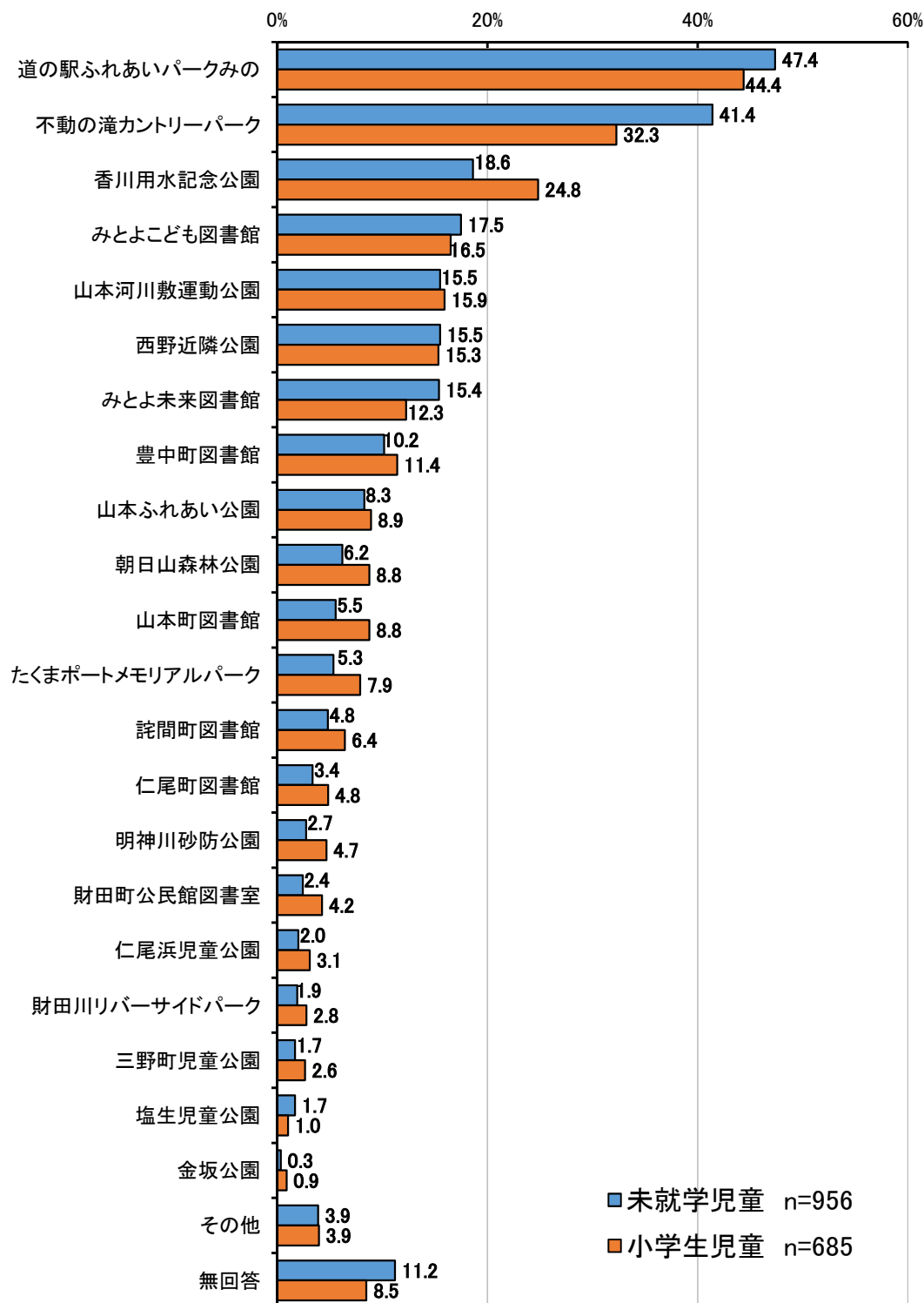
「どちらかと思う」は未就学児童が7.2ポイント高くなっており、「どちらかというと思わない」は小学生児童が5.7ポイント高くなっています。



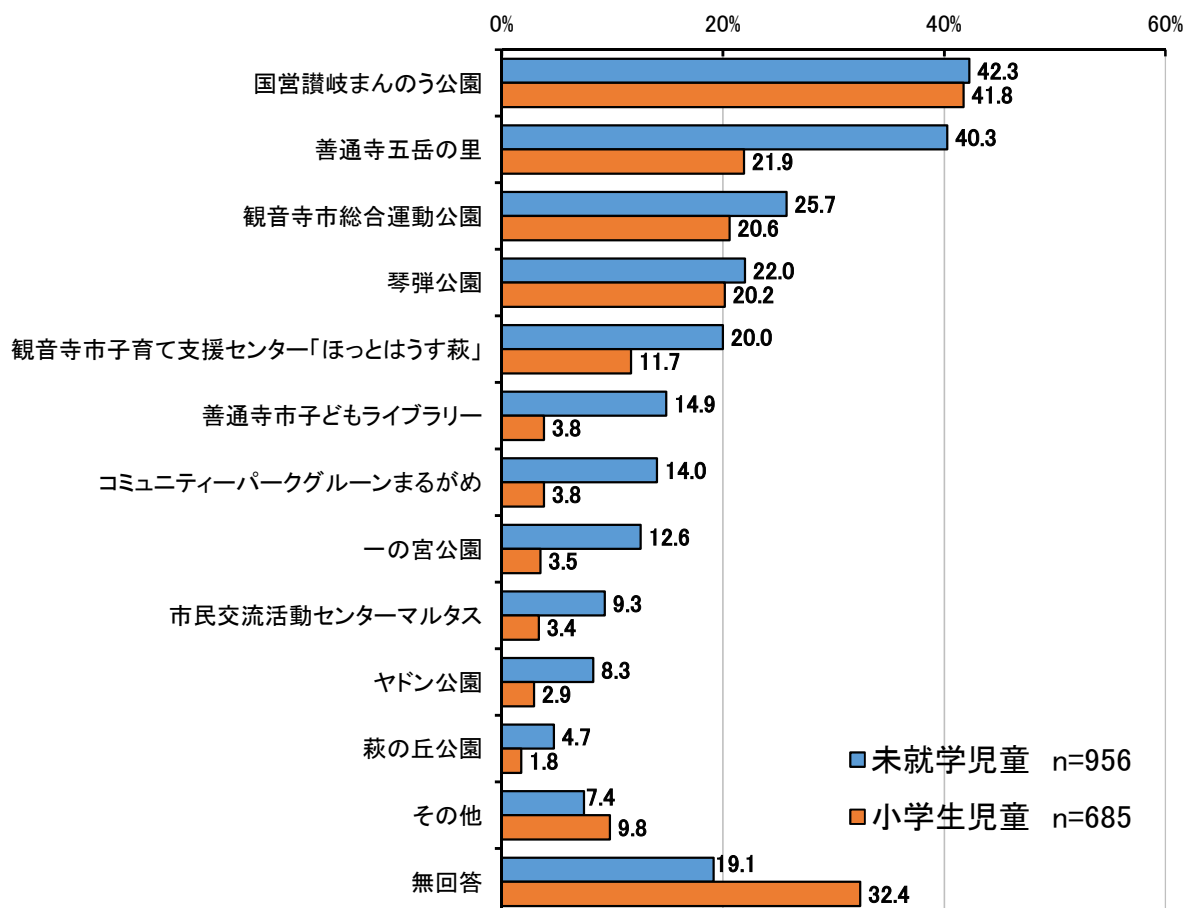
未就学児童：問 48、小学生児童：問 33 あなたが、普段あて名のお子さんと一緒に利用
する施設・公園はどこですか。（あてはまる数字すべてに○）

未就学児童と小学生児童を比較すると、市内の施設・公園では、「不動の滝カントリーパーク」は未就学児童が9.1 ポイント高くなっており、「香川用水記念公園」は小学生児童が6.2 ポイント高くなっています。市外の施設・公園では「善通寺五岳の里」は未就学児童が18.4 ポイント高くなっており、「善通寺市子どもライブラリー」は未就学児童が11.1 ポイント高くなっています。また、市外のすべての施設・公園の割合は未就学児童が高くなっています。

【市内】

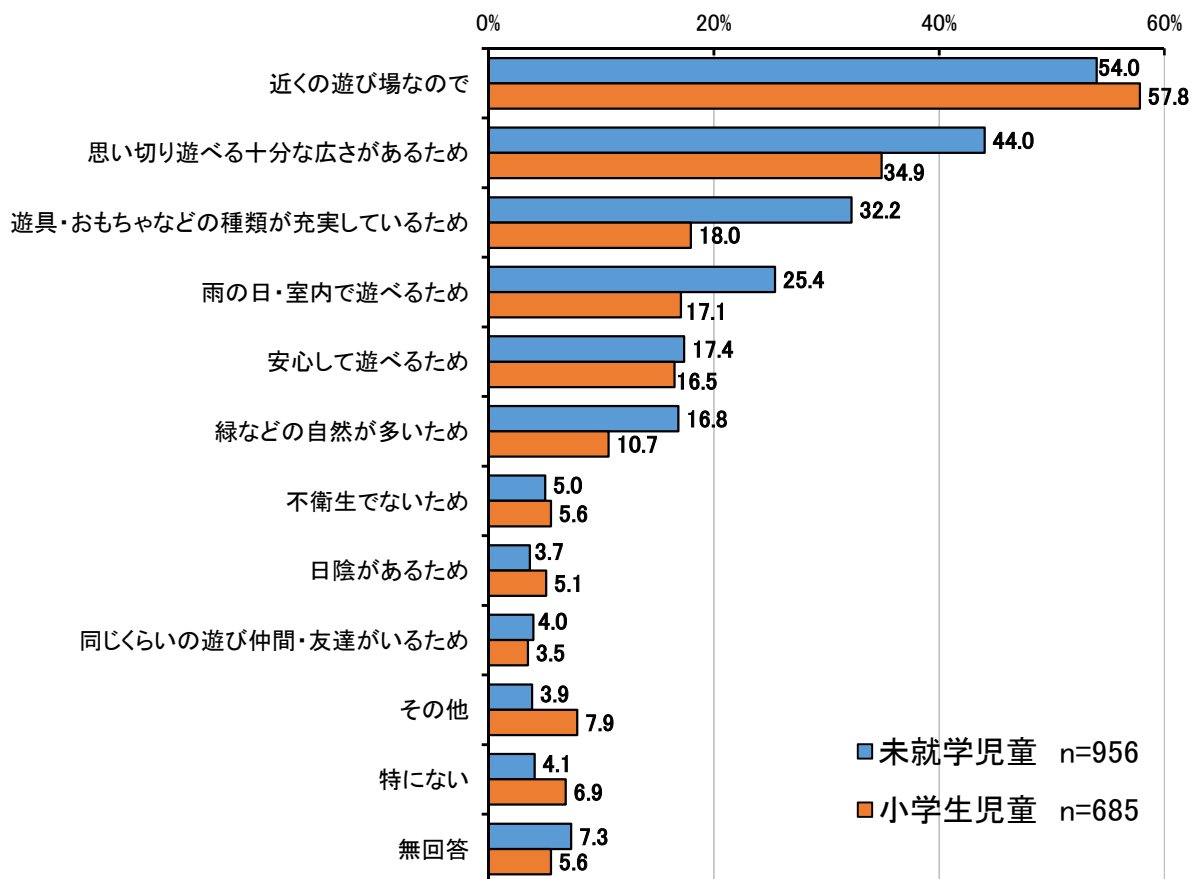


【市外】



未就学児童：問 49、小学生児童：問 34 あなたがあて名のお子さんとその遊び場を利用する理由は何ですか。（主なもの3つまでに○）

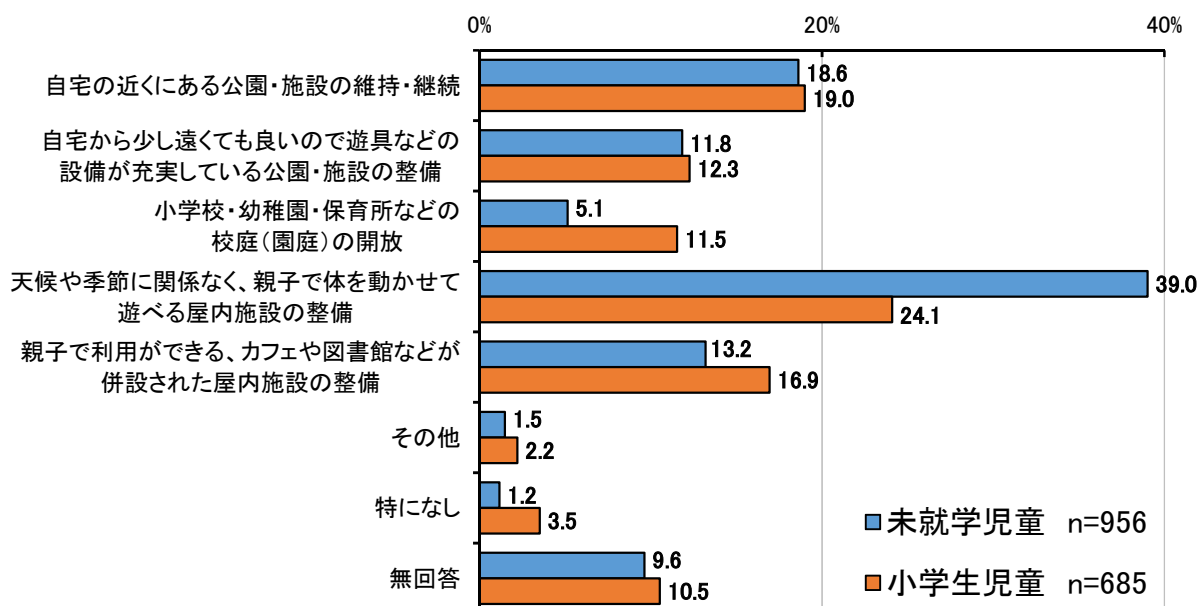
未就学児童と小学生児童を比較すると「遊具・おもちゃなどの種類が充実しているため」は未就学児童が14.2ポイント高くなっており、「雨の日・室内で遊べるため」は未就学児童が8.3ポイント高くなっています。



未就学児童：問 50、小学生児童：問 35 あなたが三豊市内の施設・公園に特に望むものは何ですか。（○はひとつ）

未就学児童と小学生児童を比較すると、ともに「天候や季節に関係なく、親子で体を動かさせて遊べる屋内施設の整備」の割合が最も高くなっています。

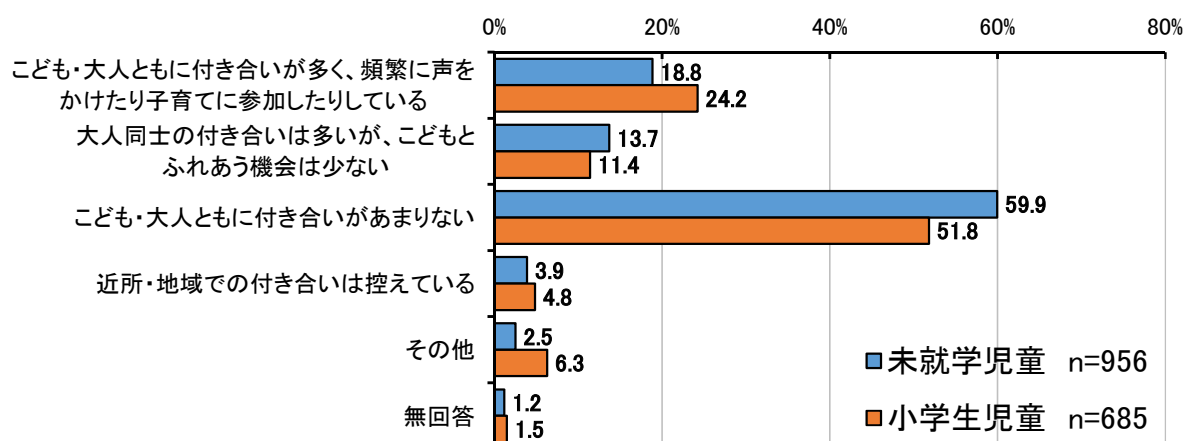
「天候や季節に関係なく、親子で体を動かさせて遊べる屋内施設の整備」は未就学児童が 14.9 ポイント高くなっており、「小学校・幼稚園・保育所などの校庭（園庭）の開放」は小学生児童が 6.4 ポイント高くなっています。



未就学児童：問 51、小学生児童：問 36 近所や地域での付き合い・近所の子どもとの関わりはどのような状況ですか。（○は 1 つ）

未就学児童と小学生児童を比較すると、ともに「子ども・大人ともに付き合いがあまりない」の割合が最も高く、5 割以上となっています。

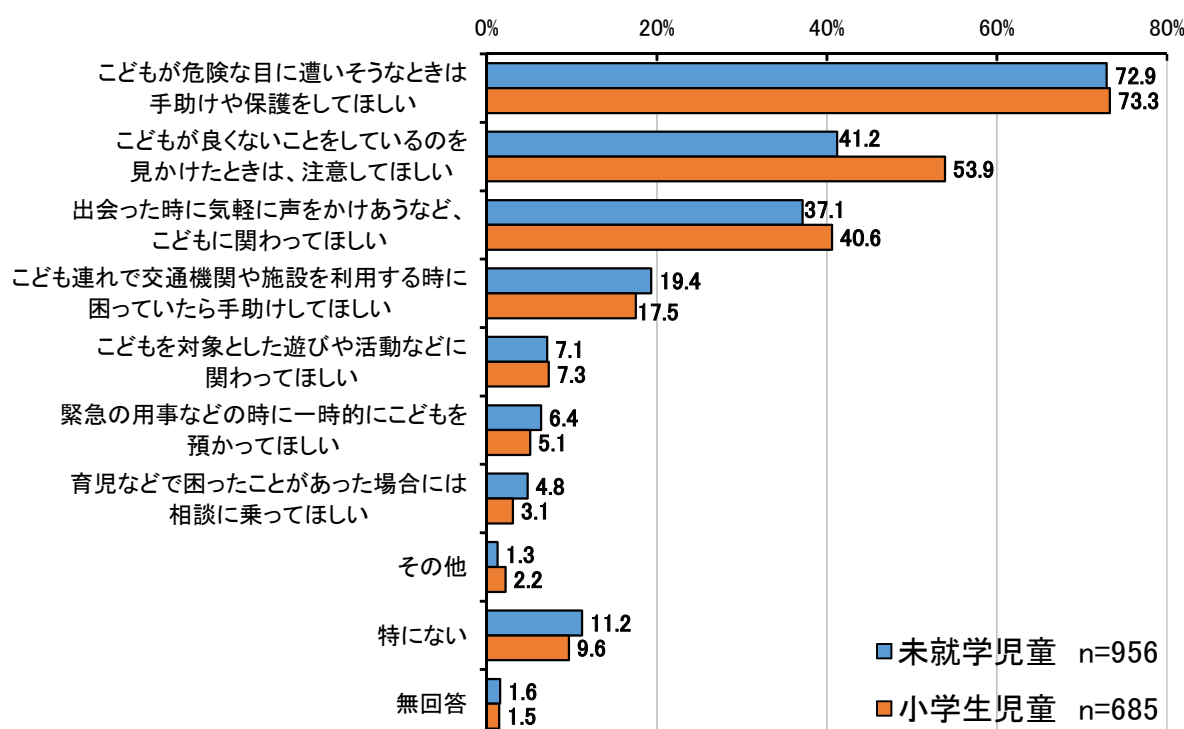
「子ども・大人ともに付き合いがあまりない」は未就学児童が 8.1 ポイント高くなっており、「子ども・大人ともに付き合いが多く、頻繁に声をかけたり子育てに参加したりしている」は小学生児童が 5.4 ポイント高くなっています。



未就学児童：問 52、小学生児童：問 37 子育てをする上で、近所や地域に望むことはありますか。（主なものを 3 つまでに○）

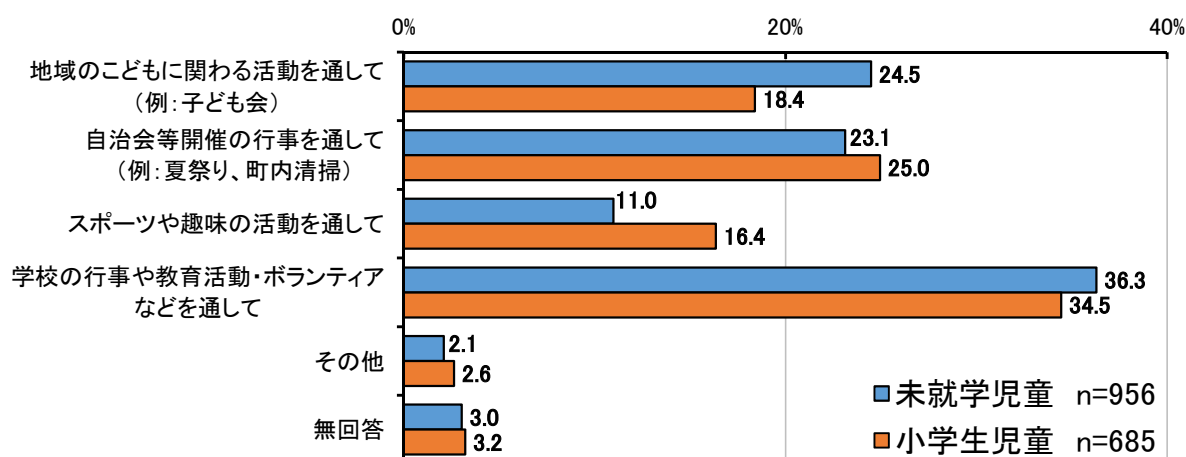
未就学児童と小学生児童を比較すると、ともに「子どもが危険な目に遭いそうなときは手助けや保護をしてほしい」の割合が最も高くなっており、約 73%となっています。

「子どもが良くないことをしているのを見かけたときは、注意してほしい」は小学生児童が 12.7 ポイント高く、差が大きくなっています。



未就学児童：問 53、小学生児童：問 38 三豊市では、家庭や学校はもとより、地域や周辺の大人も一緒になってこどもを見守り、次の世代を担う大人に育てる環境づくりを進めています。こどもと地域の大人が関わりを持つきっかけとして、どのような方法が最もよいと思いますか。（○は 1 つ）

未就学児童と小学生児童を比較すると、「地域のこどもに関わる活動を通して（例：子ども会）」は未就学児童が 6.1 ポイント高くなっており、「スポーツや趣味の活動を通して」は小学生児童が 5.4 ポイント高くなっています。



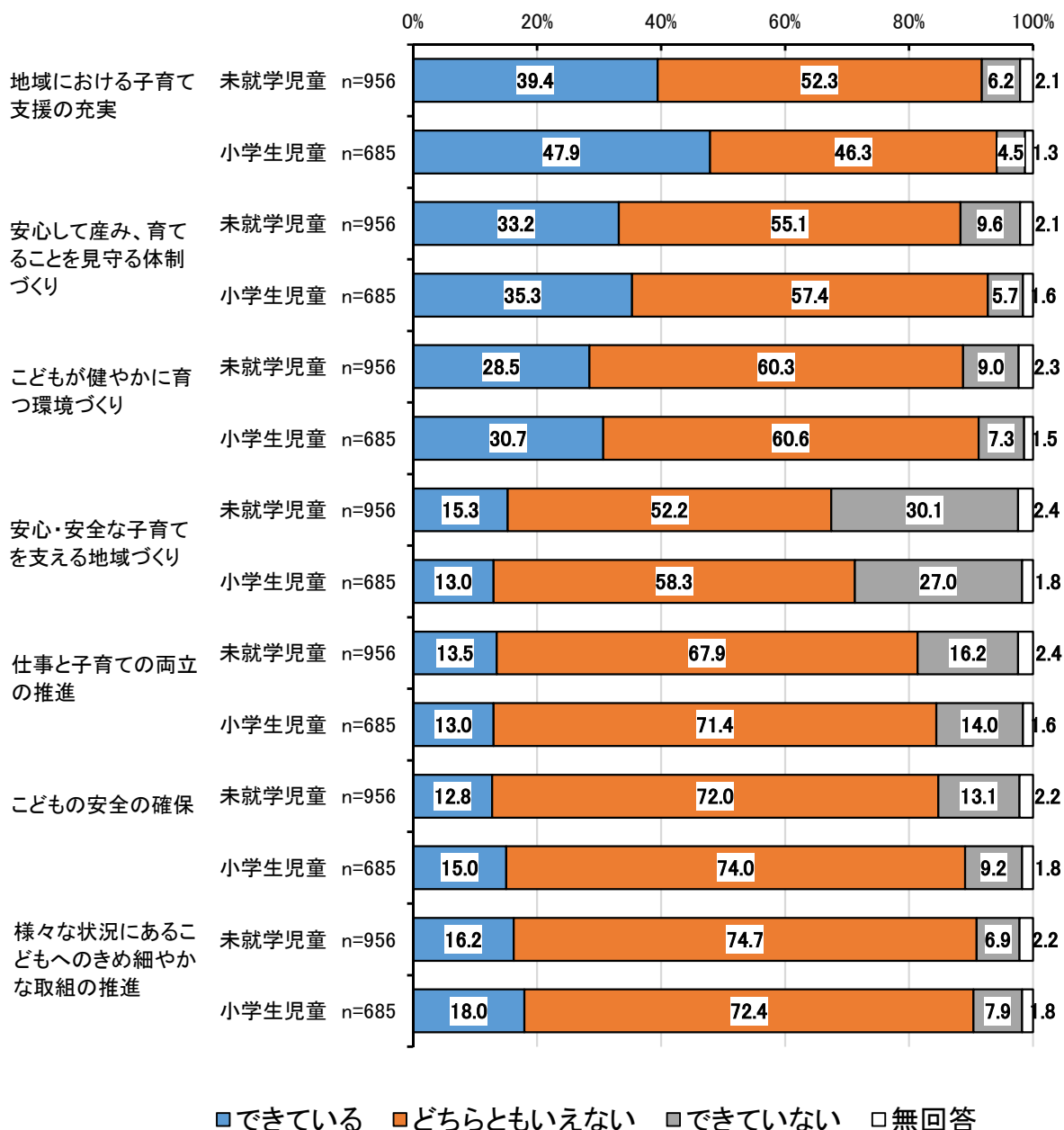
（４）今後の三豊市の取組について

未就学児童：問 57 小学生児童：問 45 三豊市の子育て支援の取組分野について、(1) 現状評価、(2) 今後の重要度それぞれに、あなたの考えに最も近い番号 1 つずつに○をつけてください。

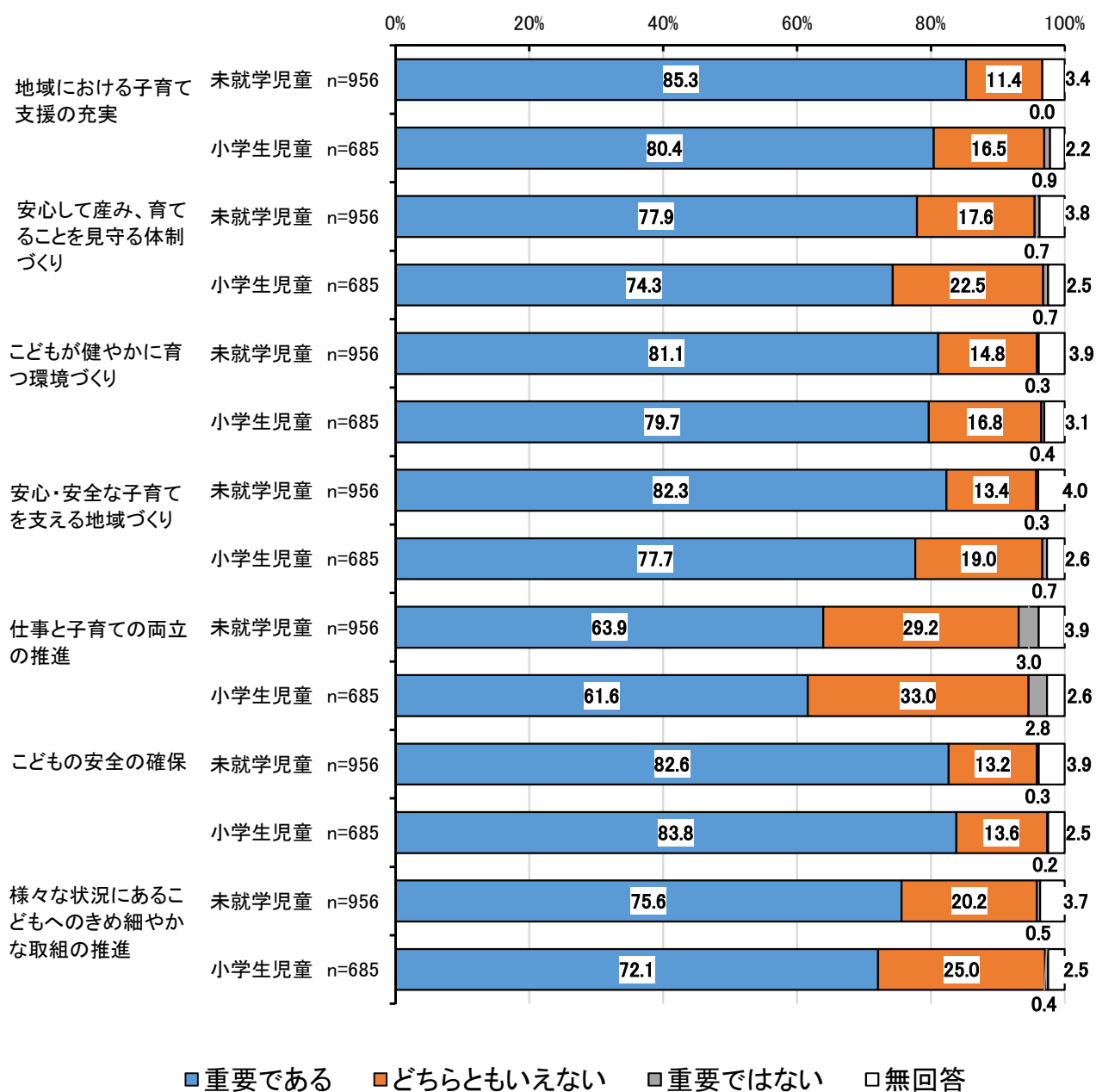
未就学児童と小学生児童「できていない」を比較すると、「様々な状況にあるこどもへのきめ細やかな取組の推進（ひとり親家庭、障がいのあるこどもへの支援など）」を除くすべての項目で、小学生児童よりも未就学児童の方が、割合が高くなっています。

今後の重要度は、未就学児童と小学生児童はともに、すべての項目で「重要である」の割合が最も高くなっており、6 割以上となっています。

【現状評価】



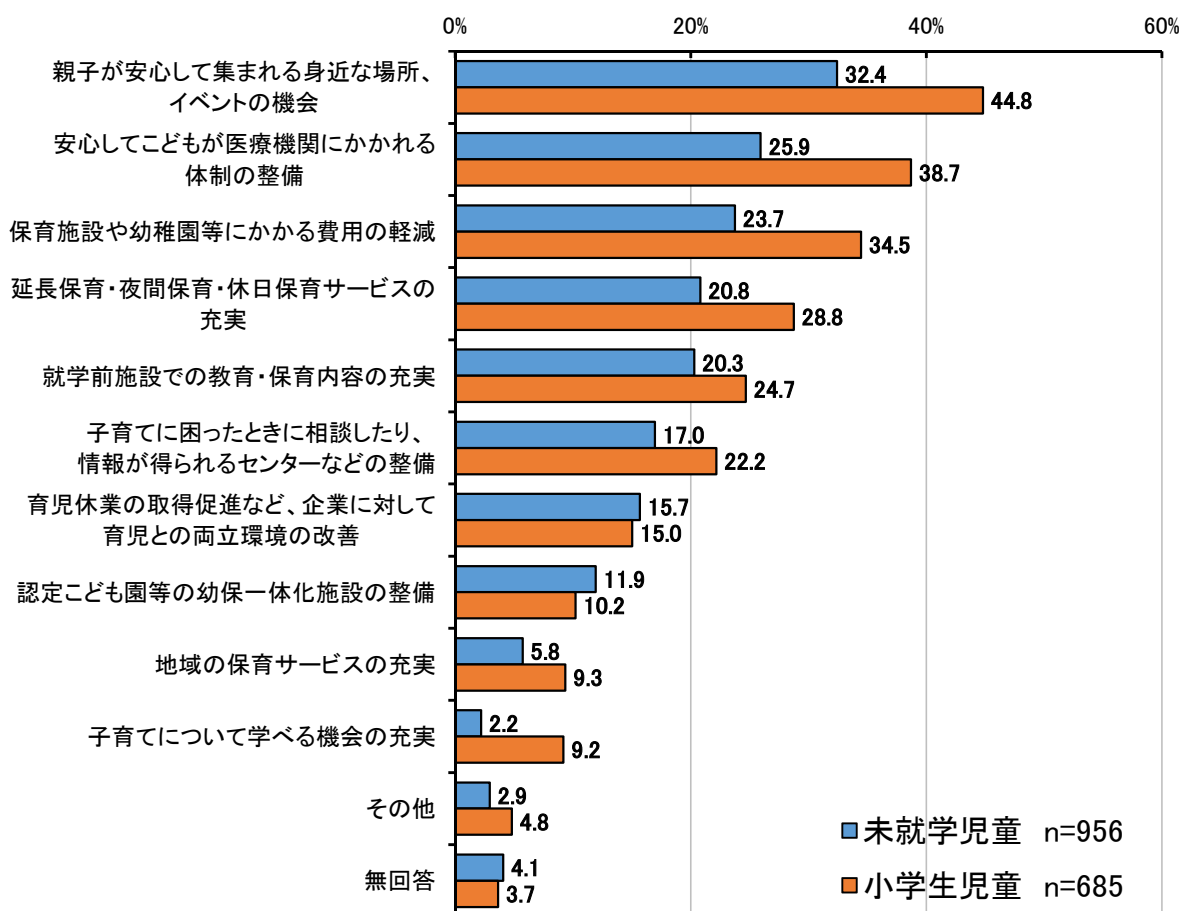
【今後の重要度】



未就学児童：問 58、小学生児童：問 46 あなたのこれまでの子育ての経験をふまえ、三
豊市の子育て支援について充実すべきことは何だと考えますか。(主なもの3つまでに○)

未就学児童と小学生児童を比較すると、「育児休業の取得促進など、企業に対して育児
との両立環境の改善」と「認定こども園等の幼保一体化施設の整備」を除くすべての項目
で小学生児童の割合が未就学児童よりも高くなっています。

「安心してこどもが医療機関にかかる体制の整備」は小学生児童が12.8 ポイント高
く、差が最も大きくなっており、次いで「親子が安心して集まれる身近な場所、イベント
の機会」は小学生児童が12.4 ポイント高くなっています。



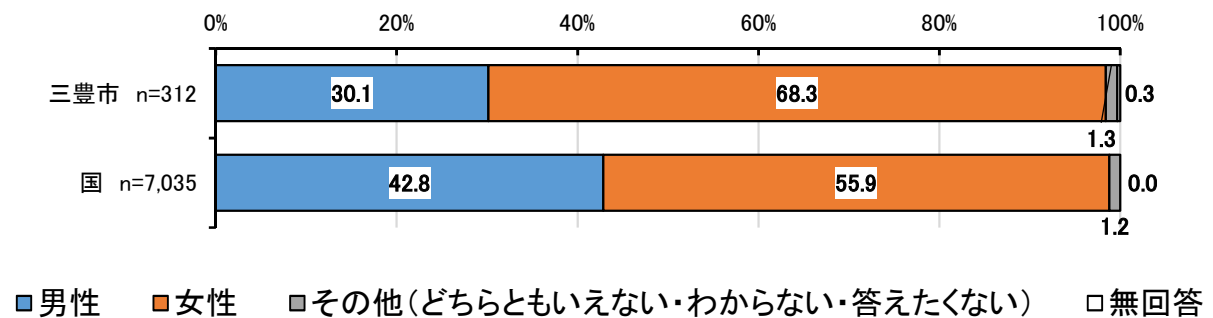
V 調査結果 こども・若者生活状況

はじめに、あなた自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別をみると、「男性」の割合が30.1%、「女性」68.3%となっています。

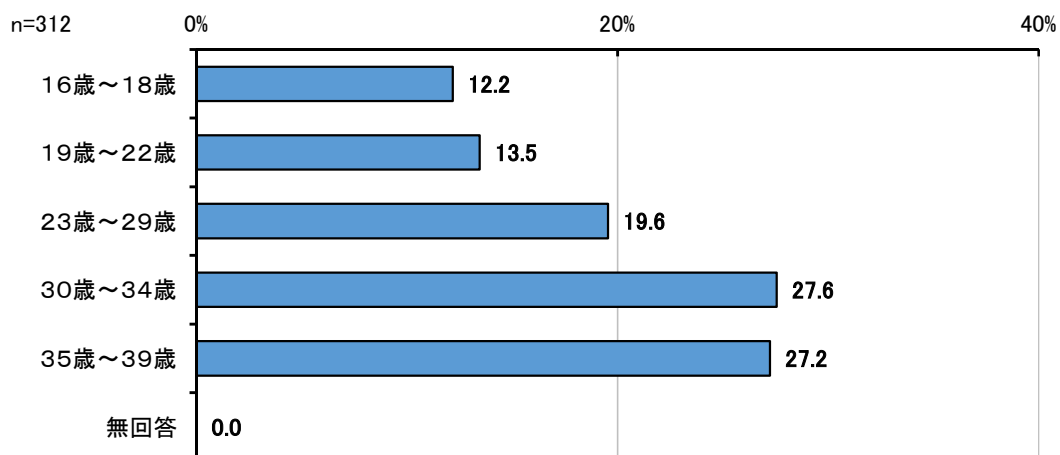
国の調査と比較すると「女性」が12.4ポイント高くなっており、「男性」は12.7ポイント低くなっています。



問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

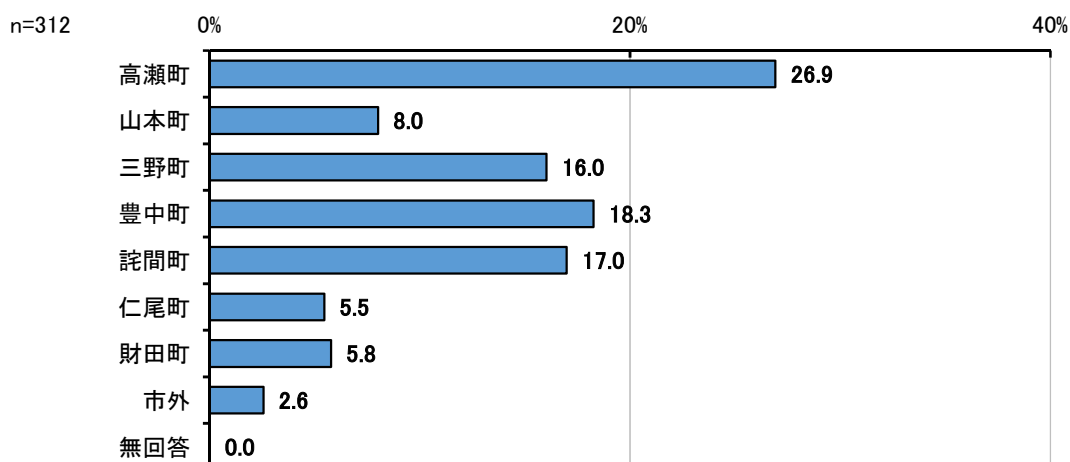
※令和7年3月31日時点の年齢をお答えください。

年齢をみると、「30～34歳」の割合が27.6%と最も高く、次いで「35～39歳」27.2%、「23～29歳」19.6%、「19～22歳」13.5%、「16～18歳」12.2%となっています。



問3 あなたの現在お住まいの地区は、どちらですか。(〇は1つ)

居住地区をみると、「高瀬町」の割合が26.9%と最も高く、次いで「豊中町」18.3%、「詫間町」17.0%となっています。



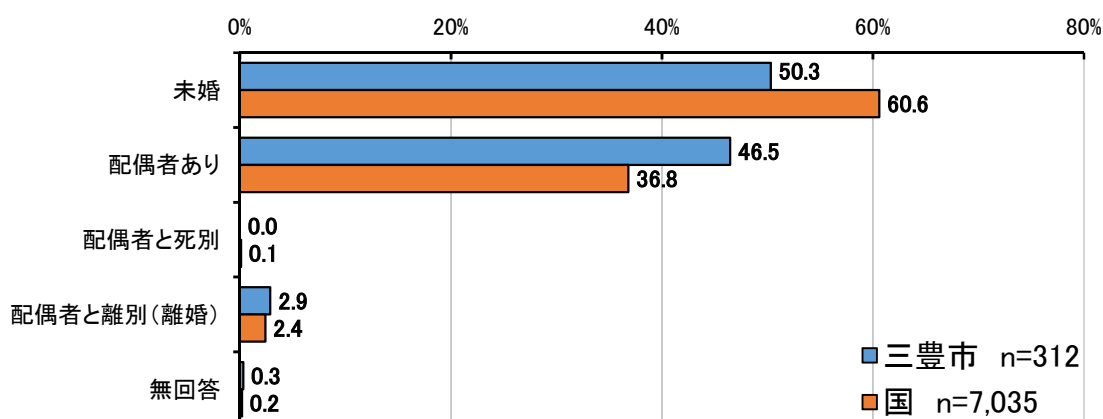
【市外の地区】(全6件)

- ・高松市 2件
- ・松山市
- ・福岡県
- ・丸亀市
- ・大阪市

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含みます。(〇は1つ)

婚姻状況をみると、「未婚」の割合が50.3%と最も高く、次いで「配偶者あり」46.5%、「配偶者と離別(離婚)」2.9%となっています。

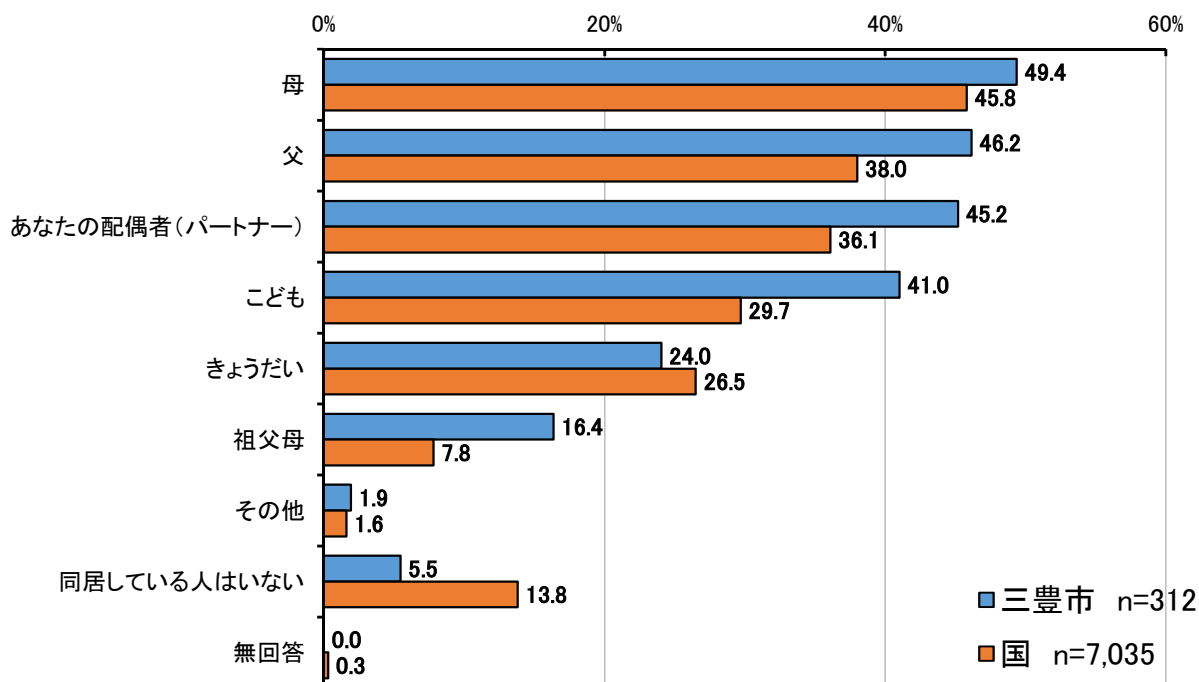
国の調査と比較すると、「未婚」が10.3ポイント低くなっており、「配偶者あり」は9.7ポイント高くなっています。



問5 現在あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(〇はいくつでも)
 ※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「7. その他」をお選びください。

同居人をみると、「母」の割合が49.4%と最も高く、「父」46.2%、「あなたの配偶者(パートナー)」45.2%となっています。

国の調査と比較すると、「こども」が11.3ポイント高くなっており、「同居していない」は8.3ポイント低くなっています。「きょうだい」を除くすべての同居人について国の調査結果よりも高くなっています。



【その他の回答】(全6件)

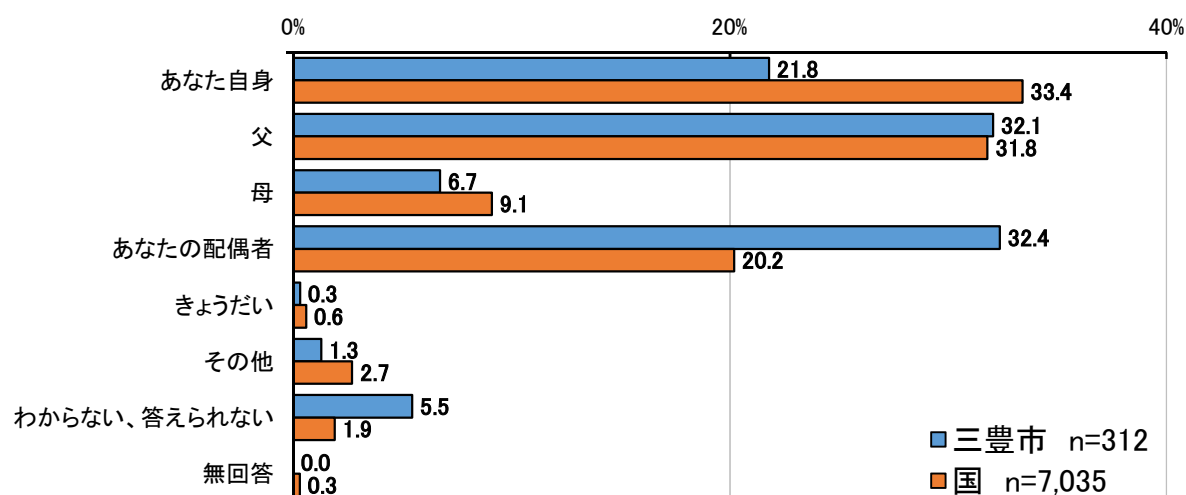
- | | |
|------------|------|
| ・ 義父、義母 3件 | ・ 甥 |
| ・ 姪 | ・ 義妹 |
| ・ 祖母のみ | |

問6 あなたの家の生計について、以下の(1)と(2)のそれぞれにお答えください。

(1) 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(〇は1つ)

生計を支える人をみると、「あなたの配偶者」の割合が32.4%と最も高く、次いで「父」32.1%、「あなた自身」21.8%となっています。

国の調査と比較すると、「あなたの配偶者」が12.4ポイント高くなっており、「あなた自身」は11.6ポイント低くなっています。



【その他の回答】(全4件)

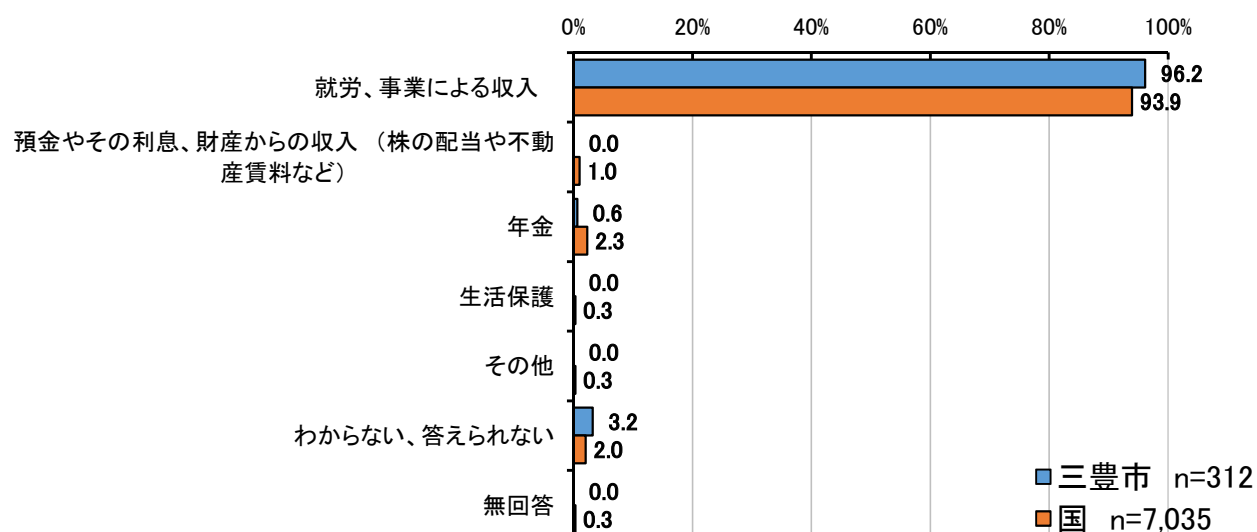
・共働き 3件

・父と自分

(2) 主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(〇は1つ)

収入源をみると、「就労、事業による収入」96.2%となっており、次いで「年金」0.6%となっています。

国の調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。



【その他の回答】(全0件)

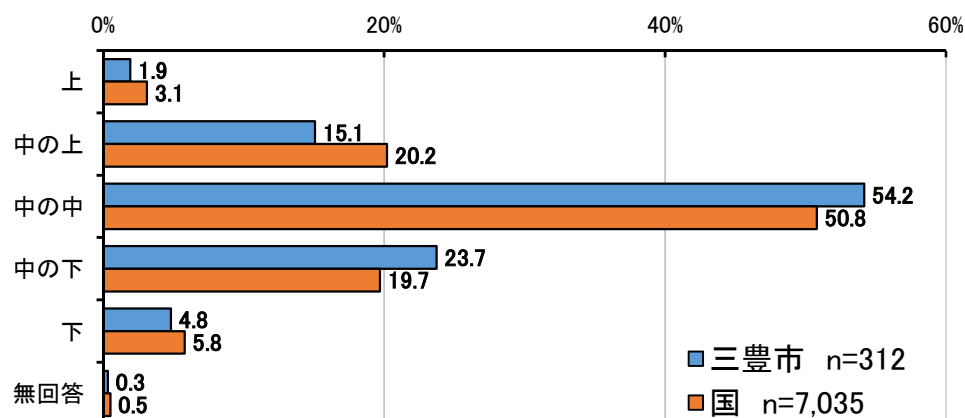
その他の回答はありませんでした

問7 あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたるとお考えですか。

あなたの実感でお答えください。（○は1つ）

暮らし向きの実感をみると、「中の中」の割合が54.2%と最も高くなっています。次いで「中の下」23.7%、「中の上」15.1%となっています。また、『上』（「上」と「中の上」の合計、以下同じ）の割合は17.0%、『下』（「中の下」と「下」の合計、以下同じ）の割合は28.5%となっています。

国の調査と比較すると、「中の下」が4.0ポイント高くなっており、「中の中」が5.1ポイント低くなっています。また、『下』は3.0ポイント高くなっており、『上』は6.3ポイント低くなっています。

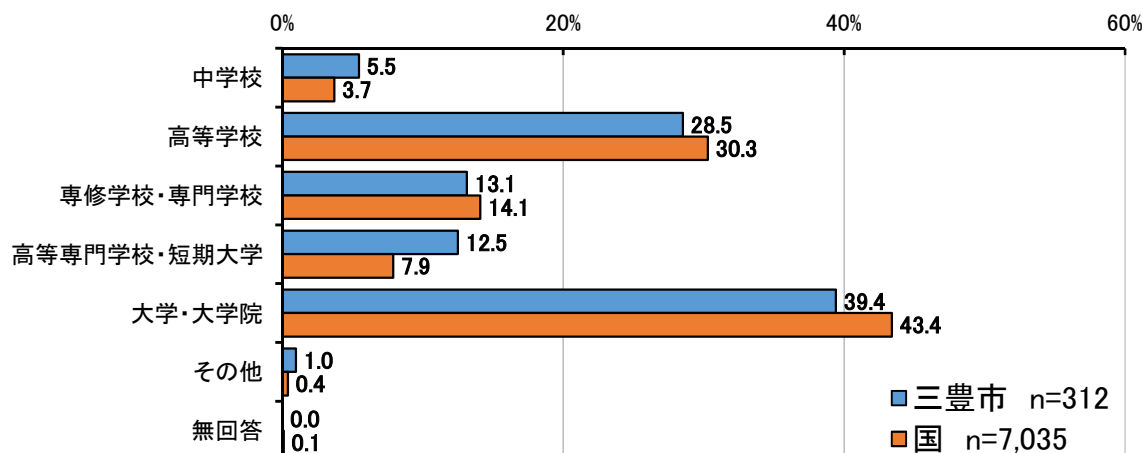


問8 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。

在学中の方は、現在在学されている学校をお答えください。（○は1つ）

最後に卒業した学校をみると、「大学・大学院」の割合が39.4%と最も高く、次いで「高等学校」28.5%、「専修学校・専門学校」13.1%、「高等専門学校・短期大学」12.5%、「中学校」5.5%となっています。

国の調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。



【その他の回答】（全3件）

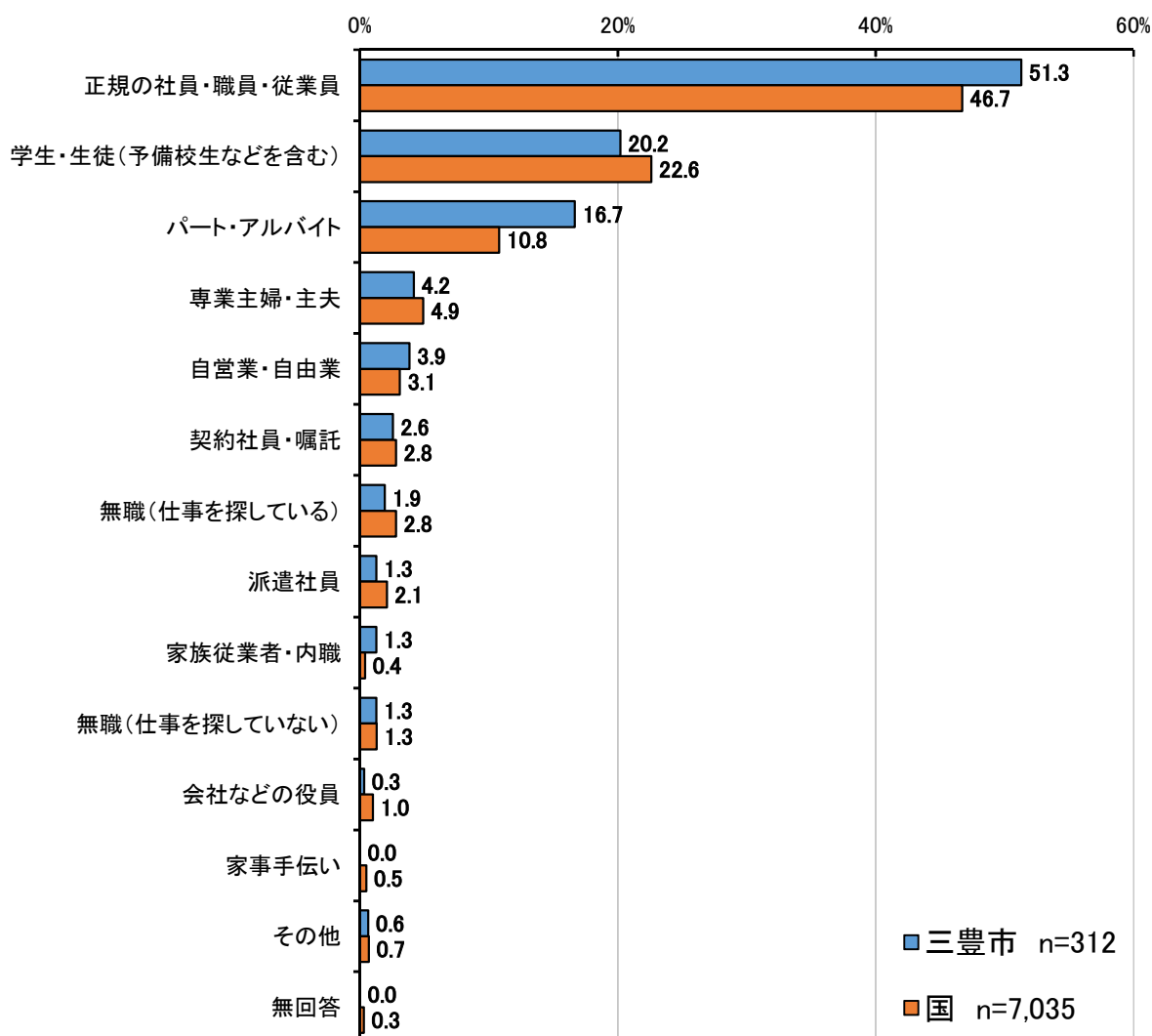
・ 特別支援学校 2件

・ 大学在学中

問9 あなたの現在の仕事をお答えください。(〇はいくつでも)

回答者の現在の仕事をみると、「正規の社員・職員・従業員」の割合が51.3%と最も高く、次いで「学生・生徒(予備校生などを含む)」20.2%、「パート・アルバイト」16.7%となっています。

国の調査と比較すると、概ね同じ傾向となっていますが、「パート・アルバイト」が5.9ポイント高くなっており、「正規の社員・職員・従業員」は4.6ポイント高くなってしています。

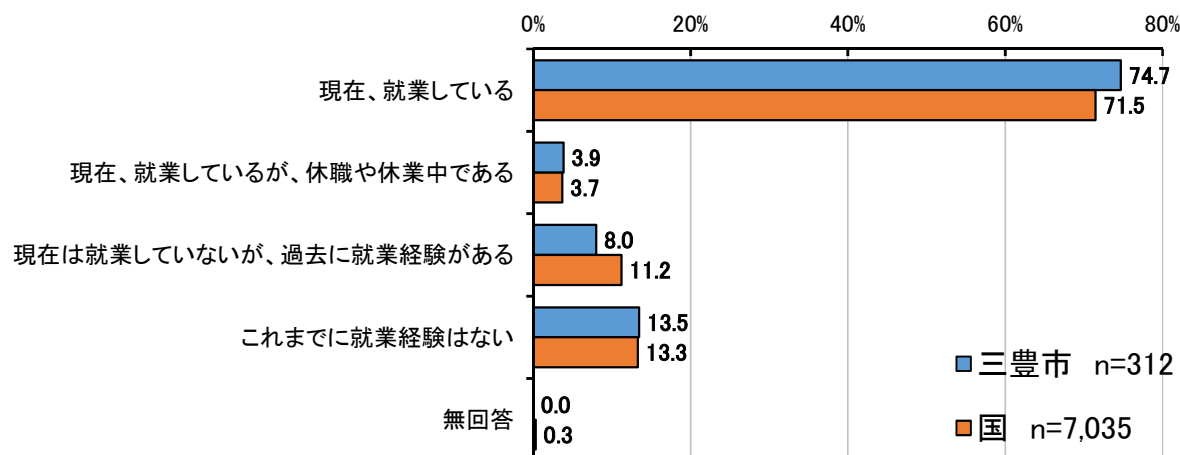


【その他の回答】(全2件)

・就労支援 2件

問 10 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む)
(○は1つ)

回答者の就業経験をみると、「現在、就業している」の割合が74.7%と最も高く、次いで「これまでに就業経験はない」13.5%、「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」8.0%、「現在、就業しているが、休職や休業中である」3.9%となっています。
国の調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています



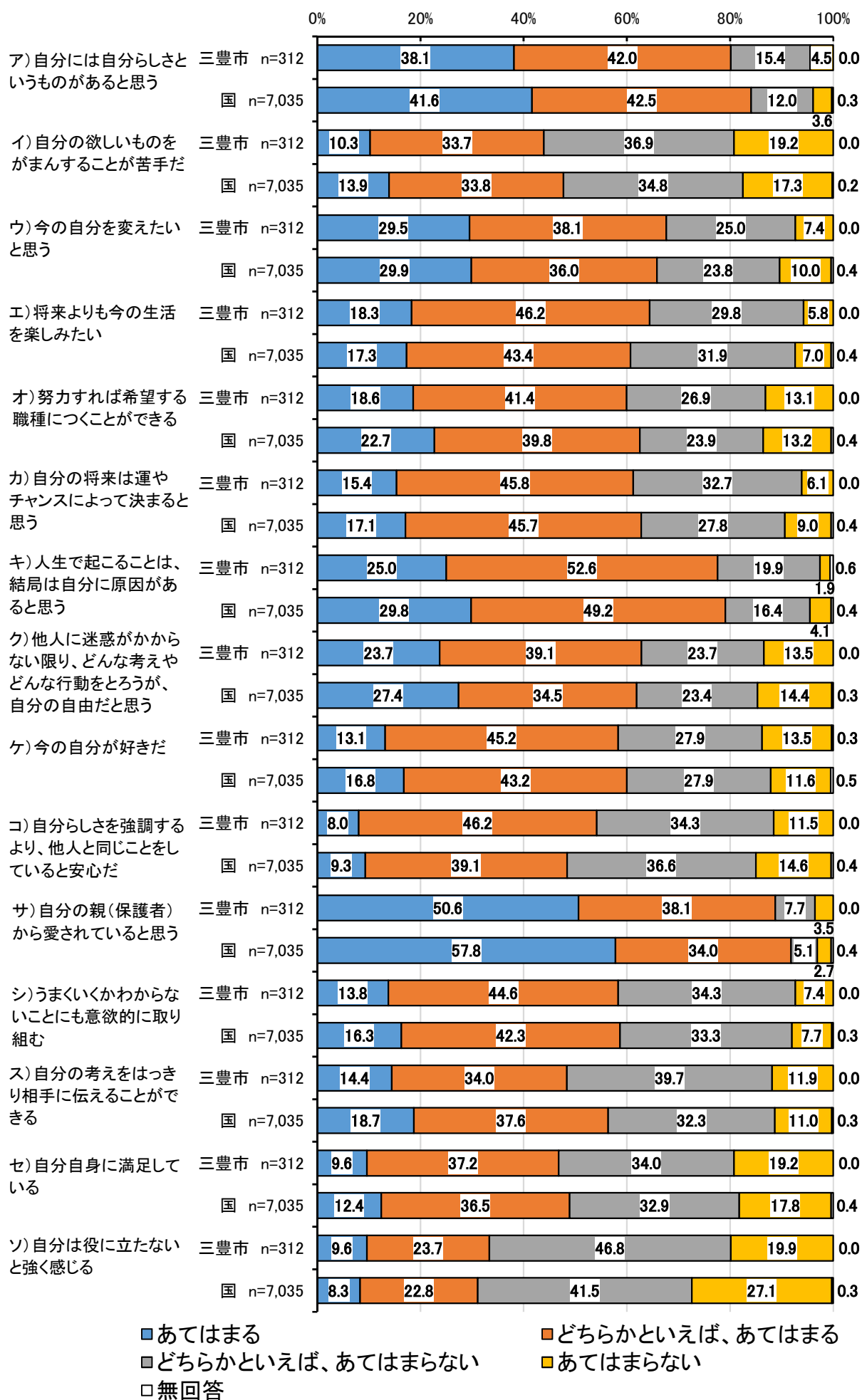
ここから、あなたの日頃の意識と生活についてお伺いします。

問 11 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。
(ア～ソのそれぞれについて、○は1つ)

ア～ソの項目をみると、イ、ス、セ、ソを除くすべての項目で『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計、以下同じ）の割合が『あてはまらない』（「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」の合計、以下同じ）よりも高くなっています。

「サ）自分の親（保護者）から愛されていると思う」は唯一「あてはまる」の割合が「どちらかといえば、あてはまる」よりも高くなっており、その差は12.5ポイントとなっています。

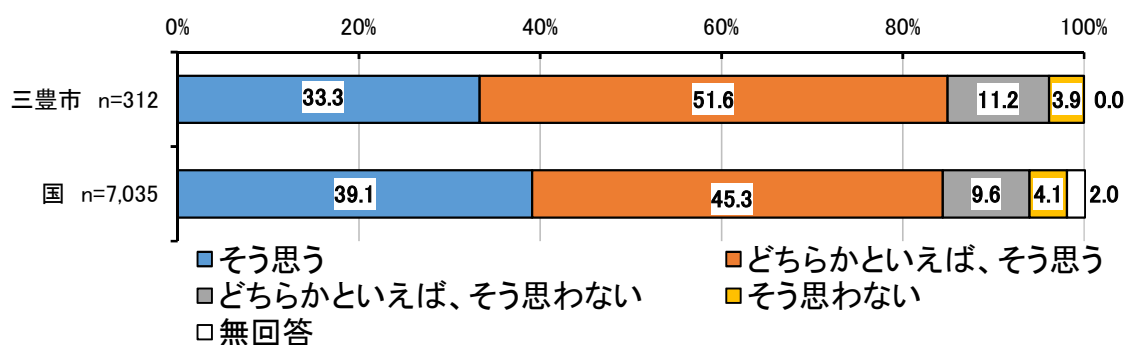
国の調査と比較すると、「ス）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」の『あてはまらない』が8.3ポイント高くなっており、「コ）自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ」の『あてはまる』は5.8ポイント高くなっています。



問 12 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。
(○は1つ)

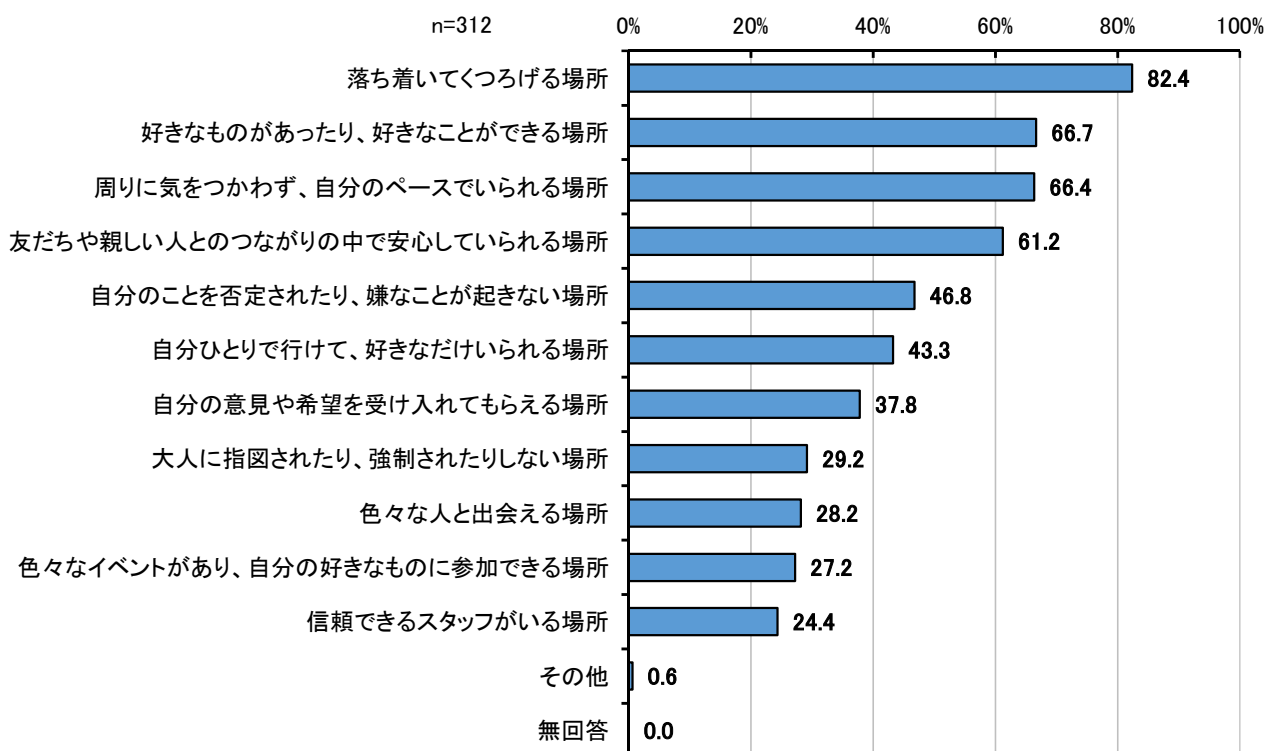
現在の幸福実感をみると、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)の割合が84.9%、『そう思わない』(「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計)は15.1%となっています。

国の調査と比較すると、「どちらかといえば、そう思う」が6.3ポイント高くなっており、「そう思う」が5.8ポイント低くなっています。



問 13 こどもや若者にとっての「居場所」とは、どんなところだと思いますか。
(○はいくつでも)

こどもや若者にとっての「居場所」像をみると、「落ち着いてくつろげる場所」の割合が82.4%と最も高く、次いで「好きなものがあったり、好きなことができる場所」66.7%、「周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所」66.4%となっています。



【その他の回答】(全2件)

・どちらつかずであるような状態が許される、認められる場所 など

居場所についてア～カの項目をみると、イ、エを除くすべての項目で『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計、以下同じ）の割合が『そう思わない』（「どちらかといえば、そう思う」と「そう思わない」の合計、以下同じ）よりも高くなっています。

「ア）自分の部屋」と「イ）家庭（実家や親族の家を含む）」は、『そう思う』の割合が8割を超えています。

国の調査と比較すると、「オ）地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）」の『そう思わない』が9.8ポイント高くなっており、「ウ）学校（卒業した学校を含む）」の『そう思わない』は6.5ポイント高くなっています。



問 15 以下のア～ウの項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。
(それぞれについて、○は1つ)

孤立感についてア～ウの項目をみると、ア、ウは『感じない』(「常にない」と「ほとんどない」の合計)の割合が『感じる』(「時々ある」と『常にある』の合計、以下同じ)よりも高くなっています。

それぞれの項目の『感じる』の割合をみると

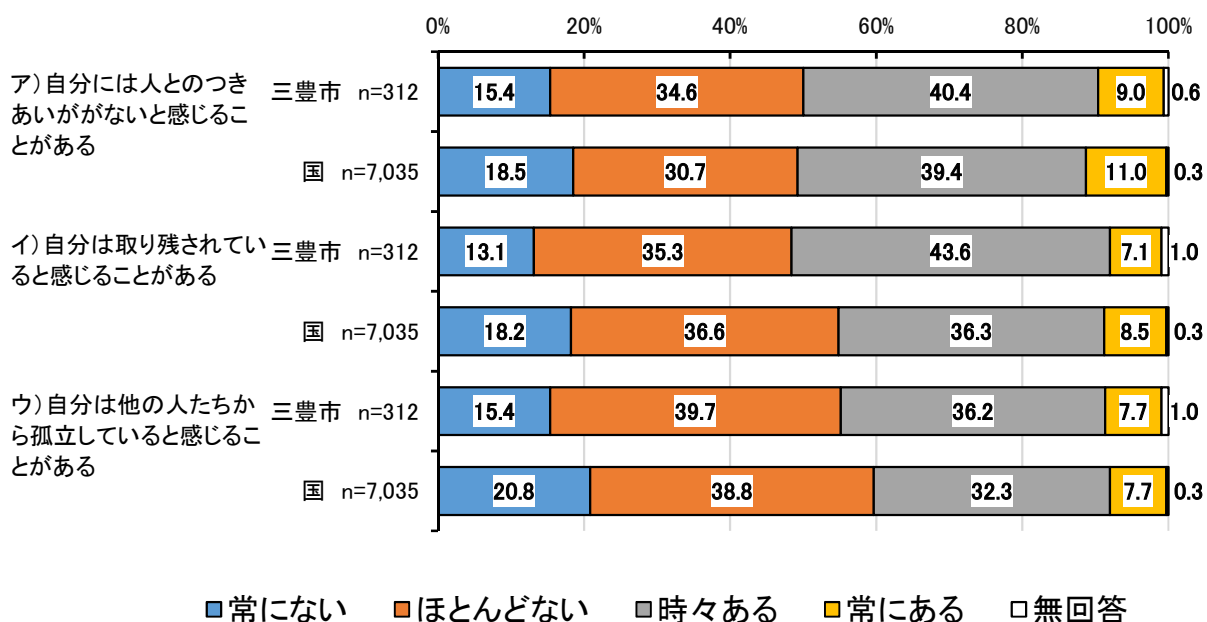
「ア) 自分には人とのつきあいがががないと感じることがある」 49.4%

「イ) 自分は取り残されていると感じることがある」 50.7%

「ウ) 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある」 43.9%

となっています。

国の調査と比較すると、概ね同じ傾向となっていますが、「イ) 自分は取り残されていると感じることがある」の『感じる』が5.9ポイント高くなっています。

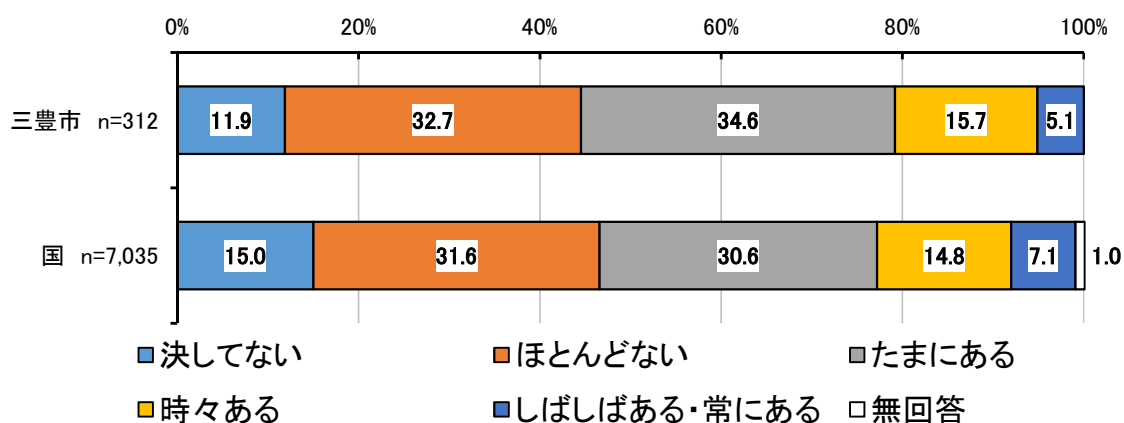


問 16 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○は1つ)

孤独を感じる頻度をみると、「たまにある」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「ほとんどない」32.7%、「時々ある」15.7%、「決してない」11.9%、「しばしばある・常にある」5.1%となっています。

『孤独を感じる』(「たまにある」と「時々ある」と「しばしばある・常にある」の合計、以下同じ)の割合は 55.4%で、『孤独を感じない』(「決してない」と「ほとんどない」の合計、以下同じ)の 44.6%よりも高く、10.8 ポイントの差があります。

国の調査と比較すると、「たまにある」が 4.0 ポイント高くなっています。また、『孤独を感じる』は 2 ポイント高くなっており、『孤独を感じない』は 2.9 ポイント低くなっています。



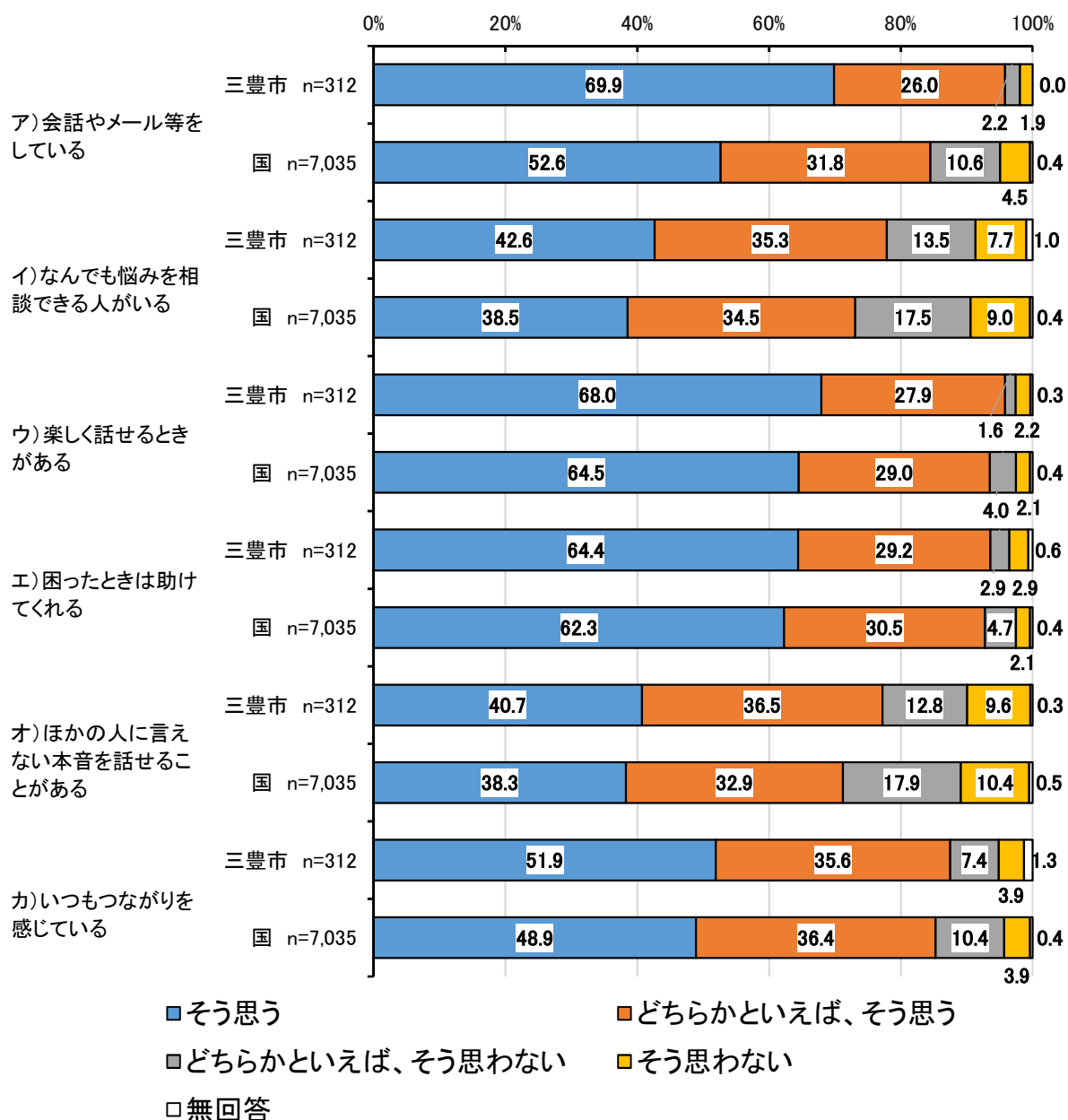
問 17 家族・親族とあなたのかかわりはどのようなものですか。

(それぞれについて、○は1つ)

家族・親族との関わりについてア～カの項目をみると、すべての項目で『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計、以下同じ)の割合が『そう思わない』(「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計、以下同じ)よりも高くなっています。

「イ)なんでも悩みを相談できる人がいる」と「オ)ほかの人に言えない本音を話せることがある」は『そう思わない』の割合が他の項目よりも高く、2割を超えています。

国の調査と比較すると、「ア)会話やメール等をしている」を除くすべての項目は概ね同じ傾向となっています。また、「ア)会話やメール等をしている」の『そう思う』が11.4ポイント高くなっており、「オ)ほかの人に言えない本音を話せることがある」の『そう思う』は6.1ポイント高くなっています。



学校で出会った友人との関わりについてア～カの項目をみると、すべての項目で『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計、以下同じ）の割合が『そう思わない』（「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計）よりも高くなっています。

「ウ）楽しく話せるときがある」は『そう思う』の割合が83.7%と、すべての項目の中で最も高くなっています。

国の調査と比較すると、「ア）会話やメール等をしている」を除くすべての項目は概ね同じ傾向となっています。また、「ア）会話やメール等をしている」の『そう思う』が17.4ポイント高くなっています。



問 19 職場・アルバイト関係の人（現在および過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。
（それぞれについて、○は 1 つ）

国の調査と比較すると、すべての項目の『そう思う』が国の調査よりも高くなっています。「ア）会話やメール等をしている」の『そう思う』が12.0ポイント高く、差が最も大きくなっています。



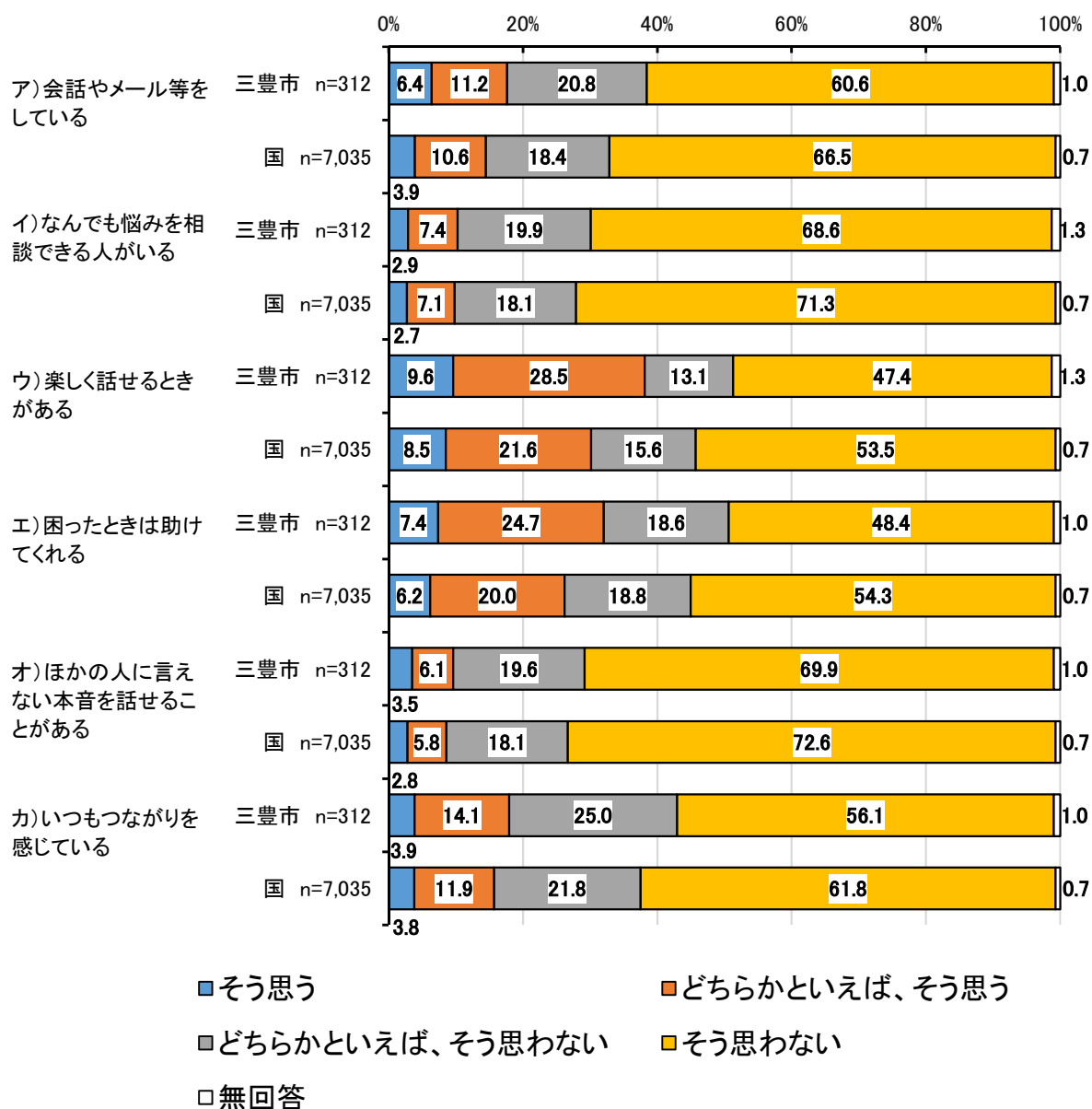
全員にお聞きします

問 20 地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれについて、○は1つ）

地域の人との関わりについてア～カの項目をみると、すべての項目で『そう思わない』（「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計）の割合が『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計、以下同じ）よりも高くなっています。

「ウ）楽しく話せるときがある」と「エ）困ったときは助けてくれる」を除くすべての項目は「そう思わない」の割合が5割を超えています。

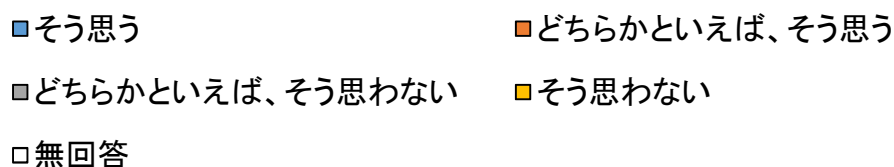
国の調査と比較すると、すべての項目の『そう思う』が国の調査よりも高くなっています。「ウ）楽しく話せるときがある」の『そう思う』が8.1ポイント高くなっており、「エ）困ったときは助けてくれる」の『そう思う』は5.9ポイント高くなっています。



(それぞれについて、○は1つ)

すべての項目で「そう思わない」の割合が5割を超えています。

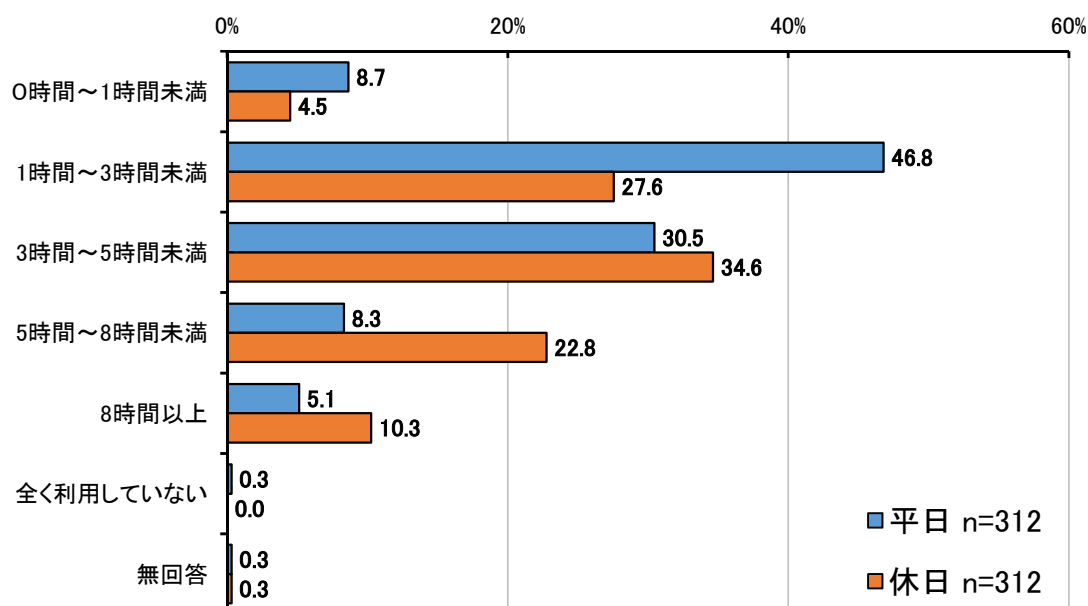
国の調査と比較すると、「ア）会話やメール等をしている」の『そう思う』が5.9ポイント高くなっており、「オ）ほかの人に言えない本音を話せることがある」の『そう思う』は4.6ポイント高くなっています。



問 22 1日に大体何時間くらいインターネット（SNS・動画サイト・オンラインゲームなど）を利用していますか。（○は1つ）

1日のインターネットの利用時間をみると、平日は「1時間～3時間未満」の割合が46.8%と最も高く、次いで「3時間～5時間未満」30.5%となっています。休日は「3時間～5時間未満」の割合が34.6%と最も高く、次いで「1時間～3時間未満」27.6%となっています。

『5時間以上』（「5時間～8時間未満」と「8時間以上」の合計）の割合をみると、休日は33.1%と平日の13.4%よりも19.7ポイント高くなっています。



他人とのコミュニケーションについてア～キの項目をみると、イ、エ、オ、カは『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計、以下同じ）の割合が『あてはまらない』（「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」の合計、以下同じ）よりも高くなっています。

「イ）表情やしぐさで相手の思っていることがわかる」と「エ）その場に合った行動がとれる」は『あてはまる』の割合が他の項目よりも高く、ともに7割を超えています。

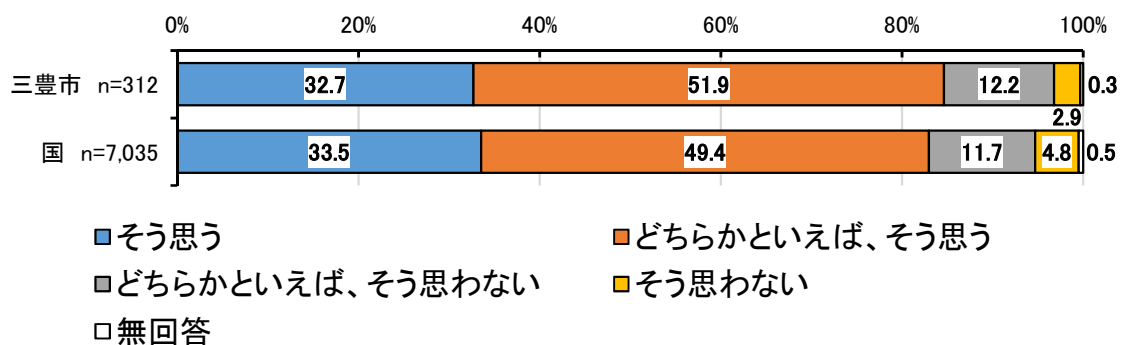
国の調査と比較すると、「ア）誰とでもすぐに仲良くなれる」の『あてはまらない』が10.9ポイント高くなっており、「ウ）親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る」の『あてはまらない』が7.8ポイント高くなっています。



問 24 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(○は1つ)

社会貢献の意識をみると、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)の割合が84.6%となっており、『そう思わない』(「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計、以下同じ)の15.1%よりも69.5ポイント高くなっています。

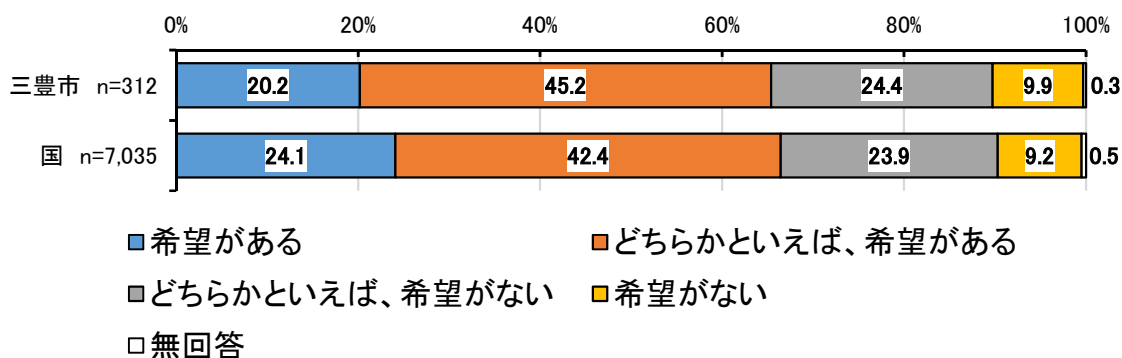
国の調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。



問 25 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(○は1つ)

自分の将来への希望を持っているかをみると、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)の割合が65.4%となっており、『そう思わない』(「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計)の34.3%よりも31.1ポイント高くなっています。

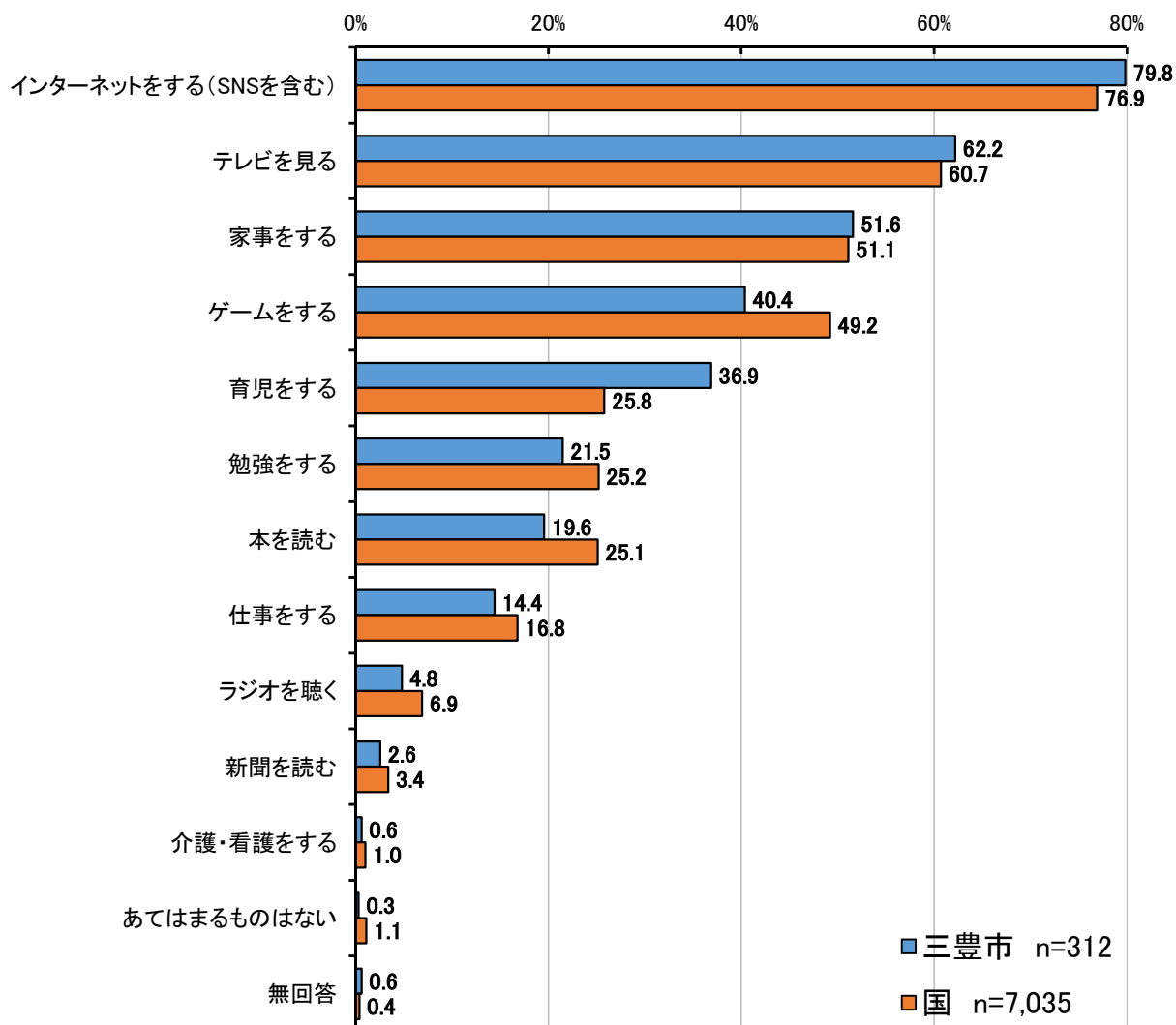
国の調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。



問 26 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（○はいくつでも）

普段の自宅での過ごし方をみると、「インターネットをする（SNSを含む）」の割合が79.8%と最も高く、次いで「テレビを見る」62.2%、「家事をする」51.6%となっています。

国の調査と比較すると、「育児をする」が11.1ポイント高く、差が最も大きくなっており、「ゲームをする」が8.8ポイント低くなっています。

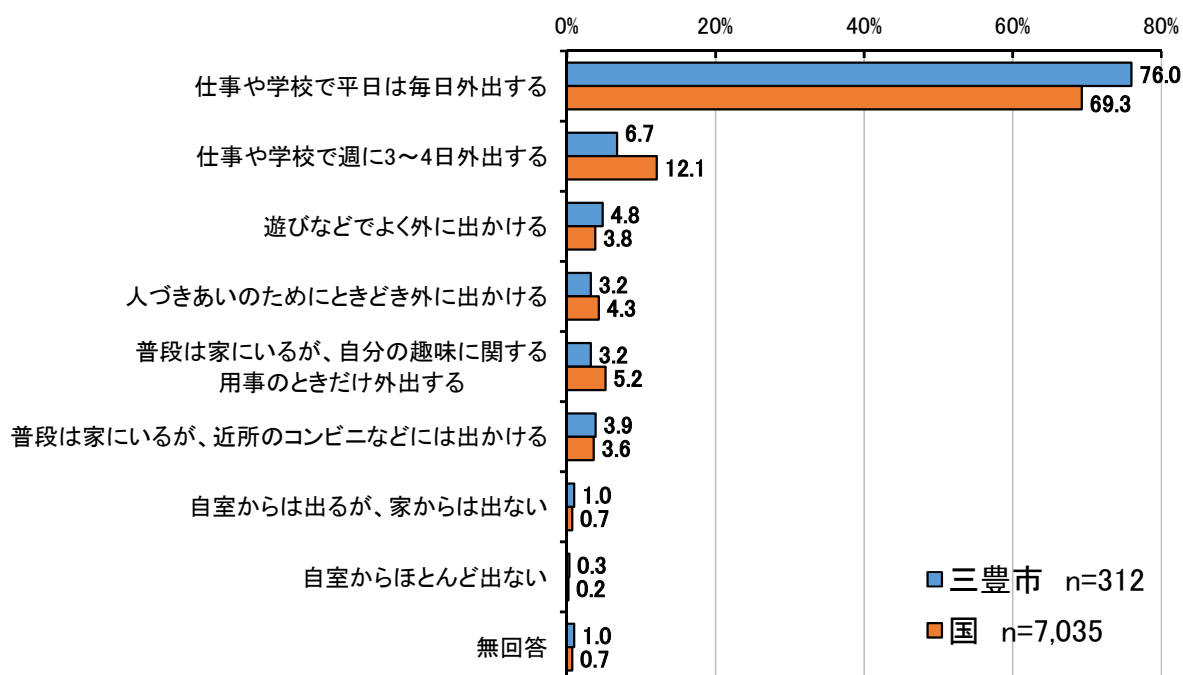


問 27 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

(○は1つ) ※在宅ワークは、「1、2の仕事」に含むものとします。

普段の外出頻度をみると、「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が 76.0%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に 3～4 日外出する」6.7%となっています。

国の調査と比較すると、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 6.7 ポイント高くなっており、「仕事や学校で週に 3～4 日外出する」は 5.4 ポイント低くなっています。

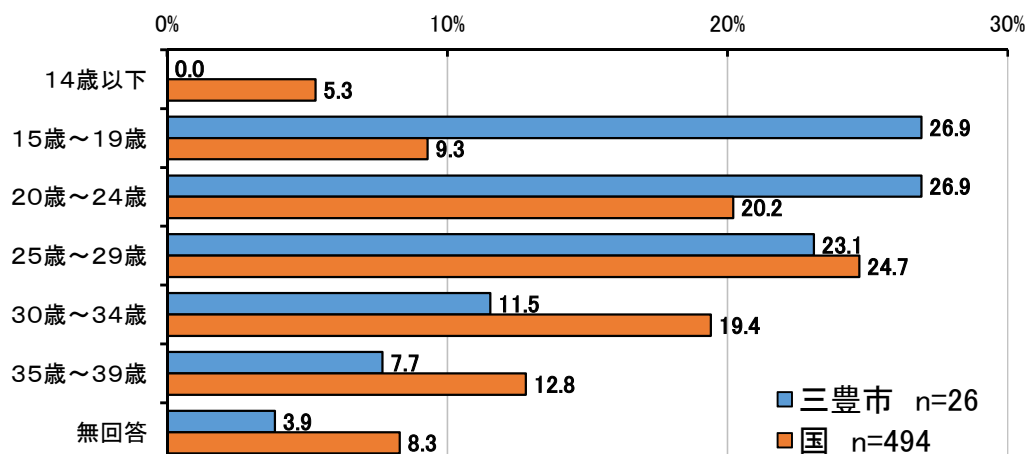


問 27 で「5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「6 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「7 自室からは出るが、家からは出ない」、「8 自室からほとんど出ない」を選んだ方のみ、お答えください。

問 28 あなたの外出状況が現在の状況になったのは、何歳のころですか。(数字で具体的に)

現在の外出状況になった年齢をみると、「15歳～19歳」と「20歳～24歳」の割合がともに 26.9%と最も高く、次いで「25歳～29歳」23.1%となっています。

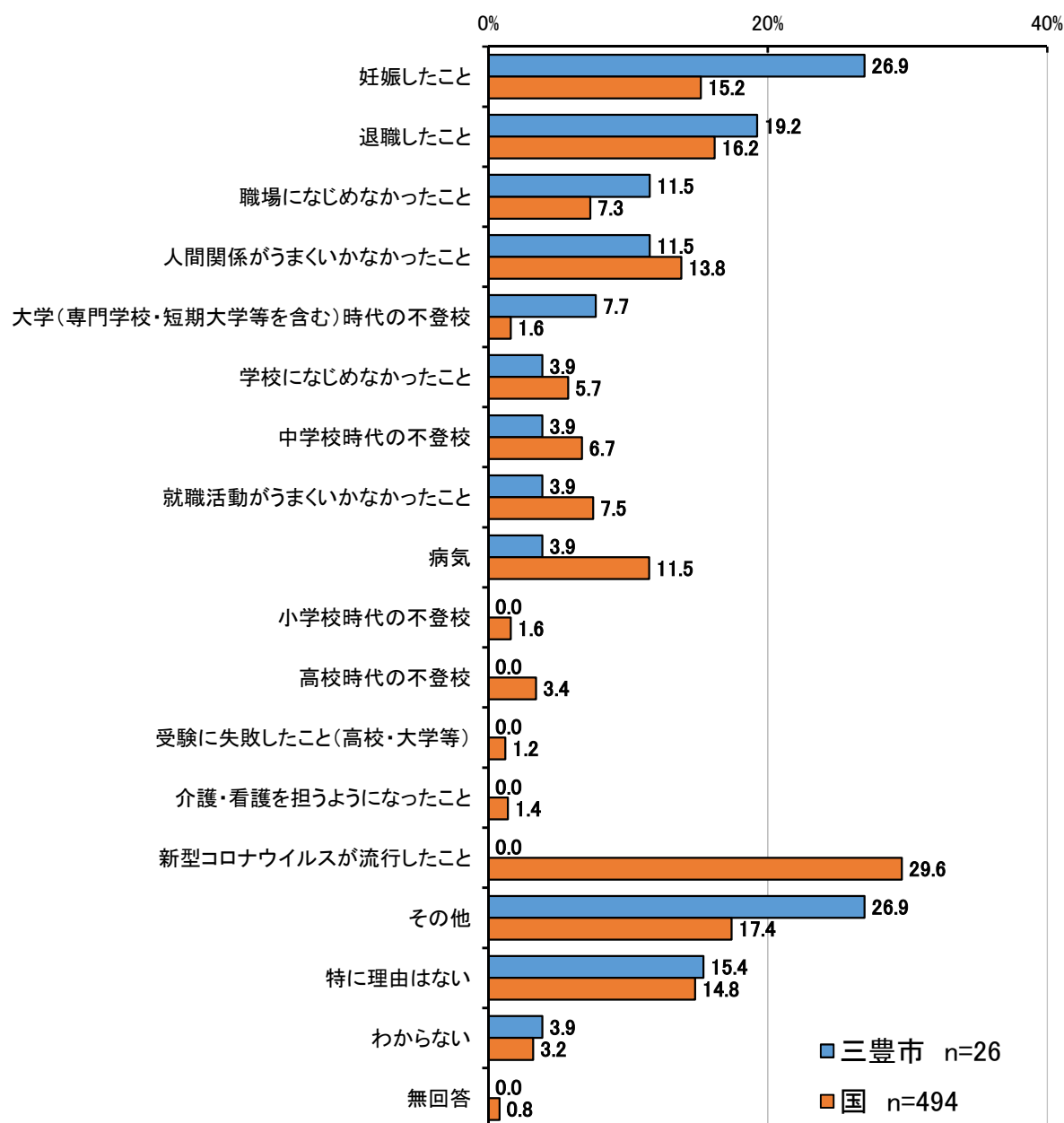
国の調査と比較すると、「15歳～19歳」が 15.6 ポイント高く、差が最も大きくなっており、「30歳～34歳」は 7.9 ポイント低くなっています。



問 29 あなたの外出状況が現在の状況になった主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

現在の外出状況になった理由をみると、「妊娠したこと」の割合が26.9%と最も高く、次いで「退職したこと」19.2%となっています。

国の調査と比較すると、「妊娠したこと」が11.7ポイント高く、「新型コロナウイルスが流行したこと」が29.6ポイント低く、「病気」が7.6ポイント低くなっています。



【病名】(全 1 件)

・ うつ病

【その他の回答】(全 7 件)

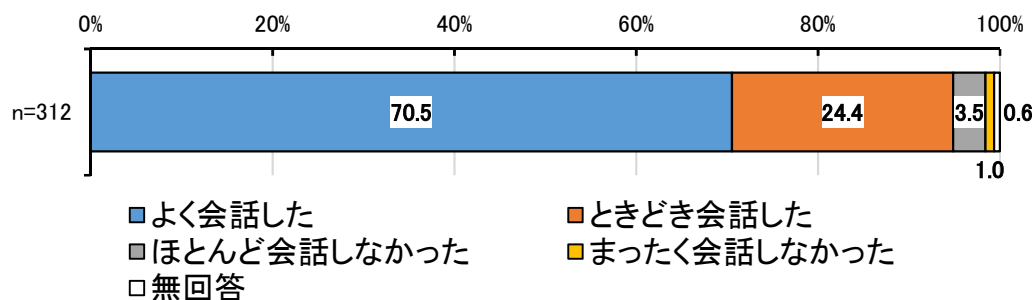
- | | |
|------------------|----------------------|
| ・ もう思い出せない | ・ 結婚 |
| ・ 育児開始 | ・ 仕事の忙しさ、休みは体力回復にあてる |
| ・ 交通事故が原因の骨折での入院 | ・ 事業所都合で退所した など |

全員にお聞きします

問 30 最近6か月間に、家族以外の人と会話をしましたか。(○は1つ)

この半年の家族以外の人との会話状況をみると、「よく会話をした」の割合が70.5%と最も高く、次いで「ときどき会話をした」24.4%となっています。

『会話をした』(「よく会話をした」と「ときどき会話をした」の合計)の割合は94.9%と9割以上となっています。

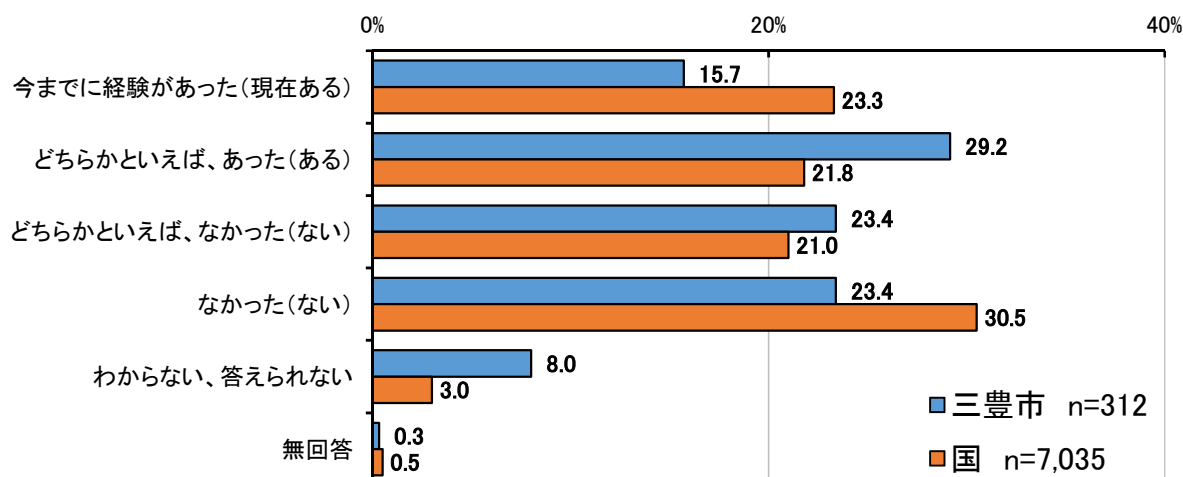


問 31 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常を円滑に送れていない状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があったかをみると、「どちらかといえば、あった(ある)」の割合が29.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば、なかった(ない)」と「なかった(ない)」がともに23.4%、「今までに経験があった(現在ある)」15.7%となっています。

『経験がない』(「どちらかといえば、なかった(ない)」と「なかった(ない)」の合計、以下同じ)の割合は46.8%となっており、『経験がある』(「今までに経験があった(現在ある)」と「どちらかといえば、あった(ある)」の合計、以下同じ)の44.9%よりも1.9ポイント高くなっています。

国の調査と比較すると、「どちらかといえば、あった(ある)」が7.4ポイント高くなっており、「今までに経験があった(現在ある)」が7.6ポイント低くなっています。また、『経験がない』は4.8ポイント高くなっており、『経験がある』は0.2ポイント低くなっています。



問 32～34 は、問 31 で「1 今までに経験があった（ある）」または「2 どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください。

（それ以外の方は、問 35 にお進みください。）

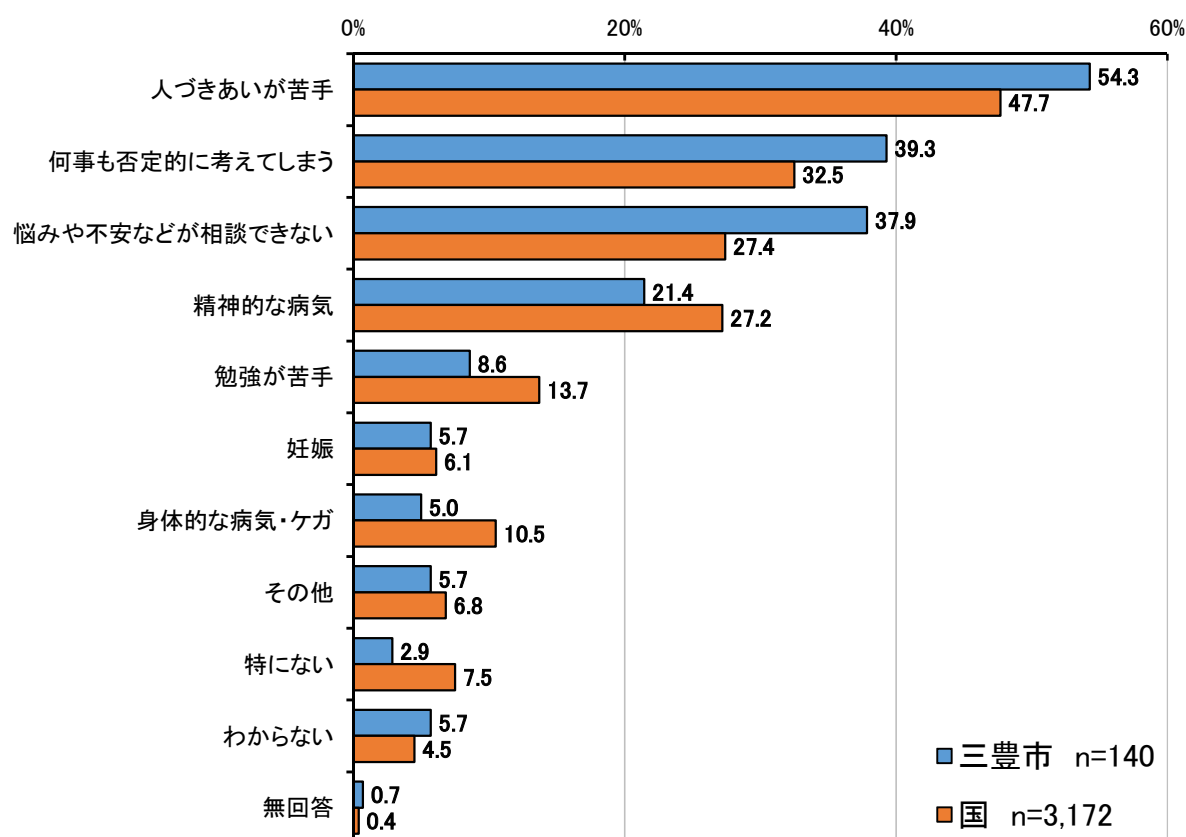
問 32 そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因は何ですか。

以下の（１）～（４）のそれぞれにお答えください。

（１）自分自身について（〇はいくつでも）

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験の、自分自身における原因をみると、「人づきあいが苦手」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「何事も否定的に考えてしまう」39.3%、「悩みや不安などが相談できない」37.9%となっています。

国の調査と比較すると、「悩みや不安などが相談できない」が 10.5 ポイント高くなっており、「何事も否定的に考えてしまう」は 6.8 ポイント高く、「人づきあいが苦手」は 6.6 ポイント高くなっています。



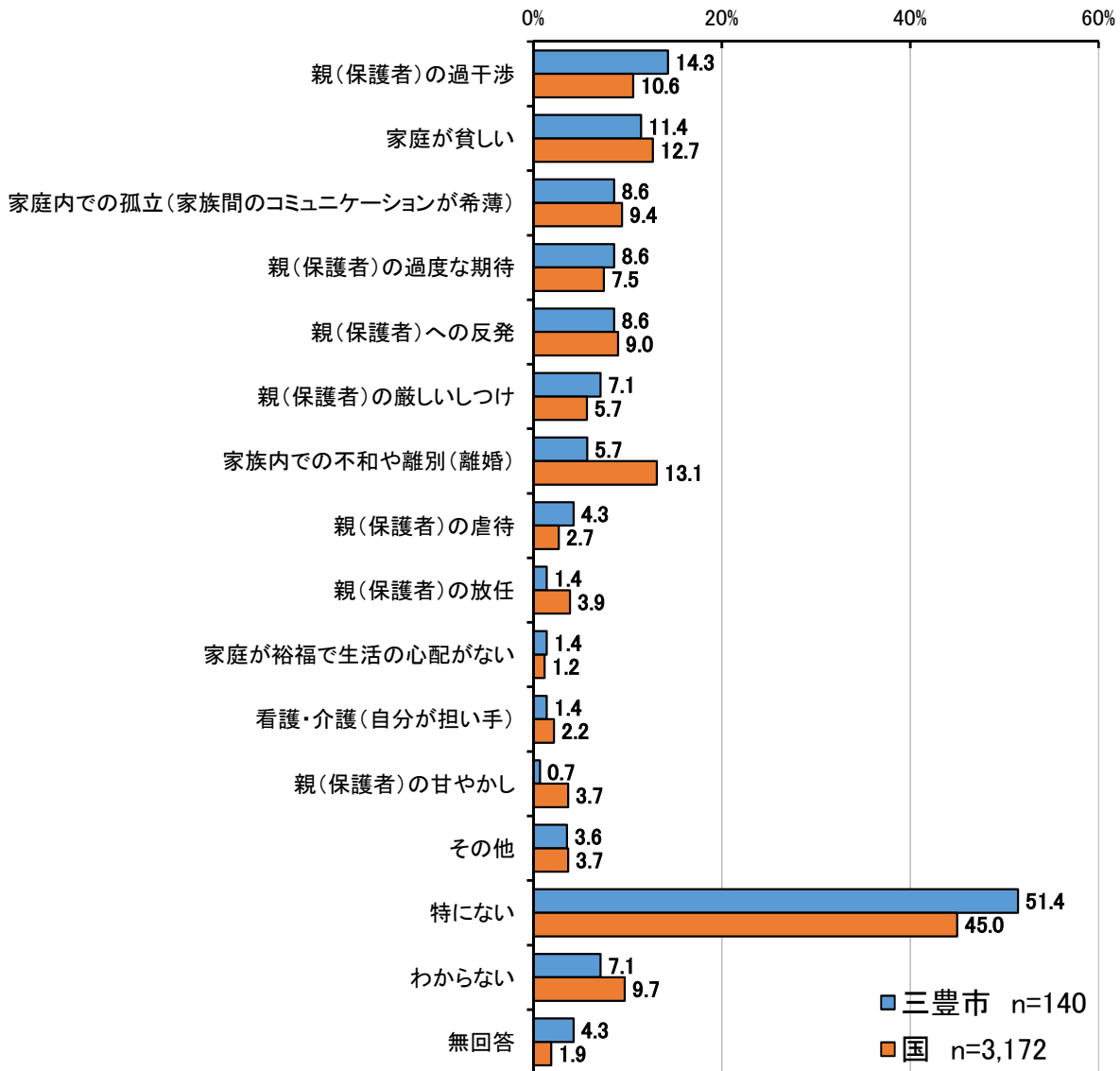
【その他の回答】（全 8 件）

- ・ 金銭
- ・ 母親との死別
- ・ 時間に追われる
- ・ 経験不足で追い込まれた など

(2) 家族・家庭について (〇はいくつでも)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験の、家族・家庭における原因をみると、「特にない」の割合が51.4%と最も高く、次いで「親(保護者)の過干渉」14.3%、「家庭が貧しい」11.4%となっています。

国の調査と比較すると、「特にない」が6.4ポイント高くなっており、「家族内での不和や離別(離婚)」が7.6ポイント低くなっています。



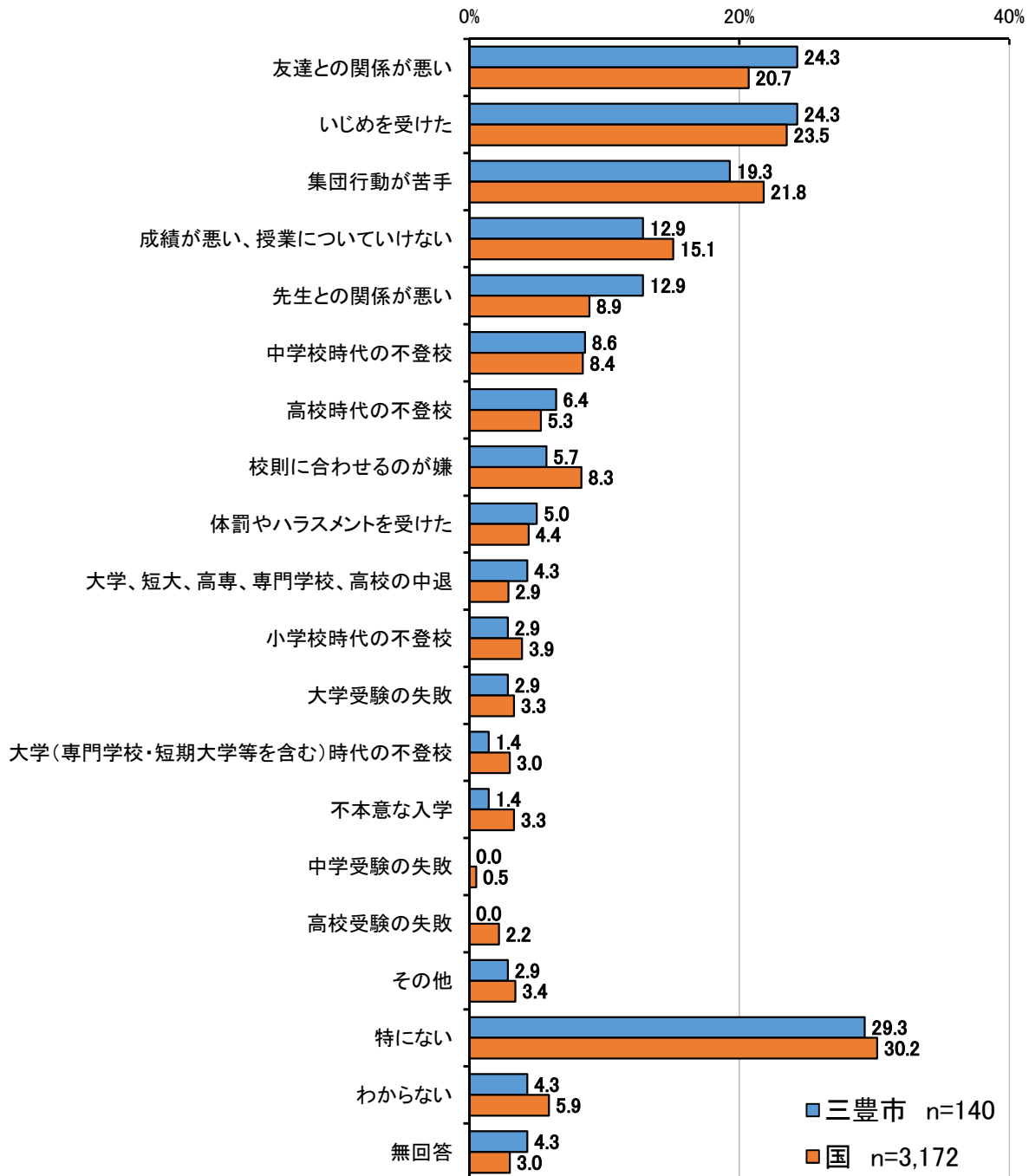
【その他の回答】(全5件)

- ・ 育児
- ・ 仕事はしているがその収入だけでは生活できないため親に負担をかけていることがある。
- ・ 精神病のきょうだいの相手 など
- ・ 相談しない

(3) 学校について (〇はいくつでも)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験の、学校における原因をみると、「特にない」の割合が 29.3%と最も高く、次いで「友達との関係が悪い」と「いじめを受けた」がともに 24.3%、「集団行動が苦手」19.3%となっています。

国の調査と比較すると、概ね同じ傾向となっています。



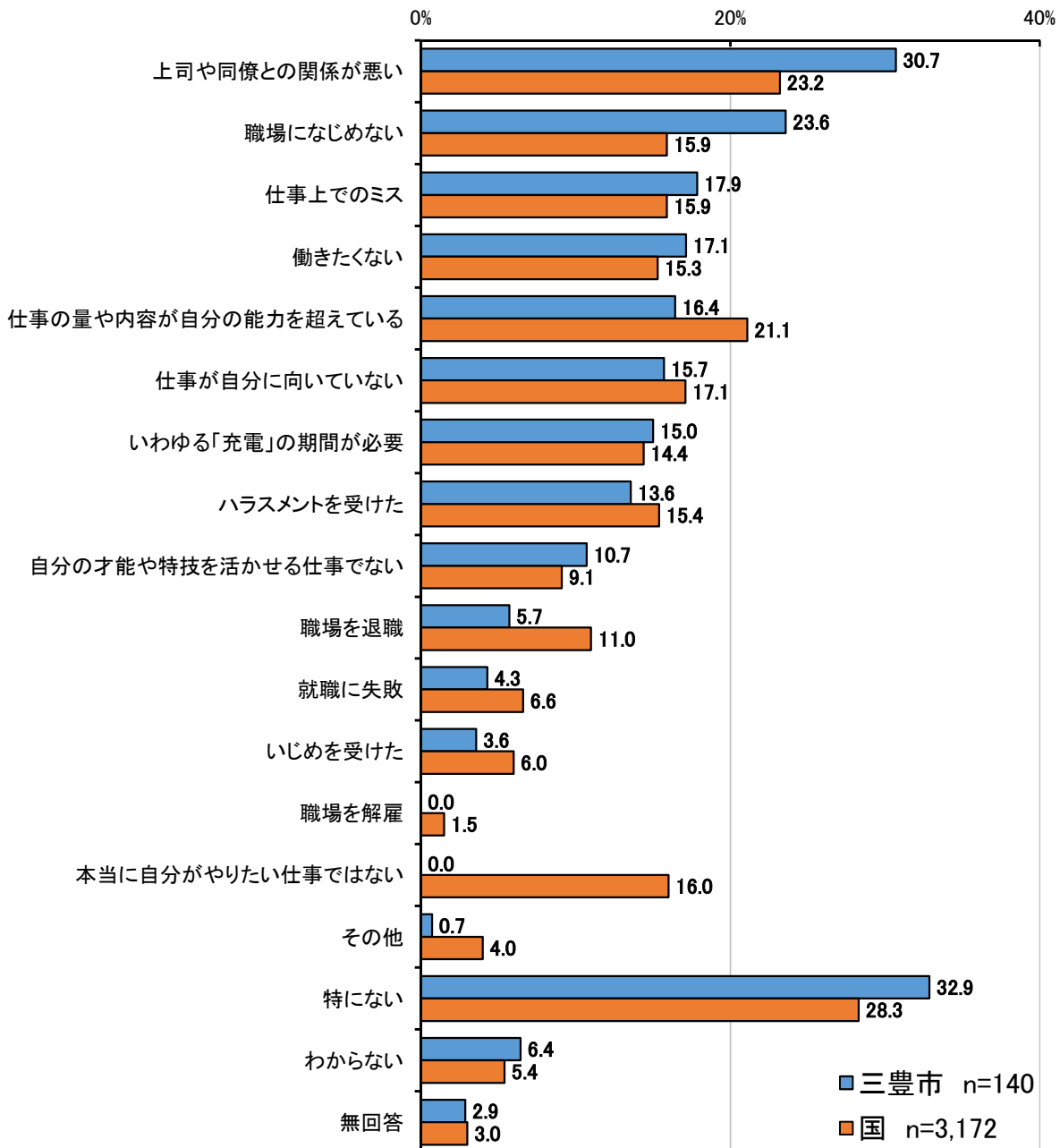
【その他の回答】(全 4 件)

- ・ 中学の時勉強をサボって後悔した
- ・ クラスになじめない など
- ・ 校風が合わない

(4) 仕事・職場について(○はいくつでも)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験の、自分自身における原因をみると、「特にない」の割合が32.9%と最も高く、次いで「上司や同僚との関係が悪い」30.7%、「職場になじめない」23.6%となっています。

国の調査と比較すると、「職場になじめない」が7.7ポイント高くなっており、「上司や同僚との関係が悪い」は7.5ポイント高く、「本当に自分がやりたい仕事ではない」は16.0ポイント低くなっています。



【その他の回答】(全1件)

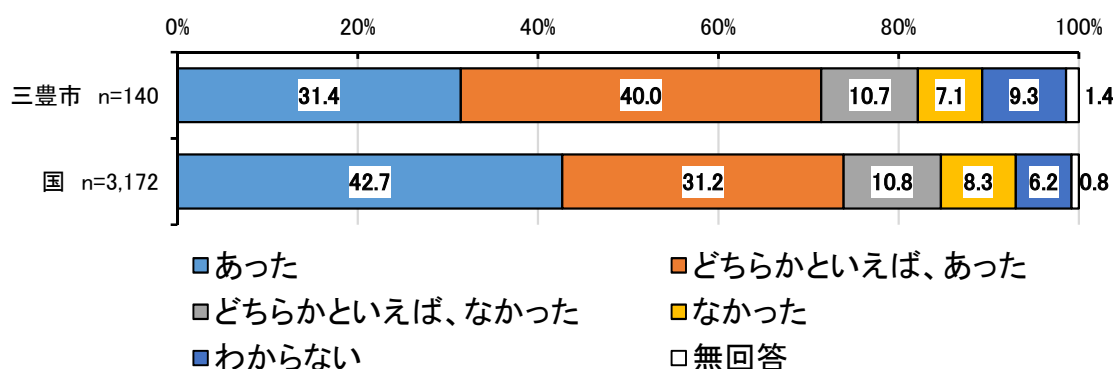
・ 職場(部署)の雰囲気・人間関係が悪い

問33 あなたは今までに社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験についてみると、「どちらかといえば、あった」の割合が40.0%と最も高く、次いで「あった」31.4%、「どちらかといえば、なかった」10.7%、「なかった」7.1%となっています。

『あった』(「あった」と「どちらかといえば、あった」の合計、以下同じ)の割合は71.4%で、『なかった』(「どちらかといえば、なかった」と「なかった」の合計、以下同じ)の17.8%よりも53.6ポイント高くなっています。

国の調査と比較すると、「どちらかといえば、あった」は8.8ポイント高くなっており、「あった」が10.7ポイント低くなっています。また、『あった』は1.9ポイント低くなっており、『なかった』は1.4ポイント低くなっています。

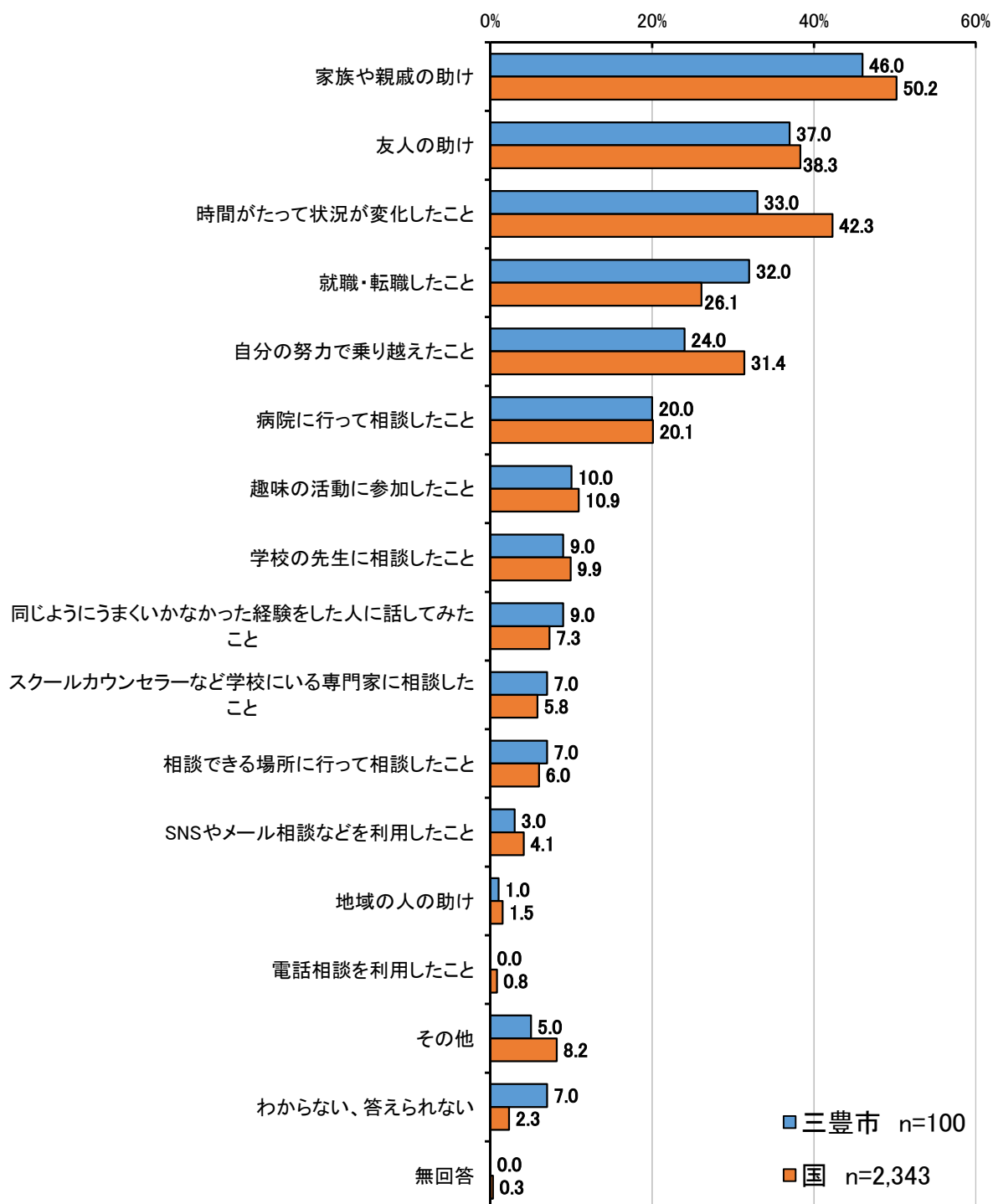


問33で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。

問34 状況が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

状況が改善したきっかけや改善に役立ったことをみると、「家族や親戚の助け」の割合が46.0%と最も高く、次いで「友人の助け」37.0%、「時間がたって状況が変化したこと」33.0%となっています。

国の調査と比較すると、「時間がたって状況が変化したこと」が9.3ポイント低くなっており、「自分の努力で乗り越えたこと」が7.4ポイント低くなっています。



【その他の回答】（全 4 件）

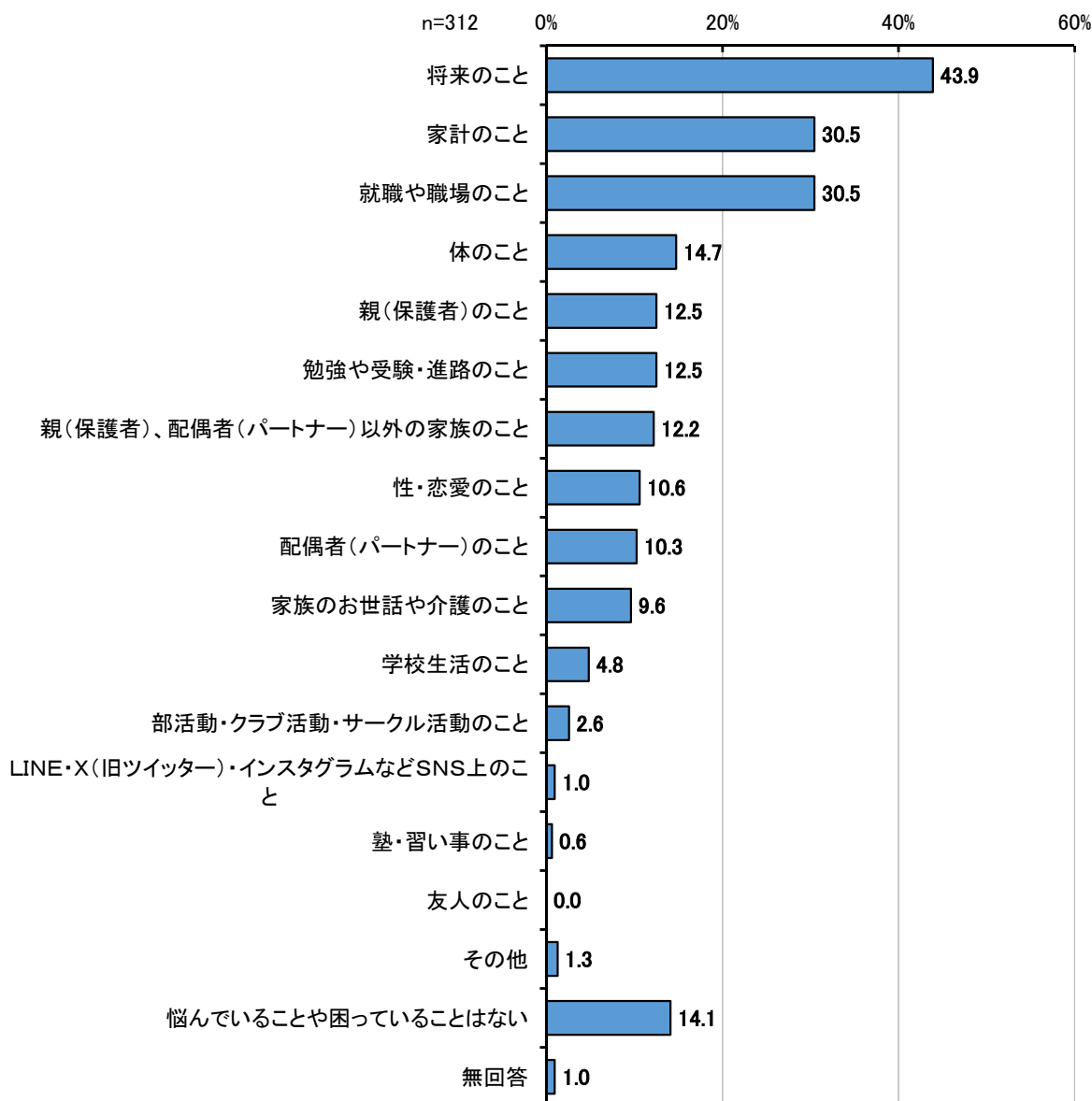
- ・ 部署の異動 2 件
- ・ 退職して数ヶ月こもった
- ・ 職場ではハラスメントしてくる人が辞めた

全員にお聞きします

問 35 今、自分自身について悩んでいることや困っていることはありますか。

(〇はいくつでも)

自分自身について悩んでいることや困っていることをみると、「将来のこと」の割合が43.9%と最も高く、次いで「家計のこと」と「就職や職場のこと」がともに30.5%となっています。

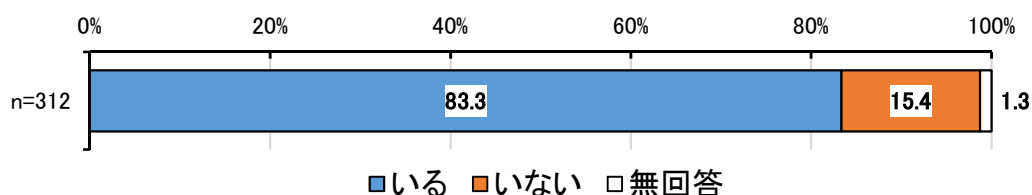


【その他の回答】(全 3 件)

- ・ 育児
- ・ 趣味
- ・ 妊活に対して夫が非協力的。向き合ってくれないと感じる。

問 36 困ったときに相談したり、悩みを話せる人がいますか。(○は1つ)

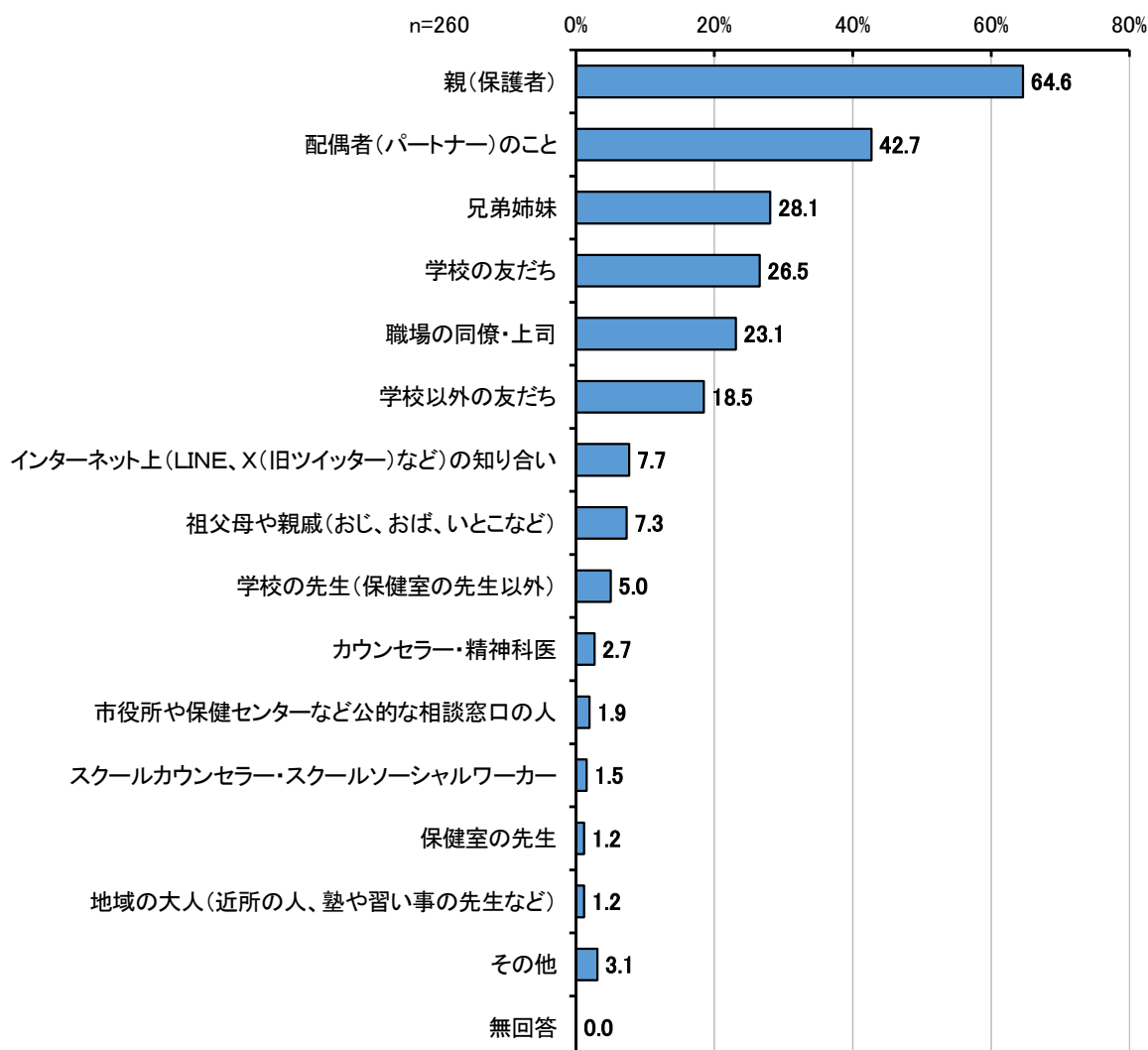
困った時の相談相手がいるかをみると、「いる」の割合が83.3%、「いない」は15.4%となっています。



問 36 で「1. はい」を選んだ方のみ、お答えください。

問 37 困ったときに相談したり、悩みを話せる人は誰ですか。(○はいくつでも)

困ったときの相談相手をみると、「親（保護者）」の割合が64.6%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）のこと」42.7%、「兄弟姉妹」28.1%となっています。



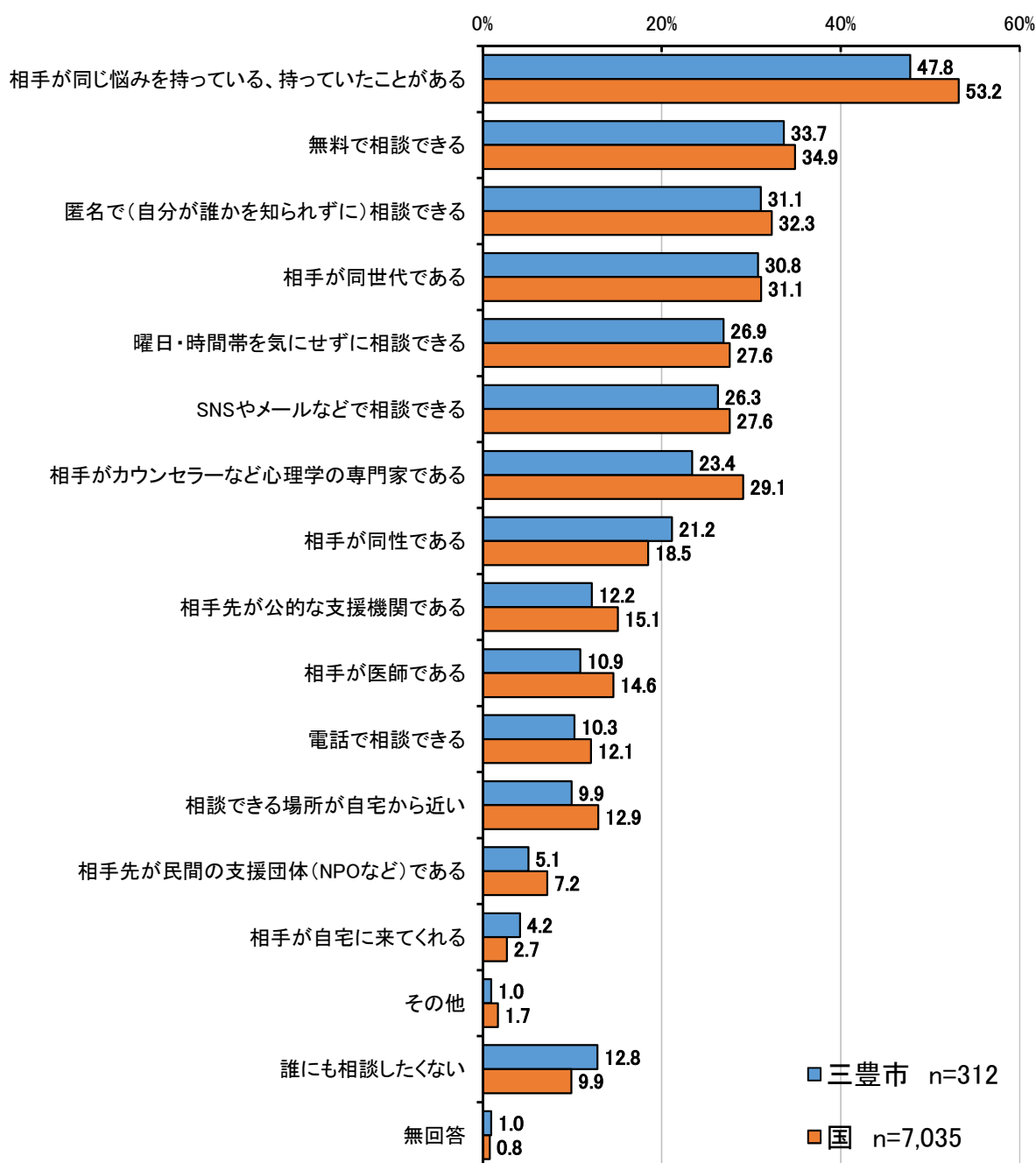
【その他の回答】（全7件）

- ・ 友達 3件
- ・ デイサービスのスタッフ 2件
- ・ 所属しているクラブの人
- ・ 学校を卒業しているので在籍中の友達（20年来）

問 38 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

家族や知り合い以外に相談する人や場所をみると、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」の割合が47.8%と最も高く、次いで「無料で相談できる」33.7%、「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」31.1%、「相手が同世代である」30.8%となっています。一方、「誰にも相談したくない」は12.8%となっています。

国の調査と比較すると、概ね同じ傾向となっていますが、「相手がカウンセラーなど心理学の専門家である」が5.7ポイント低く、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」は5.4ポイント低くなっています。

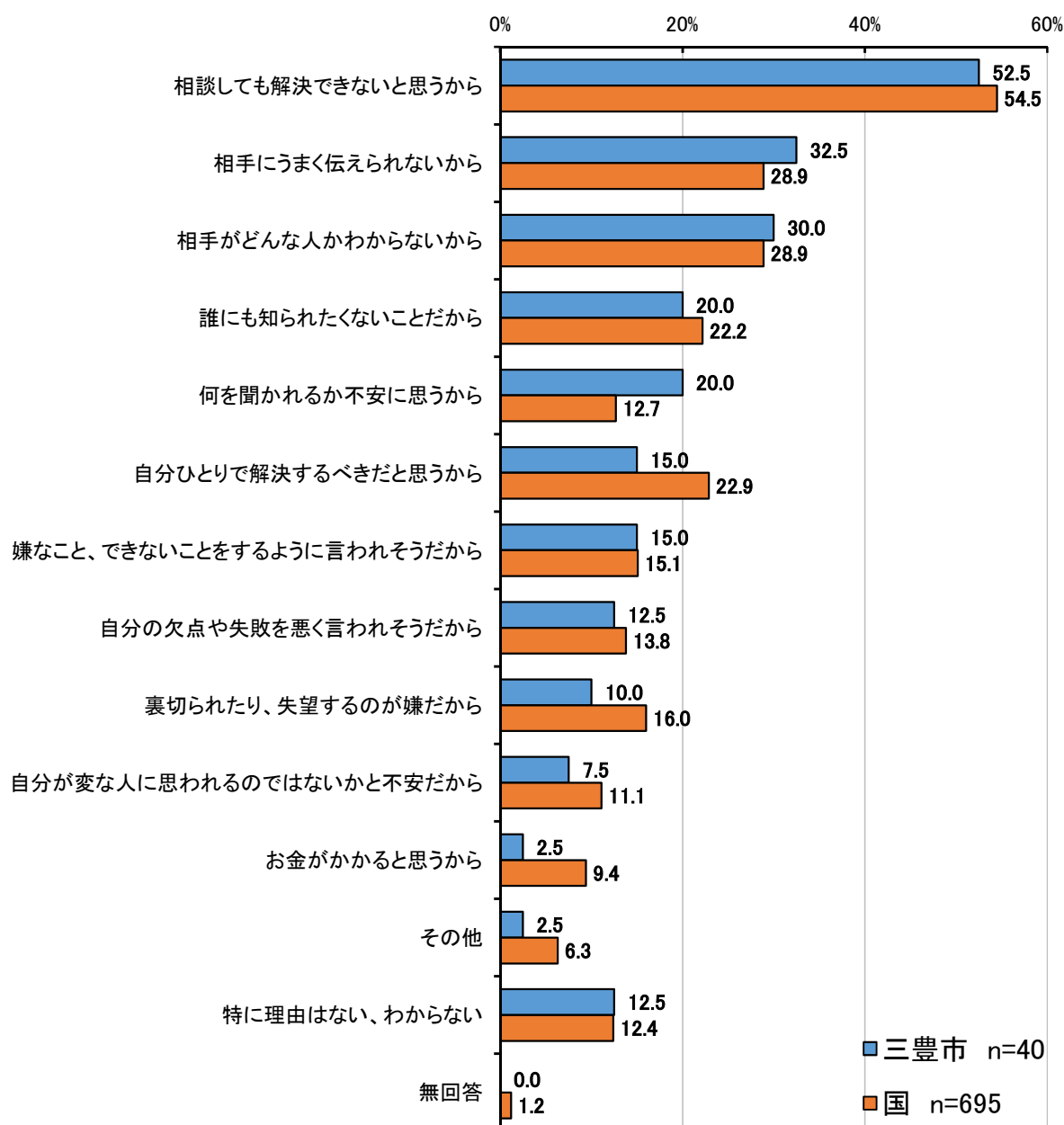


問 38 で「16. 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。

問 39 相談したくないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

家族や知り合い以外に相談したくないと思う理由をみると、「相談しても解決できないと思うから」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「相手にうまく伝えられないから」32.5%、「相手がどんな人かわからないから」30.0%となっています。

国の調査と比較すると、「何を聞かれるか不安だから」が7.3ポイント高く、「自分ひとりで解決するべきだと思うから」は7.9ポイント低くなっています。



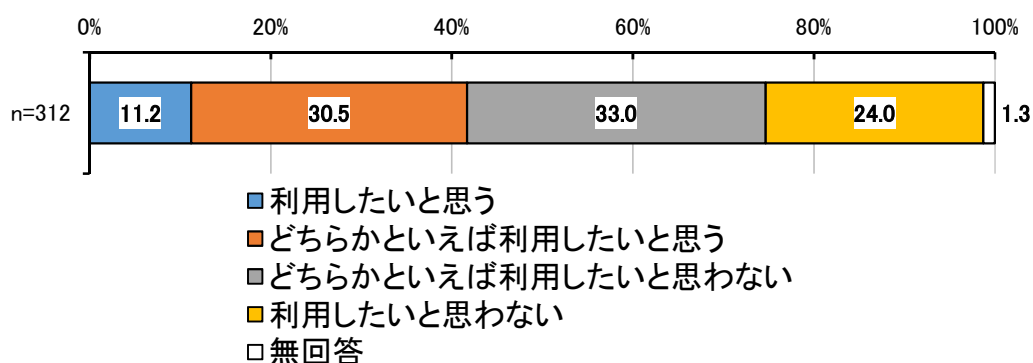
【その他の回答】(全1件)

・面倒だから

問 40 困ったり悩んだりしたとき、三豊市や香川県のこども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思いますか。(○は1つ)

市や県の相談窓口を利用したいかをみると、「どちらかといえば利用したいと思わない」の割合が33.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば利用したいと思う」30.5%、「利用したいと思わない」24.0%、「利用したいと思う」11.2%となっています。

『利用したいと思う』(「利用したいと思う」と「どちらかといえば利用したいと思う」の合計)の割合は41.7%で、『利用したいと思わない』(「どちらかといえば利用したいと思わない」と「利用したいと思わない」の合計)の57.0%よりも15.3ポイント低くなっています。

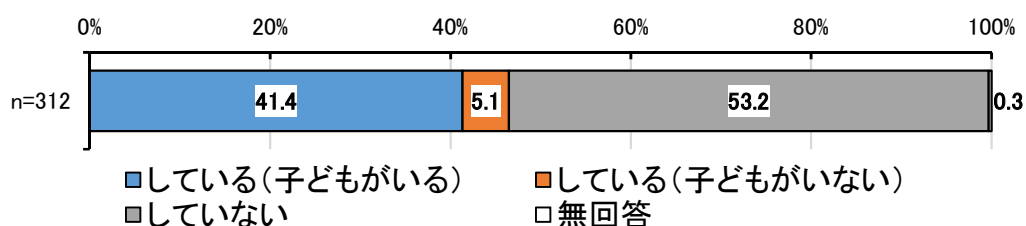


全員にお聞きします

問 41 あなたは現在結婚していますか。(○は1つ)

結婚の状況をみると、「している(こどもがいる)」の割合が41.4%、「している(こどもがいない)」は5.1%、「していない」は53.2%となっています。

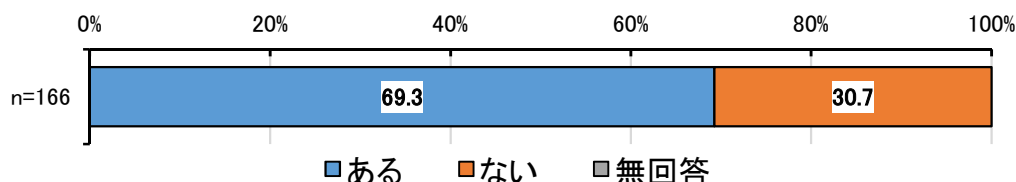
『結婚している』(「している(こどもがいる)」と「している(こどもがいない)」の合計)の割合は46.5%で、「していない」の53.2%よりも6.7ポイント低くなっています。



問 41 で「3」を選んだ方のみ、お答えください。

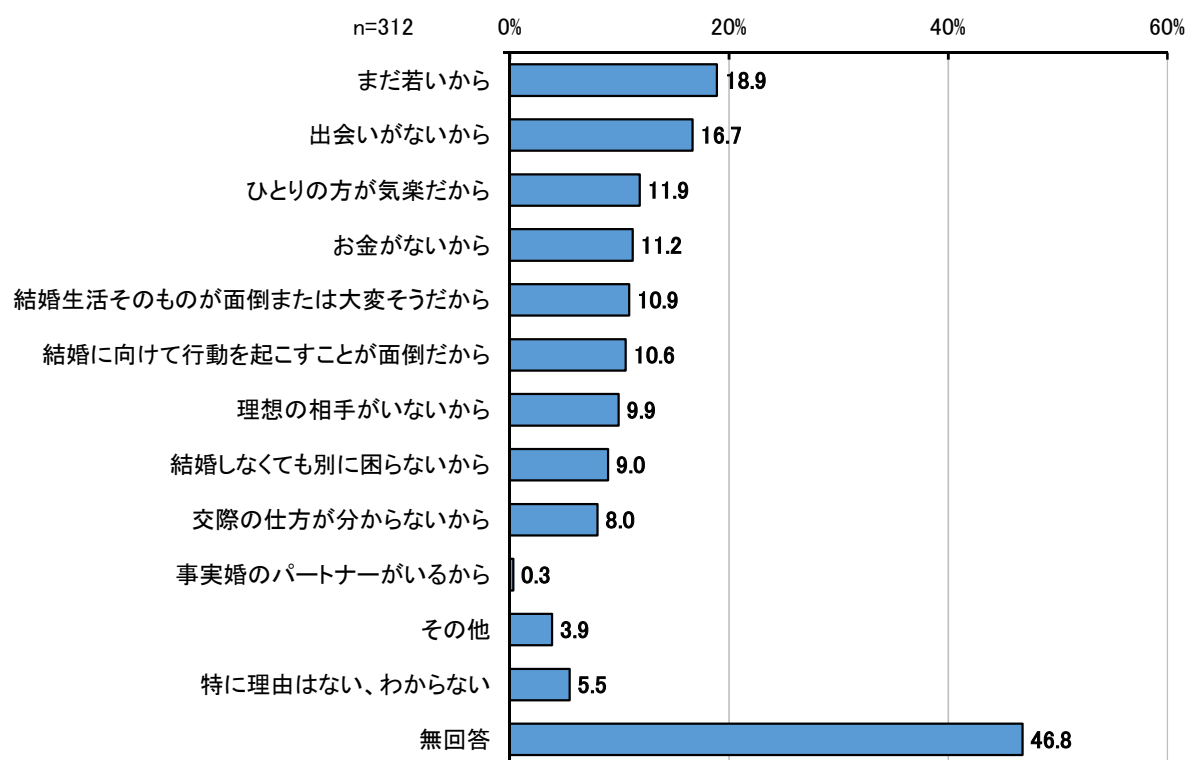
問 42 将来の結婚希望はありますか。(○は1つ)

将来の結婚希望をみると、「ある」の割合が69.3%、「ない」は30.7%となっています。3割の人が結婚希望がないことがわかります。



問 43 あなたが結婚していない理由について教えてください。(○はいくつでも)

結婚していない理由をみると、「まだ若いから」の割合が 18.9%と最も高く、次いで「出会いがないから」16.7%、「ひとりの方が気楽だから」11.9%となっています。



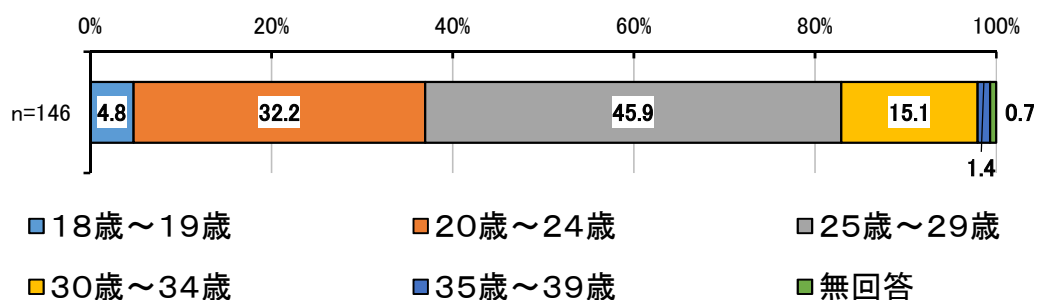
【その他の回答】(全 12 件)

- ・ 婚約中 3 件
- ・ LGBTQ だから
- ・ 障がいがあるから
- ・ 交際でいいから
- ・ 親の仲が悪いので、見ていて結婚したいと思えたことがない など
- ・ 離婚したから 2 件
- ・ まだ学生だから
- ・ やらなければならないことがあるから

問 41 で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。

問 44 あなたは何歳で結婚しましたか。(再婚している場合は初婚時の年齢)(○は1つ)

結婚した年齢をみると、「25歳～29歳」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「20歳～24歳」32.2%、「30歳～34歳」15.1%となっています。



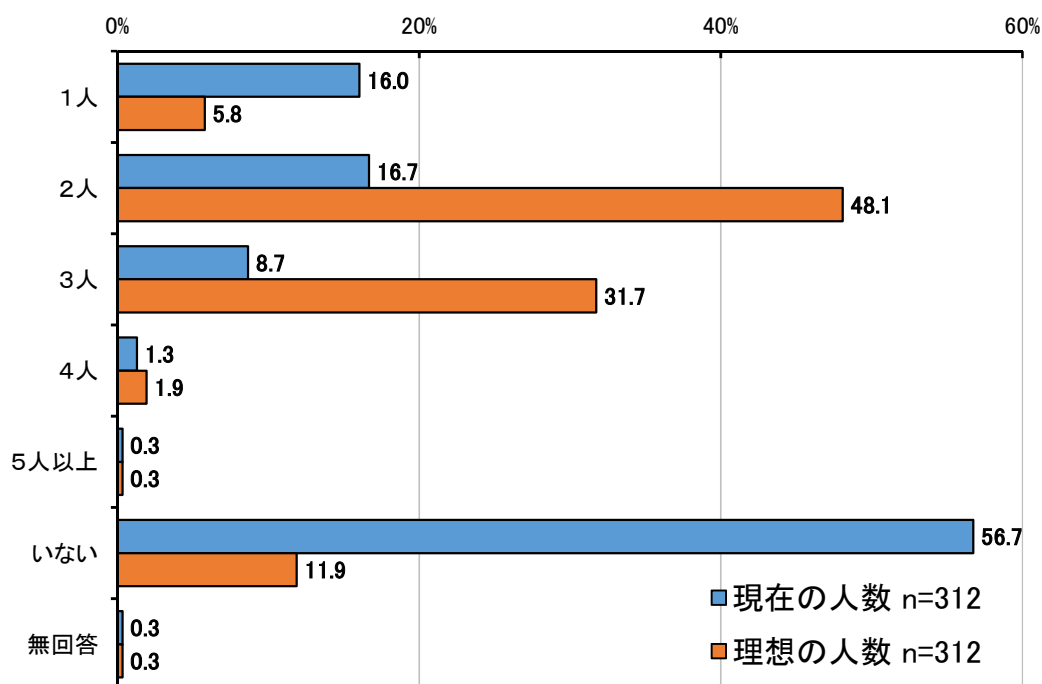
全員にお聞きします

問 45 あなたの現在のこどもの人数を教えてください。(○は1つ)

問 46 理想的なこどもの人数を教えてください。(○は1つ)

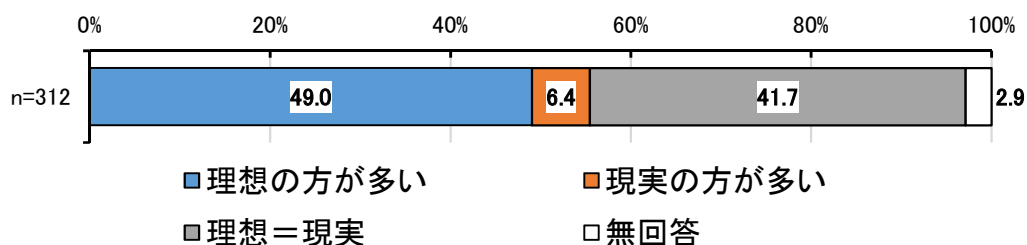
現在のこどもの人数をみると、「2人」が16.7%と最も高く、「1人」と概ね同じ割合となっており、「いない」は56.7%となっています。

理想のこどもの人数をみると、「2人」が48.1%と最も高く、現在よりも31.4ポイント高くなっています。次いで「3人」31.7%となっており、現在よりも22.7ポイント高くなっています。「いない」は11.9%となっています。



問 47 こどもの人数について、理想と現実には差がありますか。(○は1つ)

こどもの人数の理想と現実の差をみると、「理想の方が多い」の割合が49.0%と最も高く、次いで「理想=現実」41.7%、「現実の方が多い」6.4%となっています。

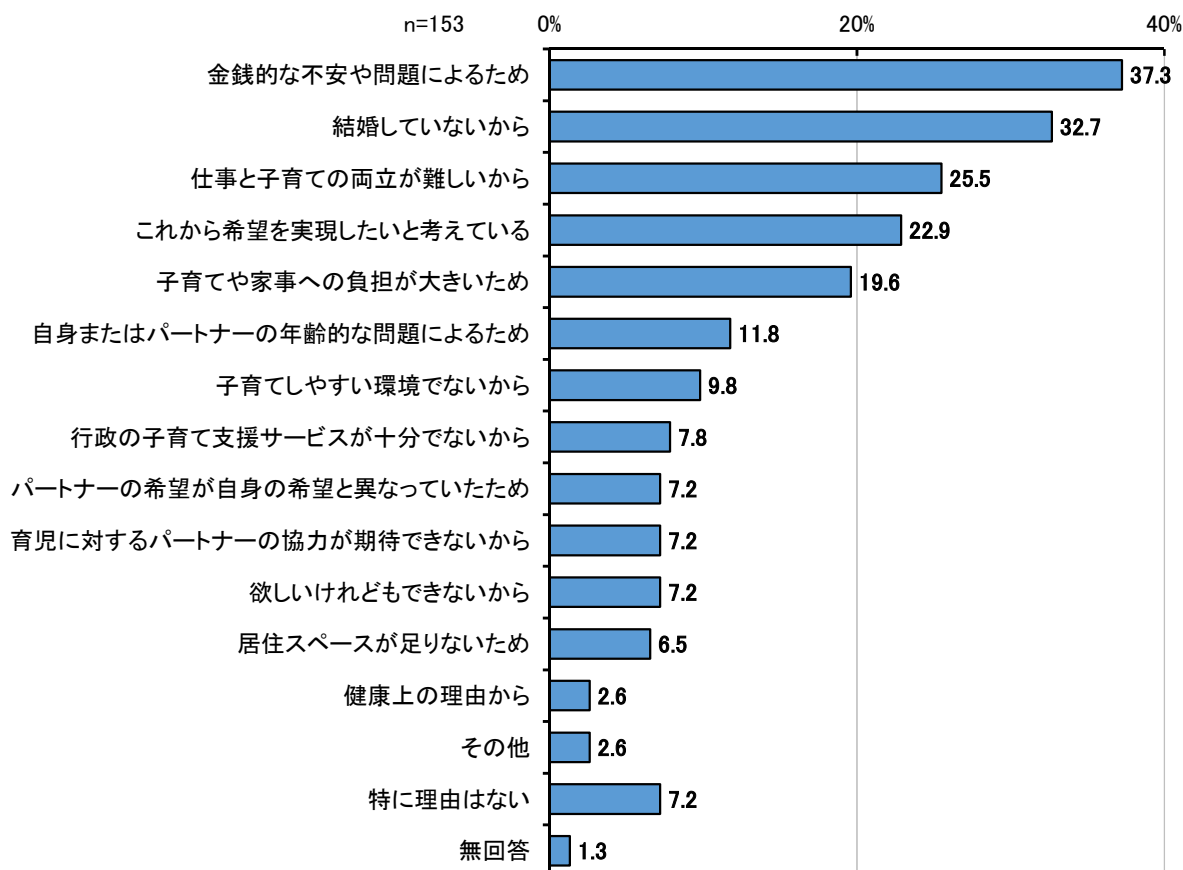


問 47で「1」を選んだ方のみ、お答えください。

問 48 こどもの人数について、理想の方が多いと回答した理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

こどもの人数について、理想の方が多いと回答した理由をみると、「金銭的な不安や問題によるため」の割合が37.3%と最も高く、次いで「結婚していないから」32.7%、「仕事と子育ての両立が難しいから」25.5%となっています。



【その他の回答】(全 4 件)

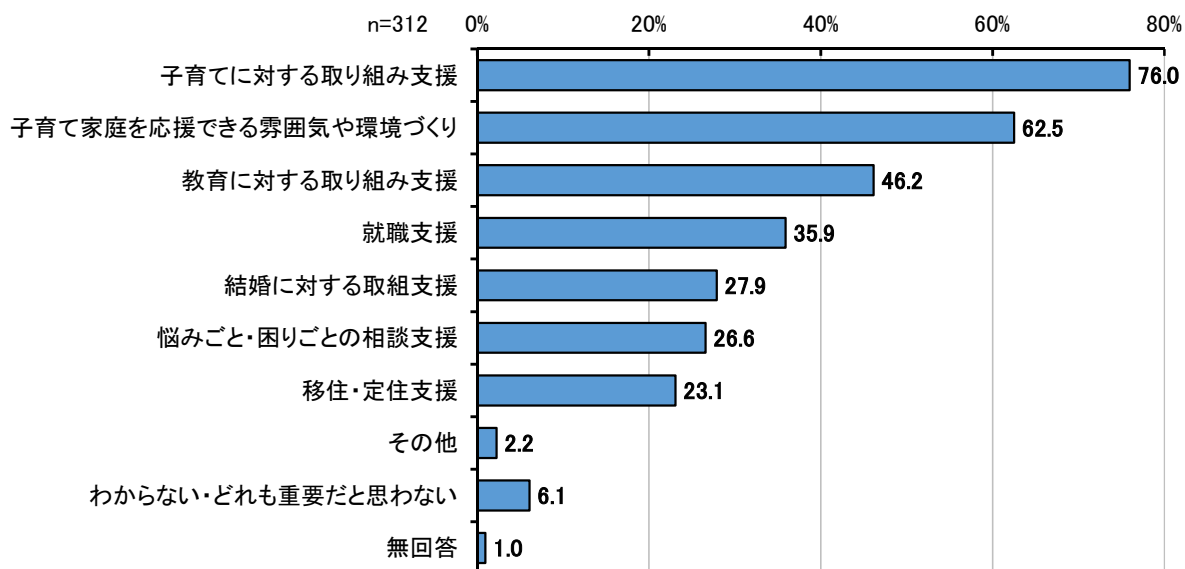
・理想は 2 人くらいと思うが、自分が親になって子どもを育てていく自信がない。妊娠や出産の体調の変化、痛みが怖い。 など

全員にお聞きします

問49 こども・若者世代への取組について、あなたが重要だと思う取組を教えてください。

(〇はいくつでも)

こども・若者世代への取組について、重要だと思う取組をみると、「子育てに対する取り組み支援」の割合が76.0%と最も高く、次いで「子育て家庭を応援できる雰囲気や環境づくり」62.5%、「教育に対する取り組み支援」46.2%となっています。



【その他の回答】(全7件)

- ・大学の就学資金
- ・継続的な賃金のアップ
- ・仕事で産休に入った人達の仕事をサポートする側の事も支える必要がある
- ・物価高なのに手取りが全く上がらない。税金の取り過ぎ、減税してほしい。 など